

高等学校におけるアクティブラーニングの視点に立った
参加型授業に関する実態調査 2015

最終報告書

木村 充, 小山田 建太, 田中 智輝, 村松 灯, 山辺 恵理子, 中原 淳

2016年12月28日

東京大学 大学総合教育研究センター 中原淳研究室

日本教育研究イノベーションセンター

マナビラボとは

ワクワクする学びを明日の教室に！

東京大学 大学総合教育研究センター 中原淳研究室と日本教育研究イノベーションセンターは、日本全国の高校で授業をなさっている先生方が、その授業をさらに「インタラクティブ」に、さらに「知的にワクワク」したものにするお手伝いをさせていただきたいと願い、Web サイト「マナビラボ」を立ち上げました。

マナビラボは、高校の先生方はもちろんのこと、今、高校で学んでいる高校生、そして高校の授業に関心をもつ多くの人々にご覧いただきたくたいと感じています。

1. 「日本全国の高校のアクティブラーニングの視点に立った参加型授業の実態」を「見える化」するべく、モニタリング調査を行わせていただくこと
2. アクティブラーニングの視点に立った参加型授業を含む「高校の先進的な授業実践事例」を収集し、多くの人々に知っていただくこと

これら2つの活動に関するコンテンツはもちろんのこと、これらに関連する様々なコンテンツを開発することで、「高校の授業が今まで以上にワクワクしたもの」になることを、わたしたちは願っております。

マナビラボ所員一同、前述の目的を達成するべく、さまざまな記事・コンテンツの執筆を行わせていただきますので、どうかよろしく願いいたします。なお、マナビラボ立ち上げに際して、わたしたちは、4つの信念をもっています。まずは、ぜひ、そのお話をさせてください。

1つめの信念

わたしたちは、アクティブラーニングを「これから新たに始めていくもの」と「見なさない」ということです。

世の中には、アクティブラーニングを「これから実施されるべき新規なもの」とみなし、場合によっては、「これまで」を否定する言説があふれています。あるいは、「アクティブラーニング」を「特定のツール」や「特定の考え方」を適応しなければ実現できないものと、主張するむきがあります。

しかし、わたしたちは、これらの考え方に「違和感」を感じます。

アクティブラーニングを実現するために、「つくられた土俵」にのる必要はありません。

その芽は、むしろ、多くの教育現場に「すでにあった」のではないのでしょうか。

むしろ、これまで多くの高校には、「アクティブラーニング」とラベルづけはされていないものの、「インタラクティブで、かつ、優れた問題解決をなす授業があったはず」です。

そういう「当然の前提」にたち、このプロジェクトをすすめたいと願うのです。

それらをさらにブラッシュアップし、改善していくことこそが、現在 15 歳の高校生たちが生きる近い将来を豊かにします。

マナビラボは、事例調査、実態調査を通じて、「今あるもの」を「Rediscovery（再発見すること）」をめざしたいと考えています。マナビラボの副題にあります「ひとはずもととアクティブ・ラーナー」には、そのような思いが込められています。

2 つめの信念

わたしたちは、高校における「授業革新」の問題を、「高校だけが取り組む課題」であるとは捉えていません。

むしろ、わたしたちは「高校－大学－社会（就業）」をトータルにとらえ、その移行が円滑にすすむことを目的に、このプロジェクトをすすめます。これには、マナビラボ所長である僕個人の私的な経験が強く影響しています。

僕は、これまで10年以上にわたり、「学び」という観点から「企業・組織のヒトにまつわる問題」を研究してきました。

企業の「人材開発」に関する実証研究をなす一方で、企業研修の現場にも立ち、数千名を超える様々なビジネスパーソンと接してきました。

地域活性化、地域開発にも従事してきました。そうした経験の中で、ここ数年ふつつとこみ上げてきた思いがあります。それは、多くの現代社会を生きる人々にとって必要な経験で、下記のような経験は、いくら「前倒し」して経験しても「早すぎる」ということはないということです。

特に、

- ・多種多様な社会的背景をもつ人々と協働する経験
- ・リーダーシップを発揮して、人を巻き込み、何かをなしとげる経験
- ・論理的に物事をとらえ、アウトプットを行う経験

などは、変化の早い時代にあっては、学校の教科の中で、あるいは教科外でも、学ばれるべきであると感じます。

学校の中に「出島」をつくり、そこで実践されるべきでなく、多くの教育活動の中に、それらが埋め込まれるべきだと感じます。

そのような経験をもった成人が、これから社会にたくさん求められるようになっていくと実感しますし、これからの社会を望ましい方向に変えていくのではないかと感じています。

誤解を避けるために申し上げますが、単に、企業で必要になる能力開発を、学校に押しつけないわけではないのです。

地域の必要な人材を、学校だけに押しつけるつもりもありません。もちろん学校教育の意義は、企業・組織・地域のためだけにあるわけではありません。

しかし、上記3つのような経験は、企業・地域社会を生きるすべての人々にとってというだけでなく、これから生きる「子ども」にとって、若い世代にとって、必要になるものであると考えます。マナビラボは、高校の現場においても、このような経験学習がさらに生まれることを願っています。

3つめの信念

3つめの信念は、わたしたちは徹底的に「見える化」するということです。

アクティブラーニングの言説空間には、様々な理論語、現場語がとびかっています。それらの多くはベクトルを異にしており、交差しつづけているような印象をもちます。ここに圧倒的に足りていないと感じるのは、「見える化」です。

私たちは信じています。

「今ある現実」を「見える化」できていないものは、具体的に「将来を構想すること」はできません。

「今ある現実」を「見える化」できたところから、生産的な議論がはじまります。

よってわたしたちは、現場の先生方に大変なご苦勞をおかけして、今ある高校の現場の実態を把握する調査を行わせて頂きました。

また、今の高校の現場の実態がわかる、さまざまな定性的調査をさせていただいております。地に足をつけて、現場のリアルな実態、現場の声を拾うところから、将来を構想すること、そのお手伝いをするをわたしたちの信条とします。

4つめの信念

それは、わたしたちはマナビラボを「コミュニティ・メディア」にするということです。

コミュニティ・メディアとは、ここでは「共通の関心をもつ人々が出会い、参加・協力していく関係を編み出すメディア」という意味で用います。

マナビラボ所員は、わずか6名です。

この所員が全力で走り、さまざまな調査分析・記事執筆を行うのですが、わたしたちに為しうること、わたしたちにできることは限られています。

わたしたちの元には、まことにありがたいことに、さまざまな高校の現場から講師登壇のリクエストが寄せられております。

そのすべてにお答えしたいのはやまやまなのですが、限られた人的リソースのなかで、もっとも社会的インパクトが高いことを為していくためには、何が必要かを、これまでグループで話し合ってきました。

その結論が、わたしたちは、マナビラボを「コミュニティ・メディア」にしていこう！というものです。

現在、高校の授業に対しては社会的に高い関心が寄せられていますが、この問題には、かならずしも、いつもマスメディアが注目してくれるわけではありません。わたしたちは、マナビラボをコミュニティ・メディアとして運営し、「高校の授業に共通の関心をもつ人々が出会い、参加・協力していく関係を編み出すこと」をめざしたいと思います。

以上、マナビラボを立ち上げるに際して、読んでいただきたい方々、そしてそれらの方々にご理解いただきたい、わたしたちの思いを記しました。マナビラボが、高校の授業をさらに「ワクワクしたもの」

とする「媒介」になったとしたら、あるいは、高校の授業に関する社会の関心を喚起し、そこに様々な人々が参加・協力をいただける「触媒」になったとしたら、これ以上、うれしいことはありません。

Learning is fun!

所員を代表して

マナビラボ所長

中原 淳（東京大学・准教授）

はじめに

本報告書は、東京大学 大学総合教育研究センター 中原淳研究室 と 一般財団法人日本教育研究イノベーションセンター が、2015年7月から9月にかけて共同研究として実施した「高等学校における参加型学習に関する実態調査2015」（以下、本調査）の調査概要および集計結果をまとめたものである。本調査では、アクティブラーニングと同義で「参加型学習」という言葉を用いている。

本調査は、高等学校におけるアクティブラーニングの現状を、質問紙調査の方法で把握することを目的に実施された。本調査は、高等学校におけるアクティブラーニングに関する大規模調査としては、全国で初めてのものである。

本調査は、1) 学校代表者にお答えいただく調査票、2) 教務主任の先生方にお答えいただく調査票、3) アクティブラーニングを実践なさっている先生方にお答えいただく調査票、合わせて3種類の調査票によって構成されている。これらの調査票を組み合わせることで、高等学校におけるアクティブラーニングの実態に多角的に迫ることを目指している。

これまで、第一次報告書、第二次報告書、第三次報告書と公刊してきたが、これらの中間報告は分析を進めながらの速報値であり、また、分析途中で取り上げることができなかった事項も少なくなかった。本報告書は、最終報告である。本調査のデータを利用するには、本報告書のものをご参照いただきたい。

本調査が可能となったのは、ご多忙な中で、本調査の趣旨を理解し、回答をお寄せくださった高等学校の先生方の熱意とご協力による。この場をかりて、心から厚く感謝を申し上げたい。また、このたびの調査の趣旨をご理解いただき、さまざまな支援をいただいた一般財団法人日本教育研究イノベーションセンターの皆様、企画趣旨にご賛同いただいた文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室の皆様にも、心より感謝する。本当にありがとうございました。

多くの方々のご理解とご協力の賜物である本調査の結果が、今後の高等学校におけるアクティブラーニングの在り方を考える際の基礎資料として各方面で活用され、高等学校の学びの活性化や改善に寄与することを願う。

2016年12月26日

研究プロジェクトメンバー全員を代表して

東京大学大学総合教育研究センター 中原淳研究室
准教授 中原淳（研究代表者）

最終報告書について

本報告書は、「高等学校におけるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業に関する実態調査 2015」（以下、本調査）の調査概要および集計結果まとめたものである。2015年12月16日に発行された第一次報告書、2016年3月2日に発行された第二次報告書、2016年6月8日に発行された第三次報告書の内容を統合し、本調査の分析結果を網羅的に報告したものである。本報告書が最終報告であるため、本調査のデータを利用する際には、本報告書のものをご参照いただきたい。

調査結果の掲載・引用について

本報告書に掲載されている図版や調査結果の掲載や引用をご希望される場合には、ご自由に引用・転載していただいて構いません。引用・転載にあたっては、事前にご連絡をいただく必要はありませんが、必ず以下の【出典記載例】に則って、出典をご明記ください。

【出典記載例】

木村充，小山田建太，山辺恵理子，田中智輝，村松灯，中原淳（2016）．東京大学－日本教育研究イノベーションセンター共同調査研究 高等学校におけるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業に関する実態調査 2015：最終報告書．<http://manabilab.jp/wp/wp-content/uploads/2016/12/finalreport.pdf>

目 次

マナビラボとは

はじめに

最終報告書について

調査結果の掲載・引用について

1. 調査の概要	1
1. 調査の概要	1
1.1. 調査の目的	1
1.2. 調査の方法	1
1.3. 調査時期	1
1.4. 調査対象	1
1.5. 回収数	1
1.6. 調査項目	1
2. 調査の目的	2
3. 調査の実施主体	2
4. 調査の対象	2
5. 調査の方法	3
6. 調査票の構成と内容	3
7. 回収率	4
2. 調査の結果	7
1. 回答者の基本属性	7
1.1. 設置者	7
1.2. 男女共学・別学	7
1.3. 中学校・大学との接続	8
1.4. 学期制	8
1.5. 研究指定・重点校指定	9
1.6. 教員数	11
1.7. 設置学科、学級数、生徒数	12
1.8. 生徒の卒業後の進路先	15

1. 9.	学校教育目標.....	16
1. 10.	教育課程の編成.....	18
1. 11.	複数教科の連携.....	19
1. 12.	校内研修.....	20
1. 13.	中学校・大学への要望.....	22
1. 14.	学習環境.....	24
2.	校長調査及び教科主任調査の結果.....	26
2. 1.	「アクティブ・ラーニング」という言葉を知ったきっかけ.....	26
2. 2.	「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ.....	28
2. 3.	参加型授業への現在の取り組み状況.....	31
2. 4.	カリキュラム・マネジメント.....	35
2. 5.	参加型授業のねらい.....	43
2. 6.	参加型授業の学習活動.....	50
2. 7.	参加型授業の工夫.....	55
2. 8.	参加型授業の効果.....	63
2. 9.	参加型授業の評価.....	72
2. 10.	参加型授業実施上の悩み.....	78
2. 11.	参加型授業の悩みの克服方法.....	86
2. 12.	科目別の参加型授業の実施状況.....	93
3.	教員調査の結果.....	138
3. 1.	回答者の基本属性.....	138
3. 2.	カリキュラム・マネジメント.....	141
3. 3.	「アクティブ・ラーニング」という言葉を知ったきっかけとイメージ.....	147
3. 4.	「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ.....	149
3. 5.	参加型学習の授業案を設計する際に参考にしたもの.....	152
3. 6.	参加型学習の授業方法を学んだ場所.....	155
3. 7.	参加型学習を取り入れた授業をはじめた時期ときっかけ.....	158
3. 8.	参加型授業のねらい.....	163
3. 9.	参加型授業の学習活動.....	169
3. 10.	参加型授業の工夫.....	175
3. 11.	参加型学習の効果.....	181
3. 12.	参加型学習の評価方法と評価対象・評価者.....	188
3. 13.	授業改善の方法と判断の根拠.....	192
3. 14.	参加型授業実施上の悩み.....	195
3. 15.	悩みの克服方法.....	201

3.	参加型授業の事例 100	207
4.	付録	224
1.	調査票（校長調査）	225
2.	調査票（教科主任調査）	22615
3.	調査票（教員調査）	24215

1. 調査の概要

本章では、調査の目的や方法など、調査の概要について説明する。

1. 調査の概要

1.1. 調査の目的

高等学校におけるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業の実態の把握

1.2. 調査の方法

郵送法による質問紙調査

1.3. 調査時期

2015年7月～9月

1.4. 調査対象

校長調査：全国の高等学校^(注1)の校長（教頭や教務主任等の学校代表者）

教科主任調査：全国の高等学校の各教科（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の教科主任

教員調査：全国の高等学校のアクティブラーニングの視点に立った参加型授業を実施している教員

（注1）普通科またはそれに準ずる学科、および総合学科を設置する全国の高等学校（計3,893校）。

v

1.5. 回収数

回答学校数	2,414校	（対象校数 3,893校、回収率 62.0%）
・校長調査	2,371票	（配布数 3,893票 ^(注2) 、回収率 60.9%）
・教科主任調査	11,486票	（配布数 19,465票 ^(注3) 、回収率 59.0%）
・教員調査	5,177票	（配布数 19,465票 ^(注4) 、回収率 26.6%）

（注2）各学校に1部配布。

（注3）各学校に5部（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）配布。

（注4）各学校に5部配布。アクティブラーニングの視点に立った参加型授業に積極的に取り組んでいる先生が回答。

1.6. 調査項目

・校長調査：

学校の規模、制度、生徒の進路先、学校教育目標、カリキュラム・マネジメントの程度、校内研修の回数と内容、学習環境の整備状況、「アクティブ・ラーニング」のイメージ、参加型学習の実施状況、参加型学習の内容、教科（6教科以外）での参加型学習の実施率 など

・教科主任調査

カリキュラム・マネジメントの程度、「アクティブ・ラーニング」のイメージ、教科での参加型学習の実施状況、科目別参加型学習の実施率、教科での参加型学習の内容 など

・教員調査

教員の属性、担当教科、カリキュラム・マネジメントの程度、「アクティブ・ラーニング」のイメージ、参加型学習の実施状況、参加型学習の内容 など

2. 調査の目的

「高等学校におけるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業に関する実態調査」（以下、本調査）は、1) 現在、未曾有のスピードで進行する大学改革—とりわけ円滑な高大接続を実現するための基礎資料として、現在の高校の教育実態を「大学」が学ぶこと、2) 学習指導要領の改定をにらんで、現在進んでいる高等学校におけるアクティブラーニングの現状を可視化し、高等学校の関係者の方々に利用して頂くことを目的に、東京大学 大学総合教育研究センター 中原淳研究室 と 日本教育研究イノベーションセンター が共同で実施する調査である。

大学改革の議論において、ここ数年、高大接続の重要性が指摘されている。変化の激しい現代社会を「生き抜く」若手層を育成するために、それぞれ個別に存在していた「高校の教育」と「大学の教育」を円滑に接続し、かつ総合的な思考力を見抜く大学入学者選抜を実現することが、社会的に要請されている。本調査は、こうした社会的背景を鑑み、高校の教育のリアルな実態を明らかにし、そこから大学が多くのことを学ぶために企図された。

一方、2014年11月に発表された中央教育審議会諮問「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」をきっかけに、全国の高等学校においてアクティブラーニングの視点を取り入れた授業への取り組みが普及しはじめている。この諮問は、新しい時代にふさわしい学習指導要領等の在り方について、育成すべき資質・能力をふまえた教育目標・内容の改善、アクティブラーニングの充実、学習評価の改善などを掲げたものである。新しい学習指導要領では、課題解決能力や主体的学習態度が重視されており、このような知識・技能、態度を身につけるためには、一方的に教師の講義を聴くだけの授業ではなく、生徒による議論や学び合い、発表などを組み込むなど、教育内容・方法の改善が不可欠である。

しかし、高校の教育の実態に関しては、それを正確に把握する手段がこれまで存在していなかった。本調査は、こうした社会的背景を後景とし、高校の教育改革、大学の教育改革、ひいては大学の選抜手法の改革に資する基礎的資料として、社会の多くの関係者に利用されることを願っている。

3. 調査の実施主体

本調査の実施主体は、大学総合教育研究センター 中原淳研究室 と 日本教育研究イノベーションセンター である。調査の方法、調査票の内容の検討などは、両者の協議によって行われた。

4. 調査の対象

本調査の対象は、調査票配布時（2015年7月）に、普通科またはそれに準ずる学科、および総合学科を設置する全国の高等学校（計3,893校）である。

本調査では、一方的な知識伝達型の講義を聴くだけという受動的な学習を乗り越える意味でのアクティブラーニングに焦点を当てるため、実技や演習等の授業に力を入れてきたと考えられる実業学校は、対象から除外した。また、同様の理由で、6教科（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）以外の保健体育・芸術・家庭等の教科は対象から除外した。

本調査では、対象となるすべての高等学校を調査する、全数調査を実施した。全数調査は、膨大な費用や手間が生じる一方で、より誤差の少ない結果が得られるというメリットがある。

5. 調査の方法

以上の手続きによって選定された調査対象の高等学校に対して、調査票を郵送した。本調査では、学校代表者による学校全体としてのアクティブラーニングの視点に立った参加型授業への取り組みの実態、教科ごとの参加型授業への取り組みの実態、参加型授業に取り組んでいる教員のより具体的な取り組みの実態という3つの視点から実態を把握するため、校長調査、教科主任調査、教員調査の3種類の調査票を用意した。調査票は、2015年7月3日に各高等学校に発送された。各学校には、調査票11部（校長調査票1部、教科主任調査票5部、教員調査票5部）に加え、依頼状、文部科学省の賛同文、返送用封筒が同封された。

回収作業は、2015年7月3日の調査開始から、調査票回収の最終締切り期限となった2015年9月30日まで継続された。

調査票の回収は、当初2011年9月4日に締め切ることを予定していたが、調査票の返送が続いたため、最終的に回収期限を9月30日までに延長した。

6. 調査票の構成と内容

調査票の基本的構成と内容は以下の通りである。

○校長調査：

学校の概要、学校の種類や制度、研究・重点校指定の有無、学校規模、生徒の進路先、学校教育目標、教育課程の編成体制、教科連携の有無、カリキュラム・マネジメント、校内研修の回数と内容、学習環境の整備状況、「アクティブ・ラーニング」のイメージ、参加型学習の実施状況、参加型学習のねらい、学習環境や授業方法の工夫、参加型学習の効果、参加型学習の評価方法、参加型学習実施上の困難や課題・不安、参加型学習実施上の困難や課題・不安の克服方法、特徴的な取り組み、教科（6教科以外）での実施率 など

○教科主任調査：

カリキュラム・マネジメント、「アクティブ・ラーニング」のイメージ、参加型学習の実施状況、科目別参加型学習の実施率、参加型学習の内容、参加型学習のねらい、参加型学習の学習活動、学習環境や授業方法の工夫、参加型学習の効果、参加型学習の評価方法、参加型学習実施上の困難や課題・不安、参加型学習実施上の困難や課題・不安の克服方法 など

○教員調査：

性別、年齢、教職経験年数、現任校勤務年数、校務分掌、担当教科、学校教員以外の職業経験、カリキュラム・マネジメント、「アクティブ・ラーニング」のイメージ、参加型学習の内容、参加型学習を始めたきっかけや設計方法、参加型学習のねらい、参加型学習の学習活動、学習環境や授業方法の工夫、参加型学習の効果、参加型学習の評価方法、参加型学習実施上の困難や課題・不安、参加型学習実施上の困難や課題・不安の克服方法 など

高等学校において広まりつつあるアクティブラーニングという語は、人によって様々なイメージで捉えられていたり、特定の「授業の型」のようなイメージを持たれていたりすることが想定される。本調査では、そのイメージによって回答が偏ることを避けるため、各学校に調査を依頼するに当たり、調査票中ではアクティブラーニングという語の代わりに「参加型学習」という語を用いた。「アクティブラーニング」または「参加型学習」という語について、現在のところ統一された定義があるわけではなく、

回答者によって思い浮かべるものが異なると考えられるため、本調査では「参加型学習」の定義として図1のような定義を示した。

本報告書では、このような「参加型学習」の視点を取り入れた授業のことを「アクティブラーニングの視点に立った参加型授業」または単に「参加型授業」という語を用いて表現することとした。従って、本報告書で「アクティブラーニング」または「アクティブラーニングの視点に立った参加型授業」という言葉を用いた場合、調査票では「参加型学習」という言葉を用いていたことになる。

本調査では、教員による一方向的な講義形式や思考を伴わない体験のみの教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加と思考を促す教授・学習法を総称して「参加型学習」と呼ぶこととします。

具体的には、以下の表に挙げたような手法を取り入れた学習を「参加型学習」と定義します。そして、これらの手法を取り入れた「参加型学習」を、全授業のうち1回でも実施した授業を調査の対象とします。

<u>意見発表・交換型</u> ： 議論や発表を通して、意見を交換・整理する形態	例えば ディベート、話し合い（ディスカッション）、 プレゼンテーション、ブレインストーミング など
<u>理解深化型</u> ： 自分の思考を客観的に振り返り、理解を深める形態	例えば 協調学習、学び合い、ふりかえり（リフレクション）、 自己による学習評価、作文 など
<u>課題解決型</u> ： 課題に対して解決策を提案、または実行する形態	例えば 課題解決型学習、ケーススタディ、探究・調べ学習、 プロジェクト型学習 など

※講義を一方向的に聞くだけの授業は、「参加型学習」には含みません。
 ※教科書の音読や輪読、挙手、一問一答式の発問に対する回答、プリントや問題集の解答、実験・実習・実技、見学、教材の視聴など、生徒が何らかの活動を行うものでも、生徒の思考が活性化しない場合には、本調査での「参加型学習」には含みません。
 ただし、「意見発表・交換型」「理解深化型」「課題解決型」等の思考の活性化を伴うプロセスを含むものであれば、本調査での「参加型学習」に含めるものとします。

図1 参加型学習の定義

7. 回収率

本調査の対象となる高等学校は、普通科またはそれに準ずる学科、および総合学科を設置する全国の高等学校（計3,893校）である。すべて白紙であった調査票や重複して返送された調査票を除いた有効調査票数を整理した結果、有効な調査票を返送した高等学校の数は2,414校であった。都道府県別・設置者別に配布数、回収数、回収率を求めたものが表1～表3である。

表1 調査票配布・回収状況

対象		配布数	回収数	回収率
校長		3,893	2,371	60.9%
教科主任	国語	3,893	2,309	59.3%
	地歴・公民	3,893	2,278	58.5%
	数学	3,893	2,312	59.4%
	理科	3,893	2,283	58.6%
	外国語	3,893	2,302	59.1%
教科主任(合計)		19,465	11,486	59.0%
教員		19,465	5,177	26.6%
合計		12,070	7,328	60.7%

表2 都道府県別調査票配布・回収状況

都道府県	配布数	回収数								回収率
		校長	教科主任					教員	合計	
			国語	地歴公民	数学	理科	外国語			
北海道	230	162	157	150	156	155	153	98	162	70.4%
青森県	52	39	39	39	39	38	38	31	39	75.0%
岩手県	59	44	42	43	44	44	43	27	44	74.6%
宮城県	72	53	52	50	53	52	52	35	53	73.6%
秋田県	45	32	31	31	32	31	32	21	33	73.3%
山形県	44	28	28	28	26	28	26	23	28	63.6%
福島県	72	43	42	41	40	40	41	28	43	59.7%
茨城県	104	63	62	61	62	57	61	45	63	60.6%
栃木県	59	42	43	44	44	43	44	32	44	74.6%
群馬県	62	48	48	48	47	47	48	40	49	79.0%
埼玉県	161	95	89	85	95	92	88	73	97	60.2%
千葉県	167	99	97	95	98	100	98	71	103	61.7%
山梨県	35	26	28	27	28	26	27	24	28	80.0%
東京都	363	169	167	159	164	157	161	117	174	47.9%
神奈川県	212	110	107	107	107	103	106	84	111	52.4%
新潟県	85	51	49	49	50	52	50	32	52	61.2%
富山県	40	28	27	26	27	27	27	20	28	70.0%
石川県	40	25	25	25	25	24	24	21	25	62.5%
福井県	23	17	17	17	16	16	16	15	17	73.9%
長野県	77	64	61	61	62	61	63	52	65	84.4%
静岡県	115	82	80	82	80	83	81	63	84	73.0%
愛知県	176	121	108	113	105	107	110	89	122	69.3%
岐阜県	59	40	40	39	40	39	38	33	42	71.2%
三重県	51	38	37	38	37	36	38	28	38	74.5%
滋賀県	48	30	29	29	29	27	30	24	30	62.5%
京都府	83	49	45	47	46	48	46	36	50	60.2%
大阪府	225	110	105	105	103	105	110	81	111	49.3%
兵庫県	171	98	93	91	94	92	93	71	100	58.5%
奈良県	44	24	24	24	23	23	24	15	24	54.5%
和歌山県	33	13	12	11	12	12	11	9	13	39.4%
鳥取県	21	14	15	14	15	15	15	13	15	71.4%
島根県	35	20	20	19	19	19	19	13	20	57.1%
岡山県	59	36	33	33	34	33	34	32	36	61.0%
広島県	111	66	66	63	67	67	64	51	67	60.4%
山口県	55	32	32	30	32	31	32	21	32	58.2%
徳島県	26	16	17	17	17	14	16	16	17	65.4%
香川県	32	16	16	16	16	14	16	11	16	50.0%
愛媛県	54	32	32	32	32	31	32	22	32	59.3%
高知県	30	23	22	20	22	21	22	17	23	76.7%
福岡県	134	80	79	80	80	81	80	62	82	61.2%
佐賀県	28	17	18	18	18	18	18	10	18	64.3%
長崎県	61	34	34	34	34	35	35	20	35	57.4%
熊本県	57	27	25	25	24	23	25	19	27	47.4%
大分県	42	27	27	25	28	25	27	19	28	66.7%
宮崎県	34	20	21	20	21	21	20	13	21	61.8%
鹿児島県	63	40	41	42	40	42	42	26	42	66.7%
沖縄県	44	28	27	25	29	29	27	23	31	70.5%
合計	3,893	2,371	2,309	2,278	2,312	2,284	2,303	1,726	2,414	62.0%

表3 学校設置者別調査票配布・回収状況

設置者	配布数	回収数	回収率
国立	17	9	52.9%
都道府県立	2,491	1,676	67.3%
その他公立	118	81	68.6%
私立	1,267	648	51.1%
合計	3,893	2,414	62.0%

最終回収率である62.0%という数字は、学校を対象とする調査の回収率としては際立って高い数字と言え、全国の高等学校の教員のアクティブラーニングへの関心の高さがうかがえる。一方で、調査票に回答した学校は、アクティブラーニングに少なからず関心を持つ学校に偏っていると考えられるため、結果の解釈については、一定のバイアスを伴う可能性があることに、慎重に配慮することが求められるだろう。

とはいえ、本調査は、高等学校におけるアクティブラーニングに関する大規模な調査としては前例のない調査であるだけに、62.0%の有効調査票を回収できたことは、大きな成果であったと言える。

2. 調査の結果

1. 回答者の基本属性

「1. 調査の概要」で示したように、本調査の有効回答数の合計は2,414校で、そのうち校長調査に回答した学校は2,371校であった。

本節では、校長調査の結果から、回答した学校の基本属性を示す。

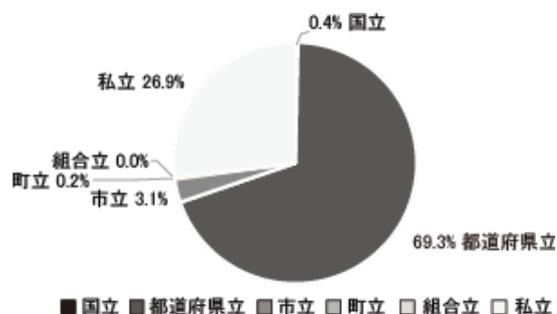
1.1. 設置者

学校の設置者は、国立が9校、都道府県立が1,644校、市立が74校、町立が5校、組合立が1校、私立が638校であった。回答の全体の傾向を捉えやすくするため、以後の分析には、市立・町立・組合立を合わせて「その他公立」に再分類した項目を用いる。

表4 学校の設置者

設置者	度数	パーセント
国立	9	0.4
都道府県立	1,644	69.3
市立	74	3.1
町立	5	0.2
組合立	1	0.0
私立	638	26.9
合計	2,371	100.0

(注) 校長調査の結果による。



(注) 校長調査の結果による。

図2 学校の設置者

1.2. 男女共学・別学

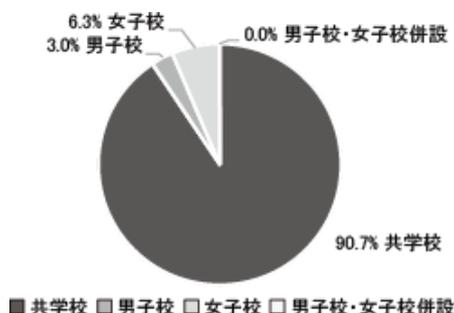
男女共学・別学について、共学校が2,145校、男子校が70校、女子校が150校、男子校・女子校併設校が1校であった。

表5 男女共学・別学

男女共学・別学	度数	パーセント
共学校	2,145	90.7
男子校	70	3.0
女子校	150	6.3
男子校・女子校併設	1	0.0
有効回答数	2,366	100.0
無回答	5	
合計	2,371	

(注) 1. 校長調査の結果による。

2. 男女共学・別学について、「共学校」「男子校」「女子校」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。



(注) 校長調査の結果による。

図3 男女共学・別学

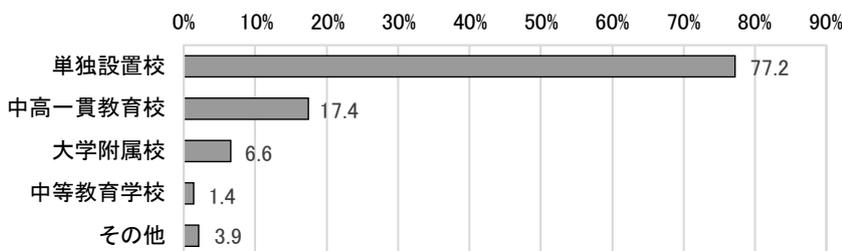
1.3. 中学校・大学との接続

中学校・大学との接続について、単独設置校は1,803校、中高一貫教育校は406校、中等教育学校は33校、大学の附属校は153校であった。

表6 中学校・大学との接続

中学校・大学との接続	度数	パーセント
単独設置校	1,803	77.2
中高一貫教育校	406	17.4
中等教育学校	33	1.4
大学附属校	153	6.6
その他	91	3.9
有効回答数	2,334	100.0
無回答	37	
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 中学校及び大学との接続について、「単独設置校である」「中高一貫教育校である」「中等教育学校である」「大学の附属校である」「その他（具体的に）」の選択肢から、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。



(注) 校長調査の結果による。

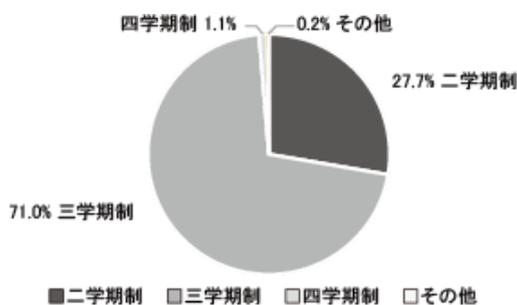
図4 中学校・大学との接続

1.4. 学期制

学期制について、二学期制が655校、三学期制が1,679校、四学期制が26校、その他（一学期制、五学期制など）が5校であった。

表7 学期制

学期制	度数	パーセント
二学期制	655	27.7
三学期制	1,679	71.0
四学期制	26	1.1
その他	5	0.2
有効回答数	2,365	100.0
無回答	6	
合計	2,371	



- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 学期制について、「二学期制」「三学期制」「四学期制」「その他（具体的に）」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

(注) 校長調査の結果による。

図5 学期制

1.5. 研究指定・重点校指定

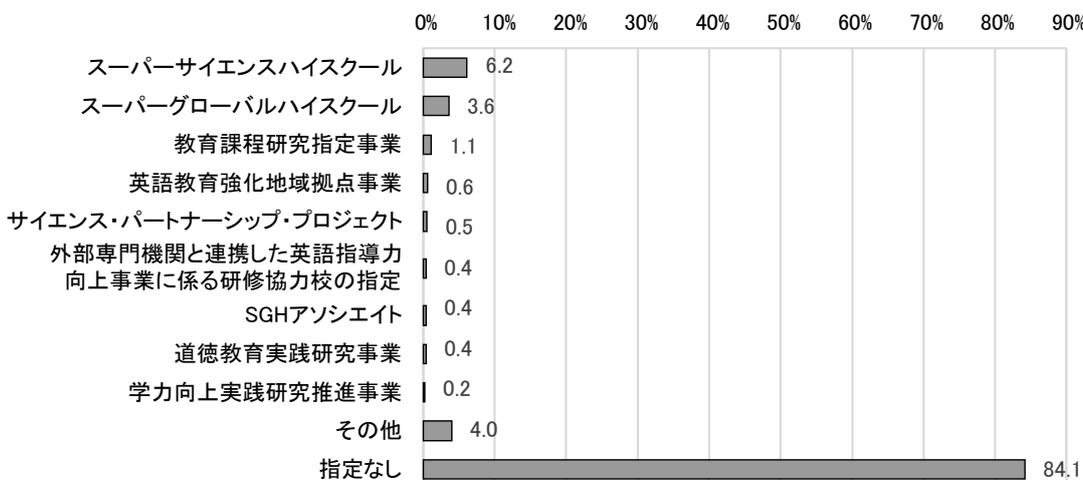
研究指定・重点校指定の有無について、文部科学省の研究指定を受けているか、文部科学省以外の研究指定・重点校指定を受けているかを尋ねた。

文部科学省の研究指定については、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 146 校 (6.2%)、スーパーグローバルハイスクール (SGH) 85 校 (3.6%)、教育課程研究指定事業 27 校 (1.1%)、英語教育強化地域拠点事業 15 校 (0.6%) サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP) 13 校 (0.5%)、外部専門機関と連携した英語指導力向上事業に係る研修協力校 10 校 (0.4%)、SGH アソシエイト 10 校 (0.4%)、道徳教育実践研究事業 9 校 (0.4%)、学力向上実践研究推進事業 5 校 (0.2%)、その他 94 校 (4.0%)、指定なし 1,995 校 (84.1%) であった。

表 8 文部科学省による研究指定

文科省による指定	度数	パーセント
スーパーサイエンスハイスクール	146	6.2
スーパーグローバルハイスクール	85	3.6
教育課程研究指定事業	27	1.1
英語教育強化地域拠点事業	15	0.6
サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト	13	0.5
外部専門機関と連携した英語指導力向上事業に係る研修協力校の指定	10	0.4
SGHアソシエイト	10	0.4
道徳教育実践研究事業	9	0.4
学力向上実践研究推進事業	5	0.2
その他	94	4.0
指定なし	1,995	84.1
有効回答数	2,371	100.0
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 文部科学省の研究指定について、「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」「スーパーグローバルハイスクール (SGH)」「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP)」「学力向上実践研究推進事業」「地域産業の担い手育成プロジェクト」「道徳教育実践研究事業」「教育課程研究指定事業」「その他 (具体的に)」の選択肢から、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた (複数選択)。
 3. 複数選択であるため合計は 100% ではない。



(注) 校長調査の結果による。

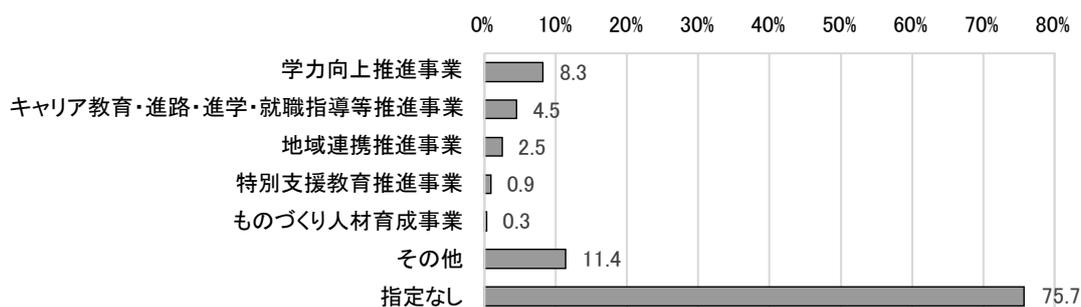
図 6 文部科学省による研究指定

また、文部科学省以外による研究指定・重点校指定については、学力向上推進事業 196 校 (8.3%)、キャリア教育・進路・進学・就職指導等推進事業 107 校 (4.5%)、地域連携推進事業 59 校 (2.5%)、ものづくり人材育成事業 8 校 (0.3%)、特別支援教育推進事業 22 校 (0.9%)、その他 270 校 (11.4%)、指定なし 1,795 校 (75.7%) であった。

表 9 文部科学省以外による研究指定・重点校指定

文科省以外による指定	度数	パーセント
学力向上推進事業	196	8.3
キャリア教育・進路・進学・就職指導等推進事業	107	4.5
地域連携推進事業	59	2.5
特別支援教育推進事業	22	0.9
ものづくり人材育成事業	8	0.3
その他	270	11.4
指定なし	1,795	75.7
有効回答数	2,371	100.0
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 文部科学省以外の研究指定・重点校指定について、「学力向上推進事業」「キャリア教育・進路指導・進学指導・就職指導等推進事業」「地域連携推進事業」「ものづくり人材育成事業」「特別支援教育推進事業」「その他（具体的に）」の選択肢から、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は 100% ではない。



(注) 校長調査の結果による。

図 7 文部科学省以外による指定

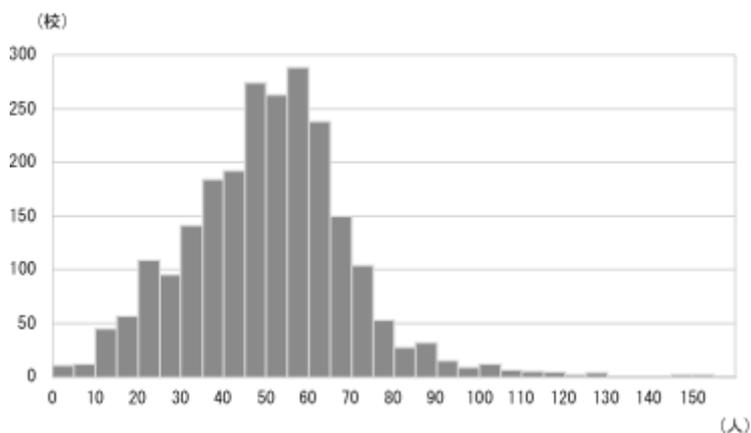
1.6. 教員数

各学校に勤務する常勤・非常勤教員（校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、講師、養護教諭、実習助手など）数を尋ねた。その結果、一校当たりの常勤教員数は51.3名であり、非常勤教員数は12.5名であった。一校当たりの教員数のヒストグラムを図2、図3に示した。

表10 一校当たりの教員数

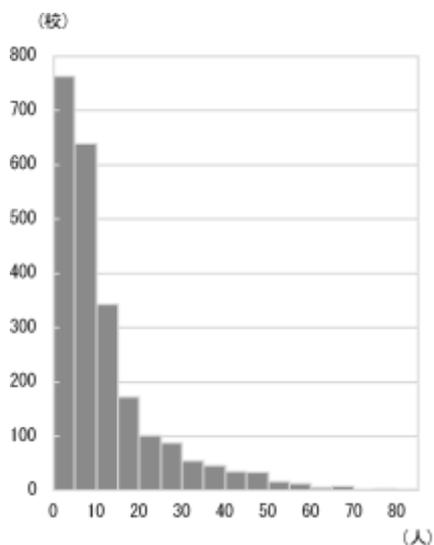
項目	有効回答数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
常勤教員数	2,344	1	192	51.3	20.04
非常勤教員数	2,319	0	84	12.5	12.50

（注）校長調査の結果による。



（注）校長調査の結果による。有効回答数は2,344。

図8 一校当たりの常勤本務教員数



（注）校長調査の結果による。有効回答数は2,319。

図9 一校当たりの非常勤教員数

1.7. 設置学科、学級数、生徒数

設置学科、学級数、生徒数について、各学校に設置されている学科にあてはまるものをすべて選び（複数選択）、各学科の2015年度の第1学年の学級数と生徒数（2015年4月の入・進学者数）を答えてもらう形式で尋ねた。その結果、2,371校の中で普通科を設置している学校は2,158校（91.1%）であり、総合学科を設置している学校は200校（8.4%）であった。なお、学級数や生徒数が「0」である学校があるのは、統合や閉校などにより第1学年の学級数や生徒数がゼロであるためである。

表11 設置学科、学級数、生徒数

学科名	設置学科	学級数			
	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
普通科	2,158	0	47	6.0	3.32
総合学科	200	1	9	4.4	1.83
農業科	59	1	5	1.7	0.97
工業科	77	1	10	2.6	2.03
商業科	154	0	7	1.9	1.16
水産科	7	1	2	1.3	0.52
家庭科	91	0	4	1.4	0.72
看護科	32	1	5	1.4	0.84
情報科	11	1	3	1.5	0.82
福祉科	30	1	2	1.1	0.35
理数科	134	1	12	1.4	1.23
外国語科	50	0	9	1.5	1.30
国際科	44	1	12	2.1	1.93
芸術科	44	0	3	1.1	0.55
体育科	33	1	6	1.7	1.01
その他1	91	0	9	2.4	1.86
その他2	4	1	2	1.8	0.50
有効回答数	2,368				
無回答	3				
合計	2,371				

(校)

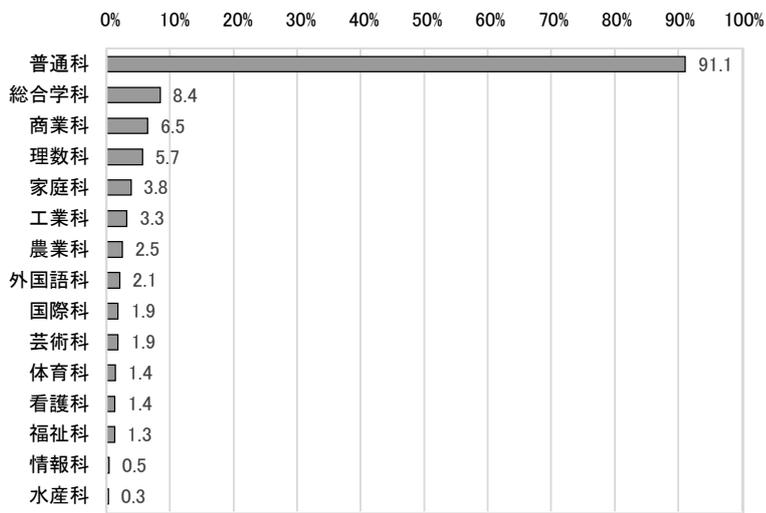
(学級)

続き

学科名	生徒数			
	最小値	最大値	平均値	標準偏差
普通科	0	1,315	219.7	128.40
総合学科	19	321	163.0	75.80
農業科	14	200	55.6	37.47
工業科	19	472	100.1	90.13
商業科	0	274	66.7	46.87
水産科	15	57	35.6	17.29
家庭科	0	127	49.7	25.75
看護科	24	210	53.5	38.75
情報科	14	113	47.9	27.88
福祉科	6	99	38.5	22.49
理数科	1	480	57.2	51.40
外国語科	0	327	56.8	48.90
国際科	6	480	77.2	78.83
芸術科	0	122	37.3	27.59
体育科	22	245	66.6	41.97
その他1	0	320	81.9	70.98
その他2	41	68	54.0	13.49

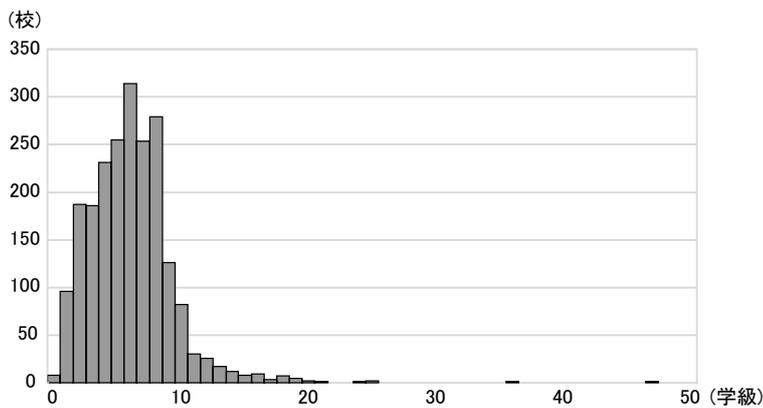
(人)

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 設置学科について、「普通科」「総合学科」「農業に関する学科」「工業に関する学科」「商業に関する学科」「水産に関する学科」「家庭に関する学科」「看護に関する学科」「情報に関する学科」「福祉に関する学科」「理数に関する学科」「外国語に関する学科」「国際に関する学科」「芸術に関する学科」「体育に関する学科」の選択肢から、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。
 4. 「その他」には、「普通科」から「体育科」までの選択肢に当てはまらない独自の学科名が記入されている。



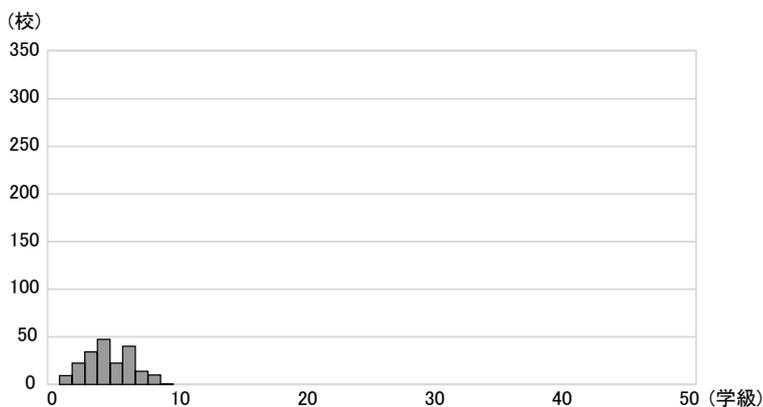
(注) 校長調査の結果による。有効回答数は 2,344。

図 10 調査回答校の設置学科状況



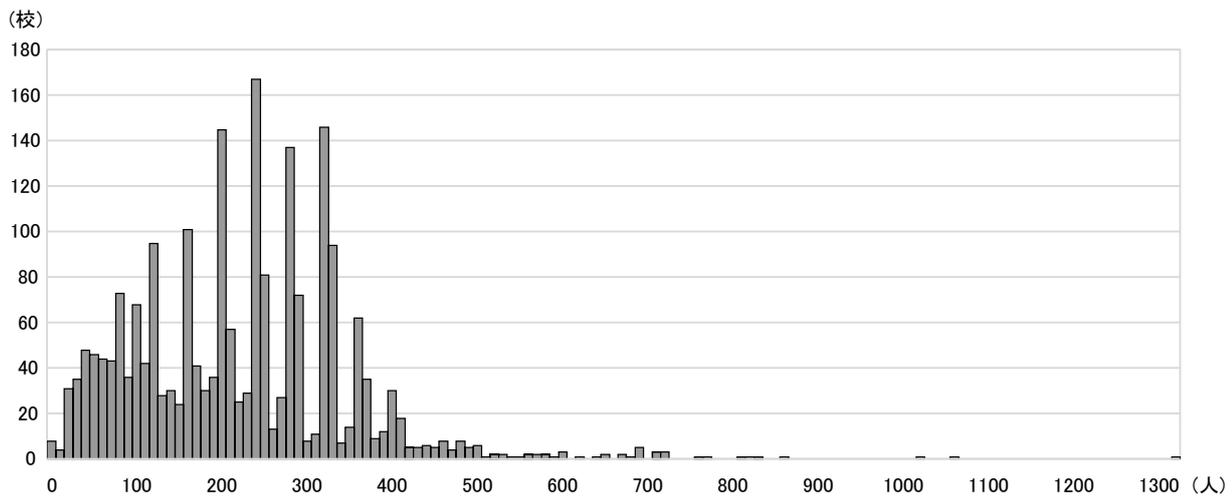
(注) 校長調査の結果による。

図 11 普通科の学級数



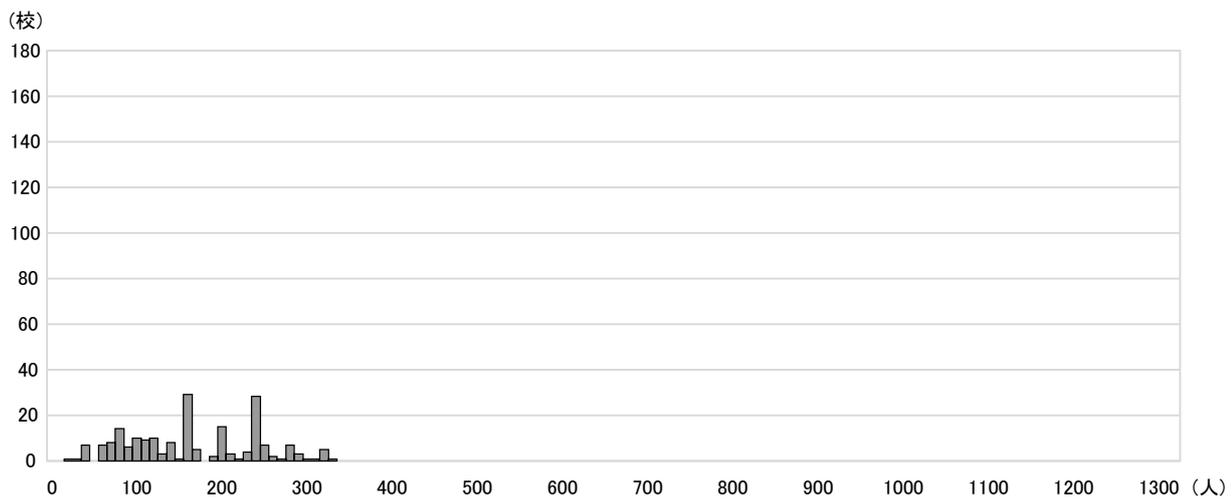
(注) 校長調査の結果による。

図 12 総合学科の学級数



(注) 校長調査の結果による。

図 13 普通科の生徒数

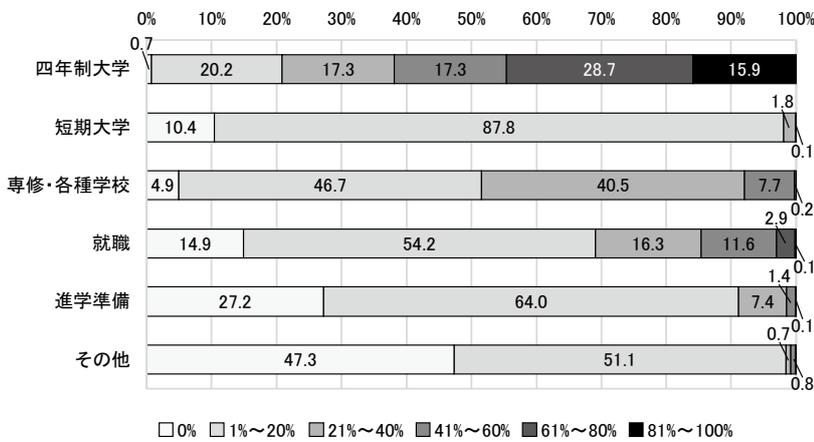


(注) 校長調査の結果による。

図 14 総合学科の生徒数

1.8. 生徒の卒業後の進路先

各学校の生徒の卒業後の進路先について、進路別の人数を尋ねた。回答を集計し、進路別の割合を求めたものを図4、表12に示した。



(注) 校長調査の結果による。

図15 生徒の卒業後の進路先

表12 生徒の卒業後の進路先

階級	四年制大学		短期大学		専修・各種学校	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
0%	15	0.7	234	10.4	111	4.9
1~10%	191	8.5	1,630	72.2	624	27.6
11~20%	265	11.7	352	15.6	430	19.0
21~30%	187	8.3	35	1.6	493	21.8
31~40%	203	9.0	5	0.2	422	18.7
41~50%	171	7.6	2	0.1	153	6.8
51~60%	219	9.7			20	0.9
61~70%	272	12.0			5	0.2
71~80%	376	16.7				
81~90%	304	13.5				
91~100%	55	2.4				
有効回答数	2,258	100.0	2,258	100.0	2,258	100.0
無回答・無効回答	113		113		113	
合計	2,371		2,371		2,371	

続き

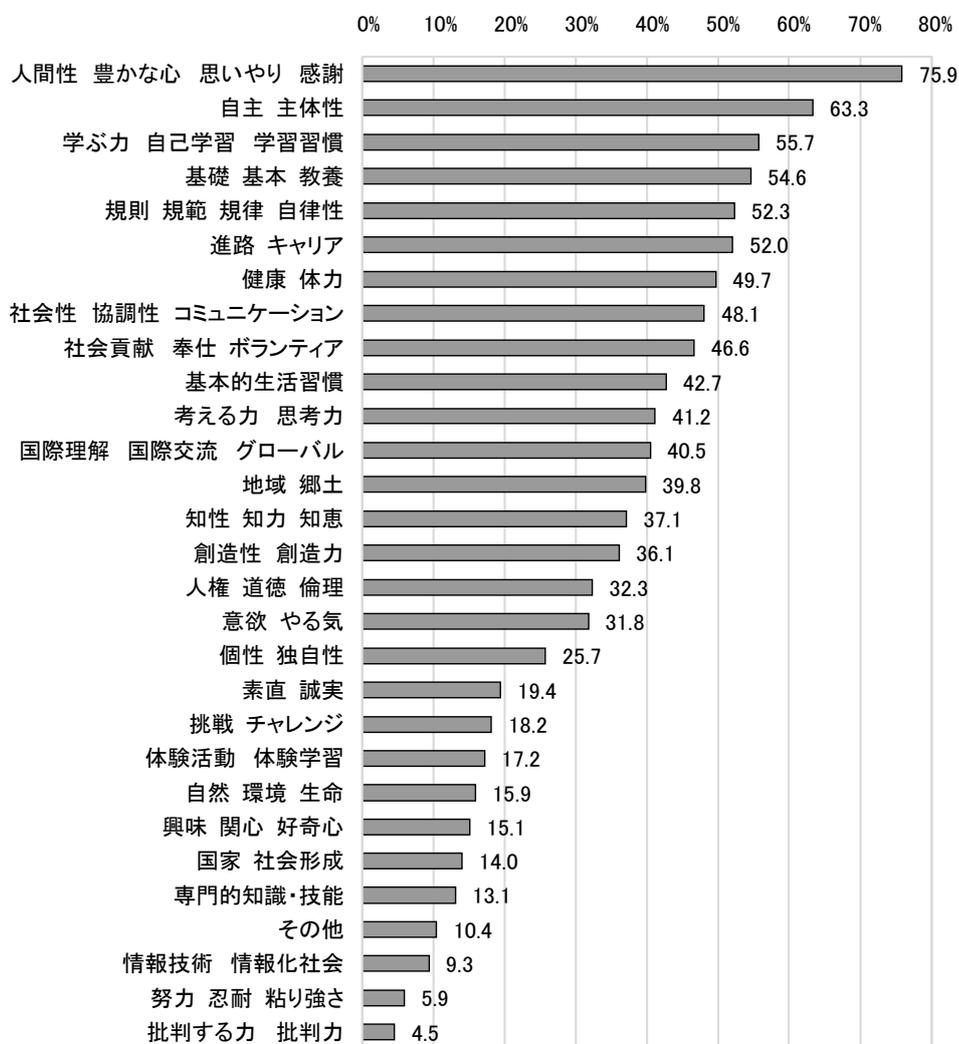
階級	就職		進学準備		その他	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
0%	336	14.9	615	27.2	1,069	47.3
1~10%	987	43.7	1,158	51.3	1,084	48.0
11~20%	237	10.5	286	12.7	70	3.1
21~30%	184	8.1	112	5.0	14	0.6
31~40%	183	8.1	54	2.4	2	0.1
41~50%	158	7.0	23	1.0	16	0.7
51~60%	105	4.7	8	0.4	2	0.1
61~70%	51	2.3	2	0.1	0	0.0
71~80%	14	0.6			1	0.0
81~90%	3	0.1				
91~100%						
有効回答数	2,258	100.0	2,258	100.0	2,258	100.0
無回答・無効回答	113		113		113	
合計	2,371		2,371		2,371	

(注) 1. 校長調査の結果による。

2. 生徒の進路先について実数を尋ね、合計人数に対する進路別の人数の割合を階級別に示した。

1.9. 学校教育目標

学校教育目標（教育方針、経営計画等を含む中・長期的目標）にどのような言葉が含まれているか尋ねた。その結果、最も多かったのは「人間性 豊かな心 思いやり 感謝」（75.9%）であり、「自主 主体性」（63.3%）、「学ぶ力 自己学習 学習習慣」（55.7%）、「基礎 基本 教養」（54.6%）、「規則 規範 規律 自律性」（52.3%）と続いた。



（注）校長調査の結果による。有効回答数は 2,325。

図 16 学校教育目標に含まれる言葉

表 13 学校教育目標に含まれる言葉

学校教育目標	度数	パーセント
人間性 豊かな心 思いやり 感謝	1,764	75.9
自主 主体性	1,472	63.3
学ぶ力 自己学習 学習習慣	1,296	55.7
基礎 基本 教養	1,270	54.6
規則 規範 規律 自律性	1,216	52.3
進路 キャリア	1,210	52.0
健康 体力	1,155	49.7
社会性 協調性 コミュニケーション	1,118	48.1
社会貢献 奉仕 ボランティア	1,084	46.6
基本的な生活習慣	993	42.7
考える力 思考力	957	41.2
国際理解 国際交流 グローバル	941	40.5
地域 郷土	925	39.8
知性 知力 知恵	863	37.1
創造性 創造力	839	36.1
人権 道徳 倫理	752	32.3
意欲 やる気	739	31.8
個性 独自性	598	25.7
素直 誠実	452	19.4
挑戦 チャレンジ	422	18.2
体験活動 体験学習	399	17.2
自然 環境 生命	369	15.9
興味 関心 好奇心	351	15.1
国家 社会形成	326	14.0
専門的知識・技能	304	13.1
その他	242	10.4
情報技術 情報化社会	217	9.3
努力 忍耐 粘り強さ	137	5.9
批判する力 批判力	105	4.5
有効回答数	2,325	100.0
無回答	46	
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 学校教育目標（教育方針、経営計画等を含む中・長期的目標）に含まれる言葉について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

1. 10. 教育課程の編成

1. 10. 1. 教育課程原案の作成に携わる教員の職位職階

教育課程の原案の作成に携わっている教員の職位職階は、教務主任が 92.3%と最も多く、教頭 70.7%、教科主任 65.9%、校長 51.1%と続いた。

表 14 教育課程原案の作成に携わる教員の職位職階

教育課程原案の作成	度数	パーセント
校長	1,209	51.1
副校長	493	20.8
教頭	1,673	70.7
主幹教諭	450	19.0
指導教諭	78	3.3
主任教諭	173	7.3
教諭	768	32.4
教務主任	2,185	92.3
進路指導主任	832	35.1
生徒指導主任	344	14.5
学年主任	569	24.0
教科主任	1,559	65.9
総務主任	119	5.0
外部の有識者	3	0.1
その他	236	10.0
有効回答数	2,367	100.0
無回答	4	
合計	2,371	

(注) 1. 校長調査の結果による。

2. 教育課程の原案の作成に携わっている教員の職位職階について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
3. 複数選択であるため合計は 100%ではない。

1. 10. 2. 教育課程の編成に携わる教員の職位職階

教育課程の編成に携わっている教員の職位職階は、教務主任が 89.9%と最も多く、教頭 83.4%、校長 79.2%、教科主任 73.9%と続いた。

表 15 教育課程の編成に携わる教員の職位職階

教育課程の編成	度数	パーセント
校長	1,864	79.2
副校長	609	25.9
教頭	1,962	83.4
主幹教諭	490	20.8
指導教諭	112	4.8
主任教諭	202	8.6
教諭	918	39.0
教務主任	2,115	89.9
進路指導主任	1,168	49.6
生徒指導主任	664	28.2
学年主任	928	39.4
教科主任	1,738	73.9
総務主任	260	11.0
外部の有識者	1	0.0
その他	250	10.6
有効回答数	2,353	100.0
無回答	18	
合計	2,371	

(注) 1. 校長調査の結果による。

2. 教育課程の編成に携わっている教員の職位職階について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
3. 複数選択であるため合計は 100%ではない。

1.10.3. 教育課程の評価・改善の機会

教育課程の評価・改善の機会について尋ねた。その結果、「年に2、3回以上」の機会を設けている学校は71.7%であり、「年に1回」の学校は18.9%、「数年に1回」の学校は7.3%であった。

表16 教育課程の評価・改善の機会

教育課程の評価・改善の機会	度数	パーセント
ない	49	2.1
数年に1回	170	7.3
年に1回	442	18.9
年に2、3回以上	1,675	71.7
有効回答数	2,336	100.0
無回答	35	
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 教育課程の編成（評価・改善について会議や委員会などで公式に話し合う）機会について、選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

1.11. 複数教科の連携

教科間の連携について、複数の異なる教科の教員が連携して1つの授業を運営するような形式の授業があるかを尋ねた。その結果、58.9%の学校は複数教科が連携して運営する形式の授業を実施していた。その形式は、「総合的な学習の時間として」実施している学校は47.3%、「総合的な学習の時間以外の科目として」実施している学校は21.5%、「特別活動として」実施している学校は8.2%であり、「そのような形式の授業はない」と回答した学校は41.1%であった。

表17 複数教科の連携

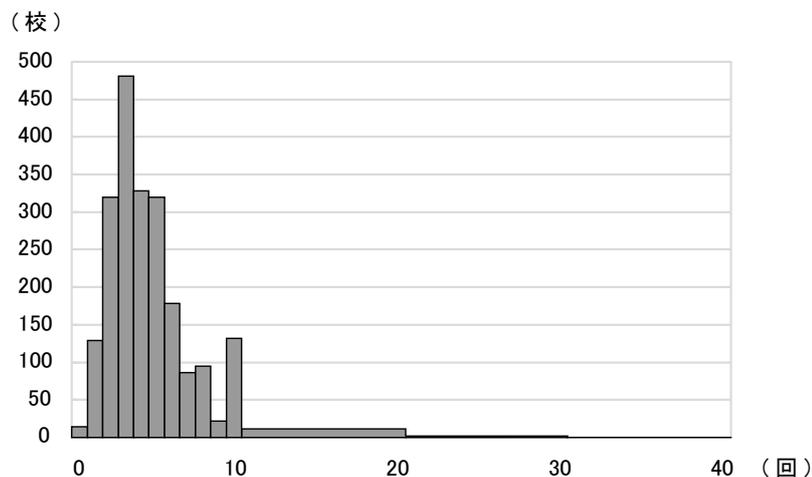
複数教科の連携	度数	パーセント
総合的な学習の時間として実施される授業がある	1,107	47.3
総合的な学習の時間以外の各教科に属する科目として実施される授業がある	504	21.5
特別活動として実施される授業がある	193	8.2
そのような形式の授業はない	961	41.1
有効回答数	2,341	100.0
無回答	30	
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 複数の異なる教科の教員が連携して1つの授業を運営するような形式の授業があるかについて、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

1. 12. 校内研修

1. 12. 1. 校内研修の回数

2015年度の校内研修の回数として、最も多かったのは年に3回の実施（21.5%）であった。年に10回以上実施している学校も1割以上見られた。



(注) 校長調査の結果による。

図 17 校内研修の回数

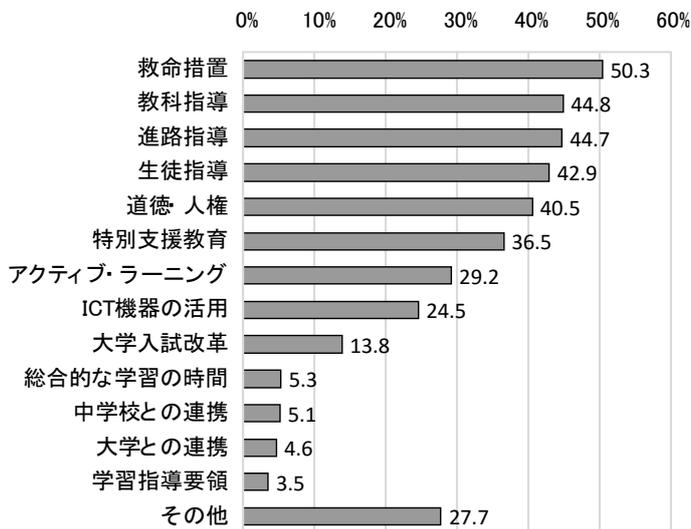
表 18 校内研修の回数

校内研修の回数	度数	パーセント
0	14	0.6
1	129	5.8
2	320	14.3
3	481	21.5
4	328	14.7
5	320	14.3
6	178	8.0
7	86	3.8
8	95	4.3
9	22	1.0
10	132	5.9
11~20	109	4.9
21~30	15	0.7
31~	5	0.2
有効回答数	2,234	100.0
無効回答	7	
無回答	130	
合計	2,371	

(注) 校長調査の結果による。

1. 12. 2. 校内研修の内容

2015年度の校内研修の内容として、最も多かったのは「救命措置」(50.3%)で、「教科指導」(44.8%)、「進路指導」(44.7%)と続いた。「アクティブ・ラーニング」をテーマとして扱った学校は29.2%であった。「その他」としては、「服務規律」「コンプライアンス」「情報セキュリティ」「教育相談」「不祥事防止」「メンタルヘルス」「健康管理」「キャリア教育」「危機管理」「カウンセリング」「教育課程」「いじめ」などの回答があった。



(注) 校長調査の結果による。

図 18 校内研修の内容

表 19 校内研修の内容

校内研修の内容	度数	パーセント
救命措置	1,174	50.3
教科指導	1,045	44.8
進路指導	1,042	44.7
生徒指導	1,000	42.9
道徳・人権	945	40.5
特別支援教育	852	36.5
アクティブ・ラーニング	680	29.2
ICT機器の活用	572	24.5
大学入試改革	322	13.8
総合的な学習の時間	123	5.3
中学校との連携	120	5.1
大学との連携	108	4.6
学習指導要領	81	3.5
その他	646	27.7
有効回答数	2,332	100.0
無回答	39	
合計	2,371	

(注) 校長調査の結果による。

1.13. 中学校・大学への要望

1.13.1. 中学校への要望

中高接続の観点から、高等学校が中学校に対してどのような要望を持っているかを、学校代表者に自由記述によって尋ねた。1,493校の自由記述回答を内容によって分類し、度数が5以上の回答の数を数えた。その結果、最も多かった要望は「予習・復習・家庭学習など、基本的な学習習慣を確立するよう指導してほしい。」(28.3%)で、「基礎的学力 / 基本的学力が確実に定着するよう指導してほしい。」(21.2%)「基本的な生活習慣を確立するよう指導してほしい。」(19.2%)と続いた。

表 20 中学校への要望

中学校への要望	度数	パーセント
予習・復習・家庭学習など、基本的な学習習慣を確立するよう指導してほしい。	448	30.0
基礎的学力 / 基本的学力が確実に定着するよう指導してほしい。	314	21.0
うち、特に数学や英語の基礎学力がしっかり身につくよう指導してほしい。	17	1.1
基本的な生活習慣を確立するよう指導してほしい。	287	19.2
規律・規範の遵守。課題・提出物の期限を守るなど基本的なルールやマナーを守るよう指導してほしい。	95	6.4
入学後の生徒の指導に役立つ情報、特に発達障害・不登校など特別な支援を必要とする生徒の情報を共有してほしい。	81	5.4
学習に意欲的に取り組む姿勢を身につけるよう指導してほしい。	72	4.8
学校・学科・コースの特徴や特色をよく理解した上で進路を選択するよう指導してほしい。	66	4.4
自分で学ぶ / 自分で学習する力(態度、習慣)が身につくよう指導してほしい。	64	4.3
夢や目標を持って高校に入学するよう指導してほしい。	44	2.9
部活動や委員会活動、特別活動などにも積極的に取り組むよう指導してほしい。	28	1.9
自分で考える力が身につくよう指導してほしい。	22	1.5
塾に頼らなくてもすむように学習指導してほしい	19	1.3
コミュニケーション能力が高まるよう指導してほしい。	17	1.1
高い目標 / 高い志を持つよう指導してほしい。	13	0.9
思考・表現力を高めるような取り組みを行ってほしい。	10	0.7
挨拶・礼儀を指導してほしい。	10	0.7
地域や社会の形成に貢献する意欲のある生徒を育成してほしい。	9	0.6
人の話を聞く姿勢が身につくよう指導してほしい。	9	0.6
公立への進学を重視した進路指導をやめてほしい。	7	0.5
偏差値のみに基づくのではない進路指導をしてほしい。	6	0.4
推薦入試に合格した生徒に対する学習を指導してほしい。	6	0.4
他人を思いやる心が育まれるよう指導してほしい。	5	0.3
自分の可能性に挑戦するよう指導してほしい。	5	0.3
有効回答数	1,493	
無回答	878	
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 中学校に対してどのような要望を持っているかを自由記述で尋ねた(自由記述)。
 3. 複数の内容を含む回答もあるため、合計は100%ではない。

1.14.1. 大学への要望

中高接続の観点から、中学校に対してどのような要望を持っているかを学校代表者に自由記述によって尋ねた。1,190校の自由記述回答を内容によって分類し、度数が5以上の回答の数を数えた。その結果、最も多かった要望は「大学入試(特に推薦入試やA0入試)の時期について、高校のスケジュールに配慮して(遅くして)ほしい。」(19.2%)で、「大学入試合格後に学習意欲が低下しないよう、事前課題や入学前学習を提供してほしい。」(12.9%)、「大学入試方法が複雑・多様過ぎるので、単純化・明確化してほしい。」(6.1%)と続いた。

表 21 大学への要望

大学への要望	度数	パーセント
大学入試(特に推薦入試やA0入試)の時期について、高校のスケジュールに配慮して(遅くして)ほしい。	228	19.2
大学入試合格後に学習意欲が低下しないよう、事前課題や入学前学習を提供してほしい。	154	12.9
大学入試方法が複雑・多様過ぎるので、単純化・明確化してほしい。	72	6.1
大学では、地域・社会に貢献できる学生を育成してほしい。	59	5.0
推薦入試やA0入試を縮小・廃止してほしい。	51	4.3
大学卒業後も学生が望む生き方ができるよう、キャリア教育・就職支援を行ってほしい。	47	3.9
多様な人材を受け入れるよう、推薦・A0入試を拡大するなど、大学入学者選抜の方法を多様化してほしい。	44	3.7
大学では、知の探究、高度な専門性を持った人材を育成するようにしてほしい。	39	3.3
大学入試改革にあたって、各大学の方針や選抜方法を早期に示してほしい。	39	3.3
大学入試において、学力を重視した選抜となるようにしてほしい。	39	3.3
大学入試について、思考力・判断力・表現力を問うような問題を課してほしい。	38	3.2
大学卒業後の進路先に関する情報を開示・提供してほしい。	28	2.4
アドミッションポリシー(各大学が求めている学生像)を明確に示し、それに応じた選抜を行ってほしい。	27	2.3
個性や個の能力を伸ばすような教育をしてほしい。	26	2.2
推薦入試やA0入試の枠を拡大してほしい。	25	2.1
学力のみならず、部活動や生徒会活動、特別活動など高校での諸活動を評価してほしい。	24	2.0
高大連携が推進されるようにしてほしい。	24	2.0
大学入試の内容が、高校で学習する内容と乖離しないようにしてほしい。	23	1.9
大学入試では、最低限の学力が必要となるよう、入試科目を減らさないでほしい。	18	1.5
基礎・基本が定着していない生徒に対して、高校での履修内容を復習するようにしてほしい。	17	1.4
推薦入試の提出書類の簡略化、A0入試では学校からの推薦書を求めないなど、大学入試に関する高校の負担を軽減してほしい。	17	1.4
大学合格者の氏名や、大学入学後の学生の情報を提供してほしい。	15	1.3
大学では、高度な専門性だけでなく、幅広い教養を身につけた人材を育成してほしい。	15	1.3
経済的に困難な学生でも大学で学べるよう、入学金・授業料の免除や奨学金の制度を充実させてほしい。	11	0.9
大学入試合格後の事前課題や入学前学習について、高校生が自分で取り組めるような量や難易度となるよう配慮してほしい。	6	0.5
有効回答数	1,190	
無回答	1,181	
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 大学に対してどのような要望を持っているかを自由記述で尋ねた(自由記述)。
 3. 複数の内容を含む回答もあるため、合計は100%ではない。

1.14. 学習環境

各学校に整備されている学習環境について、コンピュータ、実物投影機（書画カメラ）、プロジェクタ、電子黒板の台数と、グループ学習室の部屋数、デジタル教科書の有無について尋ねた。平均値、標準偏差、ヒストグラムを示した。コンピュータの台数の平均値は 85.1 台で、最頻値は 41～50 台であった。多くの学校では 1 学級に相当する数のコンピュータが整備されていると考えられる。0 台という学校もあれば、全生徒がタブレット型コンピュータを持つ学校もあり、分散が大きくなっている。

その他、実物投影機（書画カメラ）の台数の平均値は 2.9 台、プロジェクタの台数の平均値は 9.6 台、電子黒板の台数の平均値は 2.2 台、グループ学習室の部屋数の平均値は 1.7 室であった。デジタル教科書を整備している学校は 6.8%であった。

表 22 学習環境の整備状況

項目	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
コンピュータ（生徒用）	2,247	0	3,100	85.1	99.76	124	2,371
うちタブレット型コンピュータ	1,967	0	3,000	15.3	96.46	404	2,371
うちインターネットに接続された コンピュータ	2,213	0	3,100	77.2	91.90	158	2,371
実物投影機書画カメラ	2,082	0	60	2.9	5.33	289	2,371
プロジェクタ	2,235	0	150	9.6	10.42	136	2,371
電子黒板	2,088	0	85	2.2	6.65	283	2,371
グループ学習室	2,006	0	75	1.7	3.27	365	2,371

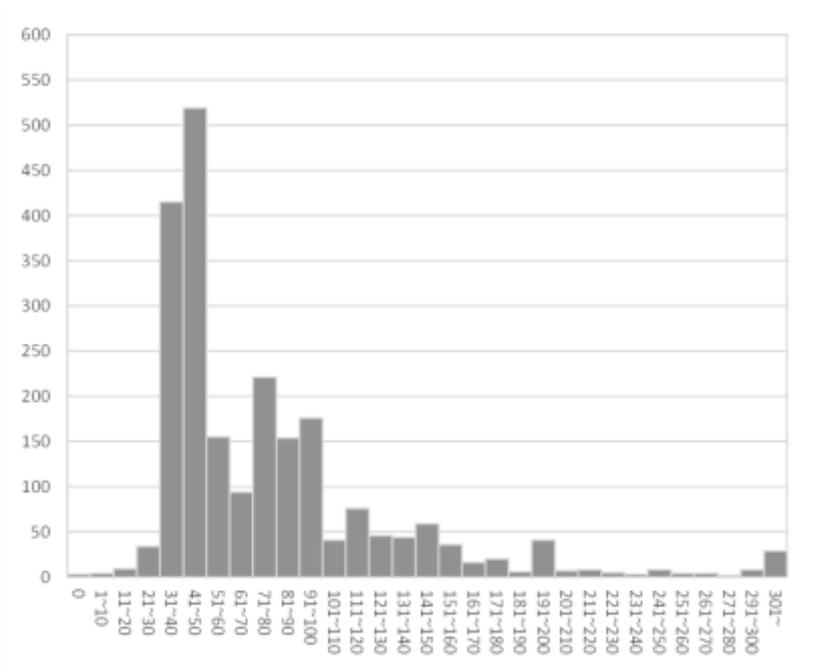
（注）校長調査の結果による。

表 23 デジタル教科書の整備状況

デジタル教科書	度数	パーセント
整備していない	1,962	93.2
整備している	143	6.8
有効回答数	2,105	100.0
無効回答	1	
無回答	265	
合計	2,371	

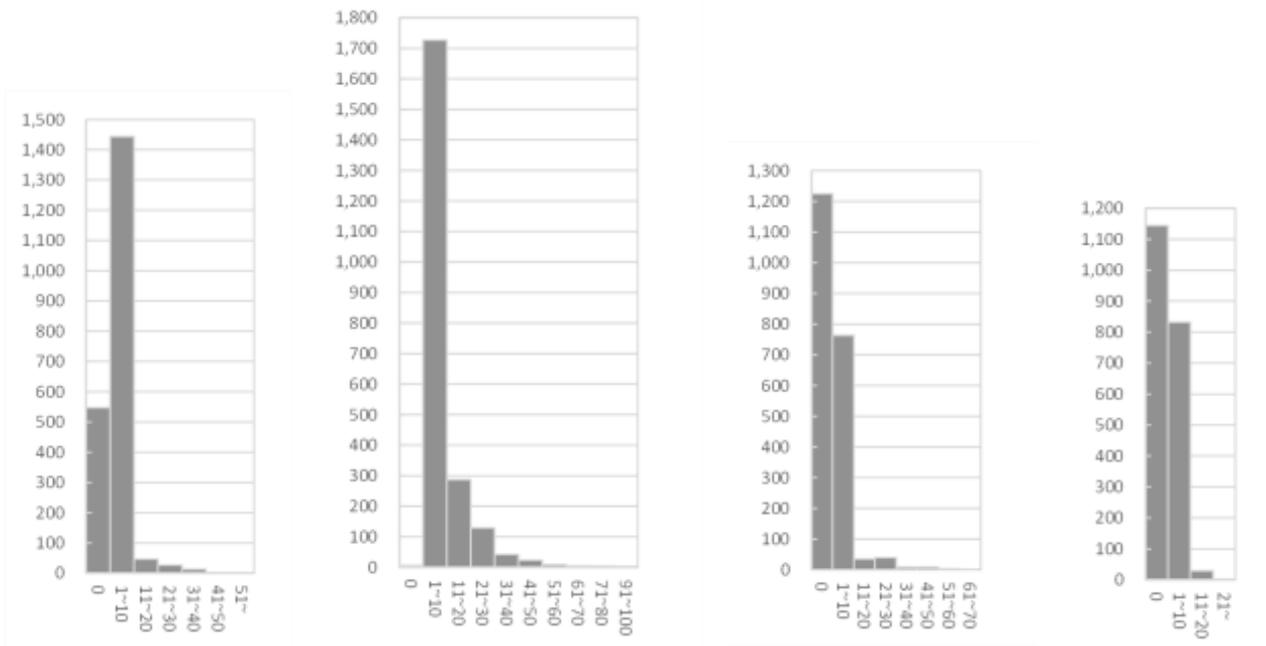
（注）1. 校長調査の結果による。

- デジタル教科書の整備状況について、「整備していない」「整備している」からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。



(注) 校長調査の結果による。

図 19 コンピュータ（生徒用）数



(注) 校長調査の結果による。

図 20 実物投影機（書画カメラ）数

図 21 プロジェクタ数

図 22 電子黒板数

図 23 グループ学習室数

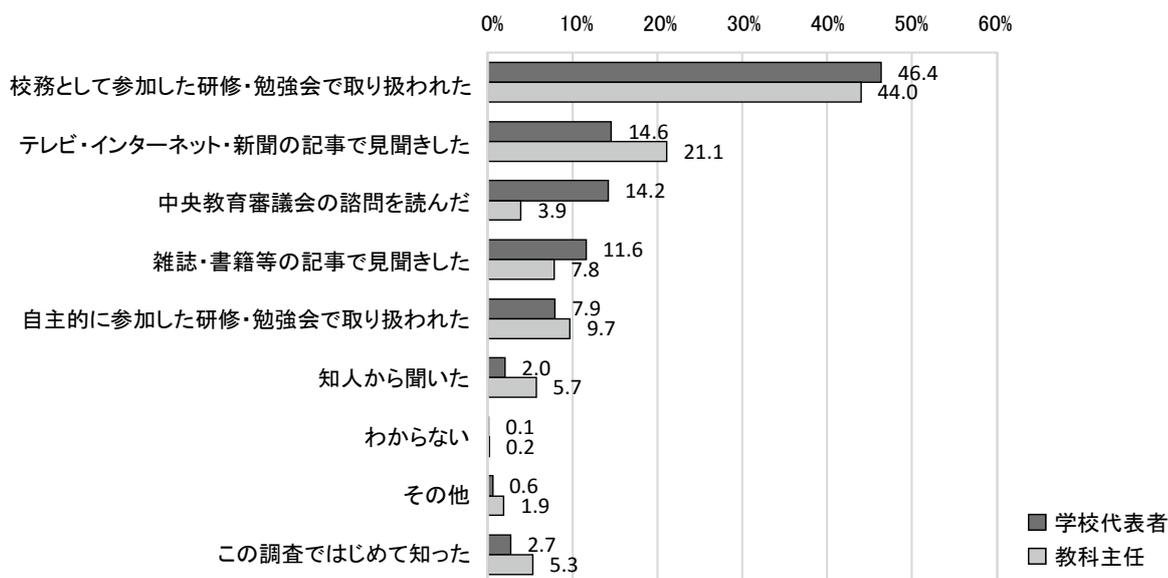
2. 校長調査及び教科主任調査の結果

2.1. 「アクティブ・ラーニング」という言葉を知ったきっかけ

「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけについて、学校代表者では、「校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた」(46.3%)が最も高く、「テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした」(14.6%)、「中央教育審議会の諮問を読んだ」(14.2%)、「雑誌・書籍等の記事で見聞きした」(11.6%)、「自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた」(7.9%)、「知人から聞いた」(2.0%)、「その他」(2.9%)と続いた。「この調査ではじめて知った」は0.6%であった。

教科主任でも、「校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた」(44.0%)が最も高く、「テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした」(21.4%)が続いた。以下、「自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた」(9.9%)、「雑誌・書籍等の記事で見聞きした」(7.9%)、「知人から聞いた」(5.6%)、「大学・大学院時代の講義・実習等で知った」(5.4%)、「中央教育審議会の諮問を読んだ」(3.9%)、「その他」(0.4%)、「わからない」(1.5%)と続き、「この調査ではじめて知った」も0.2%であった。

学校代表者では「中央教育審議会の諮問を読んだ」(14.2%)の割合が高い一方で、教科主任では「この調査ではじめて知った」(5.3%)の割合が決して低い数字ではなく、学校代表者と教科主任では「アクティブ・ラーニング」という言葉の認知度・理解度に差があると考えられる。「その他」としては、「大学・大学院時代の講義・実習等で知った」という回答が多く見られた。



(注) 校長調査・教科主任調査の結果による。

図 24 「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけ

表 24 学校代表者の「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけ

項目	度数	パーセント
校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた	1,006	46.4
テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした	316	14.6
中央教育審議会の諮問を読んだ	308	14.2
雑誌・書籍等の記事で見聞きした	251	11.6
自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた	172	7.9
知人から聞いた	44	2.0
わからない	3	0.1
その他	12	0.6
この調査ではじめて知った	58	2.7
有効回答数	2,170	100.0
無効回答	192	
無回答	9	
合計	2,371	

(注) 1. 校長調査の結果による。

2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

表 25 各教科の「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけ

項目	国語		地歴・公民		数学	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた	990	43.9	922	41.9	1,093	48.1
テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした	518	23.0	531	24.1	427	18.8
自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた	202	9.0	193	8.8	162	7.1
雑誌・書籍等の記事で見聞きした	178	7.9	154	7.0	118	5.2
知人から聞いた	129	5.7	113	5.1	141	6.2
中央教育審議会の諮問を読んだ	84	3.7	81	3.7	83	3.6
わからない	3	0.1	7	0.3	2	0.1
その他	32	2.0	97	2.1	85	1.4
この調査ではじめて知った	118	5.2	104	4.7	163	7.2
有効回答数	2,254	100.0	2,202	100.0	2,274	100.0
無効回答	42		59		25	
無回答	13		17		13	
合計	2,309		2,278		2,312	

続き

項目	理科		外国語		合計	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた	1,028	46.1	877	39.7	4,910	44.0
テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした	414	18.6	468	21.2	2,358	21.1
自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた	269	12.1	259	11.7	1,085	9.7
雑誌・書籍等の記事で見聞きした	137	6.1	283	12.8	870	7.8
知人から聞いた	144	6.5	112	5.1	639	5.7
中央教育審議会の諮問を読んだ	94	4.2	91	4.1	433	3.9
わからない	8	0.4	3	0.1	23	0.2
その他	24	2.1	23	1.9	261	1.9
この調査ではじめて知った	113	5.1	92	4.2	590	5.3
有効回答数	2,231	100.0	2,208	100.0	11,169	100.0
無効回答	36		73		235	
無回答	17		22		82	
合計	2,284		2,303		11,486	

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

2.2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ

「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージについて尋ねたところ、学校代表者では、「生徒の力の向上に効果的な学習である」(68.1%)、「積極的に取り組むべき学習である」(52.1%)が高く、「いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である」(34.5%)、「教員の時間的な負担が増えそうだ」(30.5%)、「教員は困惑するだろう」(22.1%)、「カタカナ横文字に違和感がある」(12.9%)、「最先端の学習である」(8.6%)、「授業が混乱するだろう」(6.5%)、「あまり効果があるとは思えない」(2.7%)、「イメージが湧かない」(2.5%)、「その他」(6.5%)というイメージであった。

教科主任でも、同様に「生徒の力の向上に効果的な学習である」(54.9%)が最も高く、「積極的に取り組むべき学習である」(36.4%)、「教員の時間的な負担が増えそうだ」(33.5%)、「いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である」(27.9%)、「教員は困惑するだろう」(17.7%)、「カタカナ横文字に違和感がある」(15.2%)、「最先端の学習である」(11.1%)、「授業が混乱するだろう」(10.0%)、「あまり効果があるとは思えない」(6.0%)、「イメージが湧かない」(5.8%)、「その他」(8.8%)と続いた。

全般的に、「アクティブ・ラーニング」という言葉にはポジティブなイメージを持っており、学校代表者の方が教科主任よりも、よりポジティブなイメージを持っていた。

表 26 学校代表者の「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ

項目	度数	パーセント
生徒の力の向上に効果的な学習である	1,579	68.1
最先端の学習である	199	8.6
積極的に取り組むべき学習である	1,209	52.1
いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である	800	34.5
カタカナ横文字に違和感がある	299	12.9
あまり効果があるとは思えない	63	2.7
教員は困惑するだろう	513	22.1
授業が混乱するだろう	150	6.5
教員の時間的な負担が増えそうだ	708	30.5
イメージが湧かない	58	2.5
その他	151	6.5
有効回答数	2,319	100.0
非該当	12	
無回答	40	
合計	2,371	

(注) 1. 校長調査の結果による。

2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージについて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた(複数選択)。

3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

4. 「アクティブ・ラーニング」という言葉を知らない場合は非該当とした。

各教科の教科主任の「アクティブ・ラーニング」という言葉に対するイメージについて、分析の結果を示す。「アクティブ・ラーニング」という言葉にどのようなイメージを持っているかを教科主任に尋ねた。その結果、各教科でイメージに大きな違いはなかったものの、いくつかの項目で若干の違いが見られた。

まず、「カタカナ（横文字）に違和感がある」というイメージについて、国語科ではそのようなイメージを持っているのが21.5%であるのに対して、外国語科では9.0%と、大きな違いが見られた。

他にも、「積極的に取り組むべき学習である」というイメージでは、平均が36.4%であるのに対して、外国語科は44.9%と、他の教科よりも高くなっていた。

また、「いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である」というイメージについては、国語科では35.5%であるのに対して、数学科では22.4%であった。「教員の時間的な負担が増えそうだ」というイメージについては、地歴・公民科では38.4%であるのに対して、外国語科では26.6%であった。アクティブラーニングが注目される以前からの取り組みと、アクティブラーニングの視点に立った参加型授業との整合性が高い教科もあればそうでない教科もあり、そのような違いがイメージの違い、さらには参加型授業の実施率の違いに現れているのではないだろうか。

表 27 教科別の「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ

項目	国語		地歴・公民		数学	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
生徒の力の向上に効果的な学習である	1,187	54.6	1,143	53.6	1,114	53.0
最先端の学習である	245	11.3	255	12.0	221	10.5
積極的に取り組むべき学習である	790	36.4	769	36.1	674	32.1
いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である	775	35.7	601	28.2	474	22.6
カタカナ横文字に違和感がある	470	21.6	394	18.5	260	12.4
あまり効果があるとは思えない	113	5.2	147	6.9	166	7.9
教員は困惑するだろう	353	16.2	420	19.7	434	20.7
授業が混乱するだろう	168	7.7	248	11.6	232	11.0
教員の時間的な負担が増えそうだ	674	31.0	829	38.9	755	35.9
イメージが湧かない	104	4.8	116	5.4	172	8.2
その他	182	8.4	187	8.8	175	8.3
有効回答数	2,173	100.0	2,133	100.0	2,101	100.0
非該当	118		106		169	
無回答	5		22		31	
合計	2,309		2,278		2,312	

続き

項目	理科		外国語		合計	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
生徒の力の向上に効果的な学習であ	1,182	55.6	1,289	59.4	5,915	54.9
最先端の学習である	194	9.1	278	12.8	1,193	11.1
積極的に取り組むべき学習である	704	33.1	986	45.5	3,923	36.4
いまさら取り上げるまでもなく、 以前から取り組んできた学習で ある	606	28.5	551	25.4	3,007	27.9
カタカナ横文字に違和感がある	312	14.7	196	9.0	1,632	15.1
あまり効果があるとは思えない	127	6.0	98	4.5	651	6.0
教員は困惑するだろう	381	17.9	319	14.7	1,907	17.7
授業が混乱するだろう	221	10.4	209	9.6	1,078	10.0
教員の時間的な負担が増えそうだ	768	36.1	578	26.6	3,604	33.4
イメージが湧かない	112	5.3	133	6.1	637	5.9
その他	202	9.5	160	7.4	906	8.4
有効回答数	2,127	100.0	2,169	100.0	10,777	100.0
非該当	113		92		598	
無回答	28		23		109	
合計	2,283		2,302		11,484	

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージについて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた(複数選択)。
3. 複数選択であるため合計は100%ではない。
4. 「アクティブ・ラーニング」という言葉を知らない場合は非該当とした。
5. Cramer's Vは、それぞれ .045, .040, .095, .098, .124, .050, .057, .044, .090, .050, .098 であった。

図9 教科別の「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ

2.3. 参加型授業への現在の取り組み状況

校長調査における学校全体でのアクティブラーニングの視点に立った参加型授業への現在（回答時）の取り組み状況について、「教科として参加型学習に取り組んでいる教科がある」と回答した高校は75.5%であり、多くの学校でアクティブラーニングの視点に立った参加型授業への取り組みが広がっていることがうかがえる。一方で、この結果は、アクティブラーニングの視点に立った授業を全授業のうち1回も実施していない学校が24.5%あると考えることもでき、この結果を単純に肯定的に捉えることはできないだろう。

また、「学校全体として参加型学習に関する目標を掲げている」「参加型学習に関する具体的な計画を策定している」と回答した高校は、それぞれ22.8%、13.4%に留まり、学校全体として推進する体制は整っておらず、それぞれの教科・教員が個別に取り組んでいる現状がうかがえる。

その他、「学年団としてアクティブラーニングの視点に立った参加型授業に取り組んでいる学年がある」（16.2%）、「アクティブラーニングの内容を含む校内研修を行っている」（29.3%）、「教員に対しアクティブラーニングに関する校外研修や勉強会への参加を推奨している」（46.1%）、「アクティブラーニングの視点に立った参加型授業の実施について、校内の会議などで積極的な呼びかけを行っている」（29.8%）であった。

学校としてのアクティブラーニングの視点に立った参加型授業への取り組み状況について、これまで取り組んできたか、これから取り組む予定があるかを尋ねた結果では、「すでに取り組んでいるが、今後は縮小していく予定である」「すでに取り組んでおり、今後も維持していく予定である」「すでに取り組んでおり、今後はより充実させていく予定である」を合計した「参加型授業にすでに取り組んでいる」という回答は、全体の56.6%であった。半数強の学校が、学校としてアクティブラーニングの視点に立った参加型授業に取り組んでいると認識していると考えられる。また、「ここ数年間で取り組むことを検討している」「ここ数年間で取り組む具体的な計画が進行中である」「すでに取り組んでおり、今後はより充実させていく予定である」を合計した「現状よりも取り組みを拡大する予定」であるという回答は、全体の73.1%であった。今後、アクティブラーニングへの取り組みが高等学校で広がっていく傾向にあると考えられる。

表 28 アクティブラーニングの視点に立った参加型授業への現在の取り組み状況

項目	度数	パーセント
学年団として参加型学習に取り組んでいる学年がある	377	16.2
教科として参加型学習に取り組んでいる教科がある	1,756	75.5
学校全体として参加型学習に関する目標を掲げている	530	22.8
参加型学習の推進に関する具体的な計画を策定している	312	13.4
参加型学習の内容を含む校内研修を行っている	681	29.3
教員に対し、参加型学習に関する校外研修や勉強会への参加を推奨している	1,073	46.1
参加型学習の実施について、校内の会議などで積極的な呼びかけを行っている	694	29.8
有効回答数	2,327	100.0
無回答	44	
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 現在の参加型学習への取り組みについて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

表 29 アクティブラーニングの視点に立った参加型授業への今後の取り組み状況

項目	度数	パーセント
今後取り組む見込みはない	22	0.9
ここ数年間で取り組む予定はない	172	7.4
ここ数年間で取り組むことを検討している	697	30.1
ここ数年間で取り組む具体的な計画が進行中である	114	4.9
すでに取り組んでいるが、今後は縮小していく予定である	1	0.0
すでに取り組んでおり、今後も維持していく予定である	427	18.4
すでに取り組んでおり、今後はより充実させていく予定である	883	38.1
有効回答数	2,316	100.0
無効回答	13	
無回答	42	
合計	2,371	

- (注) 1. 校長調査の結果による。
 2. 今後の参加型学習への取り組みについて、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

教科主任調査におけるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業への取り組み状況について、これまで取り組んできたか、これから取り組む予定があるかを尋ねた質問への回答を、教科別に集計した。その結果、「すでに取り組んでいるが、今後は縮小していく予定である」「すでに取り組んでおり、今後も維持していく予定である」「すでに取り組んでおり、今後はより充実させていく予定である」を合計した「すでに取り組んでいる」という回答は、国語が53.6%で最も高く、外国語51.6%、地歴・公民44.4%、理科43.7%と続き、数学26.0%で最も低かった。教科によって取り組み状況に差が見られる結果となった。

アクティブラーニングの視点に立った参加型授業への現在の取り組み状況について、「教科全体として参加型学習に関する目標を掲げている」「教科全体として参加型学習の推進に関する具体的な計画を策定している」「参加型学習の実施について、教科の会議などで積極的な呼びかけなどを行っている」という項目についても同様の傾向が見られたが、これらの3項目は外国語が最も高く（それぞれ21.9%、14.4%、20.4%）、数学が最も低かった（それぞれ8.6%、4.6%、12.5%）。

ただし、各教科の特性等により、本調査の参加型学習の定義に該当しやすい教科もあればそうでない教科もあり、あてはまりやすさには違いがあると考えられる。そのため、この結果を解釈する際には、この結果が一概にどの教科において授業の改善が進んでいる、あるいは改善が進んでいないということを示すものではないことに留意する必要がある。各教科における授業の改善状況等については、今後さらなる分析が必要となるだろう。

表30 教科別アクティブラーニングの視点に立った参加型授業への現在の取り組み状況

項目	国語		地歴・公民		数学	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
独自に参加型学習に取り組んでいる教員がいる	1,721	75.2	1,689	74.8	1,371	59.9
教科全体として参加型学習に関する目標を掲げている	392	17.1	290	12.8	196	8.6
教科全体として参加型学習の推進に関する具体的な計画を策定している	210	9.2	125	5.5	105	4.6
参加型学習の実施について、教科の会議などで積極的な呼びかけなどを行っている	393	17.2	337	14.9	287	12.5
有効回答数	2,288	100.0	2,257	100.0	2,287	100.0
無回答	21		21		25	
合計	2,309		2,278		2,312	

続き

項目	理科		外国語		合計	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
独自に参加型学習に取り組んでいる教員がいる	1,462	65.0	1,528	67.4	7,771	68.5
教科全体として参加型学習に関する目標を掲げている	319	14.2	497	21.9	1,694	14.9
教科全体として参加型学習の推進に関する具体的な計画を策定している	176	7.8	326	14.4	942	8.3
参加型学習の実施について、教科の会議などで積極的な呼びかけなどを行っている	308	13.7	463	20.4	1,788	15.8
有効回答数	2,248	100.0	2,266	100.0	11,346	100.0
無回答	35		36		138	
合計	2,283		2,302		11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 現在の参加型学習への取り組みについて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

表 31 教科別アクティブラーニングの視点に立った参加型授業への今後の取り組み状況

項目	国語		地歴・公民		数学	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
今後取り組む見込みはない	56	2.5	85	3.8	138	6.1
ここ数年間で取り組む予定はない	314	13.8	358	15.9	665	29.2
ここ数年間で取り組むことを検討している	629	27.6	743	33.1	826	36.3
ここ数年間で取り組む具体的な計画が進行中である	57	2.5	63	2.8	54	2.4
すでに取り組んでいるが、今後は縮小していく予定である	4	0.2	8	0.4	4	0.2
すでに取り組んでおり、今後も維持していく予定である	678	29.7	537	23.9	330	14.5
すでに取り組んでおり、今後はより充実させていく予定である	541	23.7	452	20.1	258	11.3
有効回答数	2,279	100.0	2,246	100.0	2,275	100.0
無効回答	5		8		8	
無回答	25		24		29	
合計	2,309		2,278		2,312	

続き

項目	理科		外国語		合計	
	度数	パーセント	度数	パーセント	度数	パーセント
今後取り組む見込みはない	70	3.1	28	1.2	377	3.3
ここ数年間で取り組む予定はない	403	17.9	270	11.9	2,010	17.8
ここ数年間で取り組むことを検討している	727	32.3	707	31.2	3,632	32.1
ここ数年間で取り組む具体的な計画が進行中である	66	2.9	92	4.1	332	2.9
すでに取り組んでいるが、今後は縮小していく予定である	10	0.4	4	0.2	30	0.3
すでに取り組んでおり、今後も維持していく予定である	576	25.6	597	26.3	2,718	24.0
すでに取り組んでおり、今後はより充実させていく予定である	396	17.6	569	25.1	2,216	19.6
有効回答数	2,248	100.0	2,267	100.0	11,315	100.0
無効回答	2		11		34	
無回答	33		24		135	
合計	2,283		2,302		11,484	

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 今後の参加型学習への取り組みについて、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

2.4. カリキュラム・マネジメント

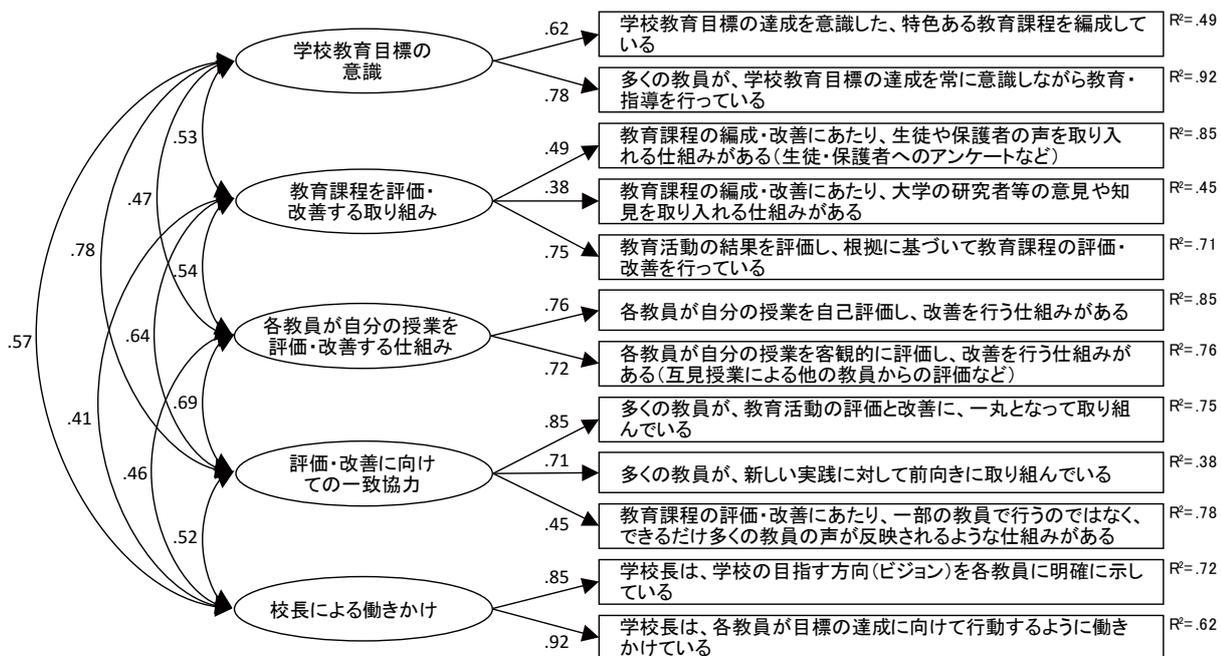
学習指導要領の改訂に向けて授業改善や組織改善など学校全体の改善を図るためのキーワードとして、「アクティブ・ラーニング」とともに「カリキュラム・マネジメント」という概念に注目が集まっている。

カリキュラム・マネジメントについては、中央教育審議会教育課程企画特別部会がまとめた論点整理において3つの側面（①各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと、②教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること、③教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせること。）が示されている。

本調査では、主に②の観点から、学校教育目標の実現に向けて教育課程を編成・実施・評価し、改善をはかる一連のサイクルを組織的に推進していくことを「カリキュラム・マネジメント」と呼ぶ。

各学校・教科におけるカリキュラム・マネジメントの度合いを調べるため、学校全体での教育課程の編成や実施、評価に関する平均的な教員の実態に関する各項目について、「1. あてはまらない」から「5. あてはまる」までの選択肢のうち、あてはまるものを1つずつ選んでもらう形式で、学校代表者及び教科主任に尋ねた（単一選択）。そして、これらの回答を5段階のリッカート尺度とみなして1～5点で得点化し、集計を行った。

因子分析の結果、カリキュラム・マネジメントは「学校教育目標の意識」「教育課程を評価・改善する取り組み」「各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み」「評価・改善に向けての一致協力」「校長による働きかけ」の5つに大きく分類できた。



カリキュラム・マネジメントに関する因子分析の結果

表 32 学校代表者による学校におけるカリキュラム・マネジメント

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
学校教育目標の意識					
学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	2,356	4.33	0.671	15	2,371
多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	2,364	4.07	0.716	7	2,371
教育課程を評価・改善する取り組み					
教育課程の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒、保護者へのアンケートなど）	2,361	2.98	1.216	10	2,371
教育課程の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	2,358	1.98	1.067	13	2,371
教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて教育課程の評価・改善を行っている	2,363	3.72	0.898	8	2,371
各教員が自分の授業を評価・改善す					
各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	2,363	4.08	0.947	8	2,371
各教員が自分の授業を客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	2,362	4.05	0.941	9	2,371
評価・改善に向けての一致協力					
教育課程の評価・改善にあたり、一部の教員が行うのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されるような仕組みがある	2,360	4.06	0.823	11	2,371
多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	2,364	3.73	0.815	7	2,371
多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	2,361	3.68	0.777	10	2,371
校長による働きかけ					
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	2,362	4.58	0.613	9	2,371
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	2,361	4.52	0.631	10	2,371

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
学校教育目標の意識	2,355	4.20	0.598	16	2,371
学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	2,356	4.33	0.671	15	2,371
多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	2,364	4.07	0.716	7	2,371
教育課程を評価・改善する取り組み	2,353	2.89	0.790	10	2,371
教育課程の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒、保護者へのアンケートなど）	2,361	2.98	1.216	10	2,371
教育課程の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	2,358	1.98	1.067	13	2,371
教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて教育課程の評価・改善を行っている	2,363	3.72	0.898	8	2,371
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み	2,361	4.07	0.829	10	2,371
各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	2,363	4.08	0.947	8	2,371
各教員が自分の授業を客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	2,362	4.05	0.941	9	2,371
評価・改善に向けての一致協力	2,355	3.82	0.628	16	2,371
教育課程の評価・改善にあたり、一部の教員が行うのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されるような仕組みがある	2,360	4.06	0.823	11	2,371
多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	2,364	3.73	0.815	7	2,371
多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	2,361	3.68	0.777	10	2,371
校長による働きかけ	2,361	4.55	0.586	10	2,371
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	2,362	4.58	0.613	9	2,371
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	2,361	4.52	0.631	10	2,371

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
学校教育目標の意識					
学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	1,025	1,121	187	19	4
多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	647	1,282	390	44	1
教育課程を評価・改善する取り組み					
教育課程の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒、保護者へのアンケートなど）	257	622	616	541	325
教育課程の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	42	215	424	653	1,024
教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて教育課程の評価・改善を行っている	409	1,152	587	169	46
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み					
各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	915	938	334	140	36
各教員が自分の授業を客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	858	991	324	157	32
評価・改善に向けての一致協力					
教育課程の評価・改善にあたり、一部の教員が行うのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されるような仕組みがある	755	1,098	410	86	11
多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	354	1,190	653	153	14
多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	293	1,170	749	143	6
校長による働きかけ					
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	1,503	738	104	17	0
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	1,377	843	124	17	0

(注) 1. 校長調査の結果による。

- 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 33 教科主任による教科におけるカリキュラム・マネジメント

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
学校教育目標の意識	11,442	4.06	0.718	44	11,484
○科では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	11,445	4.01	0.799	39	11,484
○科では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	11,450	4.11	0.772	34	11,484
教育課程を評価・改善する取り組み	11,396	3.23	0.782	90	11,484
○科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒、保護者へのアンケートなど）	11,452	3.61	1.176	32	11,484
○科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	11,444	2.29	1.137	40	11,484
○科では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	11,433	3.78	0.871	51	11,484
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み	11,412	3.85	0.843	74	11,484
○科では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	11,422	3.88	0.946	62	11,484
○科では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	11,454	3.81	0.994	30	11,484
評価・改善に向けての一致協力	11,385	3.75	0.732	101	11,484
○科では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、教員全体の声が反映されるような仕組みがある	11,437	3.56	0.976	47	11,484
○科では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	11,447	3.85	0.893	37	11,484
○科では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	11,433	3.84	0.827	51	11,484
校長による働きかけ	11,436	4.08	0.852	50	11,484
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	11,439	4.10	0.908	45	11,484
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	11,436	4.07	0.878	48	11,484

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
学校教育目標の意識					
〇〇科では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	3,120	5,841	2,045	362	77
〇〇科では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	3,648	5,792	1,658	301	50
教育課程を評価・改善する取り組み					
〇〇科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒、保護者へのアンケートなど）	2,961	3,990	2,243	1,591	667
〇〇科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	412	1,444	2,704	3,333	3,548
〇〇科では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	2,148	5,721	2,643	774	146
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み					
〇〇科では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	3,113	5,029	2,342	704	234
〇〇科では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	2,903	5,107	2,137	1,014	292
評価・改善に向けての一致協力					
〇〇科では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、教員全体の声が反映されるような仕組みがある	1,883	4,472	3,452	1,368	261
〇〇科では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	2,748	5,225	2,663	660	148
〇〇科では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	2,409	5,451	2,991	505	76
校長による働きかけ					
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	4,330	4,727	1,746	450	185
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	3,941	5,078	1,845	412	159

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

- 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 34 教科別カリキュラム・マネジメント

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学校教育目標の意識									
〇〇科では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	2,300	4.07	0.780	2,268	3.99	0.803	2,306	4.04	0.785
〇〇科では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	2,300	4.15	0.759	2,269	4.08	0.788	2,308	4.17	0.752
教育課程を評価・改善する取り組み									
〇〇科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒、保護者へのアンケートなど）	2,300	3.62	1.193	2,272	3.68	1.168	2,306	3.54	1.164
〇〇科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	2,297	2.20	1.118	2,271	2.41	1.105	2,306	2.20	1.079
〇〇科では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	2,298	3.87	0.859	2,269	3.73	0.878	2,304	3.81	0.844
各教員が自分の授業を評価・改善す									
〇〇科では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	2,296	3.92	0.968	2,261	3.95	0.914	2,300	3.82	0.942
〇〇科では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	2,301	3.83	1.010	2,272	3.84	0.979	2,307	3.81	0.993
評価・改善に向けての一致協力									
〇〇科では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、教員全体の声が反映されるような仕組みがある	2,297	3.62	0.985	2,264	3.41	0.979	2,308	3.71	0.956
〇〇科では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	2,301	3.91	0.911	2,269	3.81	0.897	2,306	3.94	0.856
〇〇科では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	2,297	3.82	0.857	2,266	3.81	0.839	2,303	3.76	0.814
校長による働きかけ									
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	2,296	4.17	0.886	2,268	4.11	0.909	2,304	4.07	0.908
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	2,296	4.13	0.872	2,266	4.09	0.876	2,304	4.03	0.883

続き

項目	理科			外国語			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学校教育目標の意識									
○○科では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	2,276	3.95	0.799	2,295	3.99	0.821	11,445	4.01	0.799
○○科では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	2,278	4.09	0.770	2,295	4.05	0.786	11,450	4.11	0.772
教育課程を評価・改善する取り組み									
○○科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒、保護者へのアンケートなど）	2,279	3.60	1.170	2,295	3.61	1.181	11,452	3.61	1.176
○○科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	2,278	2.25	1.152	2,292	2.37	1.212	11,444	2.29	1.137
○○科では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	2,273	3.77	0.865	2,289	3.73	0.898	11,433	3.78	0.871
各教員が自分の授業を評価・改善す									
○○科では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	2,275	3.91	0.905	2,290	3.81	0.990	11,422	3.88	0.946
○○科では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	2,280	3.76	0.991	2,294	3.83	0.999	11,454	3.81	0.994
評価・改善に向けての一致協力									
○○科では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、教員全体の声が反映されるような仕組みがある	2,275	3.41	0.961	2,293	3.63	0.960	11,437	3.56	0.976
○○科では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となつて取り組んでいる	2,278	3.79	0.885	2,293	3.83	0.909	11,447	3.85	0.893
○○科では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	2,273	3.91	0.801	2,294	3.90	0.811	11,433	3.84	0.827
校長による働きかけ									
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	2,280	4.02	0.931	2,291	4.13	0.899	11,439	4.10	0.908
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	2,280	4.01	0.878	2,290	4.10	0.874	11,436	4.07	0.878

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
 3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

2.5. 参加型授業のねらい

参加型授業のねらい（参加型授業を通して身につけてほしい力）の上位3つは、全体では「自分の考えを言語で表現する力」（M=4.34, SD=0.759）、「主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力」（M=4.15, SD=0.878）、「各教科で身につけた知識・技能を活用する力」（M=4.14, SD=0.842）であった。いずれの教科においても「自分の考えを言語で表現する力」が最も重視されるなど、一部の項目を除いて、教科による大きな違いはなかった。教科による違いが最も大きかったのは、「社会の一員としての市民性意識」であった（ $\eta^2 = .148$ ）。全体の平均値（M=2.91, SD=1.153）に比べて地歴・公民科（M=3.68, SD=0.999）で重視されていたねらいであった。また、「自分の生き方についての自覚や将来の進路展望」も中程度の違いがあり（ $\eta^2 = .074$ ）、数学科（M=2.90, SD=1.175）や理科（M=3.07, SD=1.139）よりも、地歴・公民科（M=3.80, SD=0.975）、国語科（M=3.60, SD=1.109）、外国語科（M=3.53, SD=1.120）で重視されていた。

表 35 学校代表者による参加型授業のねらい

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
思考・表現力	1,313	4.06	0.658	1,005	53	2,371
自分の考えを言語で表現する力	1,319	4.42	0.660	1,005	47	2,371
これまででない発想をしようとする創造性	1,321	3.61	0.964	1,005	45	2,371
自分の考えを深める思考力	1,319	4.15	0.810	1,005	47	2,371
課題解決力	1,319	4.16	0.738	1,005	47	2,371
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	1,320	4.08	0.883	1,005	46	2,371
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	1,321	4.19	0.797	1,005	45	2,371
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	1,323	4.23	0.789	1,005	43	2,371
主体性	1,317	3.98	0.755	1,005	49	2,371
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	1,318	3.75	0.965	1,005	47	2,371
何事にも積極的に取り組む意欲	1,323	4.11	0.803	1,005	43	2,371
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	1,322	4.08	0.824	1,005	44	2,371
市民性	1,319	3.53	0.861	1,005	47	2,371
勤労観や職業観	1,319	3.29	1.072	1,005	47	2,371
社会の一員としての市民性意識	1,321	3.27	1.040	1,005	45	2,371
社会変化に対応できる柔軟性	1,321	3.68	0.952	1,005	45	2,371
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	1,321	3.88	0.983	1,005	45	2,371
協働性	1,322	4.32	0.661	1,005	44	2,371
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	1,322	4.36	0.718	1,005	44	2,371
他者と協力するための社会性や協調性	1,323	4.29	0.717	1,005	43	2,371
教科基礎力	1,308	3.80	0.720	1,005	58	2,371
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	1,315	3.67	1.069	1,005	51	2,371
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	1,320	4.16	0.814	1,005	46	2,371
教科を超えた知識や理解の統合	1,317	3.62	1.047	1,005	49	2,371
文章などを正確に読み解く力	1,313	3.78	0.935	1,005	53	2,371

続き

項目	とても重視している	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない
思考・表現力					
自分の考えを言語で表現する力	669	553	84	12	1
これまでにない発想をしようとする創造性	250	494	413	143	21
自分の考えを深める思考力	495	576	206	37	5
課題解決力					
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	480	542	227	62	9
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	520	573	189	35	4
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	555	551	182	32	3
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	305	553	306	138	16
何事にも積極的に取り組む意欲	452	624	195	49	3
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	445	598	225	50	4
市民性					
勤労観や職業観	179	409	400	275	56
社会の一員としての市民性意識	156	423	420	270	52
社会変化に対応できる柔軟性	270	531	367	137	16
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	393	527	262	122	17
協働性					
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	632	553	114	21	2
他者と協力するための社会性や協調性	565	599	138	20	1
教科基礎力					
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	329	458	326	165	37
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	494	599	175	46	6
教科を超えた知識や理解の統合	283	500	317	184	33
文章などを正確に読み解く力	308	545	339	105	16

続き

項目	とても重視している	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない
思考・表現力					
自分の考えを言語で表現する力	669	553	84	12	1
これまででない発想をしようとする創造性	250	494	413	143	21
自分の考えを深める思考力	495	576	206	37	5
課題解決力					
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	480	542	227	62	9
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	520	573	189	35	4
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	555	551	182	32	3
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	305	553	306	138	16
何事にも積極的に取り組む意欲	452	624	195	49	3
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	445	598	225	50	4
市民性					
勤労観や職業観	179	409	400	275	56
社会の一員としての市民性意識	156	423	420	270	52
社会変化に対応できる柔軟性	270	531	367	137	16
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	393	527	262	122	17
協働性					
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	632	553	114	21	2
他者と協力するための社会性や協調性	565	599	138	20	1
教科基礎力					
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	329	458	326	165	37
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	494	599	175	46	6
教科を超えた知識や理解の統合	283	500	317	184	33
文章などを正確に読み解く力	308	545	339	105	16

(注) 1. 校長調査の結果による。

- 参加型授業のねらい（身につけてほしい力）について、「1. あまり重視していない」「2. どちらともいえない」「3. やや重視している」「4. 重視している」「5. とても重視している」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 36 教科主任による参加型授業のねらい

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
思考・表現力						
自分の考えを言語で表現する力	4,828	4.34	0.759	6,351	305	11,484
これまでにない発想をしようとする創造性	4,818	3.31	1.069	6,351	315	11,484
自分の考えを深める思考力	4,815	4.09	0.850	6,351	318	11,484
課題解決力						
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	4,824	3.68	1.020	6,351	309	11,484
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	4,826	3.86	0.947	6,351	307	11,484
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	4,824	3.92	0.944	6,351	309	11,484
主体性						
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	4,816	3.79	0.995	6,351	317	11,484
何事にも積極的に取り組む意欲	4,825	4.13	0.841	6,351	308	11,484
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	4,827	4.02	0.878	6,351	306	11,484
市民性						
勤労観や職業観	4,820	2.79	1.753	6,351	314	11,484
社会の一員としての市民性意識	4,818	2.92	1.152	6,351	315	11,484
社会変化に対応できる柔軟性	4,822	3.39	1.088	6,351	311	11,484
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	4,817	3.43	1.140	6,351	316	11,484
協働性						
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	4,827	4.15	0.877	6,351	306	11,484
他者と協力するための社会性や協調性	4,825	4.04	0.912	6,351	308	11,484
教科基礎力						
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	4,822	3.95	1.021	6,351	311	11,484
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	4,825	4.14	0.842	6,351	308	11,484
教科を超えた知識や理解の統合	4,816	3.47	1.075	6,351	317	11,484
文章などを正確に読み解く力	4,815	3.90	0.961	6,351	318	11,484

続き

項目	とても重視している	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない
思考・表現力					
自分の考えを言語で表現する力	2,377	1,851	496	92	12
これまでにない発想をしようとする創造性	688	1,430	1,596	879	225
自分の考えを深める思考力	1,723	2,030	861	175	26
課題解決力					
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	1,131	1,749	1,291	554	99
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	1,318	1,992	1,088	366	62
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	1,491	1,904	1,030	357	42
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	1,294	1,796	1,211	431	84
何事にも積極的に取り組む意欲	1,819	2,009	808	167	22
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	1,580	2,053	931	232	31
市民性					
勤労観や職業観	328	929	1,492	1,446	624
社会の一員としての市民性意識	455	1,079	1,458	1,257	569
社会変化に対応できる柔軟性	759	1,623	1,398	801	241
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	933	1,558	1,265	789	272
協働性					
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	2,000	1,826	778	191	32
他者と協力するための社会性や協調性	1,738	1,880	915	252	40
教科基礎力					
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	1,724	1,721	933	323	121
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	1,849	2,041	736	171	28
教科を超えた知識や理解の統合	875	1,647	1,344	771	179
文章などを正確に読み解く力	1,457	1,887	1,058	347	66

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

- 参加型授業のねらい(身につけてほしい力)について、「1. あまり重視していない」「2. どちらともいえない」「3. やや重視している」「4. 重視している」「5. とても重視している」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。
- 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 37 教科別参加型授業のねらい

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
自分の考えを言語で表現する力	1,173	4.57	0.607	972	4.36	0.710	578	4.19	0.878
これまでにない発想をしようとする創造性	1,168	3.35	1.056	968	3.39	1.015	580	3.25	1.132
自分の考えを深める思考力	1,171	4.31	0.745	967	4.16	0.765	578	4.03	0.920
課題解決力									
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	1,167	3.72	0.978	972	3.89	0.922	579	3.55	1.081
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	1,168	3.88	0.896	974	4.10	0.824	580	3.67	1.027
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	1,168	3.95	0.926	971	4.03	0.855	583	4.11	0.887
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	1,166	3.71	1.038	966	3.73	0.974	581	4.02	0.961
何事にも積極的に取り組む意欲	1,169	4.15	0.846	970	4.04	0.851	582	4.19	0.822
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	1,170	4.03	0.870	971	3.99	0.853	579	3.98	0.893
市民性									
勤労観や職業観	1,169	2.79	1.109	968	3.28	1.081	577	2.34	1.028
社会の一員としての市民性意識	1,168	2.92	1.128	970	3.68	0.998	576	2.30	1.045
社会変化に対応できる柔軟性	1,169	3.44	1.055	969	3.79	0.907	580	2.97	1.168
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	1,170	3.60	1.107	965	3.80	0.974	578	2.90	1.177
協働性									
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	1,172	4.36	0.753	970	4.10	0.885	580	4.00	0.990
他者と協力するための社会性や協調性	1,168	4.14	0.863	972	4.04	0.894	579	3.92	0.994
教科基礎力									
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	1,169	3.83	1.109	971	3.89	1.020	580	4.09	0.964
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	1,170	4.07	0.871	969	4.14	0.837	581	4.16	0.878
教科を超えた知識や理解の統合	1,169	3.59	1.035	969	3.64	1.005	578	3.04	1.161
文章などを正確に読み解く力	1,169	4.21	0.872	967	3.95	0.872	576	3.68	0.990

続き

項目	理科			外国語			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
自分の考えを言語で表現する力	959	4.14	0.809	1,146	4.35	0.767	4,828	4.34	0.759
これまでにない発想をしようとする創造性	956	3.31	1.092	1,146	3.22	1.070	4,818	3.31	1.069
自分の考えを深める思考力	957	4.06	0.815	1,142	3.86	0.945	4,815	4.09	0.850
課題解決力									
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	959	3.72	1.046	1,147	3.47	1.045	4,824	3.68	1.020
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	958	3.94	0.929	1,146	3.66	1.010	4,826	3.86	0.947
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	959	4.01	0.906	1,143	3.63	1.026	4,824	3.92	0.944
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	958	3.67	0.976	1,145	3.88	0.973	4,816	3.79	0.995
何事にも積極的に取り組む意欲	958	4.00	0.838	1,146	4.25	0.820	4,825	4.13	0.841
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	958	3.95	0.887	1,149	4.11	0.884	4,827	4.02	0.878
市民性									
勤労観や職業観	959	2.60	3.224	1,147	2.76	1.058	4,820	2.79	1.753
社会の一員としての市民性意識	958	2.51	1.047	1,146	2.92	1.077	4,818	2.92	1.152
社会変化に対応できる柔軟性	957	3.10	1.105	1,147	3.44	1.068	4,822	3.39	1.088
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	958	3.07	1.125	1,146	3.53	1.120	4,817	3.43	1.140
協働性									
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	960	3.93	0.936	1,145	4.26	0.811	4,827	4.15	0.877
他者と協力するための社会性や協調性	958	3.87	0.938	1,148	4.15	0.881	4,825	4.04	0.912
教科基礎力									
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	956	3.90	0.980	1,146	4.10	0.965	4,822	3.95	1.021
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	958	4.11	0.826	1,147	4.24	0.803	4,825	4.14	0.842
教科を超えた知識や理解の統合	956	3.43	1.088	1,144	3.46	1.056	4,816	3.47	1.075
文章などを正確に読み解く力	958	3.56	0.971	1,145	3.92	0.983	4,815	3.90	0.961

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

- 参加型授業のねらい（身につけてほしい力）について、「1. あまり重視していない」「2. どちらともいえない」「3. やや重視している」「4. 重視している」「5. とても重視している」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

(注) 教科主任調査の結果による。

図10 教科別参加型授業のねらい

2.6. 参加型授業の学習活動

参加型授業で取り組んだ学習活動の上位3つは、全体では「教員による思考の活性化を促す説明や解説」(M=2.50, SD=0.884)、「生徒による発表(プレゼンテーション)」(M=2.49, SD=0.892)、「生徒同士で意見を出し合う活動(ブレインストーミング)」(M=2.36, SD=0.882)であった。学習活動についても上位に並ぶ項目に大きな違いはなかったが、一部の項目に教科による特徴が現れた。教科による違いが最も大きかった学習活動は、「実験室などでの実験や観察」であり($\eta^2=.669$)、理科(M=3.06, SD=0.906)において力を入れて取り組まれていた。同じく、「自然体験・社会体験活動」「データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動」も、理科においてより取り組まれていた(それぞれM=1.84, SD=0.971; M=2.60, SD=0.884)。とはいえ、理科における実験や観察を除き、多くの項目が2点前後にとどまっており、いずれの活動も、そこまで積極的に取り組まれているわけではないようだ。

調査票BのQ8

表 38 教科主任による参加型授業の学習活動

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
理解深化型						
学習について自分で客観的にふりかえる活動	4,801	2.26	1.586	6,351	333	11,484
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	4,816	2.20	0.888	6,351	317	11,484
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	4,803	1.80	0.862	6,351	330	11,484
生徒同士がお互いに評価し合う活動	4,816	2.03	0.856	6,351	317	11,484
教員による思考の活性化を促す説明や解説	4,811	2.50	0.884	6,351	322	11,484
探求活動型						
個人でテーマを調べる活動	4,817	1.98	0.920	6,351	316	11,484
グループでテーマを調べる活動	4,817	2.04	0.941	6,351	316	11,484
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	4,818	2.21	0.836	6,351	315	11,484
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	4,808	1.86	0.912	6,351	325	11,484
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	4,818	1.83	0.872	6,351	315	11,484
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	4,816	1.97	0.890	6,351	317	11,484
意見発表・交換型						
生徒同士の討論（ディベート）	4,798	1.72	0.851	6,351	335	11,484
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	4,822	2.31	0.865	6,351	311	11,484
生徒による発表（プレゼンテーション）	4,828	2.49	0.892	6,351	305	11,484
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	4,818	2.36	0.881	6,351	315	11,484
社会活動型						
博物館など、学校外の施設で調べる活動	4,815	1.34	0.679	6,351	318	11,484
実験室などでの実験や観察	4,812	1.50	0.953	6,351	321	11,484
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	4,815	1.35	0.676	6,351	318	11,484
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	4,812	1.26	0.615	6,351	321	11,484
外部講師による講演や活動	4,808	1.59	0.883	6,351	325	11,484
自然体験・社会体験活動	4,801	1.38	0.743	6,351	332	11,484
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	4,796	1.40	1.564	6,351	338	11,484
芸術・創作活動型						
演劇やダンスなどの身体活動	4,810	1.13	0.433	6,351	323	11,484
音楽や美術などの芸術活動	4,810	1.13	0.416	6,351	323	11,484
写真や映像などを用いた創作活動	4,803	1.38	0.682	6,351	330	11,484

続き

項目	とても力を入れて取り組んでいる	力を入れて取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいない
理解深化型				
学習について自分で客観的にふりかえる活動	371	1,148	2,541	740
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	462	1,100	2,208	1,046
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	234	707	1,750	2,112
生徒同士がお互いに評価し合う活動	330	844	2,276	1,366
教員による思考の活性化を促す説明や解説	775	1,377	2,155	504
探求活動型				
個人でテーマを調べる活動	407	779	1,965	1,666
グループでテーマを調べる活動	466	836	1,940	1,575
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	420	1,049	2,489	860
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	334	710	1,717	2,047
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	287	633	1,882	2,016
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	364	747	2,090	1,615
意見発表・交換型				
生徒同士の討論（ディベート）	236	544	1,653	2,365
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	511	1,245	2,286	780
生徒による発表（プレゼンテーション）	783	1,331	2,180	534
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	597	1,248	2,252	721
社会活動型				
博物館など、学校外の施設で調べる活動	112	232	839	3,632
実験室などでの実験や観察	416	337	482	3,577
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	109	224	924	3,558
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	86	183	646	3,897
外部講師による講演や活動	272	477	1,053	3,006
自然体験・社会体験活動	161	276	783	3,581
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	156	265	819	3,555
芸術・創作活動型				
演劇やダンスなどの身体活動	35	80	344	4,351
音楽や美術などの芸術活動	22	81	389	4,318
写真や映像などを用いた創作活動	96	265	1,000	3,442

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 参加型授業の学習活動について、「1. 取り組んでいない」「2. 取り組んでいる」「3. 力を入れて取り組んでいる」「4. とても力を入れて取り組んでいる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。

4. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 39 教科別参加型授業の学習活動

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
理解深化型									
学習について自分で客観的にふりかえる活動	1,166	2.31	0.784	968	2.25	0.799	577	2.18	0.800
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	1,166	2.15	0.815	972	2.40	0.830	580	1.87	0.854
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	1,164	1.89	0.802	966	2.04	0.900	578	1.38	0.691
生徒同士がお互いに評価し合う活動	1,168	2.31	0.820	968	1.90	0.848	580	1.64	0.755
教員による思考の活性化を促す説明や解説	1,160	2.57	0.861	974	2.61	0.903	579	2.44	0.885
探究活動型									
個人でテーマを調べる活動	1,165	2.08	0.872	969	2.30	0.889	582	1.52	0.778
グループでテーマを調べる活動	1,165	2.12	0.893	970	2.15	0.908	580	1.62	0.843
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	1,165	2.30	0.797	970	2.38	0.810	579	1.88	0.810
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	1,166	1.91	0.866	967	2.10	0.920	579	1.46	0.746
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	1,168	2.12	0.841	969	2.07	0.883	580	1.30	0.613
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	1,165	1.88	0.811	971	2.09	0.882	580	1.65	0.773
意見発表・交換型									
生徒同士の討論（ディベート）	1,159	1.84	0.857	964	1.78	0.834	579	1.61	0.846
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	1,166	2.48	0.822	968	2.31	0.836	582	2.24	0.891
生徒による発表（プレゼンテーション）	1,168	2.46	0.824	972	2.40	0.874	582	2.34	0.885
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	1,170	2.51	0.852	969	2.27	0.845	579	2.21	0.864
社会活動型									
博物館など、学校外の施設で調べる活動	1,166	1.26	0.585	970	1.56	0.839	580	1.13	0.423
実験室などでの実験や観察	1,165	1.06	0.301	966	1.12	0.429	579	1.16	0.490
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	1,166	1.34	0.644	968	1.35	0.679	580	1.13	0.421
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	1,166	1.23	0.583	965	1.41	0.716	579	1.07	0.344
外部講師による講演や活動	1,160	1.41	0.759	969	1.65	0.875	580	1.30	0.661
自然体験・社会体験活動	1,159	1.19	0.542	968	1.43	0.747	579	1.15	0.485
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	1,157	1.20	0.542	966	1.39	0.726	580	1.17	0.494
芸術・創作活動型									
演劇やダンスなどの身体活動	1,166	1.17	0.476	964	1.10	0.426	579	1.03	0.222
音楽や美術などの芸術活動	1,167	1.13	0.387	964	1.14	0.473	579	1.03	0.244
写真や映像などを用いた創作活動	1,165	1.32	0.581	963	1.46	0.777	579	1.12	0.415

続き

項目	理科			外国語			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
理解深化型									
学習について自分で客観的にふりかえる活動	955	2.29	3.171	1,135	2.24	0.826	4,801	2.26	1.586
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	957	2.61	0.884	1,141	1.93	0.857	4,816	2.20	0.888
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	954	1.86	0.925	1,141	1.69	0.819	4,803	1.80	0.862
生徒同士がお互いに評価し合う活動	956	1.82	0.818	1,144	2.22	0.833	4,816	2.03	0.856
教員による思考の活性化を促す説明や解説	957	2.54	0.869	1,141	2.34	0.880	4,811	2.50	0.884
探求活動型									
個人でテーマを調べる活動	958	1.89	0.948	1,143	1.94	0.919	4,817	1.98	0.920
グループでテーマを調べる活動	960	2.08	0.987	1,142	2.04	0.968	4,817	2.04	0.941
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	959	2.20	0.862	1,145	2.16	0.836	4,818	2.21	0.836
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	956	1.89	0.979	1,140	1.79	0.897	4,808	1.86	0.912
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	958	1.83	0.889	1,143	1.60	0.799	4,818	1.83	0.872
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	958	2.14	0.937	1,142	1.99	0.935	4,816	1.97	0.890
意見発表・交換型									
生徒同士の討論（ディベート）	955	1.61	0.805	1,141	1.70	0.880	4,798	1.72	0.851
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	961	2.34	0.863	1,145	2.14	0.888	4,822	2.31	0.865
生徒による発表（プレゼンテーション）	959	2.38	0.944	1,147	2.77	0.875	4,828	2.49	0.892
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	957	2.24	0.886	1,143	2.45	0.912	4,818	2.36	0.881
社会活動型									
博物館など、学校外の施設で調べる活動	959	1.50	0.799	1,140	1.21	0.506	4,815	1.34	0.679
実験室などでの実験や観察	959	3.06	0.906	1,143	1.13	0.467	4,812	1.50	0.953
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	959	1.44	0.768	1,142	1.41	0.703	4,815	1.35	0.676
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	959	1.30	0.651	1,143	1.25	0.597	4,812	1.26	0.615
外部講師による講演や活動	957	1.78	0.998	1,142	1.69	0.937	4,808	1.59	0.883
自然体験・社会体験活動	955	1.84	0.971	1,140	1.25	0.622	4,801	1.38	0.743
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	956	1.48	0.837	1,137	1.66	2.955	4,796	1.40	1.564
芸術・創作活動型									
演劇やダンスなどの身体活動	957	1.04	0.249	1,144	1.23	0.552	4,810	1.13	0.433
音楽や美術などの芸術活動	956	1.05	0.273	1,144	1.22	0.525	4,810	1.13	0.416
写真や映像などを用いた創作活動	954	1.33	0.683	1,142	1.54	0.746	4,803	1.38	0.682

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

- 参加型授業の学習活動について、「1. 取り組んでいない」「2. 取り組んでいる」「3. 力を入れて取り組んでいる」「4. とても力を入れて取り組んでいる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

2.7. 参加型授業の工夫

参加型授業で取り入れた学習環境や授業方法の工夫の上位3つは、全体では「自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫」(M=2.60, SD=0.867)、「生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫」(M=2.57, SD=0.835)、「学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫」(M=2.34, SD=0.821)であった。学習環境や授業方法の工夫についても上位に並ぶ項目に大きな違いはなかった。教科による違いが最も大きかった工夫は、「生徒が自然体験・社会体験できる場の活用」であり($\eta^2=.111$)、理科(M=1.75, SD=0.907)において取り入れられていた。また、次いで違いが大きかったのは「複数の教員による合同の授業の実施」であり($\eta^2=.079$)、外国語科(M=1.97, SD=0.949)において取り入れられていた。上位3項目は平均値が2.5点前後であり、やや力を入れて取り入れられているといえる。一方、その他の工夫は1.5点前後であり、ほとんどの学校において、参加型授業の手助けとなる工夫として取り入れられていないと考えられる。

Q21

表 40 学校代表者による参加型授業の学習環境や授業方法の工夫

	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
他教員との協働	1,313	1.78	0.681	1,005	53	2,371
他学年との合同の取り組み	1,316	1.46	0.719	1,005	50	2,371
複数の教員による合同の授業の実施	1,315	2.10	0.899	1,005	51	2,371
校内実施体制の整備	1,302	1.72	0.650	1,005	64	2,371
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	1,309	1.52	0.769	1,005	57	2,371
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	1,314	1.77	0.873	1,005	52	2,371
効果的な授業を実施できる教員(非常勤講師を含む)の確保	1,317	1.86	0.932	1,005	49	2,371
校外リソースの活用	1,302	1.77	0.581	1,005	64	2,371
公民館など、学校外スペースの活用	1,315	1.21	0.530	1,005	51	2,371
外部講師を招いた授業の実施	1,317	2.15	0.967	1,005	49	2,371
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	1,318	2.19	0.949	1,005	48	2,371
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	1,311	1.54	0.738	1,005	55	2,371
校内リソースの活用	1,311	1.86	0.679	1,005	55	2,371
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	1,316	1.83	0.964	1,005	49	2,371
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	1,317	2.22	0.904	1,005	49	2,371
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	1,316	1.53	0.794	1,005	50	2,371
授業方法の工夫	1,300	2.35	0.605	1,005	66	2,371
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	1,316	2.28	0.804	1,005	50	2,371
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	1,311	2.14	0.824	1,005	55	2,371
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	1,318	2.45	0.757	1,005	48	2,371
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	1,318	2.53	0.786	1,005	48	2,371

続き

	とても力を入れて取り入れている	力を入れて取り入れている	取り入れている	取り入れていない
他教員との協働				
他学年との合同の取り組み	32	80	349	855
複数の教員による合同の授業の実施	117	251	591	356
校内実施体制の整備				
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	35	118	341	815
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	67	185	447	615
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	97	202	439	579
校外リソースの活用				
公民館など、学校外スペースの活用	16	29	166	1,104
外部講師を招いた授業の実施	144	295	489	389
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	148	300	528	342
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	32	98	414	767
校内リソースの活用				
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	105	205	371	635
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	146	275	617	279
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	43	122	328	823
授業方法の工夫				
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	118	310	714	174
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	90	282	665	274
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	130	412	691	85
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	166	439	636	77

続き

	とても力を入れて取り入れている	力を入れて取り入れている	取り入れている	取り入れていない
他教員との協働				
他学年との合同の取り組み	32	80	349	855
複数の教員による合同の授業の実施	117	251	591	356
校内実施体制の整備				
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	35	118	341	815
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	67	185	447	615
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	97	202	439	579
校外リソースの活用				
公民館など、学校外スペースの活用	16	29	166	1,104
外部講師を招いた授業の実施	144	295	489	389
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	148	300	528	342
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	32	98	414	767
校内リソースの活用				
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	105	205	371	635
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	146	275	617	279
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	43	122	328	823
授業方法の工夫				
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	118	310	714	174
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	90	282	665	274
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	130	412	691	85
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	166	439	636	77

- (注) 1. 校長調査の結果による。
2. 参加型授業の学習環境や授業方法の工夫について、「1. 取り入れていない」「2. 取り入れている」「3. 力を入れて取り入れている」「4. とても力を入れて取り入れている」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
4. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 41 教科主任による参加型授業の学習環境や授業方法の工夫

	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
他教員との協働						
他学年との合同の取り組み	4,825	1.26	0.610	6,351	308	11,484
複数の教員による合同の授業の実施	4,822	1.58	0.846	6,351	311	11,484
校内実施体制の整備						
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	4,818	1.40	0.679	6,351	315	11,484
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	4,812	1.60	1.590	6,351	322	11,484
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	4,796	1.63	0.857	6,351	337	11,484
校外リソースの活用						
公民館など、学校外スペースの活用	4,827	1.08	0.357	6,351	306	11,484
外部講師を招いた授業の実施	4,818	1.40	0.744	6,351	315	11,484
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	4,823	1.34	0.682	6,351	310	11,484
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	4,806	1.35	0.646	6,351	327	11,484
校内リソースの活用						
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	4,828	1.78	0.905	6,351	305	11,484
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	4,825	1.94	0.916	6,351	308	11,484
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	4,822	1.41	0.722	6,351	311	11,484
授業方法の工夫						
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	4,830	2.60	0.867	6,351	303	11,484
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	4,811	1.99	0.849	6,351	322	11,484
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	4,818	2.34	0.821	6,351	315	11,484
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	4,826	2.57	0.835	6,351	307	11,484

続き

	とても力を入れて取り入れている	力を入れて取り入れている	取り入れている	取り入れていない
他教員との協働				
他学年との合同の取り組み	82	182	668	3,893
複数の教員による合同の授業の実施	245	403	1,262	2,912
校内実施体制の整備				
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	89	265	1,118	3,346
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	190	375	1,455	2,791
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	260	420	1,399	2,717
校外リソースの活用				
公民館など、学校外スペースの活用	29	42	216	4,540
外部講師を招いた授業の実施	165	259	932	3,462
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	118	230	805	3,670
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	77	227	987	3,515
校内リソースの活用				
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	313	625	1,583	2,307
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	411	650	1,991	1,773
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	127	295	989	3,411
授業方法の工夫				
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	900	1,413	2,184	333
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	326	728	2,325	1,432
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	483	1,263	2,472	600
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	783	1,486	2,248	309

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 参加型授業の学習環境や授業方法の工夫について、「1. 取り入れていない」「2. 取り入れている」「3. 力を入れて取り入れている」「4. とても力を入れて取り入れている」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
4. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 42 教科別参加型授業の学習環境や授業方法の工夫

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
他教員との協働									
他学年との合同の取り組み	1,169	1.21	0.557	970	1.22	0.575	580	1.21	0.523
複数の教員による合同の授業の実施	1,169	1.36	0.701	970	1.37	0.699	580	1.57	0.815
校内実施体制の整備									
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	1,168	1.37	0.651	967	1.43	0.681	580	1.33	0.610
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	1,163	1.50	0.769	966	1.67	3.165	580	1.58	0.803
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	1,162	1.51	0.809	965	1.55	0.810	577	1.63	0.853
校外リソースの活用									
公民館など、学校外スペースの活用	1,170	1.04	0.236	971	1.13	0.420	580	1.03	0.240
外部講師を招いた授業の実施	1,165	1.20	0.551	972	1.49	0.773	579	1.18	0.513
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	1,167	1.17	0.495	971	1.39	0.697	580	1.11	0.395
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	1,160	1.27	0.578	966	1.36	0.636	579	1.35	0.655
校内リソースの活用									
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	1,170	1.52	0.779	972	1.82	0.939	581	1.67	0.838
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	1,170	1.75	0.813	969	1.98	0.892	580	1.84	0.937
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	1,168	1.34	0.650	970	1.40	0.695	580	1.33	0.666
授業方法の工夫									
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	1,172	2.55	0.838	971	2.67	0.877	581	2.41	0.814
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	1,166	2.04	0.849	968	1.86	0.802	576	2.04	0.872
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	1,165	2.41	0.820	973	2.32	0.811	579	2.16	0.836
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	1,170	2.69	0.817	972	2.47	0.840	579	2.50	0.847

続き

項目	理科			外国語			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
他教員との協働									
他学年との合同の取り組み	960	1.33	0.663	1,146	1.33	0.671	4,825	1.26	0.610
複数の教員による合同の授業の実施	959	1.61	0.864	1,144	1.97	0.949	4,822	1.58	0.846
校内実施体制の整備									
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	958	1.38	0.690	1,145	1.45	0.721	4,818	1.40	0.679
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	959	1.61	0.801	1,144	1.63	0.842	4,812	1.60	1.590
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	952	1.61	0.822	1,140	1.84	0.931	4,796	1.63	0.857
校外リソースの活用									
公民館など、学校外スペースの活用	960	1.13	0.474	1,146	1.06	0.323	4,827	1.08	0.357
外部講師を招いた授業の実施	959	1.55	0.850	1,143	1.53	0.821	4,818	1.40	0.744
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	959	1.75	0.907	1,146	1.23	0.567	4,823	1.34	0.682
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	959	1.41	0.699	1,142	1.37	0.664	4,806	1.35	0.646
校内リソースの活用									
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	959	2.06	0.948	1,146	1.85	0.909	4,828	1.78	0.905
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	959	2.09	0.959	1,147	2.01	0.952	4,825	1.94	0.916
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	959	1.44	0.737	1,145	1.49	0.814	4,822	1.41	0.722
授業方法の工夫									
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	961	2.75	0.875	1,145	2.55	0.882	4,830	2.60	0.867
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	957	1.86	0.837	1,144	2.12	0.856	4,811	1.99	0.849
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	957	2.31	0.815	1,144	2.40	0.812	4,818	2.34	0.821
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	959	2.55	0.845	1,146	2.57	0.823	4,826	2.57	0.835

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
2. 参加型授業の学習環境や授業方法の工夫について、「1. 取り入れていない」「2. 取り入れている」「3. 力を入れて取り入れている」「4. とても力を入れて取り入れている」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
 3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
 4. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

(注) 教科主任調査の結果による。

図 12 教科別の参加型授業の学習環境や授業方法の工夫

2.8. 参加型授業の効果

アクティブラーニングの視点に立った参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」から「5. あてはまる」までの選択肢のうち、あてはまるものを1つずつ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。5段階のリッカート尺度とみなして回答を1～5点で得点化し、集計を行った。

その結果、学校代表者・教科主任ともに上位5つに挙げられた効果は同じであった。それぞれ、学校代表者では、「生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた」(M=3.76, SD=0.653)、「生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた」(M=3.74, SD=0.663)、「生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった」(M=3.73, SD=0.679)、「生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった」(M=3.69, SD=0.665)、「生徒が自分の考えを深められるようになった」(M=3.61, SD=0.65)といった効果が、教科主任では、「生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた」(M=3.73, SD=0.756)、「生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった」(M=3.68, SD=0.799)、「生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった」(M=3.66, SD=0.763)、「生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた」(M=3.64, SD=0.749)、「生徒が自分の考えを深められるようになった」(M=3.59, SD=0.737)といった効果が上位に挙げられた。

一方で、あまり効果が感じられなかったものは、両方で若干の異なりが見られた。学校代表者では、「生徒の学習習慣（予復習）が身についた」(M=3.04, SD=0.677)、「生徒の進学実績が向上した」(M=3.07, SD=0.698)、「生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した」(M=3.17, SD=0.710)、「地域社会との交流や相互理解が深まった」(M=3.20, SD=0.863)、「生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった」(M=3.21, SD=0.610)などが、教科主任では、「地域社会との交流や相互理解が深まった」(M=2.55, SD=0.933)、「生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった」(M=2.82, SD=0.825)、「生徒の進学実績が向上した」(M=2.96, SD=0.769)、「生徒の学習習慣（予復習）が身についた」(M=2.96, SD=0.853)、「生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった」(M=2.99, SD=0.806)が挙げられた。

参加型授業により実感した効果の上位3つは、全体では「生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた」(M=3.73, SD=0.756)、「生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった」(M=3.68, SD=0.799)、「生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった」(M=3.66, SD=0.763)であった。「生徒と教員間のコミュニケーション」が効果として挙げられるというのは、いわゆる講義型授業にはない、参加型授業ならではの特徴であると言える。効果についても全体的に教科による大きな違いは見られなかった。最も違いが大きかった効果は、「社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった」であり($\eta^2 = .137$)、地歴・公民科 (M=3.67, SD=0.756) で高く、数学科 (M=2.51, SD=0.911) で低かった。

参加型授業の効果については、どの教科においても全体的に尺度得点の中央値である3を大きく上回る項目は見られなかった。2015年時点でも多くの高等学校において参加型授業が実施されているとはいえ、アクティブラーニングを実現し、参加型授業の効果を強く実感するには至っていないというのが現状であると考えられる。

表 43 学校代表者によるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業の効果の実感

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
思考・表現力	1,313	3.47	0.518	1,005	53	2,371
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	1,319	3.33	0.710	1,005	47	2,371
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	1,323	3.73	0.679	1,005	43	2,371
生徒がこれまでにない発想をするようになった	1,318	3.22	0.642	1,005	48	2,371
生徒が自分の考えを深められるようになった	1,316	3.61	0.650	1,005	50	2,371
課題解決力	1,313	3.43	0.525	1,005	53	2,371
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	1,319	3.39	0.640	1,005	47	2,371
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	1,318	3.56	0.658	1,005	48	2,371
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	1,321	3.57	0.669	1,005	45	2,371
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	1,315	3.21	0.610	1,005	51	2,371
教科基礎力	1,315	3.23	0.520	1,005	51	2,371
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	1,319	3.17	0.710	1,005	47	2,371
生徒の進学実績が向上した	1,320	3.07	0.698	1,005	46	2,371
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	1,318	3.31	0.655	1,005	48	2,371
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	1,319	3.36	0.646	1,005	47	2,371
協働性	1,311	3.61	0.516	1,005	55	2,371
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	1,319	3.76	0.653	1,005	47	2,371
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関われるようになった	1,316	3.50	0.668	1,005	50	2,371
生徒の社会性や協調性が高まった	1,317	3.49	0.640	1,005	49	2,371
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	1,318	3.69	0.665	1,005	48	2,371
主体性	1,315	3.23	0.521	1,005	51	2,371
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	1,319	3.35	0.636	1,005	47	2,371
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	1,317	3.04	0.677	1,005	49	2,371
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	1,318	3.30	0.636	1,005	48	2,371
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	1,316	3.22	0.623	1,005	50	2,371
市民性	1,309	3.38	0.538	1,005	57	2,371
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	1,316	3.27	0.744	1,005	50	2,371
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	1,318	3.35	0.696	1,005	48	2,371
地域社会との交流や相互理解が深まった	1,317	3.20	0.863	1,005	49	2,371
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	1,314	3.36	0.689	1,005	52	2,371
教員とのコミュニケーション	1,318	3.74	0.663	1,005	48	2,371
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	1,318	3.74	0.663	1,005	48	2,371

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
思考・表現力					
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	58	428	747	65	21
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	128	751	415	20	9
生徒がこれまでにない発想をするようになった	33	330	860	79	16
生徒が自分の考えを深められるようになった	73	691	520	24	8
課題解決力					
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	40	502	727	39	11
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	66	652	567	21	12
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	75	648	562	25	11
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	22	333	878	67	15
教科基礎力					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	43	304	845	93	34
生徒の進学実績が向上した	26	248	892	106	48
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	29	440	774	56	19
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	37	472	758	35	17
協働性					
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	134	759	407	15	4
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	65	579	630	31	11
生徒の社会性や協調性が高まった	57	577	649	27	7
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	109	723	457	23	6
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	33	460	774	36	16
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	18	237	888	133	41
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	29	419	803	51	16
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	26	340	869	64	17
市民性					
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	55	393	755	80	33
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	48	469	716	67	18
地域社会との交流や相互理解が深まった	79	352	706	118	62
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	52	461	729	54	18
教員とのコミュニケーション					
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	135	731	434	13	5

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
思考・表現力					
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	58	428	747	65	21
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	128	751	415	20	9
生徒がこれまでにない発想をするようになった	33	330	860	79	16
生徒が自分の考えを深められるようになった	73	691	520	24	8
課題解決力					
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	40	502	727	39	11
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	66	652	567	21	12
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	75	648	562	25	11
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	22	333	878	67	15
教科基礎力					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	43	304	845	93	34
生徒の進学実績が向上した	26	248	892	106	48
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	29	440	774	56	19
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	37	472	758	35	17
協働性					
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	134	759	407	15	4
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	65	579	630	31	11
生徒の社会性や協調性が高まった	57	577	649	27	7
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	109	723	457	23	6
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	33	460	774	36	16
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	18	237	888	133	41
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	29	419	803	51	16
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	26	340	869	64	17
市民性					
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	55	393	755	80	33
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	48	469	716	67	18
地域社会との交流や相互理解が深まった	79	352	706	118	62
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	52	461	729	54	18
教員とのコミュニケーション					
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	135	731	434	13	5

(注) 1. 校長調査の結果による。

2. 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。

4. カテゴリーは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 44 教科主任によるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業の効果の実感

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
思考・表現力						
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	4,812	3.25	0.809	6,351	321	11,484
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	4,820	3.66	0.764	6,351	313	11,484
生徒がこれまでにない発想をするようになった	4,817	3.11	0.775	6,351	316	11,484
生徒が自分の考えを深められるようになった	4,790	3.59	0.738	6,351	343	11,484
課題解決力						
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	4,815	3.16	0.735	6,351	318	11,484
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	4,811	3.30	0.760	6,351	322	11,484
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	4,820	3.37	0.763	6,351	313	11,484
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	4,804	3.07	0.739	6,351	329	11,484
教科基礎力						
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	4,819	3.21	0.804	6,351	314	11,484
生徒の進学実績が向上した	4,807	2.96	0.769	6,351	326	11,484
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	4,810	3.21	0.776	6,351	323	11,484
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	4,814	3.32	0.748	6,351	319	11,484
協働性						
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	4,799	3.64	0.749	6,351	334	11,484
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関われるようになった	4,812	3.50	0.777	6,351	321	11,484
生徒の社会性や協調性が高まった	4,812	3.34	0.733	6,351	321	11,484
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	4,809	3.68	0.799	6,351	324	11,484
主体性						
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	4,810	3.31	0.765	6,351	323	11,484
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	4,807	2.96	0.854	6,351	326	11,484
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	4,806	3.16	0.740	6,351	327	11,484
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	4,811	3.10	0.743	6,351	322	11,484
市民性						
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	4,808	2.82	0.826	6,351	325	11,484
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	4,811	3.18	0.906	6,351	322	11,484
地域社会との交流や相互理解が深まった	4,810	2.55	0.933	6,351	323	11,484
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	4,802	2.99	0.806	6,351	331	11,484
教員とのコミュニケーション						
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	4,809	3.73	0.756	6,351	324	11,484

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
思考・表現力					
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	205	1,498	2,525	374	181
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	471	2,512	1,576	156	76
生徒がこれまでにない発想をするようになった	145	1,094	2,885	466	198
生徒が自分の考えを深められるようになった	340	2,458	1,722	173	69
課題解決力					
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	107	1,260	2,866	397	156
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	166	1,671	2,481	336	128
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	214	1,859	2,307	305	106
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	84	1,047	2,975	477	192
教科基礎力					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	211	1,333	2,644	432	170
生徒の進学実績が向上した	125	641	3,212	503	297
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	156	1,430	2,637	399	159
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	193	1,678	2,497	313	104
協働性					
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	419	2,528	1,597	154	72
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	317	2,215	1,915	242	94
生徒の社会性や協調性が高まった	179	1,725	2,517	259	103
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	569	2,466	1,493	159	93
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	194	1,645	2,506	305	131
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	118	948	2,685	681	346
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	114	1,251	2,860	392	160
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	94	1,122	2,912	476	178
市民性					
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	61	652	2,873	754	439
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	213	1,530	2,238	504	297
地域社会との交流や相互理解が深まった	69	391	2,509	922	890
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	113	884	2,918	555	303
教員とのコミュニケーション					
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	574	2,590	1,426	126	64

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
4. カテゴリーは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 45 各教科別アクティブラーニングの視点に立った参加型授業の効果の実感

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	1,164	3.30	0.766	973	3.29	0.799	576	2.95	0.851
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	1,168	3.77	0.708	973	3.64	0.744	580	3.45	0.793
生徒がこれまでにない発想をするようになった	1,165	3.08	0.768	972	3.13	0.781	579	3.03	0.792
生徒が自分の考えを深められるようになった	1,160	3.69	0.725	969	3.60	0.704	574	3.52	0.776
課題解決力									
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	1,164	3.16	0.719	973	3.24	0.705	579	3.00	0.794
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	1,163	3.28	0.735	971	3.41	0.709	580	3.08	0.781
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	1,168	3.36	0.746	972	3.38	0.718	580	3.37	0.805
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	1,166	3.04	0.748	967	3.11	0.715	575	2.95	0.776
教科基礎力									
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	1,165	3.17	0.769	973	3.14	0.828	580	3.30	0.842
生徒の進学実績が向上した	1,164	2.96	0.753	970	2.88	0.773	578	2.94	0.761
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	1,166	3.28	0.737	970	3.27	0.782	579	2.90	0.801
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	1,168	3.51	0.725	971	3.38	0.744	579	3.08	0.737
協働性									
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	1,161	3.72	0.691	966	3.59	0.729	577	3.53	0.790
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	1,165	3.51	0.773	971	3.48	0.765	579	3.46	0.800
生徒の社会性や協調性が高まった	1,163	3.37	0.713	973	3.37	0.694	579	3.18	0.786
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	1,164	3.74	0.776	971	3.50	0.804	577	3.68	0.834
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	1,166	3.24	0.768	971	3.22	0.745	578	3.47	0.765
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	1,167	2.90	0.859	966	2.83	0.864	577	3.07	0.864
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	1,165	3.12	0.754	968	3.11	0.729	576	3.18	0.776
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	1,167	3.02	0.763	970	3.07	0.741	575	3.13	0.750
市民性									
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	1,165	2.82	0.833	971	3.08	0.779	577	2.52	0.876
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	1,167	3.22	0.868	971	3.67	0.759	578	2.51	0.913
地域社会との交流や相互理解が深まった	1,166	2.43	0.955	971	2.75	0.902	577	2.33	0.945
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	1,165	3.01	0.813	966	3.10	0.773	575	2.73	0.858
教員とのコミュニケーション									
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	1,166	3.72	0.747	970	3.69	0.745	579	3.66	0.809

続き

項目	理科			外国語			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	957	3.24	0.806	1,142	3.31	0.810	4,812	3.25	0.809
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	957	3.52	0.782	1,142	3.78	0.763	4,820	3.66	0.764
生徒がこれまでにない発想をするようになった	957	3.13	0.755	1,144	3.14	0.780	4,817	3.11	0.775
生徒が自分の考えを深められるようになった	953	3.57	0.724	1,134	3.54	0.759	4,790	3.59	0.738
課題解決力									
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	956	3.21	0.728	1,143	3.13	0.737	4,815	3.16	0.735
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	953	3.35	0.774	1,144	3.28	0.781	4,811	3.30	0.760
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	957	3.39	0.787	1,143	3.34	0.775	4,820	3.37	0.763
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	955	3.05	0.748	1,141	3.16	0.711	4,804	3.07	0.739
教科基礎力									
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	957	3.18	0.802	1,144	3.26	0.796	4,819	3.21	0.804
生徒の進学実績が向上した	954	2.94	0.788	1,141	3.04	0.763	4,807	2.96	0.769
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	954	3.21	0.750	1,141	3.26	0.780	4,810	3.21	0.776
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	954	3.17	0.723	1,142	3.34	0.744	4,814	3.32	0.748
協働性									
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	955	3.55	0.771	1,140	3.75	0.760	4,799	3.64	0.749
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	958	3.46	0.784	1,139	3.59	0.766	4,812	3.50	0.777
生徒の社会性や協調性が高まった	956	3.25	0.736	1,141	3.43	0.736	4,812	3.34	0.733
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	957	3.62	0.813	1,140	3.83	0.752	4,809	3.68	0.799
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	956	3.28	0.775	1,139	3.39	0.752	4,810	3.31	0.765
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	956	2.89	0.821	1,141	3.13	0.827	4,807	2.96	0.854
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	956	3.15	0.749	1,141	3.25	0.699	4,806	3.16	0.740
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	958	3.12	0.762	1,141	3.18	0.695	4,811	3.10	0.743
市民性									
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	956	2.72	0.818	1,139	2.84	0.767	4,808	2.82	0.826
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	955	2.97	0.842	1,140	3.24	0.848	4,811	3.18	0.906
地域社会との交流や相互理解が深まった	955	2.55	0.915	1,141	2.60	0.907	4,810	2.55	0.933
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	956	2.94	0.821	1,140	3.04	0.755	4,802	2.99	0.806
教員とのコミュニケーション									
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	954	3.74	0.792	1,140	3.78	0.710	4,809	3.73	0.756

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。

4. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

2.9. 参加型授業の評価

教科によって参加型授業の評価方法はどのように異なっているだろうか。評価については、参加型授業での生徒の活動や成果物を評価したり成績に含めたりしているかどうか、教科による違いが見られた (Cramer's $V=0.173$)。多くの教科において「参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている」という回答は約 65%~70%を占めたが、数学科においてのみ 38.7%と非常に低く、一方で「参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない」という回答は数学科においてのみ 25.3%と高い割合を示した。

何を評価しているか、評価対象について尋ねた結果では、全体では「作文やレポートなどの提出物」(76.9%)という回答が最も多く、「生徒の授業への参加度・積極性」(62.9%)、「生徒による発表(プレゼンテーションの内容)」(54.2%)と続いた。教科による評価対象の違いとしては、数学科以外では「作文やレポートなどの提出物」(77.4%~80.9%)が最も多く利用されていたが、数学科では「生徒の授業への参加度・積極性」(67.3%)が利用されていた。また、「生徒による発表」を評価対象としていたのは、外国語科では 74.3%であったが、数学科では 34.9%であった。

誰が評価しているか、評価者について尋ねた結果では、全体では「担当教員(単独)による評価」が平均 85.8%とほとんどを占めていた。国語科では、38.3%が「生徒同士による相互評価」を取り入れ、外国語科では 40.6%が「授業に参加した複数の教員による評価」を取り入れるなど、教科による違いが見られた。

表 46 参加型授業の評価

項目	度数	パーセント
成績評価の方法は、完全に各教員に任せている	586	47.5
成績評価の方法について、各教科で取り組んでいる方法がある	535	43.4
成績評価の方法について、学校全体で取り組んでいる方法がある	113	9.2
有効回答数	1,234	100.0
非該当	1,005	
無効回答	3	
無回答	129	
合計	2,371	

(注) 1. 校長調査の結果による。

教科によって参加型授業の評価方法はどのように異なっているだろうか。評価については、参加型授業での生徒の活動や成果物を評価したり成績に含めたりしているかどうか、教科による違いが見られた (Cramer' s V=.173)。多くの教科において「参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている」という回答は約 65%~70%を占めたが、数学科においてのみ 38.7%と非常に低く、一方で「参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない」という回答は数学科においてのみ 25.3%と高い割合を示した。

表 47 教科主任による参加型授業の評価

項目	度数	%
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない	499	10.4
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価しているが、成績には含めていない	1,221	25.4
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている	3,079	64.2
有効回答数	4,799	100.0
非該当	6,351	
無効回答	3	
無回答	331	
合計	11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業を評価し、成績に含めているかについて、選択肢からあてはまるものを 1 つ選んでもらう形式で尋ねた (単一選択)。
 3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。

表 48 参加型授業の評価

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		合計	
	度数	%	度数	%								
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない	72	6.2	75	7.8	149	25.6	120	12.6	83	7.3	499	10.4
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価しているが、成績には含めていない	343	29.4	208	21.5	209	36.0	211	22.2	250	22.0	1,221	25.4
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている	751	64.4	683	70.7	223	38.4	621	65.2	801	70.6	3,079	64.2
有効回答数	1,166	100.0	966	100.0	581	100.0	952	100.0	1,134	100.0	4,799	100.0
非該当	1,056		1,249		1,683		1,266		1,097		6,351	
無効回答	0		1		0		1		1		3	
無回答	87		62		48		64		70		331	
合計	2,309		2,278		2,312		2,283		2,302		11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業を評価し、成績に含めているかについて、選択肢からあてはまるものを 1 つ選んでもらう形式で尋ねた (単一選択)。
 3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
 4. Cramer' s V=.173 であった。

表 49 教科主任による参加型授業の評価対象

項目	度数	%
作文やレポートなどの提出物	3,381	76.7
生徒の授業への参加度・積極性	2,768	62.8
生徒による発表（プレゼンテーションの内容）	2,384	54.1
生徒の関心・意欲	2,325	52.7
教科での学内考査	1,621	36.8
生徒の学習活動の記録（プリント・ワークシート・発表資料などをとじたファイル）	1,384	31.4
活動内容や感想を記録するふりかえりシート	1,331	30.2
身体活動・芸術活動・課題解決活動などの製作・成果物	472	10.7
その他	49	1.1
有効回答数	4,410	100.0
非該当	6,850	
無回答	224	
合計	11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業の評価対象について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型学習に取り組んでいない場合、参加型授業を評価していない場合は、非該当とした。

表 50 参加型授業の評価対象

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		合計	
	度数	%	度数	%								
作文やレポートなどの提出物	929	79.7	728	81.0	240	53.6	674	79.8	810	76.9	3,381	76.7
生徒の授業への参加度・積極性	706	60.6	562	62.5	301	67.2	513	60.7	686	65.1	2,768	62.8
生徒による発表（プレゼンテーションの内容）	605	51.9	457	50.8	155	34.6	387	45.8	780	74.1	2,384	54.1
生徒の関心・意欲	589	50.6	498	55.4	274	61.2	429	50.8	535	50.8	2,325	52.7
教科での学内考査	400	34.3	323	35.9	159	35.5	286	33.8	453	43.0	1,621	36.8
生徒の学習活動の記録（プリント・ワークシート・発表資料などをとじたファイル）	364	31.2	324	36.0	85	19.0	274	32.4	337	32.0	1,384	31.4
活動内容や感想を記録するふりかえりシート	480	41.2	317	35.3	88	19.6	231	27.3	215	20.4	1,331	30.2
身体活動・芸術活動・課題解決活動などの製作・成果物	142	12.2	98	10.9	20	4.5	91	10.8	125	11.9	472	10.7
その他	9	0.8	7	0.8	2	0.4	13	1.5	18	1.7	49	1.1
有効回答数	1,165	100.0	899	100.0	448	100.0	845	100.0	1,053	100.0	4,410	100.0
非該当	1,128		1,324		1,832		1,386		1,180		6,850	
無回答	16		55		32		52		69		224	
合計	2,309		2,278		2,312		2,283		2,302		11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業の評価対象について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型学習に取り組んでいない場合、参加型授業を評価していない場合は、非該当とした。
 5. Cramer's Vは、それぞれ .187, .050, .246, .067, .075, .096, .186, .071, .043であった。

表 51 参加型授業の評価者

項目	度数	%
担当教員（単独）による評価	3,781	85.6
生徒同士による相互評価	1,231	27.9
生徒自身による自己評価	1,006	22.8
授業に参加した複数の教員による評価	883	20.0
活動に関わった学校外の人による評価	50	1.1
その他	30	0.7
有効回答数	4,417	100.0
非該当	6,850	
無回答	217	
合計	11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業の評価者について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型学習に取り組んでいない場合、参加型授業を評価していない場合は、非該当とした。

表 52 参加型授業の評価者

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		合計	
	度数	%	度数	%								
担当教員（単独）による評価	1,020	87.6	828	91.6	375	83.5	722	85.6	836	79.2	3,781	85.6
授業に参加した複数の教員による評価	120	10.3	84	9.3	87	19.4	163	19.3	429	40.6	1,231	27.9
生徒自身による自己評価	368	31.6	166	18.4	74	16.5	158	18.7	240	22.7	1,006	22.8
生徒同士による相互評価	447	38.4	214	23.7	48	10.7	159	18.9	363	34.4	883	20.0
活動に関わった学校外の人による評価	8	0.7	8	0.9	1	0.2	20	2.4	13	1.2	50	1.1
その他	4	0.3	5	0.6	1	0.2	1	0.1	19	1.8	30	0.7
有効回答数	1,165	100.0	904	100.0	449	100.0	843	100.0	1,056	100.0	4,417	100.0
非該当	1,128		1,324		1,832		1,386		1,180		6,850	
無回答	16		50		31		54		66		217	
合計	2,309		2,278		2,312		2,283		2,302		11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業の評価者について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型学習に取り組んでいない場合、参加型授業を評価していない場合は、非該当とした。
 5. Cramer' s Vは、それぞれ .122, .305, .133, .210, .061, .085であった。

教科における授業のカリキュラム改善については、全体の 61.3%が「教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている」と回答し、「客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている」のは全体の 17.3%にとどまった。また、「評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない」のは全体の 21.3%であり、数学科では 30.5%にのぼった。

評価・改善の根拠としているものは、全体では「生徒の学習成果」(66.9%)で最も多く、「生徒による授業評価」(54.4%)、「自身による授業の実践記録の評価」(44.4%)と続いた。教科による違いでは、「自校の教員による授業評価」が外国語で 45.6%と、相対的に多かった。

表 53 教科主任による参加型授業のカリキュラム評価・改善

項目	度数	%
評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない	1,016	21.4
教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	2,915	61.3
客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	825	17.3
有効回答数	4,756	100.0
非該当	6,351	
無効回答	10	
無回答	367	
合計	11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業のカリキュラム評価・改善について、選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。
 3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。

表 54 参加型授業のカリキュラム評価・改善

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		合計	
	度数	%	度数	%								
評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない	253	21.9	194	20.3	178	30.8	196	20.7	195	17.3	1,016	21.4
教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	706	61.1	594	62.3	313	54.2	599	63.4	703	62.5	2,915	61.3
客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	196	17.0	166	17.4	86	14.9	150	15.9	227	20.2	825	17.3
有効回答数	1,155	100.0	954	100.0	577	100.0	945	100.0	1,125	100.0	4,756	100.0
非該当	1,056		1,249		1,683		1,266		1,097		6,351	
無効回答	2		6		0		0		2		10	
無回答	96		69		52		72		78		367	
合計	2,309		2,278		2,312		2,283		2,302		11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業のカリキュラム評価・改善について、選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。
 3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
 4. Cramer's V=.069であった。

表 55 教科主任による参加型授業のカリキュラム評価・改善の根拠

項目	度数	%
生徒の学習成果	2,617	66.7
生徒による授業評価	2,132	54.3
自身による授業の実践記録の評価	1,738	44.3
自校の教員による授業評価	1,465	37.3
保護者による授業評価	184	4.7
他校の教員や大学の研究者による授業評価	169	4.3
その他	38	1.0
有効回答数	3,925	100.0
非該当	7,367	
無回答	192	
合計	11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業のカリキュラム評価・改善の根拠について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型学習に取り組んでいない場合、カリキュラム改善していない場合は、非該当とした。

表 56 参加型授業のカリキュラム評価・改善の根拠

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		合計	
	度数	%	度数	%								
生徒の学習成果	652	65.9	515	65.0	280	66.7	502	65.1	668	70.2	2,617	66.7
生徒による授業評価	535	54.0	445	56.2	216	51.4	438	56.8	498	52.3	2,132	54.3
自身による授業の実践記録の評価	468	47.3	374	47.2	164	39.0	362	47.0	370	38.9	1,738	44.3
自校の教員による授業評価	338	34.1	263	33.2	162	38.6	270	35.0	432	45.4	1,465	37.3
保護者による授業評価	37	3.7	34	4.3	20	4.8	30	3.9	63	6.6	184	4.7
他校の教員や大学の研究者による授業評価	28	2.8	22	2.8	13	3.1	45	5.8	61	6.4	169	4.3
その他	7	0.7	6	0.8	1	0.2	10	1.3	14	1.5	38	1.0
有効回答数	990		792		420		771		952		3,925	100.0
非該当	1,309		1,443		1,861		1,462		1,292		7,367	
無回答	10		43		31		50		58		192	
合計	2,309		2,278		2,312		2,283		2,302		11,484	

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 参加型授業のカリキュラム評価・改善の根拠について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型学習に取り組んでいない場合、カリキュラム改善していない場合は、非該当とした。
 5. Cramer's Vは、それぞれ .043, .039, .077, .101, .050, .081, .042であった。

2.10. 参加型授業実施上の悩み

アクティブラーニングの視点に立った参加型授業を実施する上での悩み（困難や課題、不安）に関する各項目について、「1. あてはまらない」から「5. あてはまる」までの選択肢のうち、あてはまるものを1つずつ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。5段階のリッカート尺度とみなして1～5点で得点化し、集計を行った。

その結果、学校代表者では、「授業前後の教員の負担が増加する」(M=3.75, SD=0.875)、「必要な施設・設備が足りない」(M=3.60, SD=1.099)、「授業の時数が足りない」(M=3.52, SD=1.015)、「教員の授業スキルが不足している」(M=3.52, SD=0.917)、「予算が足りない」(M=3.43, SD=1.083)が上位に挙げられた。また、「保護者の理解が得られない」(M=2.22, SD=0.837)、「生徒の理解が得られない」(M=2.23, SD=0.834)、「生徒の集中力が低下する」(M=2.40, SD=0.928)、「生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が低下する」(M=2.46, SD=0.914)、「参加型学習をしても生徒の思考が活性化しない」(M=2.56, SD=0.901)が下位に挙げられた。

一方、教科主任では、「授業前後の教員の負担が増加する」(M=3.76, SD=1.040)、「授業の進度が遅くなる」(M=3.73, SD=1.102)、「授業の時数が足りない」(M=3.63, SD=1.148)、「生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい」(M=3.45, SD=1.054)、「各教員の授業の進度にばらつきが生じる」(M=3.37, SD=1.140)が上位に挙げられた。また、「保護者の理解が得られない」(M=2.25, SD=0.900)、「生徒の理解が得られない」(M=2.28, SD=0.923)、「生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が低下する」(M=2.46, SD=1.005)、「教員が参加型学習の必要性を感じていない」(M=2.50, SD=1.000)、「教員間で参加型学習の是非に関する葛藤や対立がある」(M=2.50, SD=1.095)、「生徒の集中力が低下する」(M=2.50, SD=1.031)が下位に挙げられた。

学校代表者、教科主任ともに、教員の負担が増加することを最も懸念している点は共通しているが、その他の悩みはやや異なり、職階による特徴が見られた。

参加型授業実施上の悩みの上位3つは、全体では「授業前後の教員の負担が増加する」(M=3.76, SD=1.040)、「授業の進度が遅くなる」(M=3.73, SD=1.102)、「授業の時数が足りない」(M=3.63, SD=1.148)であった。また、尺度の中央値である3点を上回る項目は、「授業の進度が遅くなる」「各教員の授業の進度にばらつきが生じる」「各教員の授業内容にばらつきが生じる」「参加型学習になじめない生徒やついてこられない生徒がいる」「授業中の教員の負担が増加する」「授業前後の教員の負担が増加する」「予算が足りない」「必要な施設・設備が足りない」「授業の時数が足りない」「生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい」「教員の授業スキルが不足している」であり、各高等学校の教員は参加型授業を実施する上で、これらの悩みを抱えているといえる。一方で、「生徒の教科における学業成績（学内考査など）が低下する」「教員が参加型学習の必要性を感じていない」などは平均値が低く（それぞれM=2.46, SD=1.005; M=2.50, SD=1.000）、少なくとも参加型授業に取り組んでいる学校においてはこれらの悩みはあまり感じていないことがわかった。

悩みについても全体として教科による大きな違いは見られなかったが、「必要な施設・設備が足りない」「予算が足りない」「授業の時数が足りない」「授業中の教員の負担が増加する」「授業前後の教員の負担が増加する」などの悩みは、他の教科に比べて数学科では値が低かった。数学科の教員は、参加型授業を実施することで生じた困難や課題、不安については、他の教科の教員に比べて小さい傾向にあると言える。

表 57 学校代表者による参加型授業の悩み

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
教育効果に関する悩み	1,320	2.57	0.884	1,005	46	2,371
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	1,321	2.46	0.914	1,005	45	2,371
受験に必要な学力に結びつかない	1,320	2.69	0.988	1,005	46	2,371
授業の進度に関する悩み	1,317	3.25	0.919	1,005	49	2,371
授業の進度が遅くなる	1,322	3.38	1.030	1,005	44	2,371
各教員の授業の進度にばらつきが 生じる	1,320	3.18	1.028	1,005	46	2,371
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	1,318	3.19	1.024	1,005	48	2,371
生徒の学習態度に関する悩み	1,318	2.68	0.793	1,005	48	2,371
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	1,320	2.73	1.023	1,005	46	2,371
生徒の集中力が低下する	1,319	2.40	0.928	1,005	47	2,371
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこれない生徒がいる	1,320	3.04	0.986	1,005	46	2,371
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	1,321	2.56	0.901	1,005	45	2,371
教員の理解に関する悩み	1,316	2.70	0.891	1,005	50	2,371
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	1,318	2.73	0.958	1,005	48	2,371
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	1,318	2.68	1.024	1,005	48	2,371
教員の負担増加に関する悩み	1,319	3.53	0.820	1,005	47	2,371
授業中の教員の負担が増加する	1,320	3.32	0.953	1,005	46	2,371
授業前後の教員の負担が増加する	1,320	3.75	0.875	1,005	46	2,371
生徒や保護者の理解に関する悩み	1,318	2.22	0.800	1,005	48	2,371
生徒の理解が得られない	1,318	2.23	0.834	1,005	48	2,371
保護者の理解が得られない	1,319	2.22	0.837	1,005	47	2,371
教育資源に関する悩み	1,314	3.52	0.912	1,005	52	2,371
予算が足りない	1,320	3.43	1.083	1,005	46	2,371
必要な施設・設備が足りない	1,317	3.60	1.099	1,005	49	2,371
授業の時数が足りない	1,317	3.52	1.015	1,005	49	2,371
授業方法や評価に関する悩み	1,306	3.28	0.747	1,005	60	2,371
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	1,317	3.37	0.976	1,005	49	2,371
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	1,315	2.94	0.977	1,005	51	2,371
教員の授業スキルが不足している	1,321	3.52	0.917	1,005	45	2,371

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育効果に関する悩み					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が低下する	13	106	594	366	242
受験に必要な学力に結びつかない	29	230	549	327	185
授業の進度に関する悩み					
授業の進度が遅くなる	130	579	352	184	77
各教員の授業の進度にばらつきが生じる	89	468	451	212	100
各教員の授業内容にばらつきが生じる	88	476	449	207	98
生徒の学習態度に関する悩み					
授業内容に関係のない生徒の私語が増える	38	288	436	399	159
生徒の集中力が低下する	14	131	456	481	237
参加型学習になじめない生徒や、ついてこられない生徒がいる	50	437	424	330	79
参加型学習をしても生徒の思考が活性化しない	16	159	537	443	166
教員の理解に関する悩み					
教員が参加型学習の必要性を感じていない	30	243	523	381	141
教員間で参加型学習の是非に関する葛藤や対立がある	36	247	489	354	192
教員の負担増加に関する悩み					
授業中の教員の負担が増加する	105	505	469	186	55
授業前後の教員の負担が増加する	208	714	287	80	31
生徒や保護者の理解に関する悩み					
生徒の理解が得られない	4	55	456	529	274
保護者の理解が得られない	6	46	462	519	286
教育資源に関する悩み					
予算が足りない	245	374	488	136	77
必要な施設・設備が足りない	299	460	355	136	67
授業の時数が足りない	226	467	450	117	57
授業方法や評価に関する悩み					
生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい	117	548	418	173	61
活動に目が向き、何のための活動なのかという目的を見失いがちである	48	337	536	282	112
教員の授業スキルが不足している	155	569	438	121	38

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育効果に関する悩み					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が低下する	13	106	594	366	242
受験に必要な学力に結びつかない	29	230	549	327	185
授業の進捗に関する悩み					
授業の進捗が遅くなる	130	579	352	184	77
各教員の授業の進捗にばらつきが生じる	89	468	451	212	100
各教員の授業内容にばらつきが生じる	88	476	449	207	98
生徒の学習態度に関する悩み					
授業内容に関係のない生徒の私語が増える	38	288	436	399	159
生徒の集中力が低下する	14	131	456	481	237
参加型学習になじめない生徒や、ついてこられない生徒がいる	50	437	424	330	79
参加型学習をしても生徒の思考が活性化しない	16	159	537	443	166
教員の理解に関する悩み					
教員が参加型学習の必要性を感じていない	30	243	523	381	141
教員間で参加型学習の是非に関する葛藤や対立がある	36	247	489	354	192
教員の負担増加に関する悩み					
授業中の教員の負担が増加する	105	505	469	186	55
授業前後の教員の負担が増加する	208	714	287	80	31
生徒や保護者の理解に関する悩み					
生徒の理解が得られない	4	55	456	529	274
保護者の理解が得られない	6	46	462	519	286
教育資源に関する悩み					
予算が足りない	245	374	488	136	77
必要な施設・設備が足りない	299	460	355	136	67
授業の時間が足りない	226	467	450	117	57
授業方法や評価に関する悩み					
生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい	117	548	418	173	61
活動に目が向き、何のための活動なのかという目的を見失いがちである	48	337	536	282	112
教員の授業スキルが不足している	155	569	438	121	38

- (注) 1. 校長調査の結果による。
2. 参加型授業実施上の悩みについて、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
4. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 58 教科主任による教科別参加型授業の悩み

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
教育効果に関する悩み						
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	4,818	2.46	1.004	6,351	315	11,484
受験に必要な学力に結びつかない	4,824	2.75	1.120	6,351	309	11,484
授業の進度に関する悩み						
授業の進度が遅くなる	4,828	3.73	1.101	6,351	305	11,484
各教員の授業の進度にばらつきが 生じる	4,817	3.37	1.139	6,351	316	11,484
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	4,806	3.34	1.124	6,351	327	11,484
生徒の学習態度に関する悩み						
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	4,825	2.94	1.168	6,351	308	11,484
生徒の集中力が低下する	4,818	2.50	1.031	6,351	315	11,484
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこられない生徒がいる	4,828	3.32	1.091	6,351	305	11,484
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	4,817	2.70	0.984	6,351	316	11,484
教員の理解に関する悩み						
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	4,827	2.50	0.999	6,351	306	11,484
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	4,818	2.50	1.095	6,351	315	11,484
教員の負担増加に関する悩み						
授業中の教員の負担が増加する	4,820	3.22	1.124	6,351	313	11,484
授業前後の教員の負担が増加する	4,827	3.76	1.040	6,351	306	11,484
生徒や保護者の理解に関する悩み						
生徒の理解が得られない	4,822	2.29	0.924	6,351	311	11,484
保護者の理解が得られない	4,821	2.26	0.901	6,351	312	11,484
教育資源に関する悩み						
予算が足りない	4,819	3.02	1.221	6,351	314	11,484
必要な施設・設備が足りない	4,818	3.33	1.244	6,351	315	11,484
授業の時数が足りない	4,826	3.63	1.148	6,351	307	11,484
授業方法や評価に関する悩み						
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	4,821	3.45	1.053	6,351	312	11,484
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	4,810	2.88	1.104	6,351	323	11,484
教員の授業スキルが不足している	4,818	3.29	0.996	6,351	315	11,484

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育効果に関する悩み					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が低下する	99	510	1,909	1,276	1,024
受験に必要な学力に結びつかない	267	954	1,699	1,093	811
授業の進度に関する悩み					
授業の進度が遅くなる	1,160	2,214	767	384	303
各教員の授業の進度にばらつきが生じる	664	1,910	1,243	550	450
各教員の授業内容にばらつきが生じる	618	1,840	1,327	591	430
生徒の学習態度に関する悩み					
授業内容に関係のない生徒の私語が増える	381	1,380	1,297	1,125	642
生徒の集中力が低下する	138	656	1,597	1,537	890
参加型学習になじめない生徒や、ついてこれられない生徒がいる	545	1,938	1,190	833	322
参加型学習をしても生徒の思考が活性化しない	137	819	1,913	1,354	594
教員の理解に関する悩み					
教員が参加型学習の必要性を感じていない	99	614	1,777	1,442	895
教員間で参加型学習の是非に関する葛藤や対立がある	167	697	1,616	1,251	1,087
教員の負担増加に関する悩み					
授業中の教員の負担が増加する	607	1,467	1,517	832	397
授業前後の教員の負担が増加する	1,171	2,112	955	386	203
生徒や保護者の理解に関する悩み					
生徒の理解が得られない	48	303	1,752	1,602	1,117
保護者の理解が得られない	42	184	1,927	1,483	1,185
教育資源に関する悩み					
予算が足りない	672	899	1,835	683	730
必要な施設・設備が足りない	959	1,342	1,400	556	561
授業の時間が足りない	1,243	1,600	1,265	391	327
授業方法や評価に関する悩み					
生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい	647	2,036	1,277	577	284
活動に目が向き、何のための活動なのかという目的を見失いがちである	267	1,224	1,630	1,039	650
教員の授業スキルが不足している	468	1,585	1,916	558	291

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 参加型授業実施上の悩みについて、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。

4. カテゴリーは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 59 教科別参加型授業の悩み

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
教育効果に関する悩み									
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	1,170	2.43	0.985	969	2.55	1.004	581	2.38	1.004
受験に必要な学力に結びつかない	1,171	2.68	1.086	972	2.87	1.126	580	2.63	1.132
授業の進度に関する悩み									
授業の進度が遅くなる	1,171	3.73	1.063	973	3.93	1.040	581	3.65	1.159
各教員の授業の進度にばらつきが 生じる	1,170	3.44	1.094	967	3.52	1.115	583	3.31	1.188
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	1,168	3.40	1.080	966	3.48	1.097	580	3.23	1.172
生徒の学習態度に関する悩み									
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	1,170	2.96	1.188	971	2.80	1.142	581	3.04	1.195
生徒の集中力が低下する	1,169	2.53	1.051	970	2.43	1.014	582	2.51	1.031
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこられない生徒がいる	1,172	3.37	1.093	973	3.29	1.077	581	3.27	1.123
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	1,169	2.71	1.004	969	2.73	0.957	582	2.70	0.974
教員の理解に関する悩み									
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	1,171	2.41	1.021	972	2.56	0.995	581	2.60	0.995
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	1,168	2.36	1.115	969	2.61	1.079	581	2.51	1.056
教員の負担増加に関する悩み									
授業中の教員の負担が増加する	1,169	3.20	1.092	971	3.37	1.109	581	3.01	1.156
授業前後の教員の負担が増加する	1,172	3.79	0.996	972	3.85	1.003	581	3.51	1.126
生徒や保護者の理解に関する悩み									
生徒の理解が得られない	1,171	2.20	0.916	970	2.34	0.918	581	2.27	0.946
保護者の理解が得られない	1,172	2.19	0.895	969	2.31	0.902	581	2.22	0.901
教育資源に関する悩み									
予算が足りない	1,170	2.82	1.192	966	3.15	1.200	581	2.69	1.217
必要な施設・設備が足りない	1,170	3.12	1.252	969	3.48	1.199	579	2.93	1.249
授業の時数が足りない	1,172	3.61	1.134	970	3.79	1.079	583	3.43	1.212
授業方法や評価に関する悩み									
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	1,170	3.53	1.059	972	3.52	0.992	582	3.35	1.040
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	1,170	2.88	1.134	967	2.98	1.084	581	2.79	1.078
教員の授業スキルが不足している	1,171	3.35	0.985	970	3.29	0.988	580	3.16	1.035

続き

項目	理科			外国語			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
教育効果に関する悩み									
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	957	2.40	1.002	1,141	2.49	1.020	4,818	2.46	1.004
受験に必要な学力に結びつかない	958	2.65	1.107	1,143	2.85	1.135	4,824	2.75	1.120
授業の進度に関する悩み									
授業の進度が遅くなる	960	3.71	1.156	1,143	3.63	1.092	4,828	3.73	1.101
各教員の授業の進度にばらつきが 生じる	956	3.26	1.179	1,141	3.30	1.130	4,817	3.37	1.139
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	952	3.27	1.142	1,140	3.26	1.137	4,806	3.34	1.124
生徒の学習態度に関する悩み									
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	960	2.93	1.148	1,143	3.02	1.163	4,825	2.94	1.168
生徒の集中力が低下する	956	2.51	1.008	1,141	2.53	1.045	4,818	2.50	1.031
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこれない生徒がいる	957	3.26	1.087	1,145	3.37	1.083	4,828	3.32	1.091
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	955	2.71	0.986	1,142	2.65	0.989	4,817	2.70	0.984
教員の理解に関する悩み									
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	959	2.53	0.977	1,144	2.46	0.993	4,827	2.50	0.999
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	959	2.48	1.068	1,141	2.58	1.114	4,818	2.50	1.095
教員の負担増加に関する悩み									
授業中の教員の負担が増加する	958	3.35	1.138	1,141	3.11	1.112	4,820	3.22	1.124
授業前後の教員の負担が増加する	959	3.85	1.032	1,143	3.70	1.051	4,827	3.76	1.040
生徒や保護者の理解に関する悩み									
生徒の理解が得られない	958	2.32	0.917	1,142	2.30	0.928	4,822	2.29	0.924
保護者の理解が得られない	956	2.29	0.886	1,143	2.27	0.914	4,821	2.26	0.901
教育資源に関する悩み									
予算が足りない	959	3.29	1.209	1,143	3.07	1.213	4,819	3.02	1.221
必要な施設・設備が足りない	957	3.54	1.187	1,143	3.43	1.245	4,818	3.33	1.244
授業の時間が足りない	959	3.87	1.095	1,142	3.41	1.169	4,826	3.63	1.148
授業方法や評価に関する悩み									
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	957	3.41	1.094	1,140	3.41	1.062	4,821	3.45	1.053
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	956	2.82	1.082	1,136	2.89	1.116	4,810	2.88	1.104
教員の授業スキルが不足している	956	3.30	0.990	1,141	3.27	0.997	4,818	3.29	0.996

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

2. 参加型授業実施上の悩みについて、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。

4. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

(注) 教科主任調査の結果による。

図 14 教科別の参加型授業の悩み

2. 11. 参加型授業の悩みの克服方法

参加型授業実施上の悩みの克服方法の上位 3 つは、全体では「授業準備に時間をかける」(M=4.07, SD=0.888)、「授業方法を工夫する(授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など)」(M=3.92, SD=0.908)、「校外での研修会や勉強会への参加を奨励する」(M=3.78, SD=0.954)であった。悩みの最上位が「授業前後の教員の負担が増加する」であったが、これに対して授業準備に時間をかけることで克服していると考えられる。そのため、授業準備に時間をかけられるよう環境を整備することが重要となるだろう。

悩みの克服方法についても、全体として教科による大きな違いは見られなかったが、最も大きな違いがみられた克服方法は「補助教員や実験助手などを配置する」であり、理科において値が高かった(M=3.76, SD=1.159)。

Q25

表 60 学校代表者による参加型授業の悩みの克服方法

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
校外リソースの活用	1,313	3.89	0.715	1,005	53	2,371
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	1,317	4.13	0.757	1,005	49	2,371
他校の教員との交流を促進する	1,314	3.86	0.855	1,005	52	2,371
大学の研究者等から助言をもらう	1,313	3.70	0.927	1,005	53	2,371
校内研修や同僚との学習	1,309	3.84	0.665	1,005	57	2,371
校内での研修会や勉強会で取り扱う	1,316	4.09	0.819	1,005	50	2,371
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	1,316	3.65	0.896	1,005	50	2,371
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	1,312	3.59	0.922	1,005	54	2,371
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	1,316	3.92	0.812	1,005	50	2,371
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	1,317	3.93	0.814	1,005	49	2,371
関係者の理解獲得	1,307	3.09	0.758	1,005	59	2,371
生徒の提案を受け入れる	1,313	3.00	0.901	1,005	53	2,371
保護者の理解を得る	1,313	3.12	0.972	1,005	53	2,371
企業と連携する	1,310	3.16	1.044	1,005	56	2,371
授業・評価方法の工夫	1,314	3.78	0.869	1,005	52	2,371
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	1,314	3.78	0.869	1,005	52	2,371
公的支援の獲得	1,303	3.36	0.978	1,005	63	2,371
補助金や助成金を獲得する	1,309	3.50	1.097	1,005	57	2,371
国や自治体の方針として示してもらう	1,306	3.22	1.091	1,005	60	2,371
リソースの整備	1,311	3.44	0.909	1,005	55	2,371
補助教員や実験助手などを配置する	1,313	3.09	1.188	1,005	53	2,371
複数教員による授業を実施する	1,312	3.45	1.074	1,005	54	2,371
教員の他の事務的作業を軽減する	1,318	3.77	1.087	1,005	48	2,371

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
校外リソースの活用					
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	411	706	167	20	13
他校の教員との交流を促進する	278	667	294	52	23
大学の研究者等から助言をもらう	243	579	377	80	34
校内研修や同僚との学習					
校内での研修会や勉強会で取り扱う	418	673	173	33	19
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	182	651	366	77	40
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	170	615	389	93	45
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	286	718	251	42	19
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	300	705	252	43	17
関係者の理解獲得					
生徒の提案を受け入れる	54	283	676	211	89
保護者の理解を得る	103	318	610	200	82
企業と連携する	118	370	541	168	113
授業・評価方法の工夫					
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	254	626	350	61	23
公的支援の獲得					
補助金や助成金を獲得する	269	394	446	123	77
国や自治体の方針として示してもらう	175	316	555	146	114
リソースの整備					
補助教員や実験助手などを配置する	130	416	388	197	182
複数教員による授業を実施する	178	555	364	115	100
教員の他の事務的作業を軽減する	362	520	278	87	71

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
校外リソースの活用					
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	411	706	167	20	13
他校の教員との交流を促進する	278	667	294	52	23
大学の研究者等から助言をもらう	243	579	377	80	34
校内研修や同僚との学習					
校内での研修会や勉強会で取り扱う	418	673	173	33	19
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	182	651	366	77	40
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	170	615	389	93	45
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	286	718	251	42	19
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	300	705	252	43	17
関係者の理解獲得					
生徒の提案を受け入れる	54	283	676	211	89
保護者の理解を得る	103	318	610	200	82
企業と連携する	118	370	541	168	113
授業・評価方法の工夫					
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	254	626	350	61	23
公的支援の獲得					
補助金や助成金を獲得する	269	394	446	123	77
国や自治体の方針として示してもらう	175	316	555	146	114
リソースの整備					
補助教員や実験助手などを配置する	130	416	388	197	182
複数教員による授業を実施する	178	555	364	115	100
教員の他の事務的作業を軽減する	362	520	278	87	71

- (注) 1. 校長調査の結果による。
2. 参加型授業実施上の悩みの克服方法について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。
 3. 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
 4. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 61 教科主任による参加型授業の悩みの克服方法

項目	度数	平均値	標準偏差	非該当	無回答 無効回答	合計
校外リソースの活用						
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	4,810	3.78	0.954	6,351	323	11,486
他校の教員との交流を促進する	4,796	3.65	0.955	6,351	337	11,486
大学の研究者等から助言をもらう	4,794	3.41	1.027	6,351	339	11,486
校内研修や同僚との学習						
校内での研修会や勉強会で取り扱う	4,796	3.72	0.994	6,351	337	11,486
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	4,789	3.60	0.995	6,351	344	11,486
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	4,793	3.53	1.019	6,351	340	11,486
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	4,791	3.74	0.945	6,351	342	11,486
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	4,790	3.75	0.932	6,351	343	11,486
関係者の理解獲得						
生徒の提案を受け入れる	4,793	3.19	0.901	6,351	340	11,486
管理職の理解が得られるよう働きかける	4,782	2.98	1.065	6,351	351	11,486
保護者の理解を得る	4,792	2.88	1.039	6,351	341	11,486
企業と連携する	4,794	2.81	1.079	6,351	339	11,486
授業・評価方法の工夫						
授業準備に時間をかける	4,793	4.07	0.888	6,351	340	11,486
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	4,785	3.92	0.908	6,351	348	11,486
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	4,788	3.77	0.901	6,351	345	11,486
公的支援の獲得						
補助金や助成金を獲得する	4,799	3.18	1.179	6,351	334	11,486
国や自治体の方針として示してもらう	4,795	2.91	1.145	6,351	338	11,486
リソースの整備						
補助教員や実験助手などを配置する	4,777	3.02	1.284	6,351	356	11,486
複数教員による授業を実施する	4,789	3.24	1.169	6,351	344	11,486
教員の他の事務的作業を軽減する	4,793	4.09	1.084	6,351	340	11,486

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
校外リソースの活用					
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	1,070	2,125	1,251	195	169
他校の教員との交流を促進する	839	2,050	1,477	244	186
大学の研究者等から助言をもらう	658	1,656	1,791	389	300
校内研修や同僚との学習					
校内での研修会や勉強会で取り扱う	1,020	2,097	1,216	260	203
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	798	2,050	1,382	341	218
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	745	1,925	1,480	391	252
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	944	2,228	1,230	216	173
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	950	2,209	1,264	211	156
関係者の理解獲得					
生徒の提案を受け入れる	313	1,310	2,417	502	251
管理職の理解が得られるよう働きかける	411	869	2,269	674	559
保護者の理解を得る	318	771	2,335	757	611
企業と連携する	288	803	2,172	774	757
授業・評価方法の工夫					
授業準備に時間をかける	1,695	2,064	813	138	83
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	1,297	2,161	1,073	135	119
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	975	2,180	1,320	195	118
公的支援の獲得					
補助金や助成金を獲得する	733	1,066	1,904	520	576
国や自治体の方針として示してもらう	481	749	2,200	605	760
リソースの整備					
補助教員や実験助手などを配置する	661	1,173	1,345	779	819
複数教員による授業を実施する	625	1,568	1,436	633	527
教員の他の事務的作業を軽減する	2,164	1,566	638	191	234

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

- 参加型授業実施上の悩みの克服方法について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 62 教科別参加型授業の悩みの克服方法

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
校外リソースの活用									
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	1,167	3.74	0.975	967	3.76	0.972	578	3.60	1.066
他校の教員との交流を促進する	1,165	3.59	0.982	964	3.65	0.950	576	3.52	1.021
大学の研究者等から助言をもらう	1,164	3.34	1.045	962	3.38	1.024	576	3.26	1.093
校内研修や同僚との学習									
校内での研修会や勉強会で取り扱う	1,163	3.74	0.990	964	3.68	1.008	575	3.65	1.058
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	1,163	3.61	0.976	962	3.69	0.969	576	3.41	1.074
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	1,164	3.49	1.015	964	3.62	1.008	576	3.32	1.106
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	1,163	3.75	0.947	962	3.72	0.960	574	3.61	1.022
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	1,162	3.77	0.909	963	3.74	0.940	575	3.69	0.987
関係者の理解獲得									
生徒の提案を受け入れる	1,164	3.17	0.898	963	3.25	0.860	575	3.10	0.953
管理職の理解が得られるよう働きかける	1,161	2.82	1.090	961	3.03	0.999	574	2.85	1.073
保護者の理解を得る	1,163	2.77	1.085	963	2.98	1.017	576	2.76	1.036
企業と連携する	1,165	2.63	1.071	962	2.96	1.066	576	2.61	1.074
授業・評価方法の工夫									
授業準備に時間をかける	1,164	4.09	0.878	964	4.19	0.838	573	3.86	0.960
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	1,160	3.89	0.907	963	3.95	0.910	574	3.75	0.975
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	1,163	3.80	0.880	960	3.77	0.860	573	3.54	0.995
公的支援の獲得									
補助金や助成金を獲得する	1,166	2.94	1.174	961	3.24	1.159	577	2.95	1.214
国や自治体の方針として示してもらう	1,165	2.70	1.121	964	2.90	1.134	576	2.81	1.186
リソースの整備									
補助教員や実験助手などを配置する	1,164	2.68	1.254	959	2.74	1.187	573	2.75	1.199
複数教員による授業を実施する	1,164	3.11	1.185	958	2.98	1.147	575	3.15	1.179
教員の他の事務的作業を軽減する	1,163	4.02	1.131	965	4.11	1.081	574	3.92	1.167

続き

項目	理科			外国語			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
校外リソースの活用									
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	957	3.75	0.919	1,141	3.94	0.861	4,810	3.78	0.954
他校の教員との交流を促進する	954	3.67	0.921	1,137	3.76	0.913	4,796	3.65	0.955
大学の研究者等から助言をもらう	955	3.50	0.988	1,137	3.52	0.993	4,794	3.41	1.027
校内研修や同僚との学習									
校内での研修会や勉強会で取り扱う	956	3.63	1.003	1,138	3.87	0.928	4,796	3.72	0.994
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	954	3.44	1.017	1,134	3.75	0.940	4,789	3.60	0.995
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	953	3.36	1.028	1,136	3.73	0.932	4,793	3.53	1.019
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	955	3.68	0.934	1,137	3.87	0.882	4,791	3.74	0.945
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	955	3.68	0.949	1,135	3.82	0.900	4,790	3.75	0.932
関係者の理解獲得									
生徒の提案を受け入れる	954	3.20	0.885	1,137	3.22	0.919	4,793	3.19	0.901
管理職の理解が得られるよう働きかける	950	3.09	1.037	1,136	3.07	1.086	4,782	2.98	1.065
保護者の理解を得る	954	2.92	0.988	1,136	2.93	1.040	4,792	2.88	1.039
企業と連携する	954	3.08	1.041	1,137	2.74	1.071	4,794	2.81	1.079
授業・評価方法の工夫									
授業準備に時間をかける	956	4.09	0.861	1,136	4.06	0.905	4,793	4.07	0.888
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	953	3.82	0.913	1,135	4.07	0.842	4,785	3.92	0.908
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	956	3.66	0.927	1,136	3.96	0.846	4,788	3.77	0.901
公的支援の獲得									
補助金や助成金を獲得する	955	3.45	1.109	1,140	3.27	1.174	4,799	3.18	1.179
国や自治体の方針として示してもらう	950	3.08	1.087	1,140	3.07	1.162	4,795	2.91	1.145
リソースの整備									
補助教員や実験助手などを配置する	953	3.76	1.160	1,128	3.10	1.266	4,777	3.02	1.284
複数教員による授業を実施する	954	3.47	1.109	1,138	3.43	1.148	4,789	3.24	1.169
教員の他の事務的作業を軽減する	955	4.19	0.982	1,136	4.16	1.061	4,793	4.09	1.084

(注) 1. 教科主任調査の結果による。

- 参加型授業実施上の悩みの克服方法について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- 参加型学習に取り組んでいない場合は、非該当とした。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

(注) 教科主任調査の結果による。

図 15 教科別参加型授業の悩みの克服方法

2. 12. 科目別の参加型授業の実施状況

国語科

国語科における科目別・学年別の参加型授業の実施状況を表 26～表 37 に示した。また、平均的な学校における実施率（中央値）を図 15 に示した。

国語科では、国語表現における参加型授業の実施率が高かった。特に 3 年生時の国語表現においては 50～75% とかなり高い割合の授業で参加型授業が実施されていた。

なお、教科や科目によって本調査における参加型授業の定義の当てはまりやすさには違いがあるため、これらのデータには解釈の余地があることに留意されたい。あくまで本調査における参加型授業の定義にあてはまると回答者が判断した授業の主観的な割合であることを付記しておく。単純に「何%の授業で参加型授業を行っているか」が重要なのではなく、p. 43 の指摘のように「生徒にどのような力を身につけてもらいたいかが教員が意識すること」や「そのねらいと合致した学習活動を授業に取り入れること」などが、アクティブラーニングにとって重要であると考えられる。

	1年	2年	3年	
国語総合	10～25% (2, 155)	10～25% (276)	1～10% (153)	0%
国語表現	10～25% (97)	50～75% (368)	75～100% (925)	1～10%
現代文A・B	1～10% (149)	10～25% (2, 087)	10～25% (2, 016)	10～25%
古典A・B	1～10% (154)	10～25% (1, 977)	10～25% (1, 899)	50～75%
				75～100%

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
2. 各科目で行われているすべての授業のうち「参加型学習」を取り入れた授業がどの程度の割合で実施されているかについて、「0%の授業で取り入れている（全く実施されていない）」「およそ 10%未満の授業で取り入れている」「およそ 10%以上 25%未満の授業が取り入れている」「およそ 25%以上 50%未満の授業が取り入れている」「およそ 50%以上 75%未満の授業が取り入れている」「およそ 75%以上の授業が取り入れている」「授業が設置されていない」の選択肢からあてはまるものを 1 つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. 括弧（ ）内は、授業を設置している学校の数を示している。

図 16 国語科における科目別・学年別の参加型授業の実施状況

表 63 参加型授業実施状況（国語総合 1 年）

国語総合 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	256	11.9
1~10%	473	21.9
10%~25%	489	22.7
25%~50%	358	16.6
50%~75%	340	15.8
75%~100%	239	11.1
有効回答数	2,155	100.0
授業が設置されていない	12	
無効回答	18	
無回答	124	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 64 参加型授業実施状況（国語総合 2 年）

国語総合 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	58	21.0
1~10%	76	27.5
10%~25%	63	22.8
25%~50%	23	8.3
50%~75%	28	10.1
75%~100%	28	10.1
有効回答数	276	100.0
授業が設置されていない	1,908	
無効回答	9	
無回答	116	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 65 参加型授業実施状況（国語総合 3 年）

国語総合 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	52	34.0
1~10%	43	28.1
10%~25%	22	14.4
25%~50%	8	5.2
50%~75%	13	8.5
75%~100%	15	9.8
有効回答数	153	100.0
授業が設置されていない	2,033	
無効回答	9	
無回答	114	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 66 参加型授業実施状況（国語表現 1 年）

国語表現 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	26	34.0
1~10%	21	28.1
10%~25%	11	14.4
25%~50%	8	5.2
50%~75%	17	8.5
75%~100%	14	9.8
有効回答数	97	100.0
授業が設置されていない	1,492	
無効回答	10	
無回答	710	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 67 参加型授業実施状況（国語表現 2 年）

国語表現 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	48	13.0
1~10%	39	10.6
10%~25%	34	9.2
25%~50%	67	18.2
50%~75%	77	20.9
75%~100%	103	28.0
有効回答数	368	100.0
授業が設置されていない	1,224	
無効回答	7	
無回答	710	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 68 参加型授業実施状況（国語表現 3 年）

国語表現 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	91	9.8
1~10%	80	8.6
10%~25%	96	10.4
25%~50%	134	14.5
50%~75%	185	20.0
75%~100%	339	36.6
有効回答数	925	100.0
授業が設置されていない	664	
無効回答	14	
無回答	706	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 69 参加型授業実施状況（現代文A・B1年）

現代文A・B 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	48	32.2
1~10%	47	31.5
10%~25%	18	12.1
25%~50%	13	8.7
50%~75%	12	8.1
75%~100%	11	7.4
有効回答数	149	100.0
授業が設置されていない	2,025	
無効回答	9	
無回答	126	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 70 参加型授業実施状況（現代文A・B2年）

現代文A・B 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	281	13.5
1~10%	487	23.3
10%~25%	490	23.5
25%~50%	352	16.9
50%~75%	272	13.0
75%~100%	205	9.8
有効回答数	2,087	100.0
授業が設置されていない	87	
無効回答	13	
無回答	122	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 71 参加型授業実施状況（現代文A・B3年）

現代文A・B 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	362	18.0
1~10%	517	25.6
10%~25%	428	21.2
25%~50%	289	14.3
50%~75%	224	11.1
75%~100%	196	9.7
有効回答数	2,016	100.0
授業が設置されていない	146	
無効回答	22	
無回答	125	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 72 参加型授業実施状況（古典A・B1年）

古典A・B 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	64	41.6
1~10%	43	27.9
10%~25%	22	14.3
25%~50%	8	5.2
50%~75%	7	4.5
75%~100%	10	6.5
有効回答数	154	100.0
授業が設置されていない	1,969	
無効回答	14	
無回答	172	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 73 参加型授業実施状況（古典A・B2年）

古典A・B 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	411	20.8
1~10%	565	28.6
10%~25%	389	19.7
25%~50%	279	14.1
50%~75%	182	9.2
75%~100%	151	7.6
有効回答数	1,977	100.0
授業が設置されていない	131	
無効回答	34	
無回答	167	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

表 74 参加型授業実施状況（古典A・B3年）

古典A・B 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	472	24.9
1~10%	548	28.9
10%~25%	351	18.5
25%~50%	233	12.3
50%~75%	165	8.7
75%~100%	130	6.8
有効回答数	1,899	100.0
授業が設置されていない	201	
無効回答	39	
無回答	170	
合計	2,309	

（注）教科主任調査の結果による。

地歴・公民

地歴・公民科における科目別・学年別のALの視点に立った参加型授業の実施状況を表38～表55に示した。また、平均的な学校における実施率（中央値）を図16に示した。

地歴・公民科では、どの科目でも全体的に1～10%の授業で参加型授業が実施されていた。1年生時の現代社会において10～25%とやや高い割合の授業で参加型授業が実施されていた。

なお、教科や科目によって本調査における参加型授業の定義の当てはまりやすさには違いがあるため、これらのデータには解釈の余地があることに留意されたい。あくまで本調査における参加型授業の定義にあてはまると回答者が判断した授業の主観的な割合であることを付記しておく。単純に「何%の授業で参加型授業を行っているか」が重要なのではなく、p43の指摘のように「生徒にどのような力を身につけてもらいたいかが教員が意識すること」や「そのねらいと合致した学習活動を授業に取り入れること」などが、アクティブラーニングにとって重要であると考えられる。

科目	1年	2年	3年
世界史A・B	1～10% (992)	1～10% (1,590)	1～10% (1,440)
日本史A・B	1～10% (373)	1～10% (1,743)	1～10% (1,768)
地理A・B	1～10% (417)	1～10% (1,384)	1～10% (1,413)
現代社会	10～25% (1,244)	1～10% (508)	1～10% (706)
倫理	1～10% (153)	1～10% (388)	1～10% (905)
政治経済	1～10% (153)	1～10% (402)	1～10% (1,459)

0%
1～10%
10～25%
50～75%
75～100%

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
2. 各科目で行われているすべての授業のうち「参加型学習」を取り入れた授業がどの程度の割合で実施されているかについて、「0%の授業で取り入れている（全く実施されていない）」「およそ10%未満の授業で取り入れている」「およそ10%以上25%未満の授業が取り入れている」「およそ25%以上50%未満の授業が取り入れている」「およそ50%以上75%未満の授業が取り入れている」「およそ75%以上の授業が取り入れている」「授業が設置されていない」の選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. 括弧（ ）内は、授業を設置している学校の数を示している。

図17 地歴・公民科における科目別・学年別の参加型授業の実施状況

表 75 参加型授業実施状況（世界史A・B 1年）

世界史A・B 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	349	35.2
1~10%	284	28.6
10%~25%	141	14.2
25%~50%	85	8.6
50%~75%	56	5.6
75%~100%	77	7.8
有効回答数	992	100.0
授業が設置されていない	1,055	
無効回答	34	
無回答	197	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 76 参加型授業実施状況（世界史A・B 2年）

世界史A・B 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	530	33.3
1~10%	451	28.4
10%~25%	236	14.8
25%~50%	165	10.4
50%~75%	99	6.2
75%~100%	109	6.9
有効回答数	1,590	100.0
授業が設置されていない	442	
無効回答	45	
無回答	201	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 77 参加型授業実施状況（世界史A・B 3年）

世界史A・B 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	559	38.8
1~10%	421	29.2
10%~25%	186	12.9
25%~50%	102	7.1
50%~75%	78	5.4
75%~100%	94	6.5
有効回答数	1,440	100.0
授業が設置されていない	588	
無効回答	49	
無回答	201	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 78 参加型授業実施状況（日本史 A・B 1 年）

日本史 A・B 1 年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	153	41.0
1~10%	109	29.2
10%~25%	50	13.4
25%~50%	29	7.8
50%~75%	17	4.6
75%~100%	15	4.0
有効回答数	373	100.0
授業が設置されていない	1,666	
無効回答	19	
無回答	220	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 79 参加型授業実施状況（日本史 A・B 2 年）

日本史 A・B 2 年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	613	35.2
1~10%	464	26.6
10%~25%	270	15.5
25%~50%	187	10.7
50%~75%	103	5.9
75%~100%	106	6.1
有効回答数	1,743	100.0
授業が設置されていない	258	
無効回答	54	
無回答	223	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 80 参加型授業実施状況（日本史 A・B 3 年）

日本史 A・B 3 年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	670	37.9
1~10%	506	28.6
10%~25%	251	14.2
25%~50%	173	9.8
50%~75%	78	4.4
75%~100%	90	5.1
有効回答数	1,768	100.0
授業が設置されていない	229	
無効回答	57	
無回答	224	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 81 参加型授業実施状況（地理 A・B 1 年）

地理 A・B 1 年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	120	28.8
1~10%	114	27.3
10%~25%	76	18.2
25%~50%	44	10.6
50%~75%	24	5.8
75%~100%	39	9.4
有効回答数	417	100.0
授業が設置されていない	1,510	
無効回答	19	
無回答	332	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 82 参加型授業実施状況（地理 A・B 2 年）

地理 A・B 2 年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	446	32.2
1~10%	351	25.4
10%~25%	232	16.8
25%~50%	138	10.0
50%~75%	93	6.7
75%~100%	124	9.0
有効回答数	1,384	100.0
授業が設置されていない	531	
無効回答	30	
無回答	333	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 83 参加型授業実施状況（地理 A・B 3 年）

地理 A・B 3 年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	478	33.8
1~10%	361	25.5
10%~25%	234	16.6
25%~50%	139	9.8
50%~75%	87	6.2
75%~100%	114	8.1
有効回答数	1,413	100.0
授業が設置されていない	497	
無効回答	33	
無回答	335	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 84 参加型授業実施状況（現代社会 1年）

現代社会 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	307	24.7
1~10%	270	21.7
10%~25%	257	20.7
25%~50%	176	14.1
50%~75%	89	7.2
75%~100%	145	11.7
有効回答数	1,244	100.0
授業が設置されていない	700	
無効回答	30	
無回答	304	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 85 参加型授業実施状況（現代社会 2年）

現代社会 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	142	28.0
1~10%	140	27.6
10%~25%	88	17.3
25%~50%	57	11.2
50%~75%	29	5.7
75%~100%	52	10.2
有効回答数	508	100.0
授業が設置されていない	1,459	
無効回答	18	
無回答	293	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 86 参加型授業実施状況（現代社会 3年）

現代社会 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	240	34.0
1~10%	181	25.6
10%~25%	96	13.6
25%~50%	81	11.5
50%~75%	40	5.7
75%~100%	68	9.6
有効回答数	706	100.0
授業が設置されていない	1,257	
無効回答	20	
無回答	295	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 87 参加型授業実施状況（倫理 1 年）

倫理 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	55	35.9
1~10%	44	28.8
10%~25%	22	14.4
25%~50%	15	9.8
50%~75%	7	4.6
75%~100%	10	6.5
有効回答数	153	100.0
授業が設置されていない	1,447	
無効回答	15	
無回答	663	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 88 参加型授業実施状況（倫理 2 年）

倫理 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	135	34.8
1~10%	97	25.0
10%~25%	59	15.2
25%~50%	33	8.5
50%~75%	27	7.0
75%~100%	37	9.5
有効回答数	388	100.0
授業が設置されていない	1,205	
無効回答	20	
無回答	665	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 89 参加型授業実施状況（倫理 3 年）

倫理 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	331	36.6
1~10%	228	25.2
10%~25%	127	14.0
25%~50%	76	8.4
50%~75%	50	5.5
75%~100%	93	10.3
有効回答数	905	100.0
授業が設置されていない	682	
無効回答	33	
無回答	658	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 90 参加型授業実施状況（政治経済 1 年）

政治経済 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	55	35.9
1~10%	47	30.7
10%~25%	17	11.1
25%~50%	15	9.8
50%~75%	8	5.2
75%~100%	11	7.2
有効回答数	153	100.0
授業が設置されていない	1,693	
無効回答	9	
無回答	423	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 91 参加型授業実施状況（政治経済 2 年）

政治経済 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	132	32.8
1~10%	99	24.6
10%~25%	71	17.7
25%~50%	38	9.5
50%~75%	22	5.5
75%~100%	40	10.0
有効回答数	402	100.0
授業が設置されていない	1,436	
無効回答	16	
無回答	424	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

表 92 参加型授業実施状況（政治経済 3 年）

政治経済 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	475	32.6
1~10%	388	26.6
10%~25%	221	15.1
25%~50%	144	9.9
50%~75%	77	5.3
75%~100%	154	10.6
有効回答数	1,459	100.0
授業が設置されていない	236	
無効回答	36	
無回答	547	
合計	2,278	

（注）教科主任調査の結果による。

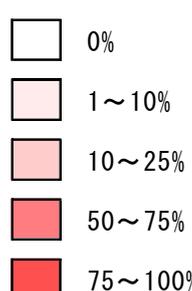
数学

数学科における科目別・学年別のALの視点に立った参加型授業の実施状況を表56～表73に示した。また、平均的な学校における実施率（中央値）を図17に示した。

数学科における参加型授業の実施率の中央値は、全体的に1～10%と、やや低めの値を示した。また、多くの学校において学年によっては参加型授業が全く実施されていないという科目も散見された。

なお、教科や科目によって本調査における参加型授業の定義の当てはまりやすさには違いがあるため、これらのデータには解釈の余地があることに留意されたい。あくまで本調査における参加型授業の定義にあてはまると回答者が判断した授業の主観的な割合であることを付記しておく。単純に「何%の授業で参加型授業を行っているか」が重要なのではなく、p43の指摘のように「生徒にどのような力を身につけてもらいたいかが教員が意識すること」や「そのねらいと合致した学習活動を授業に取り入れること」などが、アクティブラーニングにとって重要であると考えられる。

科目	1年	2年	3年
数学I	1～10% (2,074)	0% (249)	0% (248)
数学II	1～10% (507)	1～10% (1,998)	0% (807)
数学III	0% (135)	1～10% (447)	1～10% (1,738)
数学A	1～10% (1,855)	0% (501)	0% (420)
数学B	0% (178)	1～10% (1,786)	0% (794)
数学活用	0% (35)	0% (62)	1～10% (206)



0%
1～10%
10～25%
50～75%
75～100%

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
2. 各科目で行われているすべての授業のうち「参加型学習」を取り入れた授業がどの程度の割合で実施されているかについて、「0%の授業で取り入れている（全く実施されていない）」「およそ10%未満の授業で取り入れている」「およそ10%以上25%未満の授業が取り入れている」「およそ25%以上50%未満の授業が取り入れている」「およそ50%以上75%未満の授業が取り入れている」「およそ75%以上の授業が取り入れている」「授業が設置されていない」の選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. 括弧（ ）内は、授業を設置している学校の数を示している。

図18 数学科における科目別・学年別の参加型授業の実施状況

表 93 参加型授業実施状況（数学Ⅰ 1年）

数学Ⅰ 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	766	36.9
1~10%	535	25.8
10%~25%	307	14.8
25%~50%	211	10.2
50%~75%	163	7.9
75%~100%	92	4.4
有効回答数	2,074	100.0
授業が設置されていない	44	
無効回答	55	
無回答	139	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 94 参加型授業実施状況（数学Ⅰ 2年）

数学Ⅰ 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	150	60.2
1~10%	53	21.3
10%~25%	16	6.4
25%~50%	10	4.0
50%~75%	15	6.0
75%~100%	5	2.0
有効回答数	249	100.0
授業が設置されていない	1,895	
無効回答	13	
無回答	155	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 95 参加型授業実施状況（数学Ⅰ 3年）

数学Ⅰ 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	144	58.1
1~10%	53	21.4
10%~25%	14	5.6
25%~50%	13	5.2
50%~75%	14	5.6
75%~100%	10	4.0
有効回答数	248	100.0
授業が設置されていない	1,897	
無効回答	10	
無回答	157	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 96 参加型授業実施状況（数学 II 1 年）

数学II 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	232	45.8
1~10%	111	21.9
10%~25%	71	14.0
25%~50%	48	9.5
50%~75%	30	5.9
75%~100%	15	3.0
有効回答数	507	100.0
授業が設置されていない	1,615	
無効回答	22	
無回答	168	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 97 参加型授業実施状況（数学 II 2 年）

数学II 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	845	42.3
1~10%	497	24.9
10%~25%	272	13.6
25%~50%	183	9.2
50%~75%	133	6.7
75%~100%	68	3.4
有効回答数	1,998	100.0
授業が設置されていない	100	
無効回答	60	
無回答	154	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 98 参加型授業実施状況（数学 II 3 年）

数学II 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	414	51.3
1~10%	170	21.1
10%~25%	79	9.8
25%~50%	55	6.8
50%~75%	56	6.9
75%~100%	33	4.1
有効回答数	807	100.0
授業が設置されていない	1,311	
無効回答	24	
無回答	170	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 99 参加型授業実施状況（数学 III 1 年）

数学III 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	89	65.9
1~10%	26	19.3
10%~25%	11	8.1
25%~50%	5	3.7
50%~75%	3	2.2
75%~100%	1	0.7
有効回答数	135	100.0
授業が設置されていない	1,889	
無効回答	8	
無回答	280	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 100 参加型授業実施状況（数学 III 2 年）

数学III 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	211	47.2
1~10%	109	24.4
10%~25%	55	12.3
25%~50%	35	7.8
50%~75%	28	6.3
75%~100%	9	2.0
有効回答数	447	100.0
授業が設置されていない	1,570	
無効回答	20	
無回答	275	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 101 参加型授業実施状況（数学 III 3 年）

数学III 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	856	49.3
1~10%	396	22.8
10%~25%	162	9.3
25%~50%	127	7.3
50%~75%	109	6.3
75%~100%	88	5.1
有効回答数	1,738	100.0
授業が設置されていない	258	
無効回答	60	
無回答	256	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 102 参加型授業実施状況（数学 A 1 年）

数学A 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	740	39.9
1~10%	471	25.4
10%~25%	258	13.9
25%~50%	176	9.5
50%~75%	137	7.4
75%~100%	73	3.9
有効回答数	1,855	100.0
授業が設置されていない	249	
無効回答	52	
無回答	156	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 103 参加型授業実施状況（数学 A 2 年）

数学A 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	253	50.5
1~10%	109	21.8
10%~25%	46	9.2
25%~50%	35	7.0
50%~75%	35	7.0
75%~100%	23	4.6
有効回答数	501	100.0
授業が設置されていない	1,625	
無効回答	17	
無回答	169	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 104 参加型授業実施状況（数学 A 3 年）

数学A 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	232	55.2
1~10%	81	19.3
10%~25%	29	6.9
25%~50%	26	6.2
50%~75%	31	7.4
75%~100%	21	5.0
有効回答数	420	100.0
授業が設置されていない	1,700	
無効回答	18	
無回答	174	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 105 参加型授業実施状況（数学B 1年）

数学B 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	115	64.6
1~10%	32	18.0
10%~25%	15	8.4
25%~50%	5	2.8
50%~75%	7	3.9
75%~100%	4	2.2
有効回答数	178	100.0
授業が設置されていない	1,923	
無効回答	11	
無回答	200	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 106 参加型授業実施状況（数学B 2年）

数学B 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	812	45.5
1~10%	427	23.9
10%~25%	222	12.4
25%~50%	154	8.6
50%~75%	102	5.7
75%~100%	69	3.9
有効回答数	1,786	100.0
授業が設置されていない	281	
無効回答	60	
無回答	185	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 107 参加型授業実施状況（数学B 3年）

数学B 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	405	51.0
1~10%	182	22.9
10%~25%	72	9.1
25%~50%	48	6.0
50%~75%	51	6.4
75%~100%	36	4.5
有効回答数	794	100.0
授業が設置されていない	1,295	
無効回答	28	
無回答	195	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 108 参加型授業実施状況（数学活用 1 年）

数学活用 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	22	62.9
1~10%	3	8.6
10%~25%	2	5.7
25%~50%	3	8.6
50%~75%	0	0.0
75%~100%	5	14.3
有効回答数	35	100.0
授業が設置されていない	1,410	
無効回答	3	
無回答	864	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 109 参加型授業実施状況（数学活用 2 年）

数学活用 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	37	59.7
1~10%	5	8.1
10%~25%	1	1.6
25%~50%	6	9.7
50%~75%	3	4.8
75%~100%	10	16.1
有効回答数	62	100.0
授業が設置されていない	1,376	
無効回答	4	
無回答	870	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

表 110 参加型授業実施状況（数学活用 3 年）

数学活用 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	83	40.3
1~10%	40	19.4
10%~25%	16	7.8
25%~50%	12	5.8
50%~75%	20	9.7
75%~100%	35	17.0
有効回答数	206	100.0
授業が設置されていない	1,233	
無効回答	11	
無回答	862	
合計	2,312	

（注）教科主任調査の結果による。

理科

理科における科目別・学年別のALの視点に立った参加型授業の実施状況を表74～表91に示した。また、平均的な学校における実施率（中央値）を図18に示した。

理科における参加型授業の実施率の中央値は、理科課題研究ではすべての学年で75～100%と、非常に高い実施率を示した。それ以外の科目ではいずれの学年においても1～10%の実施率であった。

なお、教科や科目によって本調査における参加型授業の定義の当てはまりやすさには違いがあるため、これらのデータには解釈の余地があることに留意されたい。あくまで本調査における参加型授業の定義にあてはまると回答者が判断した授業の主観的な割合であることを付記しておく。単純に「何%の授業で参加型授業を行っているか」が重要なのではなく、p43の指摘のように「生徒にどのような力を身につけてもらいたいかが教員が意識すること」や「そのねらいと合致した学習活動を授業に取り入れること」などが、アクティブラーニングにとって重要であると考えられる。

科目	1年	2年	3年
科学と人間生活	1～10% (500)	1～10% (226)	1～10% (188)
物理基礎・物理	1～10% (828)	1～10% (1,791)	1～10% (1,729)
化学基礎・化学	1～10% (1,302)	1～10% (1,810)	1～10% (1,783)
生物基礎・生物	1～10% (1,333)	1～10% (1,746)	1～10% (1,853)
地学基礎・地学	1～10% (299)	1～10% (713)	1～10% (701)
理科課題研究	75～100% (78)	75～100% (171)	75～100% (187)

0%
1～10%
10～25%
50～75%
75～100%

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
2. 各科目で行われているすべての授業のうち「参加型学習」を取り入れた授業がどの程度の割合で実施されているかについて、「0%の授業で取り入れている（全く実施されていない）」「およそ10%未満の授業で取り入れている」「およそ10%以上25%未満の授業が取り入れている」「およそ25%以上50%未満の授業が取り入れている」「およそ50%以上75%未満の授業が取り入れている」「およそ75%以上の授業が取り入れている」「授業が設置されていない」の選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. 括弧（ ）内は、授業を設置している学校の数を示している。

図19 理科における科目別・学年別の参加型授業の実施状況

表 111 参加型授業実施状況（科学と人間生活 1年）

科学と人間生活 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	190	38.0
1~10%	116	23.2
10%~25%	77	15.4
25%~50%	40	8.0
50%~75%	30	6.0
75%~100%	47	9.4
有効回答数	500	100.0
授業が設置されていない	1,312	
無効回答	17	
無回答	454	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 112 参加型授業実施状況（科学と人間生活 2年）

科学と人間生活 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	76	33.6
1~10%	67	29.6
10%~25%	28	12.4
25%~50%	26	11.5
50%~75%	9	4.0
75%~100%	20	8.8
有効回答数	226	100.0
授業が設置されていない	1,596	
無効回答	13	
無回答	448	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 113 参加型授業実施状況（科学と人間生活 3年）

科学と人間生活 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	72	38.3
1~10%	46	24.5
10%~25%	16	8.5
25%~50%	14	7.4
50%~75%	8	4.3
75%~100%	32	17.0
有効回答数	188	100.0
授業が設置されていない	1,636	
無効回答	9	
無回答	450	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 114 参加型授業実施状況（物理基礎・物理 1 年）

物理基礎・物理 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	287	34.7
1~10%	223	26.9
10%~25%	138	16.7
25%~50%	73	8.8
50%~75%	48	5.8
75%~100%	59	7.1
有効回答数	828	100.0
授業が設置されていない	1,247	
無効回答	28	
無回答	180	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 115 参加型授業実施状況（物理基礎・物理 2 年）

物理基礎・物理 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	567	31.7
1~10%	465	26.0
10%~25%	316	17.6
25%~50%	159	8.9
50%~75%	125	7.0
75%~100%	159	8.9
有効回答数	1,791	100.0
授業が設置されていない	255	
無効回答	45	
無回答	192	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 116 参加型授業実施状況（物理基礎・物理 3 年）

物理基礎・物理 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	573	33.1
1~10%	439	25.4
10%~25%	290	16.8
25%~50%	163	9.4
50%~75%	107	6.2
75%~100%	157	9.1
有効回答数	1,729	100.0
授業が設置されていない	315	
無効回答	44	
無回答	195	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 117 参加型授業実施状況（化学基礎・化学 1 年）

化学基礎・化学 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	423	32.5
1~10%	341	26.2
10%~25%	228	17.5
25%~50%	125	9.6
50%~75%	92	7.1
75%~100%	93	7.1
有効回答数	1,302	100.0
授業が設置されていない	798	
無効回答	37	
無回答	146	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 118 参加型授業実施状況（化学基礎・化学 2 年）

化学基礎・化学 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	575	31.8
1~10%	465	25.7
10%~25%	344	19.0
25%~50%	161	8.9
50%~75%	132	7.3
75%~100%	133	7.3
有効回答数	1,810	100.0
授業が設置されていない	274	
無効回答	50	
無回答	149	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 119 参加型授業実施状況（化学基礎・化学 3 年）

化学基礎・化学 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	586	32.9
1~10%	469	26.3
10%~25%	295	16.5
25%~50%	171	9.6
50%~75%	122	6.8
75%~100%	140	7.9
有効回答数	1,783	100.0
授業が設置されていない	196	
無効回答	52	
無回答	152	
合計	2,183	

（注）教科主任調査の結果による。

表 120 参加型授業実施状況（生物基礎・生物 1 年）

生物基礎・生物 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	424	31.8
1~10%	360	27.0
10%~25%	235	17.6
25%~50%	120	9.0
50%~75%	86	6.5
75%~100%	108	8.1
有効回答数	1,333	100.0
授業が設置されていない	770	
無効回答	36	
無回答	144	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 121 参加型授業実施状況（生物基礎・生物 2 年）

生物基礎・生物 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	535	30.6
1~10%	436	25.0
10%~25%	317	18.2
25%~50%	173	9.9
50%~75%	140	8.0
75%~100%	145	8.3
有効回答数	1,746	100.0
授業が設置されていない	337	
無効回答	44	
無回答	156	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 122 参加型授業実施状況（生物基礎・生物 3 年）

生物基礎・生物 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	586	31.6
1~10%	476	25.7
10%~25%	301	16.2
25%~50%	197	10.6
50%~75%	143	7.7
75%~100%	150	8.1
有効回答数	1,853	100.0
授業が設置されていない	227	
無効回答	45	
無回答	158	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 123 参加型授業実施状況（地学基礎・地学 1 年）

地学基礎・地学 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	109	36.5
1~10%	80	26.8
10%~25%	39	13.0
25%~50%	26	8.7
50%~75%	17	5.7
75%~100%	28	9.4
有効回答数	299	100.0
授業が設置されていない	1,570	
無効回答	16	
無回答	398	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 124 参加型授業実施状況（地学基礎・地学 2 年）

地学基礎・地学 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	236	33.1
1~10%	191	26.8
10%~25%	96	13.5
25%~50%	78	10.9
50%~75%	51	7.2
75%~100%	61	8.6
有効回答数	713	100.0
授業が設置されていない	1,148	
無効回答	23	
無回答	399	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 125 参加型授業実施状況（地学基礎・地学 3 年）

地学基礎・地学 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	251	35.8
1~10%	175	25.0
10%~25%	94	13.4
25%~50%	79	11.3
50%~75%	41	5.8
75%~100%	61	8.7
有効回答数	701	100.0
授業が設置されていない	1,154	
無効回答	22	
無回答	406	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 126 参加型授業実施状況（理科課題研究 1 年）

理科課題研究 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	12	15.4
1~10%	7	9.0
10%~25%	4	5.1
25%~50%	3	3.8
50%~75%	3	3.8
75%~100%	49	62.8
有効回答数	78	100.0
授業が設置されていない	1,590	
無効回答	6	
無回答	609	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 127 参加型授業実施状況（理科課題研究 2 年）

理科課題研究 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	14	8.2
1~10%	13	7.6
10%~25%	6	3.5
25%~50%	4	2.3
50%~75%	11	6.4
75%~100%	123	71.9
有効回答数	171	100.0
授業が設置されていない	1,492	
無効回答	8	
無回答	612	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

表 128 参加型授業実施状況（理科課題研究 3 年）

理科課題研究 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	22	11.8
1~10%	25	13.4
10%~25%	14	7.5
25%~50%	11	5.9
50%~75%	15	8.0
75%~100%	100	53.5
有効回答数	187	100.0
授業が設置されていない	1,473	
無効回答	9	
無回答	614	
合計	2,283	

（注）教科主任調査の結果による。

外国語

外国語科における科目別・学年別のALの視点に立った参加型授業の実施状況を表92～表112に示した。また、平均的な学校における実施率（中央値）を図19に示した。

外国語科における参加型授業の実施率の中央値は、10～25%の科目が多く、いずれの科目においても多くの授業で参加型授業が実施されていた。特に、1年生時のコミュニケーション英語Iでは25～50%、1、2年生時の英語会話では50～75%と、かなり高い実施率を示した。

なお、教科や科目によって本調査における参加型授業の定義の当てはまりやすさには違いがあるため、これらのデータには解釈の余地があることに留意されたい。あくまで本調査における参加型授業の定義にあてはまると回答者が判断した授業の主観的な割合であることを付記しておく。単純に「何%の授業で参加型授業を行っているか」が重要なのではなく、p43の指摘のように「生徒にどのような力を身につけてもらいたいかが教員が意識すること」や「そのねらいと合致した学習活動を授業に取り入れること」などが、アクティブラーニングにとって重要であると考えられる。

科目	1年	2年	3年
コミュニケーション英語基礎	10～25% (125)	1～10% (22)	1～10% (22)
コミュニケーション英語I	25～50% (2,120)	10～25% (247)	10～25% (161)
コミュニケーション英語II	1～10% (154)	10～25% (2074)	10～25% (530)
コミュニケーション英語III	1～10% (121)	1～10% (130)	10～25% (1,781)
英語表現I	10～25% (1,563)	10～25% (566)	10～25% (386)
英語表現II	1～10% (134)	10～25% (1,386)	10～25% (1,346)
英語会話	50～75% (255)	50～75% (311)	50～75% (525)

0%
1～10%
10～25%
50～75%
75～100%

- (注) 1. 教科主任調査の結果による。
 2. 各科目で行われているすべての授業のうち「参加型学習」を取り入れた授業がどの程度の割合で実施されているかについて、「0%の授業で取り入れている（全く実施されていない）」「およそ10%未満の授業で取り入れている」「およそ10%以上25%未満の授業が取り入れている」「およそ25%以上50%未満の授業が取り入れている」「およそ50%以上75%未満の授業が取り入れている」「およそ75%以上の授業が取り入れている」「授業が設置されていない」の選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
 3. 括弧（ ）内は、授業を設置している学校の数を示している。

図20 外国語科における科目別・学年別の参加型授業の実施状況

表 129 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語基礎 1年）

コミュニケーション英語基礎 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	27	21.6
1~10%	27	21.6
10%~25%	23	18.4
25%~50%	17	13.6
50%~75%	23	18.4
75%~100%	8	6.4
有効回答数	125	100.0
授業が設置されていない	1,396	
無効回答	2	
無回答	779	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 130 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語基礎 2年）

コミュニケーション英語基礎 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	9	40.9
1~10%	4	18.2
10%~25%	2	9.1
25%~50%	0	0.0
50%~75%	7	31.8
75%~100%	0	0.0
有効回答数	22	100.0
授業が設置されていない	1,487	
無効回答	1	
無回答	792	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 131 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語基礎 3年）

コミュニケーション英語基礎 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	10	45.5
1~10%	4	18.2
10%~25%	4	18.2
25%~50%	0	0.0
50%~75%	4	18.2
75%~100%	0	0.0
有効回答数	22	100.0
授業が設置されていない	1,489	
無効回答	1	
無回答	790	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 132 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語 I 1年）

コミュニケーション英語 I 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	256	12.1
1~10%	345	16.3
10%~25%	448	21.1
25%~50%	477	22.5
50%~75%	325	15.3
75%~100%	269	12.7
有効回答数	2,120	100.0
授業が設置されていない	60	
無効回答	28	
無回答	94	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 133 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語 I 2年）

コミュニケーション英語 I 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	54	21.9
1~10%	54	21.9
10%~25%	53	21.5
25%~50%	31	12.6
50%~75%	40	16.2
75%~100%	15	6.1
有効回答数	247	100.0
授業が設置されていない	1,948	
無効回答	6	
無回答	101	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 134 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語 I 3年）

コミュニケーション英語 I 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	48	29.8
1~10%	30	18.6
10%~25%	36	22.4
25%~50%	15	9.3
50%~75%	22	13.7
75%~100%	10	6.2
有効回答数	161	100.0
授業が設置されていない	2,039	
無効回答	4	
無回答	98	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 135 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語Ⅱ 1年）

コミュニケーション英語Ⅱ 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	45	29.2
1~10%	33	21.4
10%~25%	31	20.1
25%~50%	18	11.7
50%~75%	19	12.3
75%~100%	8	5.2
有効回答数	154	100.0
授業が設置されていない	2,035	
無効回答	4	
無回答	109	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 136 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語Ⅱ 2年）

コミュニケーション英語Ⅱ 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	285	13.7
1~10%	352	17.0
10%~25%	461	22.2
25%~50%	447	21.6
50%~75%	312	15.1
75%~100%	216	10.4
有効回答数	2,073	100.0
授業が設置されていない	96	
無効回答	26	
無回答	107	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 137 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語Ⅱ 3年）

コミュニケーション英語Ⅱ 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	141	26.6
1~10%	104	19.6
10%~25%	108	20.4
25%~50%	84	15.8
50%~75%	62	11.7
75%~100%	31	5.8
有効回答数	530	100.0
授業が設置されていない	1,650	
無効回答	10	
無回答	112	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 138 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語Ⅲ 1年）

コミュニケーション英語Ⅲ 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	35	28.9
1~10%	31	25.6
10%~25%	24	19.8
25%~50%	11	9.1
50%~75%	12	9.9
75%~100%	8	6.6
有効回答数	121	100.0
授業が設置されていない	1,957	
無効回答	5	
無回答	219	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 139 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語Ⅲ 2年）

コミュニケーション英語Ⅲ 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	38	29.2
1~10%	32	24.6
10%~25%	32	24.6
25%~50%	9	6.9
50%~75%	12	9.2
75%~100%	7	5.4
有効回答数	130	100.0
授業が設置されていない	1,949	
無効回答	5	
無回答	218	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 140 参加型授業実施状況（コミュニケーション英語Ⅲ 3年）

コミュニケーション英語Ⅲ 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	310	17.4
1~10%	390	21.9
10%~25%	376	21.1
25%~50%	351	19.7
50%~75%	216	12.1
75%~100%	138	7.7
有効回答数	1,781	100.0
授業が設置されていない	270	
無効回答	36	
無回答	215	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 141 参加型授業実施状況（英語表現 I 1 年）

英語表現 I 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	226	14.5
1~10%	290	18.6
10%~25%	276	17.7
25%~50%	296	18.9
50%~75%	285	18.2
75%~100%	190	12.2
有効回答数	1,563	100.0
授業が設置されていない	559	
無効回答	25	
無回答	155	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 142 参加型授業実施状況（英語表現 I 2 年）

英語表現 I 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	126	22.3
1~10%	107	18.9
10%~25%	107	18.9
25%~50%	87	15.4
50%~75%	77	13.6
75%~100%	62	11.0
有効回答数	566	100.0
授業が設置されていない	1,562	
無効回答	11	
無回答	163	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 143 参加型授業実施状況（英語表現 I 3 年）

英語表現 I 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	93	24.1
1~10%	74	19.2
10%~25%	66	17.1
25%~50%	58	15.0
50%~75%	57	14.8
75%~100%	38	9.8
有効回答数	386	100.0
授業が設置されていない	1,749	
無効回答	7	
無回答	160	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 144 参加型授業実施状況（英語表現Ⅱ 1年）

英語表現Ⅱ 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	38	28.4
1~10%	31	23.1
10%~25%	21	15.7
25%~50%	14	10.4
50%~75%	16	11.9
75%~100%	14	10.4
有効回答数	134	100.0
授業が設置されていない	1,881	
無効回答	5	
無回答	282	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 145 参加型授業実施状況（英語表現Ⅱ 2年）

英語表現Ⅱ 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	204	14.7
1~10%	284	20.5
10%~25%	274	19.8
25%~50%	238	17.2
50%~75%	237	17.1
75%~100%	149	10.8
有効回答数	1,386	100.0
授業が設置されていない	614	
無効回答	26	
無回答	276	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 146 参加型授業実施状況（英語表現Ⅱ 3年）

英語表現Ⅱ 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	262	19.5
1~10%	307	22.8
10%~25%	267	19.8
25%~50%	211	15.7
50%~75%	163	12.1
75%~100%	136	10.1
有効回答数	1,346	100.0
授業が設置されていない	646	
無効回答	29	
無回答	281	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 147 参加型授業実施状況（英語会話 1年）

英語会話 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	27	10.6
1~10%	14	5.5
10%~25%	24	9.4
25%~50%	35	13.7
50%~75%	50	19.6
75%~100%	105	41.2
有効回答数	255	100.0
授業が設置されていない	1,417	
無効回答	3	
無回答	627	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 148 参加型授業実施状況（英語会話 2年）

英語会話 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	28	9.0
1~10%	12	3.9
10%~25%	32	10.3
25%~50%	48	15.4
50%~75%	57	18.3
75%~100%	134	43.1
有効回答数	311	100.0
授業が設置されていない	1,355	
無効回答	3	
無回答	633	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

表 149 参加型授業実施状況（英語会話 3年）

英語会話 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	53	10.1
1~10%	39	7.4
10%~25%	53	10.1
25%~50%	63	12.0
50%~75%	93	17.7
75%~100%	224	42.7
有効回答数	525	100.0
授業が設置されていない	1,127	
無効回答	10	
無回答	640	
合計	2,302	

（注）教科主任調査の結果による。

主要教科以外の実施状況

表 150 参加型授業実施状況（1年）

体育 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	405	20.9
1~10%	268	13.9
10%~25%	234	12.1
25%~50%	195	10.1
50%~75%	218	11.3
75%~100%	615	31.8
有効回答数	1,935	100.0
授業が設置されていない	12	
無効回答	33	
無回答	391	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 151 参加型授業実施状況（体育 2年）

体育 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	392	20.3
1~10%	248	12.8
10%~25%	225	11.6
25%~50%	214	11.1
50%~75%	231	12.0
75%~100%	623	32.2
有効回答数	1,933	100.0
授業が設置されていない	10	
無効回答	33	
無回答	395	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 152 参加型授業実施状況（体育 3年）

体育 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	382	19.8
1~10%	238	12.4
10%~25%	196	10.2
25%~50%	199	10.3
50%~75%	249	12.9
75%~100%	661	34.3
有効回答数	1,925	100.0
授業が設置されていない	12	
無効回答	32	
無回答	402	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 153 参加型授業実施状況（保健 1年）

保健 1年	度数	パーセント
0% (実施されていない)	436	22.9
1~10%	471	24.8
10%~25%	397	20.9
25%~50%	309	16.3
50%~75%	143	7.5
75%~100%	145	7.6
有効回答数	1,901	100.0
授業が設置されていない	37	
無効回答	35	
無回答	398	
合計	2,371	

(注) 校長調査の結果による。

表 154 参加型授業実施状況 (保健 2年)

保健 2年	度数	パーセント
0% (実施されていない)	437	23.4
1~10%	448	24.0
10%~25%	374	20.1
25%~50%	313	16.8
50%~75%	144	7.7
75%~100%	149	8.0
有効回答数	1,865	100.0
授業が設置されていない	57	
無効回答	33	
無回答	416	
合計	2,371	

(注) 校長調査の結果による。

表 155 参加型授業実施状況 (保健 3年)

保健 3年	度数	パーセント
0% (実施されていない)	239	36.4
1~10%	170	25.9
10%~25%	87	13.3
25%~50%	86	13.1
50%~75%	35	5.3
75%~100%	39	5.9
有効回答数	656	100.0
授業が設置されていない	1,063	
無効回答	29	
無回答	623	
合計	2,371	

(注) 校長調査の結果による。

表 156 参加型授業実施状況（音楽 1 年）

音楽 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	325	17.5
1~10%	205	11.0
10%~25%	214	11.5
25%~50%	215	11.6
50%~75%	307	16.5
75%~100%	594	31.9
有効回答数	1,860	100.0
授業が設置されていない	73	
無効回答	31	
無回答	407	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 157 参加型授業実施状況（音楽 2 年）

音楽 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	257	18.9
1~10%	137	10.1
10%~25%	148	10.9
25%~50%	149	10.9
50%~75%	235	17.3
75%~100%	435	32.0
有効回答数	1,361	100.0
授業が設置されていない	471	
無効回答	26	
無回答	513	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 158 参加型授業実施状況（音楽 3 年）

音楽 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	228	18.7
1~10%	120	9.8
10%~25%	116	9.5
25%~50%	125	10.3
50%~75%	204	16.7
75%~100%	426	34.9
有効回答数	1,219	100.0
授業が設置されていない	572	
無効回答	22	
無回答	558	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 159 参加型授業実施状況（美術 1 年）

美術 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	305	18.5
1~10%	215	13.0
10%~25%	211	12.8
25%~50%	148	9.0
50%~75%	225	13.7
75%~100%	544	33.0
有効回答数	1,648	100.0
授業が設置されていない	229	
無効回答	28	
無回答	466	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 160 参加型授業実施状況（美術 2 年）

美術 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	248	19.8
1~10%	156	12.4
10%~25%	156	12.4
25%~50%	101	8.1
50%~75%	177	14.1
75%~100%	416	33.2
有効回答数	1,254	100.0
授業が設置されていない	544	
無効回答	26	
無回答	547	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 161 参加型授業実施状況（美術 3 年）

美術 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	219	19.7
1~10%	120	10.8
10%~25%	116	10.4
25%~50%	101	9.1
50%~75%	153	13.7
75%~100%	404	36.3
有効回答数	1,113	100.0
授業が設置されていない	642	
無効回答	29	
無回答	587	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 162 参加型授業実施状況（工芸 1 年）

工芸 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	59	33.5
1~10%	13	7.4
10%~25%	13	7.4
25%~50%	13	7.4
50%~75%	14	8.0
75%~100%	64	36.4
有効回答数	176	100.0
授業が設置されていない	1,379	
無効回答	10	
無回答	806	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 163 参加型授業実施状況（工芸 2 年）

工芸 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	60	34.3
1~10%	11	6.3
10%~25%	17	9.7
25%~50%	14	8.0
50%~75%	10	5.7
75%~100%	63	36.0
有効回答数	175	100.0
授業が設置されていない	1,375	
無効回答	9	
無回答	812	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 164 参加型授業実施状況（工芸 3 年）

工芸 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	56	31.1
1~10%	18	10.0
10%~25%	12	6.7
25%~50%	16	8.9
50%~75%	15	8.3
75%~100%	63	35.0
有効回答数	180	100.0
授業が設置されていない	1,373	
無効回答	8	
無回答	810	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 165 参加型授業実施状況（書道 1 年）

書道 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	325	22.5
1~10%	210	14.6
10%~25%	184	12.8
25%~50%	131	9.1
50%~75%	176	12.2
75%~100%	416	28.8
有効回答数	1,442	100.0
授業が設置されていない	386	
無効回答	33	
無回答	510	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 166 参加型授業実施状況（書道 2 年）

書道 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	250	23.7
1~10%	148	14.0
10%~25%	129	12.2
25%~50%	97	9.2
50%~75%	132	12.5
75%~100%	300	28.4
有効回答数	1,056	100.0
授業が設置されていない	701	
無効回答	26	
無回答	588	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 167 参加型授業実施状況（書道 3 年）

書道 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	201	23.5
1~10%	101	11.8
10%~25%	89	10.4
25%~50%	83	9.7
50%~75%	120	14.0
75%~100%	262	30.6
有効回答数	856	100.0
授業が設置されていない	864	
無効回答	23	
無回答	628	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 168 参加型授業実施状況（家庭 1 年）

家庭 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	208	12.7
1~10%	187	11.5
10%~25%	278	17.0
25%~50%	325	19.9
50%~75%	300	18.4
75%~100%	334	20.5
有効回答数	1,632	100.0
授業が設置されていない	263	
無効回答	28	
無回答	448	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 169 参加型授業実施状況（家庭 2 年）

家庭 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	167	12.3
1~10%	158	11.7
10%~25%	210	15.5
25%~50%	257	19.0
50%~75%	280	20.7
75%~100%	281	20.8
有効回答数	1,353	100.0
授業が設置されていない	492	
無効回答	22	
無回答	504	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 170 参加型授業実施状況（家庭 3 年）

家庭 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	155	13.0
1~10%	135	11.3
10%~25%	160	13.4
25%~50%	215	18.1
50%~75%	238	20.0
75%~100%	287	24.1
有効回答数	1,190	100.0
授業が設置されていない	600	
無効回答	25	
無回答	556	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 171 参加型授業実施状況（情報 1 年）

情報 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	208	12.9
1~10%	212	13.1
10%~25%	217	13.5
25%~50%	283	17.5
50%~75%	306	19.0
75%~100%	387	24.0
有効回答数	1,613	100.0
授業が設置されていない	305	
無効回答	23	
無回答	430	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 172 参加型授業実施状況（情報 2 年）

情報 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	171	16.1
1~10%	132	12.5
10%~25%	136	12.8
25%~50%	166	15.7
50%~75%	206	19.5
75%~100%	248	23.4
有効回答数	1,059	100.0
授業が設置されていない	732	
無効回答	27	
無回答	553	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 173 参加型授業実施状況（情報 3 年）

情報 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	166	18.6
1~10%	107	12.0
10%~25%	112	12.5
25%~50%	136	15.2
50%~75%	159	17.8
75%~100%	214	23.9
有効回答数	894	100.0
授業が設置されていない	865	
無効回答	22	
無回答	590	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 174 参加型授業実施状況（総合的な学習の時間 1年）

総合的な学習の時間 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	117	6.6
1~10%	186	10.4
10%~25%	219	12.3
25%~50%	323	18.1
50%~75%	337	18.9
75%~100%	602	33.7
有効回答数	1,784	100.0
授業が設置されていない	168	
無効回答	17	
無回答	402	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 175 参加型授業実施状況（総合的な学習の時間 2年）

総合的な学習の時間 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	120	6.3
1~10%	171	9.0
10%~25%	234	12.3
25%~50%	344	18.1
50%~75%	383	20.1
75%~100%	652	34.2
有効回答数	1,904	100.0
授業が設置されていない	61	
無効回答	16	
無回答	390	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 176 参加型授業実施状況（総合的な学習の時間 3年）

総合的な学習の時間 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	152	8.4
1~10%	204	11.3
10%~25%	240	13.3
25%~50%	330	18.3
50%~75%	316	17.5
75%~100%	563	31.2
有効回答数	1,805	100.0
授業が設置されていない	120	
無効回答	19	
無回答	427	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 177 参加型授業実施状況（特別活動 1 年）

特別活動 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	167	10.6
1~10%	189	12.0
10%~25%	216	13.8
25%~50%	288	18.4
50%~75%	278	17.7
75%~100%	431	27.5
有効回答数	1,569	100.0
授業が設置されていない	230	
無効回答	21	
無回答	551	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 178 参加型授業実施状況（特別活動 2 年）

特別活動 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	168	10.7
1~10%	179	11.4
10%~25%	217	13.9
25%~50%	285	18.2
50%~75%	280	17.9
75%~100%	435	27.8
有効回答数	1,564	100.0
授業が設置されていない	229	
無効回答	22	
無回答	556	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 179 参加型授業実施状況（特別活動 3 年）

特別活動 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	177	11.4
1~10%	190	12.3
10%~25%	209	13.5
25%~50%	285	18.4
50%~75%	266	17.2
75%~100%	420	27.1
有効回答数	1,547	100.0
授業が設置されていない	233	
無効回答	23	
無回答	568	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 180 参加型授業実施状況（産業社会と人間 1年）

産業社会と人間 1年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	38	16.2
1~10%	14	6.0
10%~25%	16	6.8
25%~50%	41	17.4
50%~75%	41	17.4
75%~100%	85	36.2
有効回答数	235	100.0
授業が設置されていない	1,326	
無効回答	11	
無回答	799	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 181 参加型授業実施状況（産業社会と人間 2年）

産業社会と人間 2年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	36	40.9
1~10%	5	5.7
10%~25%	7	8.0
25%~50%	12	13.6
50%~75%	13	14.8
75%~100%	15	17.0
有効回答数	88	100.0
授業が設置されていない	1,447	
無効回答	9	
無回答	827	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

表 182 参加型授業実施状況（産業社会と人間 3年）

産業社会と人間 3年	度数	パーセント
0%（実施されていない）	36	43.4
1~10%	6	7.2
10%~25%	6	7.2
25%~50%	10	12.0
50%~75%	11	13.3
75%~100%	14	16.9
有効回答数	83	100.0
授業が設置されていない	1,451	
無効回答	9	
無回答	828	
合計	2,371	

（注）校長調査の結果による。

3. 教員調査の結果

本章では、2016年6月1日時点の教員調査のデータを分析した結果を報告する。教員調査は、アクティブラーニングの視点に立った参加型授業に積極的に取り組んでいる教員を各校で5名まで選んでもらい、調査票に回答してもらったものである。

3.1. 回答者の基本属性

「1. 調査の概要」で示したように、本調査の有効回答数の合計は2,414校で、そのうち教員調査に回答した教員数は5,176名、学校数は1,726校であった。

本節では、教員調査の結果について、回答者の基本属性を示す。

1 性別

回答者の性別は、男性66.9%、女性33.1%だった。『学校基本調査』によると2015年度における高等学校教員の女性比率は31.3%であり、回答者の性別に大きな偏りはなかった。

表 183 回答者の性別

性別	度数	パーセント
男性	3,451	66.9
女性	1,705	33.1
有効回答数	5,156	100.0
無回答	20	
合計	5,176	

(注) 教員調査の結果による。

1.2. 年齢

回答者の年齢は、25～29歳(16.1%)が最も多く、35～39歳(15.6%)、40～44歳(15.2%)、30～34歳(13.9%)、50～54歳(13.5%)、45～49歳(12.3%)、55～59歳(7.8%)、20～24歳(3.9%)、60～64歳(1.5%)、65～69歳(0.1%)と続いた。高等学校教員の年齢構成と比べるとかなり年齢が低く、参加型授業に積極的に取り組んでいるのは若手の教員が多いと言える。

表 184 回答者の年齢

年齢	度数	パーセント
20～24	200	3.9
25～29	828	16.1
30～34	715	13.9
35～39	803	15.6
40～44	783	15.2
45～49	632	12.3
50～54	695	13.5
55～59	400	7.8
60～64	79	1.5
65～69	3	0.1
有効回答数	5,138	100.0
無効回答	1	
無回答	37	
合計	5,176	

(注) 教員調査の結果による。

1.3. 教職経験年数

回答者の教職経験年数は、0~4年(17.7%)が最も多く、5~9年(16.9%)、10~14年(16.1%)、25~29年(12.5%)、15~19年(12.4%)、20~24年(11.6%)、30~34年(9.4%)、35~39年(2.8%)、40~44年(0.2%)、45~49年(0.1%)、50年以上(0.1%)と続いた。

表 185 回答者の教職経験年数

教職経験年数	度数	パーセント
0~4	911	17.7
5~9	869	16.9
10~14	828	16.1
15~19	637	12.4
20~24	598	11.6
25~29	644	12.5
30~34	484	9.4
35~39	146	2.8
40~44	12	0.2
45~49	3	0.1
50~55	3	0.1
有効回答数	5,135	100.0
複数回答	1	
無効回答	2	
無回答	38	
合計	5,176	

(注) 教員調査の結果による。

1.4. 現任校勤務年数

回答者の現任校での勤務年数は、0~4年(55.1%)、5~9年(26.9%)、10~14年(8.2%)、15~19年(3.7%)、20~24年(2.5%)、25~29年(2.0%)、30~34年(1.2%)、35~39年(0.4%)、40~45年(0.0%)であった。

表 186 回答者の現任校勤務年数

現任校勤務年数	度数	パーセント
0~4	2,823	55.1
5~9	1,381	26.9
10~14	420	8.2
15~19	191	3.7
20~24	128	2.5
25~29	100	2.0
30~34	64	1.2
35~39	20	0.4
40~45	1	0.0
有効回答数	5,128	100.0
複数回答	1	
無回答	47	
合計	5,176	

(注) 教員調査の結果による。

1.5. 校務分掌

回答者の校務分掌は、教諭（80.7%）が最も多く、教科主任（17.9%）、その他（10.9%）、学年主任（7.3%）、教務主任（3.7%）、進路指導主任（2.9%）、主幹教諭（2.0%）、生徒指導主任（1.5%）、指導教諭（1.4%）、教頭（0.7%）、総務主任（0.7%）、校長（0.1%）、副校長（0.1%）と続いた。その他では講師（2.0%）が多かった。

表 187 教育課程の編成に携わる教員の職位職階

校務分掌	度数	パーセント
校長	5	0.1
副校長	4	0.1
教頭	36	0.7
主幹教諭	102	2.0
指導教諭	71	1.4
教諭	4,147	80.7
教務主任	192	3.7
進路指導主任	149	2.9
生徒指導主任	76	1.5
学年主任	377	7.3
教科主任	919	17.9
総務主任	34	0.7
その他	561	10.9
有効回答数	5,136	100.0
無回答	40	
合計	5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 教育課程の原案の作成に携わっている教員の職位職階について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

1.6. 担当教科

回答者の担当教科は、外国語（20.0%）、地歴・公民（15.4%）、国語（16.6%）、理科（14.5%）、数学（13.0%）、家庭（5.1%）、その他（4.9%）、保健体育（4.5%）、公民（4.0%）、情報（3.0%）、芸術（3.0%）であった。その他では、商業（2.1%）、福祉（0.8%）、農業（0.8%）、工業（0.6%）が多かった。

表 188 回答者の担当教科

担当教科	度数	パーセント
国語	849	16.6
地歴・公民	788	15.4
数学	667	13.0
理科	745	14.5
外国語	1,028	20.0
保健体育	232	4.5
芸術	154	3.0
家庭	260	5.1
情報	155	3.0
その他	250	4.9
合計	5,128	100.0
無効回答	28	
無回答	20	
合計	5,176	

(注) 教員調査の結果による。

3.2. カリキュラム・マネジメント

表 189 カリキュラム・マネジメント

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
学校教育目標の意識					
本校では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	5,141	4.07	0.843	35	5,176
本校では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	5,142	3.88	0.864	34	5,176
教育課程を評価・改善する取り組み					
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れている（生徒、保護者へのアンケートなど）	5,145	3.74	1.015	31	5,176
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れている	5,136	2.60	1.156	40	5,176
本校では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	5,134	3.60	0.947	42	5,176
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み					
本校では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行っている	5,135	4.00	0.833	41	5,176
本校では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行っている（互見授業による他の教員からの評価など）	5,142	3.81	0.938	34	5,176
評価・改善に向けての一致協力					
本校では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されている	5,136	3.42	0.968	40	5,176
本校では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	5,135	3.57	0.957	41	5,176
本校では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	5,133	3.58	0.910	43	5,176
校長による働きかけ					
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	5,143	4.10	0.926	33	5,176
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	5,139	4.04	0.901	37	5,176

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
学校教育目標の意識					
本校では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	1,689	2,397	817	194	44
本校では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	1,220	2,440	1,160	273	49
教育課程を評価・改善する取り組み					
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れている（生徒、保護者へのアンケートなど）	1,208	2,191	1,093	506	147
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れている	280	916	1,442	1,440	1,058
本校では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	791	2,268	1,444	499	132
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み					
本校では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行っている	1,434	2,547	890	227	37
本校では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行っている（互見授業による他の教員からの評価など）	1,193	2,353	1,096	416	84
評価・改善に向けての一致協力					
本校では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されている	623	1,932	1,714	722	145
本校では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	795	2,132	1,549	524	135
本校では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	725	2,182	1,637	498	91
校長による働きかけ					
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	2,012	2,017	801	235	78
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	1,765	2,197	883	222	72

- (注) 1. 教員調査の結果による。
2. 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 190 教科別カリキュラム・マネジメント

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学校教育目標の意識 本校では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	841	4.03	0.859	785	4.01	0.846	666	4.03	0.845
本校では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	841	3.85	0.883	786	3.79	0.875	666	3.92	0.813
教育課程を評価・改善する取り組み 本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れている（生徒、保護者へのアンケートなど）	843	3.69	1.036	786	3.69	1.030	666	3.70	1.035
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れている	840	2.46	1.146	785	2.65	1.148	667	2.58	1.136
本校では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	841	3.56	0.967	785	3.48	0.983	667	3.61	0.947
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み 本校では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行っている	841	3.99	0.858	785	3.94	0.871	666	3.98	0.810
本校では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行っている（互見授業による他の教員からの評価など）	841	3.76	0.961	786	3.77	0.953	667	3.85	0.908
評価・改善に向けての一致協力 本校では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されている	842	3.37	0.980	785	3.30	0.977	664	3.44	0.970
本校では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	840	3.52	0.988	786	3.52	0.963	666	3.62	0.933
本校では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	840	3.55	0.879	785	3.53	0.888	666	3.52	0.910
校長による働きかけ 学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	843	4.06	0.976	786	4.01	0.973	667	4.14	0.860
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	841	3.98	0.955	786	3.97	0.921	666	4.08	0.846

続き

項目	理科			外国語			保健体育		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学校教育目標の意識									
本校では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	738	4.06	0.827	1,027	4.03	0.901	231	4.10	0.812
本校では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	740	3.86	0.866	1,026	3.83	0.887	231	3.93	0.852
教育課程を評価・改善する取り組み									
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れている（生徒、保護者へのアンケートなど）	743	3.75	1.013	1,026	3.74	0.993	231	3.78	1.024
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れている	739	2.60	1.193	1,025	2.66	1.168	229	2.67	1.125
本校では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	737	3.55	0.933	1,025	3.60	0.948	230	3.84	0.857
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み									
本校では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行っている	739	3.96	0.850	1,023	4.02	0.838	229	4.05	0.796
本校では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行っている（互見授業による他の教員からの評価など）	740	3.72	0.940	1,027	3.82	0.990	230	3.97	0.784
評価・改善に向けての一致協力									
本校では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されている	739	3.34	0.955	1,025	3.47	0.980	231	3.62	0.924
本校では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	738	3.50	0.972	1,026	3.53	0.997	230	3.73	0.854
本校では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	737	3.51	0.913	1,024	3.59	0.972	231	3.74	0.900
校長による働きかけ									
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	736	4.04	0.914	1,028	4.11	0.918	231	4.23	0.916
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	735	3.98	0.895	1,028	4.07	0.920	231	4.19	0.872

続き

項目	芸術			家庭			情報		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学校教育目標の意識 本校では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	153	4.31	0.683	259	4.19	0.768	153	4.15	0.872
本校では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	152	4.08	0.834	260	4.03	0.803	154	3.95	0.924
教育課程を評価・改善する取り組み 本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れている（生徒、保護者へのアンケートなど）	152	3.84	1.000	259	3.86	0.968	153	3.75	1.023
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れている	152	2.79	1.137	260	2.46	1.063	153	2.53	1.130
本校では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	152	3.84	0.862	260	3.72	0.910	152	3.65	0.951
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み 本校では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行っている	152	4.17	0.688	260	4.12	0.726	153	3.99	0.807
本校では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行っている（互見授業による他の教員からの評価など）	152	3.96	0.805	259	3.90	0.875	153	3.74	0.951
評価・改善に向けての一致協力 本校では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されている	152	3.55	0.948	259	3.49	0.942	153	3.46	0.994
本校では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	151	3.85	0.875	259	3.63	0.894	153	3.65	0.914
本校では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	152	3.82	0.885	259	3.72	0.807	153	3.58	0.930
校長による働きかけ 学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	152	4.26	0.880	260	4.22	0.859	153	4.12	0.941
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	152	4.18	0.921	260	4.09	0.817	153	4.08	0.843

続き

項目	その他			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
学校教育目標の意識						
本校では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	249	4.27	0.704	5,141	4.07	0.843
本校では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	247	3.95	0.812	5,142	3.88	0.864
教育課程を評価・改善する取り組み						
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れている（生徒、保護者へのアンケートなど）	247	3.79	0.999	5,145	3.74	1.015
本校では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れている	247	2.61	1.201	5,136	2.60	1.156
本校では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	246	3.67	0.900	5,134	3.60	0.947
各教員が自分の授業を評価・改善する仕組み						
本校では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行っている	248	3.95	0.852	5,135	4.00	0.833
本校では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行っている（互見授業による他の教員からの評価など）	248	3.84	0.897	5,142	3.81	0.938
評価・改善に向けての一致協力						
本校では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されている	247	3.54	0.896	5,136	3.42	0.968
本校では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	247	3.65	0.879	5,135	3.57	0.957
本校では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	247	3.61	0.881	5,133	3.58	0.910
校長による働きかけ						
学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	248	4.12	0.910	5,143	4.10	0.926
学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	248	4.12	0.859	5,139	4.04	0.901

(注) 1. 教員調査の結果による。

- 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

3.3. 「アクティブ・ラーニング」という言葉を知ったきっかけとイメージ

はじめに、「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけについて、教員調査の結果を示す。調査の結果、「校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた」(43.3%)が最も高く、「自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた」(16.2%)、「テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした」(15.1%)、「雑誌・書籍等の記事で見聞きした」(7.2%)、「知人から聞いた」(4.6%)、「その他」(4.5%)、「中央教育審議会の諮問を読んだ」(3.9%)と続いた。「この調査ではじめて知った」は5.1%であった。学校代表者や教科主任の結果と比べて「自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた」の割合が高いことがわかった。

Q9-1

表 191 「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけ

項目	度数	パーセント
中央教育審議会の諮問を読んだ	195	3.9
校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた	2,156	43.3
自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた	809	16.2
テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした	754	15.1
雑誌・書籍等の記事で見聞きした	361	7.2
知人から聞いた	229	4.6
その他	222	4.5
この調査ではじめて知った	255	5.1
有効回答数	4,981	100.0
無効回答	157	
無回答	38	
合計	5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

表 192 教科別「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけ

項目	国語		地歴・公民		数学		理科	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
中央教育審議会の諮問を読んだ	25	3.1	34	4.5	25	3.8	33	4.6
校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた	338	41.6	302	40.1	344	52.7	318	44.2
自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた	168	20.7	128	17.0	92	14.1	116	16.1
テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした	112	13.8	149	19.8	70	10.7	91	12.7
雑誌・書籍等の記事で見聞きした	69	8.5	48	6.4	33	5.1	50	7.0
知人から聞いた	36	4.4	27	3.6	44	6.7	42	5.8
その他	23	2.8	24	3.2	16	2.5	25	3.5
この調査ではじめて知った	41	5.0	42	5.6	29	4.4	44	6.1
有効回答数	812		754		653		719	
無効回答	30		29		11		18	
無回答	7		5		3		8	
合計	849		788		667		745	

続き

項目	外国語		保健体育		芸術		家庭	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
中央教育審議会の諮問を読んだ	31	3.1	14	6.3	6	4.1	8	3.2
校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた	363	36.7	105	47.1	69	46.6	138	55.6
自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた	189	19.1	12	5.4	11	7.4	26	10.5
テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした	164	16.6	36	16.1	27	18.2	39	15.7
雑誌・書籍等の記事で見聞きした	102	10.3	10	4.5	9	6.1	15	6.0
知人から聞いた	36	3.6	7	3.1	5	3.4	9	3.6
その他	44	4.5	29	13.0	17	11.5	7	2.8
この調査ではじめて知った	59	6.0	10	4.5	4	2.7	6	2.4
有効回答数	988		223		148		248	
無効回答	35		7		4		11	
無回答	5		2		2		1	
合計	1,028		232		154		260	

続き

項目	情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%
中央教育審議会の諮問を読んだ	6	4.1	9	3.7	195	3.9
校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた	43	29.1	109	44.9	2,156	43.3
自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた	39	26.4	22	9.1	809	16.2
テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした	29	19.6	32	13.2	754	15.1
雑誌・書籍等の記事で見聞きした	6	4.1	17	7.0	361	7.2
知人から聞いた	13	8.8	9	3.7	229	4.6
その他	9	6.1	28	11.5	222	4.5
この調査ではじめて知った	3	2.0	17	7.0	255	5.1
有効回答数	148		243		4,981	100.0
無効回答	5		6		157	
無回答	2		1		38	
合計	155		250		5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

3.4. 「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ

次に、「アクティブ・ラーニング」という言葉に対するイメージについて、分析の結果を示す。「アクティブ・ラーニング」という言葉にどのようなイメージを持っているかを尋ねた結果、「生徒の力の向上に効果的な学習である」(66.1%)が最も高く、「積極的に取り組むべき学習である」(48.4%)、「いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である」(35.3%)、「教員の時間的な負担が増えそうだ」(23.1%)、「教員は困惑するだろう」(17.3%)、「カタカナ横文字に違和感がある」(10.4%)、「最先端の学習である」(8.8%)、「その他」(7.9%)、「授業が混乱するだろう」(5.0%)、「イメージが湧かない」(3.6%)、「あまり効果があるとは思えない」(2.5%)と続いた。教科主任調査と比べて「生徒の力の向上に効果的な学習である」というイメージが強く、「教員の時間的な負担が増えそうだ」といイメージは弱いことがわかった。

Q9-2

表 193 「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ

項目	度数	パーセント
生徒の力の向上に効果的な学習である	3,064	66.1
最先端の学習である	407	8.8
積極的に取り組むべき学習である	2,242	48.4
いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である	1,634	35.3
カタカナ横文字に違和感がある	483	10.4
あまり効果があるとは思えない	115	2.5
教員は困惑するだろう	803	17.3
授業が混乱するだろう	233	5.0
教員の時間的な負担が増えそうだ	1,072	23.1
イメージが湧かない	169	3.6
その他	366	7.9
有効回答数	4,635	100.0
非該当	222	
無効回答	157	
無回答	162	
合計	5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージについて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた(複数選択)。
3. 複数選択であるため合計は100%ではない。
4. 「アクティブ・ラーニング」という言葉を知らない場合は非該当とした。

(注) 1. 教員調査の結果による。

図 25 「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ

表 194 教科別「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージ

項目	国語		地歴・公民		数学		理科	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
生徒の力の向上に効果的な学習である	526	68.1	445	62.3	400	63.8	491	72.8
最先端の学習である	84	10.9	63	8.8	47	7.5	50	7.4
積極的に取り組むべき学習である	402	52.1	339	47.5	285	45.5	316	46.9
いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である	282	36.5	271	38.0	166	26.5	222	32.9
カタカナ横文字に違和感がある	111	14.4	79	11.1	62	9.9	72	10.7
あまり効果があるとは思えない	15	1.9	30	4.2	18	2.9	16	2.4
教員は困惑するだろう	135	17.5	164	23.0	133	21.2	136	20.2
授業が混乱するだろう	27	3.5	49	6.9	35	5.6	44	6.5
教員の時間的な負担が増えそう	170	22.0	209	29.3	159	25.4	183	27.2
イメージが湧かない	22	2.8	23	3.2	32	5.1	21	3.1
その他	70	9.1	57	8.0	48	7.7	59	8.8
有効回答数	772	100.0	714	100.0	627	100.0	674	100.0
非該当	23		24		16		25	
無効回答	30		29		11		18	
無回答	24		21		13		28	
合計	849		788		667		745	

続き

項目	外国語		保健体育		芸術		家庭	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
生徒の力の向上に効果的な学習である	621	67.4	110	58.5	82	64.1	150	63.8
最先端の学習である	98	10.6	14	7.4	8	6.3	13	5.5
積極的に取り組むべき学習である	506	54.9	77	41.0	45	35.2	99	42.1
いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である	309	33.6	68	36.2	55	43.0	120	51.1
カタカナ横文字に違和感がある	57	6.2	14	7.4	16	12.5	37	15.7
あまり効果があるとは思えない	21	2.3	4	2.1	3	2.3	3	1.3
教員は困惑するだろう	125	13.6	25	13.3	10	7.8	19	8.1
授業が混乱するだろう	41	4.5	9	4.8	6	4.7	4	1.7
教員の時間的な負担が増えそう	194	21.1	28	14.9	17	13.3	39	16.6
イメージが湧かない	28	3.0	9	4.8	8	6.3	9	3.8
その他	73	7.9	11	5.9	10	7.8	15	6.4
有効回答数	921	100.0	188	100.0	128	100.0	235	100.0
非該当	44		29		17		7	
無効回答	35		7		4		11	
無回答	28		8		5		7	
合計	1,028		232		154		260	

続き

項目	情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%
生徒の力の向上に効果的な学習である	82	62.1	135	66.2	3,064	66.1
最先端の学習である	9	6.8	16	7.8	407	8.8
積極的に取り組むべき学習である	61	46.2	91	44.6	2,242	48.4
いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である	56	42.4	67	32.8	1,634	35.3
カタカナ横文字に違和感がある	11	8.3	18	8.8	483	10.4
あまり効果があるとは思えない	1	0.8	3	1.5	115	2.5
教員は困惑するだろう	21	15.9	28	13.7	803	17.3
授業が混乱するだろう	11	8.3	5	2.5	233	5.0
教員の時間的な負担が増えそう	20	15.2	47	23.0	1,072	23.1
イメージが湧かない	5	3.8	11	5.4	169	3.6
その他	11	8.3	12	5.9	366	7.9
有効回答数	132	100.0	204	100.0	4,635	100.0
非該当	9		28		222	
無効回答	5		6		157	
無回答	9		12		162	
合計	155		250		5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 「アクティブ・ラーニング」という言葉のイメージについて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた(複数選択)。

3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

4. 「アクティブ・ラーニング」という言葉を知らない場合は非該当とした。

3.5. 参加型学習の授業案を設計する際に参考にしたもの

各高等学校で参加型学習に積極的に取り組んでいる教員が、参加型学習の授業案を設計する際に何を参考としたかを尋ねた。その結果、「他校の教員が実施しているものを参考にした」(52.8%)が最も多く、「自身で何も参考にせずに設計した」(37.8%)、「同校の同教科の教員が実施しているものを参考にした」(29.8%)、「大学の研究者が設計したものを参考にした」(20.2%)、「同校の他教科の教員が実施しているものを参考にした」(15.3%)、「その他」(14.2%)、「教科の会議で設計したものを参考にした」(11.2%)、「教育委員会が公開しているものを参考にした」(7.1%)、「文部科学省が公開しているものを参考にした」(6.0%)、「企業の人々が設計したものを参考にした」(4.9%)と続いた。

Q11-1

表 195 授業案を設計する際に参考としたもの

項目	度数	パーセント
他校の教員が実施しているものを参考にした	2,639	52.8
自身で何も参考にせずに設計した	1,890	37.8
同校の同教科の教員が実施しているものを参考にした	1,488	29.8
大学の研究者が設計したものを参考にした	1,010	20.2
同校の他教科の教員が実施しているものを参考にした	766	15.3
教科の会議で設計したものを参考にした	559	11.2
教育委員会が公開しているものを参考にした	354	7.1
文部科学省が公開しているものを参考にした	301	6.0
企業の人々が設計したものを参考にした	247	4.9
その他	710	14.2
有効回答数	4,996	100.0
無回答	180	
合計	5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 授業案を設計する際に参考にしたものについて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた(複数選択)。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

表 196 教科別授業案を設計する際に参考としたもの

項目	国語		地歴・公民		数学		理科	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
他校の教員が実施しているものを参考にした	432	52.0	377	50.0	325	51.2	386	53.5
自身で何も参考にせずに設計した	342	41.2	337	44.7	226	35.6	265	36.8
同校の同教科の教員が実施しているものを参考にした	284	34.2	163	21.6	184	29.0	188	26.1
大学の研究者が設計したものを参考にした	179	21.5	184	24.4	131	20.6	154	21.4
同校の他教科の教員が実施しているものを参考にした	150	18.1	119	15.8	106	16.7	113	15.7
教科の会議で設計したものを参考にした	59	7.1	67	8.9	51	8.0	68	9.4
教育委員会が公開しているものを参考にした	58	7.0	52	6.9	33	5.2	42	5.8
文部科学省が公開しているものを参考にした	56	6.7	43	5.7	17	2.7	34	4.7
企業の人が設計したものを参考にした	52	6.3	35	4.6	13	2.0	21	2.9
その他	137	16.5	116	15.4	48	7.6	92	12.8
有効回答数	831	100.0	754	100.0	635	100.0	721	100.0
無回答	18		34		32		24	
合計	849		788		667		745	

続き

項目	外国語		保健体育		芸術		家庭	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
他校の教員が実施しているものを参考にした	589	58.7	91	41.4	85	58.2	142	55.3
自身で何も参考にせずに設計した	323	32.2	71	32.3	65	44.5	110	42.8
同校の同教科の教員が実施しているものを参考にした	379	37.7	74	33.6	18	12.3	55	21.4
大学の研究者が設計したものを参考にした	211	21.0	24	10.9	20	13.7	32	12.5
同校の他教科の教員が実施しているものを参考にした	126	12.5	38	17.3	21	14.4	37	14.4
教科の会議で設計したものを参考にした	122	12.2	34	15.5	17	11.6	50	19.5
教育委員会が公開しているものを参考にした	79	7.9	27	12.3	9	6.2	29	11.3
文部科学省が公開しているものを参考にした	72	7.2	23	10.5	13	8.9	19	7.4
企業の人が設計したものを参考にした	43	4.3	9	4.1	6	4.1	22	8.6
その他	191	19.0	32	14.5	17	11.6	34	13.2
有効回答数	1,004	100.0	220	100.0	146	100.0	257	100.0
無回答	24		12		8		3	
合計	1,028		232		154		260	

続き

項目	情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%
他校の教員が実施しているものを参考にした	73	49.7	122	51.9	2,639	52.8
自身で何も参考にせずに設計した	59	40.1	75	31.9	1,890	37.8
同校の同教科の教員が実施しているものを参考にした	39	26.5	85	36.2	1,488	29.8
大学の研究者が設計したものを参考にした	26	17.7	39	16.6	1,010	20.2
同校の他教科の教員が実施しているものを参考にした	12	8.2	36	15.3	766	15.3
教科の会議で設計したものを参考にした	25	17.0	59	25.1	559	11.2
教育委員会が公開しているものを参考にした	5	3.4	17	7.2	354	7.1
文部科学省が公開しているものを参考にした	4	2.7	17	7.2	301	6.0
企業の人が設計したものを参考にした	15	10.2	28	11.9	247	4.9
その他	15	10.2	23	9.8	710	14.2
有効回答数	147	100.0	235	100.0	4,996	100.0
無回答	8		15		180	
合計	155		250		5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 授業案を設計する際に参考にしたものについて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

3.6. 参加型学習の授業方法を学んだ場所

各高等学校で参加型学習に積極的に取り組んでいる教員が、参加型学習の授業方法をどこで身につけたかを尋ねた。その結果、「校務として参加した研修会や勉強会で学んだ」(42.4%)、「雑誌や書籍の記事で学んだ」(37.0%)、「自主的に参加した校外の研修会や勉強会で学んだ」(36.3%)、「同校の教員から学んだ」(32.9%)、「大学の研究者等から学んだ」(19.3%)、「授業案を設計した人から教わった」(17.3%)、「自分が生徒・学生時代に受けた授業方法を真似た」(15.8%)、「指導書を参考にした」(11.2%)、「その他」(9.1%)、「教員養成課程学部で学んだ」(7.3%)、「教育以外の分野で実践されている方法を参考にした」(7.3%)、「教員以外の社会人経験の中で学んだ」(6.0%)、「大学時代の教職科目以外の授業などで学んだ」(5.7%)、「教員免許更新講習で学んだ」(2.6%)、「教職大学院で学んだ」(2.4%)と続いた。「特になし」は6.9%であった。

研修会や勉強会で「教員養成課程学部で学んだ」や「教職大学院で学んだ」という回答の割合は低く、大学・大学院時代に学んだことは、高等学校の教員からは有効であると認知されていないと考えられる。この点は、今後の大学・大学院教育の課題と言える。

Q11-2

表 197 授業案を設計する際に参考としたもの

項目	度数	パーセント
校務として参加した研修会や勉強会で学んだ	2,120	42.4
雑誌や書籍の記事で学んだ	1,848	37.0
自主的に参加した校外の研修会や勉強会で学んだ	1,813	36.3
同校の教員から学んだ	1,642	32.9
大学の研究者等から学んだ	966	19.3
授業案を設計した人から教わった	867	17.3
自分が生徒・学生時代に受けた授業方法を真似た	790	15.8
指導書を参考にした	558	11.2
教員養成課程学部で学んだ	364	7.3
教育以外の分野で実践されている方法を参考にした	364	7.3
教員以外の社会人経験の中で学んだ	301	6.0
大学時代の教職科目以外の授業などで学んだ	285	5.7
教員免許更新講習で学んだ	130	2.6
教職大学院で学んだ	122	2.4
その他	455	9.1
特になし	346	6.9
有効回答数	4,998	100.0
無回答	178	
合計	5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型学習の授業方法を身につけた場所について、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた(複数選択)。

3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

表 198 教科別授業案を設計する際に参考としたもの

項目	国語		地歴・公民		数学		理科	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
校務として参加した研修会や勉強会で学んだ	347	41.8	261	34.7	276	43.5	281	39.0
雑誌や書籍の記事で学んだ	337	40.6	313	41.6	191	30.1	238	33.0
自主的に参加した校外の研修会や勉強会で学んだ	306	36.8	268	35.6	198	31.2	249	34.5
同校の教員から学んだ	287	34.5	216	28.7	216	34.1	235	32.6
大学の研究者等から学んだ	162	19.5	177	23.5	105	16.6	136	18.9
授業案を設計した人から教わった	146	17.6	136	18.1	101	15.9	120	16.6
自分が生徒・学生時代に受けた授業方法を真似た	130	15.6	122	16.2	92	14.5	109	15.1
指導書を参考にした	110	13.2	50	6.6	26	4.1	47	6.5
教員養成課程学部で学んだ	73	8.8	49	6.5	39	6.2	32	4.4
教育以外の分野で実践されている方法を参考にした	82	9.9	57	7.6	14	2.2	38	5.3
教員以外の社会人経験の中で学んだ	40	4.8	57	7.6	14	2.2	44	6.1
大学時代の教職科目以外の授業などで学んだ	37	4.5	48	6.4	29	4.6	38	5.3
教員免許更新講習で学んだ	23	2.8	12	1.6	7	1.1	13	1.8
教職大学院で学んだ	16	1.9	23	3.1	7	1.1	19	2.6
その他	81	9.7	79	10.5	52	8.2	55	7.6
特になし	60	7.2	66	8.8	54	8.5	55	7.6
有効回答数	831	100.0	753	100.0	634	100.0	721	100.0
無回答	18		35		33		24	
合計	849		788		667		745	

続き

項目	外国語		保健体育		芸術		家庭	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
校務として参加した研修会や勉強会で学んだ	459	45.7	111	50.2	67	45.9	146	57.0
雑誌や書籍の記事で学んだ	452	45.0	56	25.3	43	29.5	89	34.8
自主的に参加した校外の研修会や勉強会で学んだ	477	47.5	43	19.5	44	30.1	82	32.0
同校の教員から学んだ	374	37.3	79	35.7	25	17.1	64	25.0
大学の研究者等から学んだ	223	22.2	34	15.4	24	16.4	31	12.1
授業案を設計した人から教わった	192	19.1	37	16.7	19	13.0	42	16.4
自分が生徒・学生時代に受けた授業方法を真似た	153	15.2	43	19.5	40	27.4	31	12.1
指導書を参考にした	151	15.0	50	22.6	23	15.8	53	20.7
教員養成課程学部で学んだ	88	8.8	20	9.0	14	9.6	25	9.8
教育以外の分野で実践されている方法を参考にした	58	5.8	16	7.2	17	11.6	24	9.4
教員以外の社会人経験の中で学んだ	63	6.3	15	6.8	11	7.5	10	3.9
大学時代の教職科目以外の授業などで学んだ	66	6.6	18	8.1	18	12.3	9	3.5
教員免許更新講習で学んだ	38	3.8	6	2.7	9	6.2	6	2.3
教職大学院で学んだ	43	4.3	1	0.5	4	2.7	4	1.6
その他	91	9.1	20	9.0	14	9.6	20	7.8
特になし	44	4.4	12	5.4	12	8.2	12	4.7
有効回答数	1,004	100.0	221	100.0	146	100.0	256	100.0
無回答	24		11		8		4	
合計	1,028		232		154		260	

続き

項目	情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%
校務として参加した研修会や勉強会で学んだ	49	32.9	102	43.0	2,120	42.4
雑誌や書籍の記事で学んだ	46	30.9	75	31.6	1,848	37.0
自主的に参加した校外の研修会や勉強会で学んだ	58	38.9	74	31.2	1,813	36.3
同校の教員から学んだ	37	24.8	92	38.8	1,642	32.9
大学の研究者等から学んだ	31	20.8	32	13.5	966	19.3
授業案を設計した人から教わった	31	20.8	36	15.2	867	17.3
自分が生徒・学生時代に受けた授業方法を真似た	16	10.7	50	21.1	790	15.8
指導書を参考にした	11	7.4	34	14.3	558	11.2
教員養成課程学部で学んだ	9	6.0	12	5.1	364	7.3
教育以外の分野で実践されている方法を参考にした	18	12.1	36	15.2	364	7.3
教員以外の社会人経験の中で学んだ	21	14.1	23	9.7	301	6.0
大学時代の教職科目以外の授業などで学んだ	6	4.0	12	5.1	285	5.7
教員免許更新講習で学んだ	3	2.0	12	5.1	130	2.6
教職大学院で学んだ	2	1.3	1	0.4	122	2.4
その他	16	10.7	19	8.0	455	9.1
特になし	16	10.7	12	5.1	346	6.9
有効回答数	149	100.0	237	100.0	4,998	100.0
無回答	6		13		178	
合計	155		250		5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 参加型学習の授業方法を身につけた場所ついて、あてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため合計は100%ではない。

3.7. 参加型学習を取り入れた授業をはじめた時期ときっかけ

参加型学習を取り入れた授業をはじめたきっかけについて尋ねた。その結果、「研修や勉強会で学んで効果がありそうだったから」(42.9%)が最も多く、「他の教員の授業を見たり話を聞いたりして効果がありそうだったから」(38.6%)、「新しい手法に取り組んでみたかったから」(31.2%)、「これまでの手法に限界を感じたから」(23.0%)、「最初から当然のものとしてやっていた」(17.2%)、「学校の方針として決まったから」(13.1%)、「その他」(11.8%)「学習指導要領に記載されているから」(10.8%)、「自分が生徒・学生時代に受けた授業に効果があったから」(9.8%)、「教科の方針として決まったから」(9.7%)、「生徒から要望があったから」(3.5%)、「自治体の方針として決まったから」(1.4%)と続いた。

また、参加型学習を取り入れた授業をはじめた時期について尋ねた結果、「2~3年前から」(22.0%)が最も多く、「昨年から」(16.6%)、「4~5年前から」(14.1%)、「10~19年前から」(13.9%)、「6~9年前から」(13.0%)、「今年から」(12.6%)、「20年以上前から」(7.9%)と続いた。教職経験年数とのクロス集計の結果、ここ2~3年の間に参加型学習を取り入れた授業をはじめたか、あるいは教員をはじめた頃から参加型学習を取り入れた授業をしていたか、という教員が多いことがわかった。

Q12-2

表 199 参加型学習を取り入れた授業をはじめたきっかけ

項目	度数	パーセント
研修や勉強会で学んで効果がありそうだったから	2,140	42.9
他の教員の授業を見たり話を聞いたりして効果がありそうだったから	1,927	38.6
新しい手法に取り組んでみたかったから	1,556	31.2
これまでの手法に限界を感じたから	1,150	23.0
最初から当然のものとしてやっていた	861	17.2
学校の方針として決まったから	652	13.1
学習指導要領に記載されているから	541	10.8
自分が生徒・学生時代に受けた授業に効果があったから	489	9.8
教科の方針として決まったから	482	9.7
生徒から要望があったから	174	3.5
自治体の方針として決まったから	69	1.4
その他	588	11.8
有効回答数	4,993	100.0
無回答	183	
合計	5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型学習を取り入れた授業をはじめたきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

表 200 教科別参加型学習を取り入れた授業をはじめたきっかけ

項目	国語		地歴・公民		数学		理科	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
研修や勉強会で学んで効果があり そうだったから	367	44.1	300	39.9	282	44.5	270	37.5
他の教員の授業を見たり話を聞い たりして効果がありそうだった から	356	42.8	268	35.6	244	38.5	276	38.3
新しい手法に取り組んでみたかっ たから	277	33.3	288	38.3	196	31.0	211	29.3
これまでの手法に限界を感じたか ら	226	27.2	229	30.5	162	25.6	168	23.3
最初から当然のものとしてやっ ていた	140	16.8	101	13.4	68	10.7	86	11.9
学校の方針として決まったから	108	13.0	100	13.3	91	14.4	123	17.1
学習指導要領に記載されているか ら	79	9.5	67	8.9	37	5.8	53	7.4
自分が生徒・学生時代に受けた授 業に効果があったから	81	9.7	72	9.6	47	7.4	61	8.5
教科の方針として決まったから	45	5.4	35	4.7	30	4.7	52	7.2
生徒から要望があったから	36	4.3	30	4.0	9	1.4	21	2.9
自治体の方針として決まったから	11	1.3	10	1.3	9	1.4	8	1.1
その他	96	11.5	98	13.0	64	10.1	86	11.9
有効回答数	832	100.0	752	100.0	633	100.0	720	100.0
無回答	17		36		34		25	
合計	849		788		667		745	

続き

項目	外国語		保健体育		芸術		家庭	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
研修や勉強会で学んで効果があり そうだったから	141	14.1	31	14.0	20	13.7	47	18.4
他の教員の授業を見たり話を聞い たりして効果がありそうだった から	19	1.9	4	1.8	2	1.4	1	0.4
新しい手法に取り組んでみたかっ たから	120	12.0	29	13.1	15	10.3	13	5.1
これまでの手法に限界を感じたか ら	130	13.0	36	16.3	9	6.2	46	18.0
最初から当然のものとしてやっ ていた	36	3.6	3	1.4	8	5.5	8	3.1
学校の方針として決まったから	406	40.5	88	39.8	51	34.9	93	36.3
学習指導要領に記載されているか ら	524	52.2	84	38.0	52	35.6	109	42.6
自分が生徒・学生時代に受けた授 業に効果があったから	100	10.0	33	14.9	21	14.4	20	7.8
教科の方針として決まったから	342	34.1	62	28.1	28	19.2	52	20.3
生徒から要望があったから	239	23.8	28	12.7	11	7.5	32	12.5
自治体の方針として決まったから	256	25.5	47	21.3	61	41.8	85	33.2
その他	143	14.3	24	10.9	13	8.9	26	10.2
有効回答数	1,003	100.0	221	100.0	146	100.0	256	100.0
無回答	25		11		8		4	
合計	1,028		232		154		260	

続き

項目	情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%
研修や勉強会で学んで効果があり そうだったから	23	15.4	41	17.4	541	10.8
他の教員の授業を見たり話を聞い たりして効果がありそうだった から	0	0.0	4	1.7	69	1.4
新しい手法に取り組んでみたかっ たから	9	6.0	38	16.2	652	13.1
これまでの手法に限界を感じたか ら	33	22.1	57	24.3	482	9.7
最初から当然のものとしてやって いた	6	4.0	16	6.8	174	3.5
学校の方針として決まったから	47	31.5	78	33.2	1,927	38.6
学習指導要領に記載されているか ら	52	34.9	76	32.3	2,140	42.9
自分が生徒・学生時代に受けた授 業に効果があったから	14	9.4	37	15.7	489	9.8
教科の方針として決まったから	43	28.9	43	18.3	1,556	31.2
生徒から要望があったから	17	11.4	31	13.2	1,150	23.0
自治体の方針として決まったから	51	34.2	55	23.4	861	17.2
その他	21	14.1	11	4.7	588	11.8
有効回答数	149	100.0	235	100.0	4,993	100.0
無回答	6		15		183	
合計	155		250		5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型学習を取り入れた授業をはじめたきっかけについて、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

Q12-1

表 201 参加型学習を取り入れた授業をはじめた時期

項目	度数	パーセント
今年から	627	12.6
昨年から	824	16.6
2~3年前から	1,094	22.0
4~5年前から	701	14.1
6~9年前から	648	13.0
10~19年前から	690	13.9
20年以上前から	392	7.9
有効回答数	4,976	100.0
無効回答	17	
無回答	183	
合計	5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型学習を取り入れた授業をはじめた時期について、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

表 202 教科別参加型学習を取り入れた授業をはじめた時期

項目	国語		地歴・公民		数学		理科	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
今年から	72	8.7	92	12.3	138	21.8	116	16.2
昨年から	134	16.1	128	17.2	155	24.4	131	18.3
2~3年前から	165	19.9	167	22.4	166	26.2	179	25.0
4~5年前から	131	15.8	112	15.0	59	9.3	100	13.9
6~9年前から	103	12.4	81	10.9	51	8.0	85	11.9
10~19年前から	141	17.0	89	11.9	47	7.4	64	8.9
20年以上前から	84	10.1	77	10.3	18	2.8	42	5.9
有効回答数	830	100.0	746	100.0	634	100.0	717	100.0
無効回答	1		6		0		4	
無回答	18		36		33		24	
合計	849		788		667		745	

続き

項目	外国語		保健体育		芸術		家庭	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
今年から	142	14.2	15	6.8	12	8.2	12	4.7
昨年から	183	18.3	31	14.0	15	10.3	12	4.7
2~3年前から	229	22.9	54	24.4	28	19.2	31	12.3
4~5年前から	155	15.5	37	16.7	12	8.2	35	13.8
6~9年前から	143	14.3	31	14.0	20	13.7	39	15.4
10~19年前から	110	11.0	37	16.7	31	21.2	73	28.9
20年以上前から	38	3.8	16	7.2	28	19.2	51	20.2
有効回答数	1,000	100.0	221	100.0	146	100.0	253	100.0
無効回答	4		0		1		1	
無回答	24		11		7		6	
合計	1,028		232		154		260	

続き

項目	情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%
今年から	6	4.0	19	8.1	627	12.6
昨年から	5	3.4	21	9.0	824	16.6
2~3年前から	32	21.5	39	16.7	1,094	22.0
4~5年前から	24	16.1	33	14.1	701	14.1
6~9年前から	34	22.8	50	21.4	648	13.0
10~19年前から	41	27.5	49	20.9	690	13.9
20年以上前から	7	4.7	23	9.8	392	7.9
有効回答数	149	100.0	234	100.0	4,976	100.0
無効回答	0		0		17	
無回答	6		16		183	
合計	155		250		5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型学習を取り入れた授業をはじめた時期について、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

3.8. 参加型授業のねらい

表 203 参加型授業のねらい

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
思考・表現力					
自分の考えを言語で表現する力	5,021	4.46	0.742	155	5,176
これまでにない発想をしようとする創造性	4,999	3.51	1.145	177	5,176
自分の考えを深める思考力	5,004	4.24	0.824	172	5,176
課題解決力					
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	5,001	3.86	1.056	175	5,176
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	5,000	4.03	0.966	176	5,176
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	5,002	4.12	0.934	174	5,176
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	4,998	3.74	1.066	178	5,176
何事にも積極的に取り組む意欲	5,012	4.13	0.890	164	5,176
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	5,003	4.07	0.915	173	5,176
市民性					
勤労観や職業観	4,996	2.76	1.182	180	5,176
社会の一員としての市民性意識	4,993	2.88	1.214	183	5,176
社会変化に対応できる柔軟性	4,998	3.46	1.138	178	5,176
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	4,997	3.35	1.187	179	5,176
協働性					
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	5,014	4.34	0.832	162	5,176
他者と協力するための社会性や協調性	5,002	4.24	0.888	174	5,176
教科基礎力					
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	4,992	3.78	1.075	184	5,176
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	5,009	4.23	0.825	167	5,176
教科を超えた知識や理解の統合	4,989	3.67	1.107	187	5,176
文章などを正確に読み解く力	4,988	3.72	1.040	188	5,176

続き

項目	とても重視している	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない
思考・表現力					
自分の考えを言語で表現する力	2,928	1,601	397	70	25
これまでにない発想をしようとする創造性	1,179	1,390	1,457	724	249
自分の考えを深める思考力	2,242	1,905	697	139	21
課題解決力					
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	1,664	1,687	1,073	453	124
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	1,890	1,832	900	305	73
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	2,109	1,765	817	258	53
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	1,417	1,684	1,249	499	149
何事にも積極的に取り組む意欲	2,013	1,890	881	180	48
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	1,877	1,928	907	238	53
市民性					
勤労観や職業観	430	905	1,516	1,312	833
社会の一員としての市民性意識	546	1,020	1,439	1,241	747
社会変化に対応できる柔軟性	1,037	1,552	1,355	792	262
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	967	1,445	1,345	869	371
協働性					
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	2,634	1,643	574	126	37
他者と協力するための社会性や協調性	2,388	1,683	714	166	51
教科基礎力					
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	1,449	1,783	1,161	396	203
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	2,191	2,003	649	130	36
教科を超えた知識や理解の統合	1,343	1,618	1,248	589	191
文章などを正確に読み解く力	1,272	1,813	1,280	473	150

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業のねらい(身につけてほしい力)について、「1. あまり重視していない」「2. どちらともいえない」「3. やや重視している」「4. 重視している」「5. とても重視している」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。

3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 204 教科別参加型授業のねらい

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
自分の考えを言語で表現する力	835	4.59	0.675	758	4.50	0.721	636	4.37	0.851
これまでにない発想をしようとする創造性	831	3.39	1.152	757	3.57	1.165	633	3.33	1.170
自分の考えを深める思考力	833	4.39	0.757	757	4.32	0.791	635	4.24	0.818
課題解決力									
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	831	3.77	1.071	756	3.93	0.992	634	3.62	1.117
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	830	4.02	0.976	756	4.23	0.869	634	3.78	1.049
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	831	4.09	0.977	756	4.16	0.921	635	4.23	0.845
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	830	3.50	1.119	757	3.55	1.073	634	3.97	1.012
何事にも積極的に取り組む意欲	834	4.09	0.906	758	4.00	0.965	636	4.16	0.881
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	829	4.04	0.934	758	4.03	0.934	634	4.00	0.933
市民性									
勤労観や職業観	831	2.52	1.153	756	2.89	1.174	634	2.42	1.126
社会の一員としての市民性意識	829	2.69	1.194	755	3.40	1.182	634	2.42	1.145
社会変化に対応できる柔軟性	828	3.40	1.163	758	3.70	1.065	634	3.11	1.170
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	831	3.29	1.240	756	3.57	1.108	634	2.87	1.176
協働性									
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	836	4.45	0.773	758	4.30	0.889	635	4.23	0.891
他者と協力するための社会性や協調性	832	4.27	0.886	756	4.15	0.957	635	4.14	0.937
教科基礎力									
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	830	3.64	1.170	754	3.67	1.080	635	3.95	1.046
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	833	4.17	0.889	757	4.19	0.844	634	4.26	0.829
教科を超えた知識や理解の統合	828	3.75	1.103	753	3.83	1.072	632	3.29	1.194
文章などを正確に読み解く力	831	4.09	0.954	755	3.85	0.974	633	3.55	1.071

続き

項目	理科			外国語			保健体育		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
自分の考えを言語で表現する力	725	4.32	0.802	1,007	4.52	0.683	223	4.40	0.821
これまでにない発想をしようとする創造性	725	3.39	1.151	1,003	3.44	1.111	221	3.72	1.105
自分の考えを深める思考力	723	4.20	0.821	1,006	4.08	0.918	220	4.22	0.794
課題解決力									
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	725	3.81	1.128	1,002	3.67	1.068	222	4.20	0.897
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	726	4.05	0.979	1,004	3.86	0.998	221	4.10	0.894
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	725	4.18	0.912	1,002	3.83	1.032	222	4.30	0.797
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	724	3.67	1.046	1,003	3.80	1.023	221	3.82	1.089
何事にも積極的に取り組む意欲	724	4.01	0.931	1,004	4.24	0.814	222	4.27	0.871
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	724	4.02	0.933	1,005	4.08	0.924	222	4.22	0.886
市民性									
勤労観や職業観	723	2.44	1.107	1,003	2.75	1.120	221	3.00	1.120
社会の一員としての市民性意識	724	2.43	1.124	1,002	2.88	1.190	221	3.11	1.075
社会変化に対応できる柔軟性	725	3.15	1.165	1,001	3.48	1.123	221	3.71	1.057
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	724	3.02	1.157	1,004	3.39	1.140	220	3.63	1.153
協働性									
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	724	4.11	0.942	1,006	4.48	0.709	223	4.44	0.808
他者と協力するための社会性や協調性	725	4.05	0.953	1,003	4.34	0.808	221	4.44	0.805
教科基礎力									
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	722	3.76	1.120	1,000	3.93	0.997	220	3.63	0.940
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	724	4.20	0.862	1,005	4.33	0.746	223	4.19	0.779
教科を超えた知識や理解の統合	722	3.56	1.159	1,003	3.69	1.065	221	3.68	1.066
文章などを正確に読み解く力	722	3.54	1.068	1,003	3.77	1.021	218	3.21	1.095

続き

項目	芸術			家庭			情報		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
自分の考えを言語で表現する力	147	4.39	0.772	257	4.39	0.716	149	4.48	0.632
これまでにない発想をしようとする創造性	146	4.16	1.008	256	3.69	1.061	148	3.86	1.073
自分の考えを深める思考力	147	4.31	0.755	254	4.27	0.722	148	4.21	0.793
課題解決力									
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	147	4.32	0.811	256	4.34	0.800	148	4.12	0.961
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	146	4.02	0.943	254	4.16	0.854	149	4.49	0.785
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	146	4.29	0.796	257	4.29	0.792	148	4.32	0.827
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	146	4.26	0.947	255	3.85	1.018	148	3.82	0.990
何事にも積極的に取り組む意欲	148	4.35	0.815	257	4.08	0.811	148	4.02	0.915
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	146	4.31	0.784	256	4.04	0.808	148	4.09	0.868
市民性									
勤労観や職業観	145	2.79	1.178	256	3.50	0.998	149	3.13	1.125
社会の一員としての市民性意識	145	2.89	1.179	256	3.41	1.059	148	3.04	1.130
社会変化に対応できる柔軟性	146	3.58	1.107	256	3.80	0.921	149	3.79	1.086
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	145	3.43	1.223	256	4.00	0.931	148	3.55	1.109
協働性									
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	148	4.39	0.744	256	4.33	0.764	148	4.31	0.798
他者と協力するための社会性や協調性	145	4.38	0.809	256	4.30	0.835	148	4.17	0.828
教科基礎力									
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	147	3.77	1.079	255	3.68	1.037	149	3.80	0.979
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	148	4.14	0.878	257	4.29	0.778	148	4.25	0.807
教科を超えた知識や理解の統合	147	3.77	1.014	256	3.75	0.990	148	3.81	1.019
文章などを正確に読み解く力	146	3.37	1.108	254	3.44	0.975	148	3.72	0.968

続き

項目	その他			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力						
自分の考えを言語で表現する力	237	4.51	0.674	5,021	4.46	0.742
これまでにない発想をしようとする創造性	234	3.76	1.070	4,999	3.51	1.145
自分の考えを深める思考力	235	4.20	0.838	5,004	4.24	0.824
課題解決力						
課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	234	4.32	0.793	5,001	3.86	1.056
自分で情報を収集し、分析し、整理する力	235	4.29	0.800	5,000	4.03	0.966
課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	235	4.36	0.780	5,002	4.12	0.934
主体性						
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	235	4.06	0.996	4,998	3.74	1.066
何事にも積極的に取り組む意欲	236	4.29	0.784	5,012	4.13	0.890
他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	234	4.28	0.836	5,003	4.07	0.915
市民性						
勤労観や職業観	234	3.75	1.124	4,996	2.76	1.182
社会の一員としての市民性意識	234	3.45	1.119	4,993	2.88	1.214
社会変化に対応できる柔軟性	235	3.79	1.016	4,998	3.46	1.138
自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	234	3.94	1.048	4,997	3.35	1.187
協働性						
主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	233	4.37	0.805	5,014	4.34	0.832
他者と協力するための社会性や協調性	236	4.47	0.705	5,002	4.24	0.888
教科基礎力						
各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	233	3.78	1.058	4,992	3.78	1.075
各教科で身につけた知識・技能を活用する力	235	4.26	0.770	5,009	4.23	0.825
教科を超えた知識や理解の統合	234	3.85	1.031	4,989	3.67	1.107
文章などを正確に読み解く力	233	3.74	0.989	4,988	3.72	1.040

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業のねらい(身につけてほしい力)について、「1. あまり重視していない」「2. どちらともいえない」「3. やや重視している」「4. 重視している」「5. とても重視している」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた(単一選択)。
3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

3.9. 参加型授業の学習活動

表 205 参加型授業の学習活動

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
理解深化型					
学習について自分で客観的にふりかえる活動	4,974	2.36	0.938	202	5,176
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	4,980	2.22	0.993	196	5,176
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	4,975	1.79	0.949	201	5,176
生徒同士がお互いに評価し合う活動	4,986	2.24	1.009	190	5,176
教員による思考の活性化を促す説明や解説	5,000	2.53	0.955	176	5,176
探求活動型					
個人でテーマを調べる活動	4,985	2.05	1.044	191	5,176
グループでテーマを調べる活動	4,982	2.17	1.081	194	5,176
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	4,993	2.28	0.962	183	5,176
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	4,981	1.95	1.047	195	5,176
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	4,979	1.76	0.955	197	5,176
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	4,991	2.03	1.052	185	5,176
意見発表・交換型					
生徒同士の討論（ディベート）	4,966	1.76	0.978	210	5,176
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	4,989	2.63	0.999	187	5,176
生徒による発表（プレゼンテーション）	4,991	2.66	1.012	185	5,176
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	4,984	2.63	1.012	192	5,176
社会活動型					
博物館など、学校外の施設で調べる活動	4,983	1.32	0.693	193	5,176
実験室などでの実験や観察	4,984	1.46	0.915	192	5,176
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	4,984	1.43	0.806	192	5,176
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人役に立つ活動	4,984	1.39	0.800	192	5,176
外部講師による講演や活動	4,989	1.61	0.949	187	5,176
自然体験・社会体験活動	4,986	1.41	0.798	190	5,176
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	4,978	1.47	0.861	198	5,176
芸術・創作活動型					
演劇やダンスなどの身体活動	4,979	1.20	0.604	197	5,176
音楽や美術などの芸術活動	4,979	1.21	0.632	197	5,176
写真や映像などを用いた創作活動	4,979	1.49	0.848	197	5,176

続き

項目	とても力を入れて取り組んでいる	力を入れて取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいない
理解深化型				
学習について自分で客観的にふりかえる活動	713	1,276	2,084	901
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	652	1,164	1,787	1,377
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	362	742	1,365	2,506
生徒同士が互いに評価し合う活動	734	1,062	1,839	1,351
教員による思考の活性化を促す説明や解説	979	1,378	1,964	679
探求活動型				
個人でテーマを調べる活動	656	891	1,509	1,929
グループでテーマを調べる活動	786	1,040	1,380	1,776
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	656	1,253	1,936	1,148
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	594	832	1,295	2,260
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	398	625	1,344	2,612
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	670	833	1,478	2,010
意見発表・交換型				
生徒同士の討論（ディベート）	436	616	1,245	2,669
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	1,221	1,378	1,706	684
生徒による発表（プレゼンテーション）	1,285	1,458	1,533	715
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	1,214	1,473	1,540	757
社会活動型				
博物館など、学校外の施設で調べる活動	133	258	657	3,935
実験室などでの実験や観察	378	332	500	3,774
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	210	378	780	3,616
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人々の役に立つ活動	245	271	645	3,823
外部講師による講演や活動	385	497	894	3,213
自然体験・社会体験活動	215	338	721	3,712
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	286	365	769	3,558
芸術・創作活動型				
演劇やダンスなどの身体活動	122	144	336	4,377
音楽や美術などの芸術活動	157	114	331	4,377
写真や映像などを用いた創作活動	249	421	852	3,457

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業の学習活動について、「1. 取り組んでいない」「2. 取り組んでいる」「3. 力を入れて取り組んでいる」「4. とても力を入れて取り組んでいる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 206 教科別参加型授業の学習活動

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
理解深化型									
学習について自分で客観的にふりかえる活動	828	2.43	0.926	755	2.27	0.927	635	2.34	0.965
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	823	2.10	0.953	757	2.38	0.977	636	1.86	0.948
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	824	1.78	0.923	756	1.91	1.016	636	1.46	0.784
生徒同士がお互いに評価し合う活動	831	2.45	0.979	756	1.97	0.949	636	1.85	0.944
教員による思考の活性化を促す説明や解説	834	2.62	0.930	757	2.62	0.966	637	2.49	0.993
探求活動型									
個人でテーマを調べる活動	827	2.04	0.988	755	2.28	1.057	636	1.59	0.890
グループでテーマを調べる活動	828	2.21	1.053	755	2.28	1.102	634	1.80	1.001
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	829	2.37	0.954	758	2.42	0.975	637	2.03	0.963
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	827	1.87	0.975	754	2.06	1.074	634	1.59	0.899
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	827	1.96	0.976	754	1.96	1.040	635	1.34	0.714
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	829	1.84	0.946	755	2.09	1.046	635	1.68	0.969
意見発表・交換型									
生徒同士の討論（ディベート）	821	1.82	0.977	754	1.84	1.013	634	1.71	0.985
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	830	2.84	0.947	757	2.64	1.000	636	2.63	1.019
生徒による発表（プレゼンテーション）	827	2.59	0.955	757	2.61	1.031	635	2.40	1.006
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	830	2.81	0.955	755	2.59	1.026	636	2.48	1.043
社会活動型									
博物館など、学校外の施設で調べる活動	828	1.25	0.599	753	1.48	0.838	636	1.17	0.529
実験室などでの実験や観察	827	1.05	0.292	752	1.09	0.381	635	1.16	0.532
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	828	1.32	0.693	754	1.42	0.799	636	1.18	0.585
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	827	1.26	0.673	755	1.41	0.838	636	1.14	0.470
外部講師による講演や活動	828	1.46	0.852	756	1.62	0.950	635	1.36	0.765
自然体験・社会体験活動	827	1.24	0.628	758	1.37	0.778	635	1.19	0.552
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	825	1.30	0.705	757	1.43	0.846	635	1.22	0.593
芸術・創作活動型									
演劇やダンスなどの身体活動	827	1.20	0.595	756	1.13	0.494	636	1.04	0.275
音楽や美術などの芸術活動	827	1.15	0.488	756	1.12	0.433	636	1.05	0.293
写真や映像などを用いた創作活動	826	1.31	0.687	756	1.46	0.839	636	1.18	0.565

続き

項目	理科			外国語			保健体育		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
理解深化型									
学習について自分で客観的にふりかえる活動	717	2.30	0.943	999	2.23	0.904	220	2.35	0.927
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	719	2.57	0.986	1,000	1.92	0.904	222	2.22	0.974
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	718	1.79	0.976	1,001	1.66	0.860	222	1.93	1.002
生徒同士がお互いに評価し合う活動	719	1.88	0.951	1,000	2.37	0.934	220	2.40	1.057
教員による思考の活性化を促す説明や解説	719	2.63	0.956	1,003	2.44	0.954	223	2.40	0.909
探求活動型									
個人でテーマを調べる活動	718	1.83	1.014	1,002	1.96	1.002	221	2.12	1.042
グループでテーマを調べる活動	720	2.14	1.129	1,001	2.08	1.046	221	2.30	1.113
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	720	2.15	0.957	1,001	2.23	0.953	222	2.29	0.927
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	719	1.90	1.076	1,002	1.79	0.957	222	2.16	1.110
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	718	1.79	0.960	999	1.54	0.840	222	1.87	1.008
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	722	2.10	1.047	1,000	1.89	0.983	222	2.14	1.080
意見発表・交換型									
生徒同士の討論（ディベート）	718	1.70	0.951	1,000	1.74	1.005	221	1.96	1.046
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	719	2.69	1.007	1,001	2.49	1.021	221	2.72	0.978
生徒による発表（プレゼンテーション）	723	2.51	1.054	1,003	2.78	0.996	222	2.59	1.041
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	721	2.49	1.021	1,000	2.74	1.006	222	2.70	1.003
社会活動型									
博物館など、学校外の施設で調べる活動	721	1.41	0.782	1,000	1.19	0.524	222	1.24	0.620
実験室などでの実験や観察	722	2.98	0.983	1,002	1.08	0.360	222	1.17	0.470
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	721	1.44	0.802	1,002	1.40	0.761	222	1.36	0.723
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	721	1.36	0.787	1,001	1.25	0.630	222	1.37	0.685
外部講師による講演や活動	721	1.67	1.027	1,001	1.54	0.864	222	1.48	0.833
自然体験・社会体験活動	720	1.73	0.962	1,001	1.24	0.585	222	1.44	0.763
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	720	1.51	0.895	999	1.46	0.827	220	1.41	0.744
芸術・創作活動型									
演劇やダンスなどの身体活動	720	1.07	0.338	1,001	1.19	0.571	222	1.95	1.160
音楽や美術などの芸術活動	719	1.06	0.312	1,000	1.16	0.452	221	1.20	0.519
写真や映像などを用いた創作活動	720	1.34	0.731	1,001	1.51	0.811	220	1.62	0.901

続き

項目	芸術			家庭			情報		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
理解深化型									
学習について自分で客観的にふりかえる活動	145	2.81	0.905	252	2.48	0.881	145	2.64	0.977
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	145	2.10	0.938	252	2.45	0.915	147	2.75	0.985
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	146	1.82	0.894	251	2.08	0.962	145	2.08	1.100
生徒同士がお互いに評価し合う活動	148	3.11	0.930	252	2.42	0.914	147	3.03	0.936
教員による思考の活性化を促す説明や解説	147	2.61	0.872	255	2.31	0.889	146	2.57	1.030
探求活動型									
個人でテーマを調べる活動	148	2.34	1.098	254	2.54	1.031	147	2.76	1.076
グループでテーマを調べる活動	147	2.16	1.021	252	2.23	1.032	146	2.51	1.146
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	147	2.37	0.987	254	2.31	0.885	147	2.73	0.953
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	147	2.30	1.131	255	2.29	1.078	145	2.68	1.097
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	146	1.92	0.993	254	1.91	0.934	146	1.82	1.015
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	148	1.99	0.969	254	2.09	0.962	148	3.55	0.749
意見発表・交換型									
生徒同士の討論（ディベート）	145	1.68	0.772	252	1.55	0.809	146	1.68	0.909
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	146	2.47	0.919	253	2.35	0.881	146	2.53	1.077
生徒による発表（プレゼンテーション）	146	2.99	0.950	253	2.68	0.862	149	3.52	0.713
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	147	2.61	0.961	250	2.52	0.974	146	2.53	1.052
社会活動型									
博物館など、学校外の施設で調べる活動	147	1.52	0.863	254	1.35	0.717	146	1.40	0.810
実験室などでの実験や観察	147	1.18	0.582	254	2.04	0.983	146	1.34	0.764
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	147	1.35	0.766	252	1.90	0.975	146	1.92	1.080
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	147	1.60	0.873	253	1.90	0.999	146	1.49	0.941
外部講師による講演や活動	146	1.75	1.041	254	2.04	1.038	146	1.64	1.036
自然体験・社会体験活動	146	1.44	0.779	253	1.72	0.986	147	1.42	0.859
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	147	1.71	0.936	252	1.92	1.042	146	1.69	1.048
芸術・創作活動型									
演劇やダンスなどの身体活動	145	1.62	0.986	250	1.24	0.650	145	1.17	0.532
音楽や美術などの芸術活動	147	3.63	0.846	251	1.20	0.544	145	1.28	0.586
写真や映像などを用いた創作活動	147	2.30	1.219	251	1.63	0.882	145	2.54	1.041

続き

項目	その他			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
理解深化型						
学習について自分で客観的にふりかえる活動	232	2.63	0.954	4,974	2.36	0.938
データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	234	2.79	0.913	4,980	2.22	0.993
まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	231	2.23	0.968	4,975	1.79	0.949
生徒同士がお互いに評価し合う活動	232	2.47	0.980	4,986	2.24	1.009
教員による思考の活性化を促す説明や解説	233	2.44	0.963	5,000	2.53	0.955
探求活動型						
個人でテーマを調べる活動	232	2.46	0.993	4,985	2.05	1.044
グループでテーマを調べる活動	233	2.65	0.989	4,982	2.17	1.081
教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	233	2.48	0.896	4,993	2.28	0.962
生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	231	2.43	1.023	4,981	1.95	1.047
図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	233	2.05	0.972	4,979	1.76	0.955
コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	232	2.74	1.000	4,991	2.03	1.052
意見発表・交換型						
生徒同士の討論（ディベート）	230	1.84	0.987	4,966	1.76	0.978
生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	235	2.60	0.975	4,989	2.63	0.999
生徒による発表（プレゼンテーション）	231	3.04	0.927	4,991	2.66	1.012
生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	231	2.64	0.985	4,984	2.63	1.012
社会活動型						
博物館など、学校外の施設で調べる活動	231	1.54	0.827	4,983	1.32	0.693
実験室などでの実験や観察	232	1.71	1.065	4,984	1.46	0.915
インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	231	1.98	1.032	4,984	1.43	0.806
地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	231	2.33	1.196	4,984	1.39	0.800
外部講師による講演や活動	235	2.40	1.106	4,989	1.61	0.949
自然体験・社会体験活動	232	2.07	1.114	4,986	1.41	0.798
他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	232	2.17	1.138	4,978	1.47	0.861
芸術・創作活動型						
演劇やダンスなどの身体活動	232	1.25	0.663	4,979	1.20	0.604
音楽や美術などの芸術活動	232	1.25	0.650	4,979	1.21	0.632
写真や映像などを用いた創作活動	232	1.93	0.914	4,979	1.49	0.848

(注) 1. 教員調査の結果による。

- 参加型授業の学習活動について、「1. 取り組んでいない」「2. 取り組んでいる」「3. 力を入れて取り組んでいる」「4. とても力を入れて取り組んでいる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

3.10. 参加型授業の工夫

表 207 参加型授業の学習環境や授業方法の工夫

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
他教員との協働					
他学年との合同の取り組み	4,979	1.27	0.652	197	5,176
複数の教員による合同の授業の実施	4,978	1.56	0.894	198	5,176
校内実施体制の整備					
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	4,970	1.50	0.776	206	5,176
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	4,971	1.47	0.784	205	5,176
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	4,960	1.35	0.715	216	5,176
校外リソースの活用					
公民館など、学校外スペースの活用	4,982	1.09	0.400	194	5,176
外部講師を招いた授業の実施	4,980	1.47	0.863	196	5,176
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	4,978	1.37	0.756	198	5,176
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	4,958	1.42	0.760	218	5,176
校内リソースの活用					
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	4,990	1.90	1.047	186	5,176
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	4,974	1.82	0.986	202	5,176
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	4,981	1.46	0.819	195	5,176
授業方法の工夫					
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	4,999	2.72	0.957	177	5,176
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	4,977	2.14	0.968	199	5,176
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	4,986	2.48	0.940	190	5,176
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	4,990	2.74	0.927	186	5,176

続き

項目	とても力を入れて取り入れている	力を入れて取り入れている	取り入れている	取り入れていない
他教員との協働				
他学年との合同の取り組み	108	242	539	4,090
複数の教員による合同の授業の実施	317	423	982	3,256
校内実施体制の整備				
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	164	382	1,243	3,181
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	194	326	1,096	3,355
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	153	244	787	3,776
校外リソースの活用				
公民館など、学校外スペースの活用	36	80	196	4,670
外部講師を招いた授業の実施	295	348	767	3,570
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	178	309	687	3,804
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	169	324	903	3,562
校内リソースの活用				
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	585	745	1,227	2,433
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	471	640	1,401	2,462
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	227	369	880	3,505
授業方法の工夫				
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	1,299	1,461	1,759	480
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	585	982	1,967	1,443
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	878	1,361	2,045	702
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	1,270	1,519	1,813	388

(注) 1. 教員調査の結果による。

- 参加型授業の学習環境や授業方法の工夫について、「1. 取り入れていない」「2. 取り入れている」「3. 力を入れて取り入れている」「4. とても力を入れて取り入れている」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
- カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 208 教科別参加型授業の学習環境や授業方法の工夫

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
他教員との協働									
他学年との合同の取り組み	824	1.21	0.582	753	1.22	0.574	634	1.20	0.572
複数の教員による合同の授業の実施	825	1.39	0.779	754	1.41	0.802	634	1.41	0.772
校内実施体制の整備									
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	824	1.51	0.754	753	1.48	0.753	634	1.43	0.732
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	823	1.39	0.738	754	1.43	0.747	632	1.41	0.773
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	823	1.22	0.577	749	1.24	0.578	631	1.26	0.608
校外リソースの活用									
公民館など、学校外スペースの活用	824	1.05	0.264	756	1.10	0.394	634	1.03	0.255
外部講師を招いた授業の実施	823	1.27	0.680	755	1.48	0.848	634	1.23	0.628
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	824	1.19	0.552	756	1.36	0.747	633	1.16	0.516
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	822	1.35	0.716	748	1.39	0.728	632	1.44	0.792
校内リソースの活用									
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	826	1.59	0.919	759	1.96	1.068	634	1.76	0.965
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	826	1.66	0.915	749	1.91	1.013	633	1.62	0.937
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	826	1.40	0.761	752	1.48	0.837	634	1.39	0.779
授業方法の工夫									
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	831	2.74	0.945	758	2.76	0.988	634	2.55	0.992
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	825	2.18	0.957	756	2.05	0.964	635	2.13	0.982
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	829	2.58	0.913	756	2.43	0.972	632	2.37	0.981
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	826	2.88	0.882	756	2.63	0.932	635	2.66	0.973

続き

項目	理科			外国語			保健体育		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
他教員との協働									
他学年との合同の取り組み	719	1.30	0.704	1,002	1.24	0.608	222	1.33	0.715
複数の教員による合同の授業の実施	719	1.56	0.907	1,003	1.69	0.925	221	1.74	0.979
校内実施体制の整備									
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	719	1.52	0.841	1,001	1.50	0.780	222	1.52	0.671
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	719	1.49	0.822	1,000	1.41	0.731	222	1.55	0.793
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	718	1.37	0.760	997	1.40	0.751	222	1.33	0.697
校外リソースの活用									
公民館など、学校外スペースの活用	721	1.11	0.447	1,002	1.05	0.283	222	1.09	0.311
外部講師を招いた授業の実施	720	1.51	0.900	1,002	1.42	0.798	221	1.38	0.803
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	718	1.66	0.944	999	1.22	0.565	222	1.28	0.604
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	719	1.45	0.788	995	1.38	0.728	222	1.33	0.649
校内リソースの活用									
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	722	2.18	1.090	1,002	1.95	1.073	222	1.98	1.065
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	720	1.98	1.036	1,002	1.76	0.955	222	1.96	0.999
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	720	1.51	0.852	1,003	1.43	0.786	222	1.45	0.764
授業方法の工夫									
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	720	2.91	0.907	1,004	2.68	0.947	223	2.46	0.966
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	718	2.00	0.961	1,000	2.18	0.973	222	2.28	0.967
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	719	2.47	0.910	1,001	2.51	0.957	222	2.42	0.872
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	720	2.75	0.890	1,003	2.69	0.965	222	2.74	0.879

続き

項目	芸術			家庭			情報		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
他教員との協働									
他学年との合同の取り組み	147	1.47	0.805	254	1.27	0.654	147	1.39	0.806
複数の教員による合同の授業の実施	147	1.50	0.879	252	1.52	0.854	147	1.87	1.081
校内実施体制の整備									
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	145	1.48	0.718	249	1.62	0.785	147	1.63	0.938
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	146	1.57	0.787	252	1.62	0.802	147	1.63	0.907
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	145	1.42	0.796	251	1.53	0.806	147	1.60	0.896
校外リソースの活用									
公民館など、学校外スペースの活用	146	1.28	0.682	253	1.14	0.489	147	1.19	0.589
外部講師を招いた授業の実施	148	1.52	0.900	253	2.02	1.039	147	1.65	1.058
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	147	1.46	0.779	254	1.65	0.894	147	1.43	0.860
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	145	1.39	0.738	250	1.38	0.720	148	1.57	0.919
校内リソースの活用									
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	147	1.90	1.039	253	1.64	0.892	147	2.39	1.179
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	147	1.80	0.921	251	2.03	1.003	147	1.93	1.071
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	147	1.62	0.894	253	1.48	0.805	147	1.61	0.982
授業方法の工夫									
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	149	2.94	0.910	254	2.83	0.880	148	2.61	0.966
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	145	2.32	0.933	252	2.09	0.902	147	2.12	1.026
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	148	2.64	0.948	254	2.50	0.879	147	2.51	0.975
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	147	2.97	0.879	255	2.72	0.860	147	2.81	1.002

続き

項目	その他			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
他教員との協働						
他学年との合同の取り組み	232	1.63	0.873	4,979	1.27	0.652
複数の教員による合同の授業の実施	232	2.19	1.067	4,978	1.56	0.894
校内実施体制の整備						
参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	231	1.52	0.812	4,970	1.50	0.776
学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	231	1.78	0.912	4,971	1.47	0.784
効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	232	1.76	0.962	4,960	1.35	0.715
校外リソースの活用						
公民館など、学校外スペースの活用	232	1.29	0.726	4,982	1.09	0.400
外部講師を招いた授業の実施	232	2.28	1.099	4,980	1.47	0.863
生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	233	2.02	1.069	4,978	1.37	0.756
反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	232	1.69	0.892	4,958	1.42	0.760
校内リソースの活用						
電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	232	1.91	1.005	4,990	1.90	1.047
空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	232	2.06	0.990	4,974	1.82	0.986
可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	232	1.64	0.952	4,981	1.46	0.819
授業方法の工夫						
自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	233	2.61	0.946	4,999	2.72	0.957
生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	233	2.45	0.955	4,977	2.14	0.968
学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	232	2.55	0.886	4,986	2.48	0.940
生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	234	2.74	0.919	4,990	2.74	0.927

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業の学習環境や授業方法の工夫について、「1. 取り入れていない」「2. 取り入れている」「3. 力を入れて取り入れている」「4. とても力を入れて取り入れている」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

3. 11. 参加型学習の効果

表 209 参加型学習の効果の実感

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
思考・表現力					
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	4,990	3.33	0.884	186	5,176
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	5,003	3.76	0.811	173	5,176
生徒がこれまでにない発想をするようになった	4,975	3.29	0.876	201	5,176
生徒が自分の考えを深められるようになった	4,984	3.70	0.792	192	5,176
課題解決力					
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	4,977	3.26	0.833	199	5,176
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	4,978	3.41	0.821	198	5,176
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	4,977	3.54	0.822	199	5,176
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	4,975	3.15	0.816	201	5,176
教科基礎力					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	4,986	3.26	0.907	190	5,176
生徒の進学実績が向上した	4,967	2.90	0.848	209	5,176
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	4,982	3.34	0.880	194	5,176
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	4,983	3.33	0.821	193	5,176
協働性					
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	4,978	3.75	0.799	198	5,176
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	4,981	3.66	0.830	195	5,176
生徒の社会性や協調性が高まった	4,978	3.44	0.799	198	5,176
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	4,979	3.82	0.850	197	5,176
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	4,976	3.37	0.852	200	5,176
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	4,981	2.89	0.951	195	5,176
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	4,978	3.24	0.816	198	5,176
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	4,975	3.21	0.829	201	5,176
市民性					
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	4,978	2.82	0.949	198	5,176
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	4,981	3.11	1.016	195	5,176
地域社会との交流や相互理解が深まった	4,971	2.54	1.041	205	5,176
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	4,970	2.98	0.927	206	5,176
教員とのコミュニケーション					
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	4,982	3.88	0.812	194	5,176

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
思考・表現力					
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	373	1,702	2,334	360	221
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	762	2,590	1,409	153	89
生徒がこれまでにない発想をするようになった	356	1,553	2,425	440	201
生徒が自分の考えを深められるようになった	585	2,667	1,463	177	92
課題解決力					
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	238	1,653	2,466	429	191
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	295	2,071	2,143	313	156
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	429	2,311	1,857	254	126
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	189	1,297	2,816	439	234
教科基礎力					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	377	1,475	2,448	430	256
生徒の進学実績が向上した	189	549	3,278	498	453
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	374	1,717	2,317	361	213
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	291	1,743	2,448	334	167
協働性					
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	698	2,672	1,358	164	86
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	630	2,462	1,570	215	104
生徒の社会性や協調性が高まった	353	1,995	2,253	254	123
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	981	2,504	1,227	172	95
主体性					
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	344	1,862	2,259	326	185
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	170	956	2,566	744	545
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	229	1,508	2,674	363	204
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	204	1,505	2,614	432	220
市民性					
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	162	780	2,630	802	604
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	344	1,357	2,231	578	471
地域社会との交流や相互理解が深まった	173	472	2,325	918	1,083
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	196	1,040	2,667	606	461
教員とのコミュニケーション					
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	1,054	2,538	1,213	101	76

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. カテゴリーは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 210 教科別参加型学習の効果の実感

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	829	3.34	0.872	756	3.44	0.855	635	3.06	0.906
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	831	3.91	0.751	760	3.76	0.786	636	3.55	0.836
生徒がこれまでにない発想をするようになった	824	3.28	0.908	753	3.31	0.847	635	3.19	0.869
生徒が自分の考えを深められるようになった	827	3.84	0.748	757	3.71	0.784	635	3.67	0.787
課題解決力									
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	823	3.22	0.826	755	3.30	0.794	635	3.09	0.833
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	825	3.39	0.782	753	3.53	0.772	635	3.23	0.863
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	825	3.54	0.801	753	3.51	0.786	633	3.53	0.829
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	825	3.11	0.808	753	3.10	0.792	634	3.09	0.790
教科基礎力									
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	828	3.28	0.891	755	3.23	0.924	637	3.44	0.894
生徒の進学実績が向上した	823	2.95	0.820	751	2.89	0.875	635	2.95	0.774
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	825	3.32	0.847	756	3.32	0.885	635	2.94	0.836
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	827	3.61	0.771	756	3.40	0.817	636	3.15	0.791
協働性									
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	827	3.83	0.765	754	3.74	0.752	635	3.65	0.843
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関われるようになった	828	3.69	0.851	754	3.67	0.811	636	3.65	0.851
生徒の社会性や協調性が高まった	827	3.44	0.780	756	3.42	0.799	635	3.29	0.829
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	826	3.90	0.851	755	3.68	0.855	635	3.86	0.860
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	826	3.22	0.855	754	3.20	0.820	635	3.54	0.833
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	827	2.83	0.984	756	2.81	0.891	635	3.11	0.927
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	826	3.18	0.794	754	3.19	0.817	634	3.25	0.787
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	825	3.14	0.836	754	3.17	0.823	635	3.26	0.805
市民性									
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	826	2.64	0.964	755	2.94	0.908	635	2.54	0.944
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	826	3.08	1.024	758	3.59	0.922	634	2.48	0.967
地域社会との交流や相互理解が深まった	825	2.26	1.031	754	2.63	0.997	635	2.28	0.968
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	825	2.88	0.954	753	3.04	0.894	634	2.75	0.899
教員とのコミュニケーション									
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	826	3.87	0.822	755	3.89	0.816	635	3.81	0.777

続き

項目	理科			外国語			保健体育		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	720	3.33	0.832	1,002	3.27	0.918	223	3.30	0.922
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	720	3.65	0.807	1,003	3.88	0.831	223	3.56	0.927
生徒がこれまでにない発想をするようになった	719	3.24	0.840	1,000	3.21	0.915	222	3.23	0.879
生徒が自分の考えを深められるようになった	719	3.69	0.747	1,000	3.59	0.882	222	3.59	0.866
課題解決力									
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	719	3.28	0.785	999	3.11	0.841	222	3.36	0.876
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	721	3.41	0.798	999	3.29	0.867	222	3.30	0.884
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	719	3.54	0.823	999	3.41	0.880	223	3.57	0.892
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	720	3.11	0.790	999	3.16	0.847	222	3.17	0.865
教科基礎力									
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	719	3.27	0.864	1,002	3.30	0.899	221	2.91	0.903
生徒の進学実績が向上した	719	2.96	0.792	997	2.96	0.803	221	2.53	0.892
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	719	3.25	0.821	1,000	3.29	0.877	222	3.55	0.884
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	719	3.21	0.794	1,002	3.38	0.843	222	2.93	0.798
協働性									
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	718	3.64	0.780	999	3.84	0.833	223	3.70	0.887
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	719	3.57	0.851	998	3.73	0.836	222	3.50	0.850
生徒の社会性や協調性が高まった	718	3.37	0.790	999	3.50	0.822	221	3.43	0.792
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	717	3.73	0.843	1,001	3.95	0.818	222	3.69	0.964
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	718	3.36	0.845	998	3.40	0.832	222	3.27	0.918
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	719	2.85	0.881	1,001	3.10	0.966	222	2.57	0.928
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	718	3.21	0.830	1,000	3.28	0.797	222	3.20	0.916
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	718	3.22	0.807	999	3.20	0.818	222	3.20	0.951
市民性									
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	718	2.72	0.897	999	2.73	0.905	222	2.82	0.826
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	720	2.90	0.964	999	3.13	0.998	222	3.10	0.922
地域社会との交流や相互理解が深まった	717	2.52	0.970	997	2.48	1.003	221	2.58	0.894
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	717	2.94	0.918	997	2.93	0.910	222	2.94	0.903
教員とのコミュニケーション									
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	719	3.82	0.815	1,000	3.94	0.831	222	3.79	0.905

続き

項目	芸術			家庭			情報		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力									
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	145	3.44	0.781	255	3.53	0.822	147	3.57	0.852
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	147	3.86	0.728	255	3.70	0.731	148	3.75	0.790
生徒がこれまでにない発想をするようになった	145	3.71	0.745	254	3.40	0.782	147	3.56	0.786
生徒が自分の考えを深められるようになった	146	3.87	0.657	254	3.77	0.698	147	3.70	0.753
課題解決力									
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	145	3.57	0.734	255	3.67	0.716	147	3.49	0.831
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	145	3.48	0.678	254	3.50	0.710	148	3.99	0.751
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	145	3.80	0.760	254	3.63	0.715	148	3.70	0.735
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	145	3.46	0.808	254	3.24	0.775	146	3.27	0.808
教科基礎力									
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	146	3.21	0.924	253	3.06	0.949	146	3.15	0.905
生徒の進学実績が向上した	145	2.78	1.031	252	2.69	0.928	147	2.86	0.944
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	145	3.61	0.765	255	3.97	0.715	148	3.78	0.837
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	145	3.22	0.845	252	3.22	0.755	147	3.39	0.755
協働性									
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	145	3.74	0.791	254	3.70	0.764	147	3.82	0.765
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	145	3.79	0.728	255	3.68	0.702	147	3.63	0.769
生徒の社会性や協調性が高まった	145	3.61	0.729	255	3.58	0.710	146	3.47	0.754
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	146	3.97	0.874	254	3.85	0.757	147	3.67	0.853
主体性									
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	145	3.87	0.810	254	3.43	0.835	147	3.47	0.779
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	145	2.70	0.967	254	2.58	0.953	147	2.63	0.922
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	146	3.49	0.754	254	3.30	0.788	147	3.20	0.875
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	145	3.48	0.800	254	3.18	0.793	146	3.18	0.847
市民性									
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	145	2.86	0.935	254	3.41	0.799	148	3.11	0.973
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	145	2.96	0.985	254	3.46	0.827	147	3.29	0.914
地域社会との交流や相互理解が深まった	145	2.77	1.074	254	3.22	1.012	147	2.62	1.119
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	145	3.02	0.961	253	3.47	0.824	147	3.12	0.851
教員とのコミュニケーション									
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	146	4.03	0.779	254	3.97	0.764	147	3.84	0.731

続き

項目	その他			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
思考・表現力						
生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	233	3.46	0.905	4,990	3.33	0.884
生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	234	3.80	0.783	5,003	3.76	0.811
生徒がこれまでにない発想をするようになった	231	3.44	0.911	4,975	3.29	0.876
生徒が自分の考えを深められるようになった	231	3.65	0.777	4,984	3.70	0.792
課題解決力						
生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	232	3.58	0.879	4,977	3.26	0.833
生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	231	3.66	0.752	4,978	3.41	0.821
生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	233	3.71	0.772	4,977	3.54	0.822
生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	232	3.38	0.840	4,975	3.15	0.816
教科基礎力						
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	233	3.18	0.931	4,986	3.26	0.907
生徒の進学実績が向上した	232	2.91	0.954	4,967	2.90	0.848
生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	232	3.61	0.900	4,982	3.34	0.880
生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	232	3.35	0.839	4,983	3.33	0.821
協働性						
生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	231	3.81	0.792	4,978	3.75	0.799
普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	232	3.62	0.854	4,981	3.66	0.830
生徒の社会性や協調性が高まった	231	3.64	0.811	4,978	3.44	0.799
生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	231	3.81	0.824	4,979	3.82	0.850
主体性						
途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	232	3.61	0.840	4,976	3.37	0.852
生徒の学習習慣（予復習）が身についた	231	2.90	0.929	4,981	2.89	0.951
生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	232	3.36	0.891	4,978	3.24	0.816
生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	231	3.33	0.863	4,975	3.21	0.829
市民性						
生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	231	3.58	0.880	4,978	2.82	0.949
社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	231	3.39	0.949	4,981	3.11	1.016
地域社会との交流や相互理解が深まった	231	3.36	1.066	4,971	2.54	1.041
生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	232	3.44	0.900	4,970	2.98	0.927
教員とのコミュニケーション						
生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	232	3.95	0.774	4,982	3.88	0.812

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業の実施により実感した効果について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

3. 12. 参加型学習の評価方法と評価対象・評価者

参加型学習を取り入れた授業の評価方法については、「参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている」教員が 57.5%で、「参加型学習での生徒の活動や成果物を評価しているが、成績には含めていない」教員は 30.4%、「参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない」教員は 12.0%であった。

次に、「評価しているが成績には含めていない」と「評価し成績に含めている」教員では、その評価方法に違いがあるか分析した。その結果、「成績に含めている」教員では、「作文やレポートなどの提出物」「生徒による発表」など、様々な対象を評価していた。また、評価者については、「成績に含めていない」教員では、「担当教員（単独）による評価」のみが多数を占めていたものの、「成績に含めている」教員では、「生徒自身による自己評価」「生徒同士による相互評価」など多様な観点からの評価を基準としていることがわかった。

Q17-1

表 211 参加型授業の評価

項目	度数	%
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない	598	12.0
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価しているが、成績には含めていない	1,511	30.4
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている	2,859	57.5
有効回答数	4,968	100.0
無効回答	7	
無回答	201	
合計	5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業を評価し、成績に含めているかについて、選択肢からあてはまるものを 1 つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

表 212 教科別参加型授業の評価

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		保健体育	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない	72	8.7	99	13.1	157	24.8	110	15.4	115	11.6	17	7.7
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価しているが、成績には含めていない	315	38.2	193	25.6	288	45.4	227	31.8	343	34.6	36	16.3
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている	438	53.1	462	61.3	189	29.8	377	52.8	533	53.8	168	76.0
有効回答数	825	100.0	754	100.0	634	100.0	714	100.0	991	100.0	221	100.0
無効回答	1		1		0		0		3		0	
無回答	23		33		33		31		34		11	
合計	849		788		667		745		1,028		232	

続き

項目	芸術		家庭		情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない	6	4.1	5	2.0	4	2.7	6	2.6	598	12.0
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価しているが、成績には含めていない	21	14.4	23	9.1	12	8.1	43	18.4	1,511	30.4
参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている	119	81.5	226	89.0	132	89.2	185	79.1	2,859	57.5
有効回答数	146	100.0	254	100.0	148	100.0	234	100.0	4,968	100.0
無効回答	0		1		1		0		7	
無回答	8		5		6		16		201	
合計	154		260		155		250		5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 参加型授業を評価し、成績に含めているかについて、選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
 3. Cramer' s V=.236であった。

Q17-2

表 213 参加型授業の評価対象

項目	度数	%
作文やレポートなどの提出物	3,060	71.4
生徒の授業への参加度・積極性	2,872	67.1
生徒による発表（プレゼンテーションの内容）	2,441	57.0
生徒の関心・意欲	2,455	57.3
教科での学内考査	1,412	33.0
生徒の学習活動の記録（プリント・ワークシート・発表資料などをとじたファイル）	1,377	32.2
活動内容や感想を記録するふりかえりシート	1,671	39.0
身体活動・芸術活動・課題解決活動などの製作・成果物	768	17.9
その他	118	2.8
有効回答数	4,283	100.0
非該当	598	
無回答	295	
合計	5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 参加型授業の評価対象について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型授業を評価していない場合は、非該当とした。

表 214 教科別参加型授業の評価対象

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		保健体育	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
作文やレポートなどの提出物	584	79.2	480	75.0	195	42.1	449	75.7	624	72.3	132	65.3
生徒の授業への参加度・積極性	460	62.4	396	61.9	334	72.1	376	63.4	593	68.7	156	77.2
生徒による発表（プレゼンテーションの内容）	404	54.8	337	52.7	168	36.3	282	47.6	598	69.3	101	50.0
生徒の関心・意欲	395	53.6	318	49.7	292	63.1	316	53.3	474	54.9	150	74.3
教科での学内考査	259	35.1	209	32.7	152	32.8	190	32.0	322	37.3	48	23.8
生徒の学習活動の記録（プリント・ワークシート・発表資料などをとじたファイル）	182	24.7	227	35.5	87	18.8	158	26.6	233	27.0	82	40.6
活動内容や感想を記録するふりかえりシート	333	45.2	263	41.1	136	29.4	189	31.9	199	23.1	81	40.1
身体活動・芸術活動・課題解決活動などの製作・成果物	109	14.8	76	11.9	26	5.6	72	12.1	87	10.1	66	32.7
その他	20	2.7	21	3.3	7	1.5	23	3.9	19	2.2	5	2.5
有効回答数	737	100.0	640	100.0	463	100.0	593	100.0	863	100.0	202	100.0
非該当	72		99		157		110		115		17	
無回答	40		49		47		42		50		13	
合計	849		788		667		745		1,028		232	

続き

項目	芸術		家庭		情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
作文やレポートなどの提出物	79	58.5	213	86.9	106	73.6	169	76.1	3,060	71.4
生徒の授業への参加度・積極性	106	78.5	157	64.1	88	61.1	177	79.7	2,872	67.1
生徒による発表（プレゼンテーションの内容）	88	65.2	152	62.0	128	88.9	155	69.8	2,441	57.0
生徒の関心・意欲	109	80.7	144	58.8	76	52.8	159	71.6	2,455	57.3
教科での学内考査	21	15.6	80	32.7	41	28.5	77	34.7	1,412	33.0
生徒の学習活動の記録（プリント・ワークシート・発表資料などをとじたファイル）	69	51.1	133	54.3	59	41.0	126	56.8	1,377	32.2
活動内容や感想を記録するふりかえりシート	93	68.9	174	71.0	69	47.9	120	54.1	1,671	39.0
身体活動・芸術活動・課題解決活動などの製作・成果物	106	78.5	101	41.2	46	31.9	70	31.5	768	17.9
その他	2	1.5	1	0.4	8	5.6	11	5.0	118	2.8
有効回答数	135	100.0	245	100.0	144	100.0	222	100.0	4,283	100.0
非該当	6		5		4		6		598	
無回答	13		10		7		22		295	
合計	154		260		155		250		5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 参加型授業の評価対象について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型授業を評価していない場合は、非該当とした。
 5. Cramer' s Vは、それぞれ .254, .121, .241, .158, .093, .233, .274, .383, .071であった。

Q17-3

表 215 参加型学習の評価者

項目	度数	%
担当教員（単独）による評価	3,776	88.1
生徒同士による相互評価	1,358	31.7
生徒自身による自己評価	1,307	30.5
授業に参加した複数の教員による評価	816	19.0
活動に関わった学校外の人による評価	103	2.4
その他	59	1.4
有効回答数	4,284	100.0
非該当	598	
無回答	294	
合計	5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
2. 参加型授業の評価者について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
4. 参加型授業を評価していない場合は、非該当とした。

表 216 教科別参加型授業の評価者

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		保健体育	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
担当教員（単独）による評価	691	93.6	586	90.6	426	91.8	532	90.0	724	84.2	180	88.2
生徒同士による相互評価	300	40.7	162	25.0	69	14.9	136	23.0	285	33.1	69	33.8
生徒自身による自己評価	269	36.4	148	22.9	125	26.9	157	26.6	217	25.2	54	26.5
授業に参加した複数の教員による評価	65	8.8	63	9.7	41	8.8	113	19.1	244	28.4	41	20.1
活動に関わった学校外の人による評価	16	2.2	7	1.1	3	0.6	21	3.6	16	1.9	1	0.5
その他	10	1.4	14	2.2	4	0.9	3	0.5	15	1.7	3	1.5
有効回答数	738	100.0	647	100.0	464	100.0	591	100.0	860	100.0	204	100.0
非該当	72		99		157		110		115		17	
無回答	39		42		46		44		53		11	
合計	849		788		667		745		1,028		232	

続き

項目	芸術		家庭		情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
担当教員（単独）による評価	123	88.5	229	95.4	107	75.9	149	67.7	3,776	88.1
生徒同士による相互評価	46	33.1	110	45.8	81	57.4	82	37.3	816	19.0
生徒自身による自己評価	71	51.1	114	47.5	47	33.3	87	39.5	1,307	30.5
授業に参加した複数の教員による評価	15	10.8	46	19.2	60	42.6	114	51.8	1,358	31.7
活動に関わった学校外の人による評価	2	1.4	7	2.9	3	2.1	27	12.3	103	2.4
その他	2	1.4	2	0.8	1	0.7	5	2.3	59	1.4
有効回答数	139	100.0	240	100.0	141	100.0	220	100.0	4,284	100.0
非該当	6		5		4		6		598	
無回答	9		15		10		24		294	
合計	154		260		155		250		5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
2. 参加型授業の評価者について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
4. 参加型授業を評価していない場合は、非該当とした。
5. Cramer's Vは、それぞれ .199, .213, .168, .299, .161, .049であった。

3.13. 授業改善の方法と判断の根拠

参加型学習を取り入れた授業のカリキュラム評価・改善について、何らかの方法で評価し、その結果を指導計画や授業内容の改善につなげているかどうかを尋ねた。その結果、「教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている」教員が 62.0%で、「客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている」教員が 19.7%、「評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない」教員が 18.3%であった。

また、評価方法と判断の根拠との関連を分析した。その結果、「教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている」教員では、「生徒の学習成果」が 71.4%、「生徒による授業成果」が 58.1%であったのに対して、「客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている」教員では、「生徒による授業評価」が 78.5%で、「生徒の学習成果」が 67.7%であった。また、「客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている」教員は、「教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている」教員に比べて「自校の教員による授業評価」を用いている割合も高かった。

Q18-1

表 217 参加型学習のカリキュラム評価・改善

項目	度数	%
評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない	901	18.3
教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	3,055	62.0
客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	968	19.7
有効回答数	4,924	100.0
無効回答	30	
無回答	222	
合計	5,176	

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業のカリキュラム評価・改善について、選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

表 218 教科別参加型学習のカリキュラム評価・改善

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		保健体育	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない	136	16.5	152	20.3	181	28.7	123	17.3	189	19.3	40	18.3
教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	530	64.5	459	61.4	341	54.0	443	62.4	617	62.9	133	60.7
客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	156	19.0	136	18.2	109	17.3	144	20.3	175	17.8	46	21.0
有効回答数	822	100.0	747	100.0	631	100.0	710	100.0	981	100.0	219	100.0
無効回答	4		4		0		2		8		1	
無回答	23		37		36		33		39		12	
合計	849		788		667		745		1,028		232	

続き

項目	芸術		家庭		情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない	9	6.3	20	7.9	14	9.5	28	12.4	901	18.3
教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	102	70.8	164	65.1	100	68.0	143	63.3	3,055	62.0
客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている	33	22.9	68	27.0	33	22.4	55	24.3	968	19.7
有効回答数	144	100.0	252	100.0	147	100.0	226	100.0	4,924	100.0
無効回答	2		2		0		5		30	
無回答	8		6		8		19		222	
合計	154		260		155		250		5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 参加型授業のカリキュラム評価・改善について、選択肢からあてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
 3. Cramer' s V=.103であった。

Q18-2

表 219 参加型学習のカリキュラム評価・改善の根拠

項目	度数	%
生徒の学習成果	2,810	70.7
生徒による授業評価	2,511	63.2
自校の教員による授業評価	946	23.8
自身による授業の実践記録の評価	1,905	47.9
保護者による授業評価	86	2.2
他校の教員や大学の研究者による授業評価	201	5.1
その他	89	2.2
有効回答数	3,973	100.0
非該当	901	
無回答	302	
合計	5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 参加型授業のカリキュラム評価・改善の根拠について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型学習のカリキュラム評価・改善をしていない場合は、非該当とした。

表 220 教科別参加型学習のカリキュラム評価・改善の根拠

項目	国語		地歴・公民		数学		理科		外国語		保健体育	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
生徒の学習成果	479	70.3	400	69.2	315	71.1	402	68.8	568	72.2	115	68.0
生徒による授業評価	459	67.4	358	61.9	270	60.9	371	63.5	508	64.5	98	58.0
自校の教員による授業評価	137	20.1	134	23.2	95	21.4	141	24.1	215	27.3	46	27.2
自身による授業の実践記録の評価	358	52.6	272	47.1	173	39.1	273	46.7	358	45.5	89	52.7
保護者による授業評価	12	1.8	9	1.6	8	1.8	8	1.4	18	2.3	4	2.4
他校の教員や大学の研究者による授業評価	30	4.4	39	6.7	16	3.6	33	5.7	47	6.0	3	1.8
その他	11	1.6	17	2.9	5	1.1	16	2.7	21	2.7	1	0.6
有効回答数	681		578		443		584		787		169	
非該当	136		152		181		123		189		40	
無回答	32		58		43		38		52		23	
合計	849		788		667		745		1,028		232	

続き

項目	芸術		家庭		情報		その他		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
生徒の学習成果	107	79.3	160	70.5	95	72.5	147	72.8	2,810	70.7
生徒による授業評価	91	67.4	135	59.5	74	56.5	120	59.4	2,511	63.2
自校の教員による授業評価	18	13.3	38	16.7	37	28.2	76	37.6	946	23.8
自身による授業の実践記録の評価	84	62.2	129	56.8	67	51.1	85	42.1	1,905	47.9
保護者による授業評価	4	3.0	3	1.3	4	3.1	13	6.4	86	2.2
他校の教員や大学の研究者による授業評価	9	6.7	8	3.5	7	5.3	8	4.0	201	5.1
その他	3	2.2	6	2.6	3	2.3	6	3.0	89	2.2
有効回答数	135		227		131		202		3,973	100.0
非該当	9		20		14		28		901	
無回答	10		13		10		20		302	
合計	154		260		155		250		5,176	

- (注) 1. 教員調査の結果による。
 2. 参加型授業のカリキュラム評価・改善の根拠について、選択肢からあてはまるものをすべて選んでもらう形式で尋ねた（複数選択）。
 3. 複数選択であるため、合計は100%ではない。
 4. 参加型学習のカリキュラム評価・改善をしていない場合は、非該当とした。
 5. Cramer's Vは、それぞれ .046, .062, .113, .107, .077, .059, .048であった。

3.14. 参加型授業実施上の悩み

表 221 参加型学習実施上の悩み

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
教育効果に関する悩み					
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	4,975	2.26	1.078	201	5,176
受験に必要な学力に結びつかない	4,975	2.55	1.199	201	5,176
授業の進捗に関する悩み					
授業の進捗が遅くなる	4,993	3.42	1.318	183	5,176
各教員の授業の進捗にばらつきが 生じる	4,973	3.22	1.301	203	5,176
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	4,973	3.30	1.273	203	5,176
生徒の学習態度に関する悩み					
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	4,990	2.81	1.244	186	5,176
生徒の集中力が低下する	4,979	2.27	1.058	197	5,176
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこれない生徒がいる	4,996	3.22	1.167	180	5,176
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	4,976	2.50	1.035	200	5,176
教員の理解に関する悩み					
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	4,926	2.37	1.116	250	5,176
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	4,929	2.53	1.213	247	5,176
教員の負担増加に関する悩み					
授業中の教員の負担が増加する	4,980	2.86	1.256	196	5,176
授業前後の教員の負担が増加する	4,989	3.53	1.225	187	5,176
生徒や保護者の理解に関する悩み					
生徒の理解が得られない	4,928	2.13	0.970	248	5,176
保護者の理解が得られない	4,923	2.05	0.919	253	5,176
教育資源に関する悩み					
予算が足りない	4,925	2.81	1.362	251	5,176
必要な施設・設備が足りない	4,929	3.27	1.392	247	5,176
授業の時間が足りない	4,922	3.47	1.286	254	5,176
授業方法や評価に関する悩み					
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	4,960	3.36	1.171	216	5,176
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	4,972	2.71	1.192	204	5,176
教員の授業スキルが不足している	4,988	3.38	1.140	188	5,176

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育効果に関する悩み					
生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が低下する	120	500	1,493	1,313	1,549
受験に必要な学力に結びつかない	267	888	1,412	1,141	1,267
授業の進捗に関する悩み					
授業の進捗が遅くなる	1,091	1,890	749	576	687
各教員の授業の進捗にばらつきが生じる	797	1,690	1,116	566	804
各教員の授業内容にばらつきが生じる	844	1,772	1,099	556	702
生徒の学習態度に関する悩み					
授業内容に関係のない生徒の私語が増える	390	1,362	1,060	1,242	936
生徒の集中力が低下する	111	562	1,286	1,617	1,403
参加型学習になじめない生徒や、ついてこられない生徒がいる	552	1,955	1,013	1,004	472
参加型学習をしても生徒の思考が活性化しない	129	682	1,707	1,483	975
教員の理解に関する悩み					
教員が参加型学習の必要性を感じていない	189	558	1,507	1,301	1,371
教員間で参加型学習の是非に関する葛藤や対立がある	318	739	1,493	1,063	1,316
教員の負担増加に関する悩み					
授業中の教員の負担が増加する	533	1,141	1,315	1,097	894
授業前後の教員の負担が増加する	1,147	1,880	920	577	465
生徒や保護者の理解に関する悩み					
生徒の理解が得られない	51	330	1,393	1,600	1,554
保護者の理解が得られない	31	141	1,606	1,423	1,722
教育資源に関する悩み					
予算が足りない	717	816	1,414	759	1,219
必要な施設・設備が足りない	1,130	1,357	1,013	562	867
授業の時間が足りない	1,209	1,546	1,087	496	584
授業方法や評価に関する悩み					
生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい	745	1,904	1,150	698	463
活動に目が向き、何のための活動なのかという目的を見失いがちである	281	1,145	1,409	1,110	1,027
教員の授業スキルが不足している	797	1,723	1,498	528	442

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業実施上の悩みについて、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 222 教科別参加型学習実施上の悩み

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
教育効果に関する悩み									
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	823	2.22	1.071	752	2.38	1.120	635	2.34	1.086
受験に必要な学力に結びつかない	825	2.53	1.201	754	2.73	1.234	633	2.52	1.180
授業の進捗に関する悩み									
授業の進捗が遅くなる	826	3.45	1.336	757	3.72	1.254	635	3.51	1.307
各教員の授業の進捗にばらつきが 生じる	822	3.38	1.299	752	3.37	1.299	635	3.48	1.176
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	824	3.50	1.237	754	3.51	1.260	636	3.43	1.154
生徒の学習態度に関する悩み									
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	826	2.75	1.246	755	2.56	1.219	637	3.09	1.253
生徒の集中力が低下する	828	3.29	1.202	759	3.23	1.183	635	3.43	1.067
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこられない生徒がいる	823	2.48	1.053	755	2.50	1.058	635	2.56	1.007
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	823	2.70	1.240	755	3.00	1.299	636	2.78	1.210
教員の理解に関する悩み									
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	814	2.33	1.148	748	2.39	1.141	624	2.53	1.082
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	816	2.48	1.219	750	2.65	1.238	626	2.68	1.177
教員の負担増加に関する悩み									
授業中の教員の負担が増加する	825	3.46	1.274	758	3.67	1.218	635	3.46	1.190
授業前後の教員の負担が増加する	825	3.41	1.146	756	3.41	1.186	635	3.42	1.072
生徒や保護者の理解に関する悩み									
生徒の理解が得られない	814	1.99	0.934	748	2.17	0.995	627	2.29	0.958
保護者の理解が得られない	813	1.93	0.901	747	2.12	0.936	627	2.16	0.915
教育資源に関する悩み									
予算が足りない	814	2.46	1.329	748	2.95	1.384	625	2.54	1.321
必要な施設・設備が足りない	814	2.97	1.431	747	3.46	1.380	626	2.97	1.412
授業の時数が足りない	816	3.44	1.316	748	3.70	1.266	626	3.31	1.311
授業方法や評価に関する悩み									
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	821	3.39	1.189	751	3.49	1.143	633	3.33	1.156
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	822	2.74	1.224	753	2.72	1.209	634	2.79	1.186
教員の授業スキルが不足している	824	2.27	1.079	755	2.14	1.017	634	2.40	1.066

続き

項目	理科			外国語			保健体育		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
教育効果に関する悩み									
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	720	2.28	1.097	1,003	2.37	1.088	220	2.17	1.046
受験に必要な学力に結びつかない	720	2.53	1.209	1,003	2.66	1.200	220	2.48	1.153
授業の進度に関する悩み									
授業の進度が遅くなる	722	3.47	1.352	1,002	3.47	1.281	221	3.08	1.250
各教員の授業の進度にばらつきが 生じる	720	3.13	1.315	1,003	3.39	1.256	220	3.14	1.210
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	720	3.18	1.289	1,003	3.45	1.237	219	3.24	1.196
生徒の学習態度に関する悩み									
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	720	2.76	1.252	1,004	2.84	1.250	221	2.69	1.242
生徒の集中力が低下する	723	3.15	1.167	1,003	3.21	1.175	221	3.00	1.162
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこれない生徒がいる	720	2.53	1.064	1,001	2.49	1.041	221	2.38	0.973
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	721	2.92	1.313	1,002	2.79	1.232	221	2.80	1.155
教員の理解に関する悩み									
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	715	2.46	1.115	989	2.51	1.177	215	2.07	0.962
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	716	2.60	1.190	988	2.73	1.280	214	2.20	1.097
教員の負担増加に関する悩み									
授業中の教員の負担が増加する	720	3.67	1.210	1,002	3.54	1.229	222	3.25	1.188
授業前後の教員の負担が増加する	721	3.44	1.137	1,004	3.41	1.159	221	3.04	1.101
生徒や保護者の理解に関する悩み									
生徒の理解が得られない	715	2.24	0.996	988	2.13	0.990	214	2.06	0.930
保護者の理解が得られない	715	2.13	0.931	987	2.07	0.941	215	1.87	0.858
教育資源に関する悩み									
予算が足りない	714	3.13	1.335	990	2.84	1.363	215	2.55	1.369
必要な施設・設備が足りない	715	3.48	1.337	991	3.40	1.403	216	3.18	1.380
授業の時間が足りない	714	3.72	1.246	989	3.34	1.269	213	3.03	1.296
授業方法や評価に関する悩み									
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	719	3.36	1.163	997	3.37	1.188	220	3.15	1.057
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	718	2.67	1.176	1,003	2.77	1.226	220	2.62	1.051
教員の授業スキルが不足している	720	2.25	1.086	1,003	2.25	1.070	221	2.17	0.947

続き

項目	芸術			家庭			情報		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
教育効果に関する悩み									
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	146	1.74	0.871	252	1.99	0.925	147	1.99	1.000
受験に必要な学力に結びつかない	146	2.12	1.197	252	2.18	1.012	146	2.46	1.181
授業の進度に関する悩み									
授業の進度が遅くなる	148	2.54	1.352	255	3.31	1.205	148	2.91	1.299
各教員の授業の進度にばらつきが 生じる	146	2.12	1.174	251	2.56	1.233	147	2.63	1.371
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	145	2.32	1.289	251	2.62	1.273	146	2.80	1.337
生徒の学習態度に関する悩み									
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	147	2.87	1.310	253	2.87	1.176	147	2.84	1.194
生徒の集中力が低下する	146	3.02	1.240	254	3.13	1.126	148	3.18	1.141
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこれない生徒がいる	146	2.38	0.991	253	2.48	0.966	147	2.45	1.022
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	146	2.82	1.368	253	2.95	1.147	147	3.06	1.361
教員の理解に関する悩み									
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	146	1.88	0.867	253	1.92	0.851	145	2.27	1.156
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	146	2.01	1.044	253	1.92	0.914	146	2.25	1.150
教員の負担増加に関する悩み									
授業中の教員の負担が増加する	147	3.16	1.328	253	3.62	1.130	147	3.42	1.334
授業前後の教員の負担が増加する	146	3.07	1.178	253	3.42	1.133	149	3.13	1.082
生徒や保護者の理解に関する悩み									
生徒の理解が得られない	147	1.94	0.901	254	1.94	0.830	145	2.04	1.006
保護者の理解が得られない	146	1.90	0.874	253	1.91	0.796	145	1.96	0.942
教育資源に関する悩み									
予算が足りない	146	2.90	1.437	253	2.89	1.247	145	3.06	1.340
必要な施設・設備が足りない	146	3.32	1.394	254	3.28	1.277	145	3.37	1.317
授業の時間が足りない	146	3.23	1.324	253	3.66	1.149	146	3.51	1.371
授業方法や評価に関する悩み									
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	145	2.88	1.285	248	3.44	1.161	148	3.24	1.253
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	145	2.26	1.147	253	2.69	1.158	147	2.55	1.105
教員の授業スキルが不足している	146	2.27	1.097	252	2.39	1.048	147	2.30	0.975

続き

項目	その他			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
教育効果に関する悩み						
生徒の教科における学業成績（学 内定期考査など）が低下する	232	2.19	1.010	4,975	2.26	1.078
受験に必要な学力に結びつかない	232	2.44	1.164	4,975	2.55	1.199
授業の進度に関する悩み						
授業の進度が遅くなる	232	3.07	1.281	4,993	3.42	1.318
各教員の授業の進度にばらつきが 生じる	232	2.89	1.217	4,973	3.22	1.301
各教員の授業内容にばらつきが生 じる	231	2.97	1.214	4,973	3.30	1.273
生徒の学習態度に関する悩み						
授業内容に関係のない生徒の私語 が増える	234	2.94	1.116	4,990	2.81	1.244
生徒の集中力が低下する	233	3.15	1.168	4,979	2.27	1.058
参加型学習になじめない生徒や、 ついてこられない生徒がいる	231	2.51	0.995	4,996	3.22	1.167
参加型学習をしても生徒の思考が 活性化しない	231	3.19	1.165	4,976	2.50	1.035
教員の理解に関する悩み						
教員が参加型学習の必要性を感じ ていない	232	2.26	0.996	4,926	2.37	1.116
教員間で参加型学習の是非に関す る葛藤や対立がある	229	2.32	1.092	4,929	2.53	1.213
教員の負担増加に関する悩み						
授業中の教員の負担が増加する	234	3.65	1.079	4,980	2.86	1.256
授業前後の教員の負担が増加する	233	3.47	1.026	4,989	3.53	1.225
生徒や保護者の理解に関する悩み						
生徒の理解が得られない	231	2.22	0.967	4,928	2.13	0.970
保護者の理解が得られない	230	2.07	0.896	4,923	2.05	0.919
教育資源に関する悩み						
予算が足りない	230	3.03	1.267	4,925	2.81	1.362
必要な施設・設備が足りない	230	3.27	1.277	4,929	3.27	1.392
授業の時間が足りない	227	3.32	1.144	4,922	3.47	1.286
授業方法や評価に関する悩み						
生徒の学習活動を客観的に評価す ることが難しい	233	3.27	1.129	4,960	3.36	1.171
活動に目が向き、何のための活動 なのかという目的を見失いがち である	232	2.65	1.145	4,972	2.71	1.192
教員の授業スキルが不足している	232	2.38	1.030	4,988	3.38	1.140

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業実施上の悩みについて、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

3. 15. 悩みの克服方法

表 223 参加型授業の悩みの克服方法

項目	度数	平均値	標準偏差	無回答 無効回答	合計
校外リソースの活用					
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	4,911	3.93	1.016	265	5,176
他校の教員との交流を促進する	4,920	3.86	1.011	256	5,176
大学の研究者等から助言をもらう	4,910	3.59	1.103	266	5,176
校内研修や同僚との学習					
校内での研修会や勉強会で取り扱う	4,904	3.78	1.088	272	5,176
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	4,907	3.61	1.098	269	5,176
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	4,908	3.48	1.145	268	5,176
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	4,906	3.79	1.020	270	5,176
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	4,905	3.84	1.001	271	5,176
関係者の理解獲得					
生徒の提案を受け入れる	4,908	3.39	0.996	268	5,176
管理職の理解が得られるよう働きかける	4,898	3.12	1.150	278	5,176
保護者の理解を得る	4,908	2.96	1.119	268	5,176
企業と連携する	4,897	3.00	1.184	279	5,176
授業・評価方法の工夫					
授業準備に時間をかける	4,906	4.11	0.957	270	5,176
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	4,904	4.00	0.972	272	5,176
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	4,905	3.82	0.985	271	5,176
公的支援の獲得					
補助金や助成金を獲得する	4,917	3.27	1.248	259	5,176
国や自治体の方針として示してもらう	4,902	3.07	1.227	274	5,176
リソースの整備					
補助教員や実験助手などを配置する	4,896	2.90	1.337	280	5,176
複数教員による授業を実施する	4,905	3.14	1.278	271	5,176
教員の他の事務的作業を軽減する	4,905	3.95	1.210	271	5,176

続き

項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
校外リソースの活用					
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	1,618	1,887	1,043	167	196
他校の教員との交流を促進する	1,414	2,016	1,093	191	206
大学の研究者等から助言をもらう	1,082	1,693	1,481	327	327
校内研修や同僚との学習					
校内での研修会や勉強会で取り扱う	1,354	1,963	1,045	247	295
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	1,028	1,968	1,236	338	337
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	917	1,774	1,380	412	425
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	1,196	2,198	1,058	204	250
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	1,287	2,187	1,026	185	220
関係者の理解獲得					
生徒の提案を受け入れる	609	1,664	1,960	393	282
管理職の理解が得られるよう働きかける	652	1,018	2,113	511	604
保護者の理解を得る	488	845	2,243	659	673
企業と連携する	552	1,027	1,963	599	756
授業・評価方法の工夫					
授業準備に時間をかける	1,972	1,959	688	138	149
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	1,690	1,977	935	142	160
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	1,273	2,050	1,204	194	184
公的支援の獲得					
補助金や助成金を獲得する	954	1,134	1,750	421	658
国や自治体の方針として示してもらう	748	873	2,042	473	766
リソースの整備					
補助教員や実験助手などを配置する	634	1,157	1,267	746	1,092
複数教員による授業を実施する	686	1,523	1,270	623	803
教員の他の事務的作業を軽減する	2,097	1,453	749	222	384

(注) 1. 教員調査の結果による。

2. 参加型授業実施上の悩みの克服方法について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。

3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

表 224 教科別参加型授業の悩みの克服方法

項目	国語			地歴公民			数学		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
校外リソースの活用									
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	814	3.92	1.057	746	3.92	1.039	622	3.86	1.028
他校の教員との交流を促進する	815	3.78	1.051	749	3.87	1.053	624	3.84	1.008
大学の研究者等から助言をもらう	813	3.50	1.145	747	3.67	1.106	623	3.54	1.102
校内研修や同僚との学習									
校内での研修会や勉強会で取り扱う	813	3.84	1.060	743	3.78	1.133	623	3.77	1.072
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	814	3.60	1.125	745	3.67	1.133	621	3.49	1.121
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	813	3.40	1.163	746	3.48	1.176	622	3.37	1.144
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	812	3.88	0.990	747	3.77	1.052	622	3.79	1.018
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	813	3.94	0.950	744	3.82	1.072	622	3.84	0.991
関係者の理解獲得									
生徒の提案を受け入れる	813	3.43	1.015	745	3.38	1.043	623	3.33	0.938
管理職の理解が得られるよう働きかける	810	2.99	1.180	744	3.14	1.155	622	3.08	1.095
保護者の理解を得る	813	2.84	1.145	747	3.05	1.152	622	2.93	1.078
企業と連携する	811	2.76	1.216	746	3.09	1.208	619	2.81	1.112
授業・評価方法の工夫									
授業準備に時間をかける	812	4.21	0.923	745	4.22	0.928	620	3.96	1.021
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	813	4.08	0.959	745	4.00	0.996	623	3.94	0.938
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	811	3.90	1.001	746	3.72	1.023	623	3.66	0.981
公的支援の獲得									
補助金や助成金を獲得する	815	2.96	1.295	746	3.25	1.268	623	3.12	1.235
国や自治体の方針として示してもらう	813	2.81	1.281	743	3.02	1.272	623	3.04	1.214
リソースの整備									
補助教員や実験助手などを配置する	811	2.54	1.299	746	2.70	1.292	622	2.68	1.250
複数教員による授業を実施する	811	2.91	1.270	748	2.94	1.286	622	3.03	1.216
教員の他の事務的作業を軽減する	810	3.90	1.233	747	4.04	1.180	622	3.83	1.258

続き

項目	理科			外国語			保健体育		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
校外リソースの活用									
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	713	3.94	1.002	982	4.10	0.948	215	3.57	1.043
他校の教員との交流を促進する	713	3.88	0.989	987	3.98	0.953	216	3.47	1.116
大学の研究者等から助言をもらう	710	3.68	1.050	986	3.68	1.093	215	3.33	1.119
校内研修や同僚との学習									
校内での研修会や勉強会で取り扱う	711	3.77	1.137	985	3.91	1.047	215	3.49	1.045
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	713	3.52	1.107	986	3.77	1.067	215	3.51	1.076
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	713	3.36	1.154	985	3.71	1.083	215	3.45	1.130
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	712	3.79	1.008	985	3.90	0.992	215	3.55	1.044
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	713	3.84	0.978	984	3.98	0.949	215	3.60	1.054
関係者の理解獲得									
生徒の提案を受け入れる	713	3.38	1.005	986	3.46	0.977	214	3.14	1.039
管理職の理解が得られるよう働きかける	710	3.16	1.109	983	3.19	1.193	215	2.81	1.092
保護者の理解を得る	711	3.06	1.090	986	2.97	1.140	215	2.66	1.073
企業と連携する	710	3.10	1.120	980	2.94	1.174	215	2.89	1.247
授業・評価方法の工夫									
授業準備に時間をかける	713	4.14	0.900	987	4.13	0.978	214	3.88	1.068
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	712	3.90	0.974	985	4.15	0.943	215	3.78	0.979
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	712	3.75	0.977	985	3.96	0.961	214	3.66	0.997
公的支援の獲得									
補助金や助成金を獲得する	712	3.56	1.154	984	3.28	1.255	216	3.16	1.275
国や自治体の方針として示してもらう	711	3.26	1.167	983	3.18	1.245	215	2.96	1.185
リソースの整備									
補助教員や実験助手などを配置する	711	3.27	1.306	981	2.82	1.338	212	2.76	1.278
複数教員による授業を実施する	711	3.21	1.239	982	3.17	1.290	215	3.12	1.275
教員の他の事務的作業を軽減する	712	4.09	1.075	986	4.06	1.200	214	3.68	1.333

続き

項目	芸術			家庭			情報		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
校外リソースの活用									
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	143	3.73	1.139	254	3.97	0.913	145	3.84	1.045
他校の教員との交流を促進する	144	4.03	0.971	253	4.00	0.893	145	3.91	0.957
大学の研究者等から助言をもらう	143	3.50	1.150	252	3.54	1.054	146	3.54	1.133
校内研修や同僚との学習									
校内での研修会や勉強会で取り扱う	143	3.45	1.249	251	3.77	0.960	145	3.53	1.131
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	143	3.54	1.131	252	3.82	0.914	145	3.39	1.082
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	142	3.41	1.156	252	3.67	1.037	145	3.14	1.211
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	142	3.58	1.151	251	3.77	0.926	145	3.48	1.167
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	143	3.55	1.143	251	3.73	0.959	145	3.66	1.042
関係者の理解獲得									
生徒の提案を受け入れる	143	3.36	1.037	253	3.39	0.935	145	3.40	0.989
管理職の理解が得られるよう働きかける	143	3.15	1.181	250	3.27	1.089	145	3.25	1.272
保護者の理解を得る	143	2.88	1.051	251	3.00	1.041	145	3.04	1.166
企業と連携する	143	2.91	1.186	252	3.35	1.113	145	3.43	1.141
授業・評価方法の工夫									
授業準備に時間をかける	144	4.03	1.067	251	4.17	0.833	145	3.98	0.968
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	142	3.85	1.132	250	4.05	0.892	145	3.90	1.016
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	142	3.82	1.093	252	4.04	0.836	145	3.92	0.909
公的支援の獲得									
補助金や助成金を獲得する	144	3.50	1.165	254	3.36	1.136	146	3.58	1.197
国や自治体の方針として示してもらう	142	3.04	1.114	252	3.13	1.044	145	3.29	1.184
リソースの整備									
補助教員や実験助手などを配置する	143	3.03	1.340	251	3.75	1.215	146	3.31	1.367
複数教員による授業を実施する	144	3.13	1.313	252	3.69	1.201	144	3.56	1.299
教員の他の事務的作業を軽減する	144	3.73	1.297	251	4.02	1.104	145	3.61	1.313

続き

項目	その他			合計		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
校外リソースの活用						
校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	231	3.85	0.973	4,911	3.93	1.016
他校の教員との交流を促進する	229	3.65	1.026	4,920	3.86	1.011
大学の研究者等から助言をもらう	230	3.41	1.089	4,910	3.59	1.103
校内研修や同僚との学習						
校内での研修会や勉強会で取り扱う	230	3.68	1.065	4,904	3.78	1.088
関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	228	3.53	1.043	4,907	3.61	1.098
指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	230	3.44	1.138	4,908	3.48	1.145
同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	230	3.67	1.026	4,906	3.79	1.020
同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	229	3.63	1.041	4,905	3.84	1.001
関係者の理解獲得						
生徒の提案を受け入れる	228	3.48	0.959	4,908	3.39	0.996
管理職の理解が得られるよう働きかける	231	3.25	1.046	4,898	3.12	1.150
保護者の理解を得る	230	3.08	1.107	4,908	2.96	1.119
企業と連携する	231	3.51	1.115	4,897	3.00	1.184
授業・評価方法の工夫						
授業準備に時間をかける	230	4.00	0.901	4,906	4.11	0.957
授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	229	3.83	0.965	4,904	4.00	0.972
客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	230	3.82	0.905	4,905	3.82	0.985
公的支援の獲得						
補助金や助成金を獲得する	231	3.43	1.214	4,917	3.27	1.248
国や自治体の方針として示してもらう	230	3.14	1.179	4,902	3.07	1.227
リソースの整備						
補助教員や実験助手などを配置する	228	3.30	1.297	4,896	2.90	1.337
複数教員による授業を実施する	231	3.58	1.209	4,905	3.14	1.278
教員の他の事務的作業を軽減する	230	3.80	1.241	4,905	3.95	1.210

- (注) 1. 教員調査の結果による。
2. 参加型授業実施上の悩みの克服方法について、「1. あてはまらない」「2. あまりあてはまらない」「3. どちらともいえない」「4. ややあてはまる」「5. あてはまる」の選択肢から、あてはまるものを1つ選んでもらう形式で尋ねた（単一選択）。
3. カテゴリは因子分析の結果による。確認的因子分析の結果、十分な適合度が得られた。

3. 参加型授業の事例 100

1. 国語科の事例

国語科の事例独自の特徴としては、より深い作品（教材）理解のために、古典・現代文問わず作品の脚本化、サイドストーリーや続編の制作など、生徒自身の創作活動につなげているものが多く見られたことが挙げられる。また、作品のモチーフや作者・著者の意図、登場人物の言動や心情を解釈するにあたって参加型の活動が取り入れられる傾向があり、具体的にはKJ法を用いた話し合い活動、ディベート、ディスカッションといった方法が採られている。全体として、単元の学習がある程度進んだ段階で、いわば〈応用編〉として参加型学習が位置づけられることが多いように思われる。また、他教科に比べた際、参加型の活動が取り入れられる教材や単元に偏りが見られる、すなわち、参加型の活動の取り入れられやすさが内容に左右される傾向が見受けられた。

単元や教材にかかわらず、年間を通じて定期的に取り組みされている事例としては、新聞記事を学習材として用いたNIE活動や、生徒自身がことばの定義を考える辞書づくりの活動など、読解力や論理的な発話能力・作文力といった言語能力一般の育成をねらった活動が見られた。後述するが、NIE活動は地歴・公民科でも多く取り入れられており、この点で今後教科横断的な学習への展開が十分に考えられる。なお、同じ言語活動に関わる教科である英語科と連携した授業は、調査結果のなかでは一事例のみであった。

国語科の事例

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表 ・交換型	理解 深化型	課題 解決型	その他
古典読解	3	漢文を劇化して、演じさせている。登場人物の行動・心理を直接理解させている	朗読の力や、文章の理解				○
現代文	2	山月記のサイドストーリーを作成する。授業終了後プロットを考える。登場人物は2人に限定し、名前をつける。各々の作品は、相互評価をさせる。	サイドストーリーを考えることで、作者が配した如水（湖・水）や月、詩、などの作中における意味を再度深く考えることになる。	○	○		○
現代文B	*	教材の読後に「その後」作品を創作、関連している事項に対して調べて発表、「舞姫」などでもエリスと豊太郎の人生観やその後について発表、グループワークなども実践。	探究する課題を見つけ、自分で調べていくプロセスを大切に、他者に伝えていく力を身につけてほしい。思考力を豊かにする。	○	○	○	
国語総合	1	「木曾の最期」（『平家物語』）を、現代に置き換えた作品をグループで創作し、プレゼンし、相互評価を行う。	「木曾の…」の内容把握をテーマを見つける力、「木曾…」を一般化し、現代社会との共通点を見つける力、プレゼン力	○	○	○	
国語総合	1	『羅生門』『伊勢物語』など他教材（『今昔物語』『大和物語』）を読み比べを行い、差異や共通点から作品を読み深める活動を行った。	ただ単なる差異や共通点を見ただけでなく、そこから主題は何かまで掘り下げ、作品の理解を深めることを目的としている。	○	○		
現代文B	2	中島敦「山月記」の単元では、「なぜ主人公は虎に変身したか」というテーマを設定し、ジグソー活動を通し、F. カフカ「変身」との比較読みをしながら読みを深めていくという工夫をした。	書き手の意図や人物、情景心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わわせることをねらいとしている	○	○	○	

現代文B	3	小説作品における、作者が投げかけた“テーマ”を、生徒同士で議論させる。その論拠として細部の表現（例；羅生門…暮れ方、晩秋、門の描写→境界・極限）を根拠にする。	筋を追うだけの表面的読みではなく、“神は細部に宿る”すなわち、本質を、ディテールから導き出す、抽象化能力をつける。それを他者と協働して行う力。	○	○		
現代文B	3	年間を通してグループワークを取り入れている。森鷗外「高瀬舟」を扱った単元では同心羽田庄平が「オソソリテにまかせるほかない」と考えた喜助の行為についてKJ法を用いたディスカッションにより、より深く考えることを目的としている。	二面どちらとも取れる内容について、グループワークを通して他者の考えもふまえ読解を深化させることをねらっている	○	○	○	
現代文B	2	森鷗外『舞姫』の模擬裁判。本文の内容、当時の時代背景などを根拠に、原告ユリスの母、被告・太田豊太郎の裁判を行う。	登場人物の心情を単に読み取るだけではなく、時代背景などを根拠にすることで、より作者の描きたかった作品観への理解が深まる。	○	○	○	
現代文B	*	ディベートを行う。クラスを4分割して、2グループずつディベート、他の2グループは審査員となる。『高瀬舟』では「知足」「安楽死」について戦わせ、自分の考えを深めさせた。	いろいろな媒体を利用して自分が知りたい情報を得る力。自分の考えを論理的にまとめる力。他の意見をきいて、反論できる力。他人の発表をきき、判断する力	○		○	
国語総合（古典）	1	年間を通して話し合いやディベートを多く取り入れている。『徒然草』では兼好の主張を理解した上で、反論を考え、兼好の主張に賛成か反対かのディベートを実施した。	作品を現代に引き寄せて考え、時に批判的思考で読む力をつけてほしい。	○	○	○	
現代文B	2	理系の2単位科目であるため、中学生や文系ほど頻繁に行えてはいないが、『山月記』の発展的学習において、自己確認のために他者理解が必要であることの実践として、哲学対話で自己の「幸福」について話し合った。	授業で扱った内容を個人レベルの具体的な例を出し、それを呼び抽象化することで、自己確認に他者との交流が必要であることを確認し、コミュニケーションを通して捨象や哲学について理勉を深める力。	○	○		
国語総合（古典分野）（現代文分野）	1	現古両分野とも、単元学習の方法をとり、学習が主体的・能動的に単元目標に向かえるよう配慮している。「災害と古典」という学習単元では、『方丈記』の「大地震」に漂う常観と、大震災を知った現代人（自分自身を含んで）の思いを比較させ、文章で考えをまとめさせた。被災者を外部講師として招き、その体験を授業で語ってもらっている。	逐語訳によるテキスト理解ではなく、国語を学ぶ意義も含めて、広い視野で言葉を学ぼうとする姿勢を求めたい。他者に対して心を開く力も身につけさせたい。	○	○		
現代文A	3	各単元のまとめ（最後の時間を利用）に際し、作品テーマについて論文（400字程度）を作成し、代表者の発表を通し、そのレポートをまとめる。	他の意見を客観視し評価、意見を述べる力を身につけさせる。	○	○		

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表・交換型	理解深化型	課題解決型	その他
現代文B	3	年間を通して、ペア、またはグループ活動を多く取り入れている。5月3日の新聞の社説を読み比べ、各紙の立場を考察し、自分の意見を構築する活動を行った。（新聞：朝日・中日・毎日・読売・産経）	評論文（社説など）を読み取る力を身につけてほしい。更に、それらを比較し、自分の意見を論理的に述べる力を身につけることもねらっている。また、書いた文章を回し読みして、自らの力をブラッシュアップさせたい。	○	○	○	
現代文B	3	ことばの定義をさせ辞書をつくらせる。（夏目漱石『こころ』の場合は「心」を定義）小説を扱う場合はその他に、書店ポップを作成させる。難関大の入試を扱う場合には、ある程度読解を行ったあと、その評論文をクリティカルリーディングさせる。その	・主体的にまなぶ力・国語のたのしさを理解する力・語彙力・理論的思考力・読解力・クリティカルシンキングの力	○	○	○	

		他、評論文を読解したのち、段落ごとでバラバラに分割したあと もと通りならべかえをさせる。				
古典B	2	『源氏物語』を読み、 作中に登場する伝統行事を実際に見学する ことで、当時の状況を体得し、その様子を海外に配信できるよう に英字新聞に仕上げた。また、英語科の教員とコラボして、古典 文学を英訳すると、日本語の世界観が損なわれないか、ディスカ ッションをし、コラム記事に書かせた。完成した記事は、アメリ カの高校に送り、m o o d l eを用いて、交流した。	コミュニケーション力、英語活用能力、調べる力を身につけ、 ループリックを用いて、相互評価できることをねらいとした。	○	○	○

2. 地歴・公民科の事例

地歴・公民科では、社会的レリヴァンス（学校での学習と社会におけるさまざまな活動とのつながり）を重視する文脈で、参加型の学習活動を取り入れる傾向が見られた。例えば、政治教育や法教育の一環として、実際の国政政党の政策の検討や模擬選挙、地域の課題の発見とその解決に向けた活動、判例の検討や模擬裁判などが行われている。また、実際の社会的事象のうち、意見ないし価値判断の対立があるような論争的問題を取り上げ、グループディスカッションやディベート、論文作成等の活動を行う事例も多く挙げられた。ただし、こうした論争的問題を扱う意図としては、内容の理解促進や資料の読み取り能力育成のためといったものから、自分の意見の形成や発表の能力、自分とは異なる他者の意見との交流や調整、思考力、価値判断力の育成にいたるまで、きわめて多様なねらいがあることが分かる。

さらに、地歴・公民科に特徴的な点として、複数の教科書の比較によって教科書の記述そのものを相対化し批判的に検討する活動や、地域の史跡・美術館・博物館等、社会教育施設関連のリソースの活用などが挙げられる。なお、前述の通り、国語科と共通の特徴としてNIE活動を取り入れた事例が散見された。

地歴・公民科の事例

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表 ・交換型	理解 深化型	課題 解決型	その他
政経	3	具体的な政憲案を読みあい、グループディスカッションで理解を深める。ワークシートに答える形で進める。	資料を読みとる力。自分と他人の意見のちがいを理解する。	○	○		
公民（現社）	3	ビッグデータ活用と個人情報保護両立をいかにするか国政政党に提案しよう。→各党から返信あり。	意思決定し、社会参加する力			○	
政経	3	モギ選挙。新聞、スマホ、PCなどを使って政党や政策を調べ、グループディスカッションで理解を深める。最後に投票。	・自分で調べることで政党や政策を理解し、主権者として投票行動する意思	○	○	○	
政治経済	3	模擬選挙・模擬裁判の実施、法教育的な授業を行う際に弁護士にも参加してもらうなど。	自ら考え、自らの意見を大切にするとともに、相手の意見にも耳を傾け、お互いに解決しようとする、を学んでほしい。現実の社会においても、同様に相互の利益を追求しつつ解決するためにどうしたらよいか、ということを考える機会として行っている。	○	○	○	
現代社会	1	憲法の基本的人権について学習する半年間くらいは、人権が争点となった判例について、自分の意見を書かせ、周囲の者とディスカッションを行い、その後意見を発表したり、説得されてしまった理由等を発表させている。	意見形成、相手の意見をふまえ持論を構成する力、討論する経験、発表する力	○	○		
政治経済	3	年間を通して経済について身近な事例（バイトの時給から年収を計算させ、ワーキングプアの現状について考えさせる、「最低賃金を上げると失業者が増えるのは何故か」を考えさせる。（需給曲線を用いて））、についてグループで話し合わせる。	・級友と意見交換しコミュニケーションをとりながら、共に学び合う力。・学習内容について主体的に考えようとする姿勢。	○			
人間探究基礎 （学校設定科目）	2	「地域の空き屋問題」「コンビニエンスストアの立地」など、身近な地域の中にある課題を明らかにし、フィールドワーク（イン	・校外の人から積極的に話をきく取材能力。・課題を明らかにする観察力。・調査研究を発表、発信する力。	○	○	○	

		タビュ等取材)を通して解決策を提案するもの(2学年、前期)					
時事問題研究	3	特に見解の分かれるテーマを設定し、両者の立場を調べさせ(選択人数が多い年度は講義)、そのうえで現制度の問題点を認識させ、より良い制度のあり方を考察させることで、主体的に考えさせるよう工夫している。	主体的・論理的思考	○	○	○	○
現会社代	3	年間を通して、課題に対する自分の考えを書かせている(例、生命倫理の章では「脳死は人の死か」)。書かせた文章は印刷して配布し、それに対して「支持する・しない」でさらに文章を書かせている。文章を書かせる前に、十分な資料提示・説明を心がけている。	教員の講義内容を消化した上で自分の考えをつくり、表現する力を身につけてほしい。さらに他人の意見を知ることから他者を理解しようとする姿勢や柔軟さも身につけてほしい。	○	○		
現代社会	1	学期に数回グループディスカッションを行い、生徒同士の意見交換の場を設けている。例えば、CO2の削減についてや安楽死の是非など、今日意見が対立している社会的事象に焦点をあてて話し合っている。	自分の考えを表現できるようになってほしい。そのためには、まずは考えることから始めなければならないため、思考力・判断力の育成、そして表現力を身につけさせたい。	○			
公民(倫理)	2	九大理学部のアファーマティブアクションについてどう思うか。功利主義、ロールズ、ノージック、共同体主義、フェミニズムの立場を踏まえて考える。	価値判断する力	○		○	
世界史B	2	KJ法を用いたグループディスカッションを年に1~2回行っている。ビザンツ帝国の意義について、日欧の教科書を比較検討させた。レポートやプレゼンも行わせている。	多面的に歴史を考察する力を身につけ、それをまとめて表現する力に結びつけたい。	○	○	○	
日本史B	3	複数の教科書記述を比較させる形で多角的、多面的理解をさせる。どの説明がわかりやすくていねいに記述しているか選ばせる。(例:大和政権と朝鮮半島)	複数の教科書記述を比較させる形で多角的、多面的理解をさせる。どの説明がわかりやすくていねいに記述しているか選ばせる。	○	○	○	
地理B	*	・NIE活動:世界各国の記事を集め、教科書の内容をリンクさせた紹介文の作成。模造紙に完成させて、発表。10月頃6コマ程度。 ・JICA活動:途上国の現状と課題、対策方法についてグループ学習で模造紙に完成させ、発表。	新聞の読解力、教科書との関連を思考、判断する力、共働する力、調べる力、表現力、発表する力	○	*	○	
政治・経済	3	総務省統計局が公表しているデータの中から気になったテーマを取り上げ、データから導きだされる結論を発表させ討議する	データを分析し、総合する力を身に付けさせたい。また、得られた結論を端的にまとめ発表する力を身に付けさせたい	○	○	○	

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表・交換型	理解深化型	課題解決型	その他
世界史B	2	博物館や美術館に向き、その作品が創作された歴史的背景をグループで考え、レポートする。(各学期に1回実施)	実物を見て触れることで世界史を身近に感じ、国際理解を深める。	○	○		
日本史B、世界史B	2	学校からすぐ近くの博物館と古墳群へ行き、土器に触れ、出土した古墳を見て授業で学んだイメージを具体的にみて学ぶ	興味、関心を高めたい。見ることから始まる意識付けを高めていきたい。		○		○

3. 数学科の事例

数学科では、学習の進度が比較的速い生徒から、比較的遅い生徒や理解が不十分な生徒への支援を、参加型学習の事例として挙げているものも多く見られたが、ここでは大きく分けて以下の二つの場面において参加型の活動が取り入れられている事例を抽出した。すなわち、(1) 生徒自身が他の生徒と協働しながら多様な解法を見出したり、事象から演繹的に規則や公式を導出したりする場面と、(2) 実生活への活用・応用の場面である。具体的には、(1) 多様な解法や公式を導出する場面では、実験やグループディスカッション、ジグソー法を通して生徒がともに探究する活動が、(2) 実生活への活用・応用の場面では、フィールドワークやケースメソッドを通して、既習事項や数学それ自体の有効性を実感する活動が多く取り入れられている。

数学科の事例

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表 ・交換型	理解 深化型	課題 解決型	その他
数学課題探求	3	「ピックの定理」を取りあげ、グループごとに話し合わせ、規則性を見つけ公式を導く作業を行った。1時間のみ。	手を動かし、頭を使い、まずは自分なりの結果を出すこと、それをもとにグループ内で意見をまとめながらさらに考察する力を身につける。	○		○	
数学B	2	単元「平面上の点の動く範囲」においてジグソー法を実施した。同一条件のもとで、様々な数値の場合を考察することで、一般化して考えることができるよう工夫している。	1つ1つの具体的な事実を統合して、一般化することができる力を身につけることをねらっている。	○	○	○	
数学II	2	単元「等式の証明」においてジグソー法を実施した。1つの証明問題を3通りの方法で証明し、それをお互いに説明しあった。	それぞれの証明方法の特徴を理解して、証明問題に対する方針の基礎を身につけてほしい	○	○	○	
数学I	1	数学I「データの分析」の単元のところで、相関係数という概念への理解を深めるためにサイコロ2個を生徒に順に振ってもらい得られた和・差・積のデータの相関を調べさせた。	グループ内で協同で作業する力。教え合い学習する力。計算結果の意味を理解する力。		○	○	○
数学A	2	授業が50分間の2コマ連続のため、始めは講義形式とし、その次の時間をグループ学習中心の学び合い活動をしている。「集合」では、学校で行われたアンケートを使い、各項目の人数を調べたり、分析させたりした。	教え合い、学び合いをすることで、数学的な思考に対する理解を深めてほしい。また、説明する力、説明を理解しようとする力も身につけてもらいたい。	○	○	○	

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表 ・交換型	理解 深化型	課題 解決型	その他
数学Ⅰ	1	解き方が何通りもある問題に対してどの解法で解いていくのか選ばせ、最後にどの解法が1番適していたかを話し合せている。	選択肢が何通りもある状況になった時、瞬時に最適な選択ができる力を身につけてほしい。	○	○		
数学B	2	・漸化式 ハノイの塔の教具を扱い、漸化式の帰納的定義について、グループ・ディスカッションを通して、考察する。	課題解決型の授業を通して、数学的思考力を身につけさせたい。	○	○	○	
数学Ⅱ	2	・三角関数 グラフの特徴をグループ・ディスカッションを取り入れ考察する。・指数・対数 問題解決型の課題を扱う。・微分・積分 実験等も取り入れ、グループディスカッションで考察する。	既習をもとに問題を、数学のモデルで考え、解決する力。	○		○	
数学探究	3	1学期中に「ペントミノ」（正方形5つでできる図形）を題材として扱ったときに、立方体5つをグループごとに話し合いながら全部で12種類をみつけることができた。	自分の考えをグループ内で伝え、楽しみながら、学ぶ。		○	○	
数学A	1	年間を通して、グループでの話し合い、教えあいを多くとり入れている。「場合の数」では、正図面体の塗り分けの問題をグループで解決し、プレゼンテーションさせる。	論理的に考え、表現する力を身につけてほしい。また、考えたことを相手に伝える力を身につけさせることをねらいとしている。	○	○	○	
数学活用	3	グループ学習で、建物等の高さを求める活動を行った。測定地点から、目標物までの距離と、目標物上端の角度をもとに、 \tan 値により算出した。	既習事項をもとに新しい課題を進んで解決しようとする力と、集団内でのコミュニケーション力		○	○	
数学Ⅰ	1	1年生の1月に、実際に生徒が外に出て、校舎や体育館の高さを測量し、実体験することで数学の有効性を感じさせる、理解が深まるように工夫した。	基礎的・基本的な知識技能を活用する力を身につけてほしい。	○	○		
数学Ⅰ	1	数学Ⅰ「三角比」の単元の授業で、校舎を見上げる角度から、その高さを求める活動をグループで行わせた。実際に測量を行い、結果を計算させた。	学習した数学的内容を正しく使う力。グループで互いに確認しながら作業する力。数学はいろんな場面で活かされるとわかる力。		○	○	○
数学A	1	「整数の性質」について、新幹線や飛行機のシートの配列をスタートとして、なぜそういう2列、3列のようになっているのか、などについて、合理的なところなどを検証できるように工夫している。	実際に乗ったことのあるものについて、「なぜ？」という疑問を数学的に考察する力や、身のまわりのことに対する課題認識力を意図している。		○	○	
数学Ⅱ	2	各単元の導入において、プロジェクターを使い、何において役に立つものなのか？社会においてどのように使われているのか？などを発表などを通して考えることをしている。	ただ公式を覚え、使うことだけでなく、単元の内容に興味をもつことや他の者に、教えたりすることでさらなる理解を促す。	○	○		
ビジネスと数学 (学校設定科目)	3	年度内で最初の半年で就職試験や生活の中で必要な数学を学び、後年の半年で、実生活の中で数学を活用する場面を生徒自らが見つけ出し、発表した。特に身近な食品について調べ学習をし、グループ内で議論をした後、どの商品がお得なのか、価格に左右されずにプレゼンテーションをしたことで、数学的な教え方に加え、多くのことを学ぶことにつながった。	生活の中で自ら考えようとする力。生活の中で数学を活かそうとする力。自分の考えを持ち、表現する力。他者の考えを尊重し、協力する力。自分たちの行動をふり返り、改善する力。	○	○	○	
数学全体	*	数学史をとり上げ、どこに問題があったかを考えさせる。また、当時の人が行った方法を考えさせる。	調べる力、近現代でどのように関わっているのかを知る		○	○	

4. 理科の事例

理科では、実験を取り入れた授業が多く挙げられた。学校や事例によってテーマの設定や装置の準備等に関して生徒の参加の度合いは異なるものの、実験の計画や実施、結果の考察、発表を通して、科学的ないし化学的な思考力、既習知識の活用、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力といった身につけさせることをねらいとしている点で共通している。

また、最新の科学技術に関連した医療や産業の分野における論争的問題を取り上げ、調べ学習やディスカッションなどを通して自らの意見を形成する活動が多く見られた。授業内容に関連する論争的問題を教材とした参加型授業という点では、地歴・公民科と共通に見られる事例であり、今後これら教科間での連携の可能性が大いに考えられる。ただし、論争的問題を取り上げるねらいに、学問的知見と日常生活とのつながりに着目させることが挙げられている点は、理科の事例に固有の特徴と言えるだろう。

さらに、地域でのフィールドワークや地方自治体が提供するプログラムの利用など、学校外のリソースの活用が進められている様子も見受けられた。

理科の事例

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表 ・交換型	理解 深化型	課題 解決型	その他
化学基礎	2	年に数回、実験を行い、歴史的に利用されてきた反応や現象を関連づけさせる工夫を行っている	日常生活の中に見られる様々な現象を化学的に説明できる能力を身につけさせたい。		○	○	
総合的な学習の時間	2	・実験装置の製作から行き、班で話しあいながらより良い実験を目指す。結果をレポートにし発表する。・小学生向けの出前授業の内容を企画・検討し、実際に行う。	班員と協力して、より良い実験が出来るよう創意工夫する力、自ら考える力を身につけてほしい。	○	○	○	
理科	*	テーマを与え、テーマに沿った実験を生徒自身が考える。(例に重力、加速度を測定せよ) 実際実験を行い、内容の評価、分析をし、プレゼンテーションまで行う。	・手法を調べる調査力。・理論を大切にする思考力。・プレゼンテーションをわかりやすくする伝達力、説得力。	○		○	
科学と人間生活	2	年間を通して、実験考察を多く取り込んでいる。繊維の燃え方の実験では、燃え方を観察し、繊維の種類と燃え方の類似点と相異点、着衣として燃えた時の危険性を理解させる。	実験前の授業での繊維の成分と燃え方の類似点を話し合いの中で発見させることで、化学的性質と目に見える現象を結びつける力を身につけさせることをねらっている。	○		○	
課題研究Ⅱ(学校設定科目)	2	年間を通してショウジョウバエの味覚、嗅覚に関する実験を生徒が計画、実施しポスター発表する。	科学的思考力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力	○		○	
化学	3	金属イオンが含まれる試験管を6～8本用意し、何の金属イオンが含まれるのか実験によって確かめていく、実験の手法も自分達で計画する。	・科学的思考力・教科書で学んだ知識の活用	○	○	○	
理科Ⅰ	1	実験を通して、物質の特徴や法則を見出す。ある授業では、5種類の白い粉を見分ける実験法を班ごとに考え、実験結果を考察する。	実験結果から、各自が自分の言葉で結論を導く力を身に付けることをねらう。	○		○	
化学	2	「化学基礎」同様に知識を総合的に活用する実験を随時取り入れている。「無機化学」では1つの溶液に班毎に異なる数種類の金属イオンを入れておき、時間内にそれを特定させる。生徒が班で	課題解決にむけ、学習した内容や知識を総合的に活用し、工夫する力を高めてほしい。また、行った事を整理し、理論的に発表することで、さらに知識を深めてほしい。	○	○	○	

		話し合って方法や必要な試薬を決め、行った操作とその結果からどのような結論になったかを班毎に発表をさせる。					
--	--	--	--	--	--	--	--

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表・交換型	理解深化型	課題解決型	その他
生物基礎	1	年間を通してペアワーク、グループ・ディスカッションを取り入れている。『ゲノムプロジェクト』を含む遺伝子の分野では、現代医療と科学技術について話し合わせることで、生徒が自分なりの意見を持てるように工夫している	最新の科学技術（テラーメイド医療）などを受け入れるか否かの意見をしっかり持てるようになって欲しい。	○	○		
生物基礎・生物	*	遺伝組換えやゲノムプロジェクト、出生前診断等の倫理的な問題を含むテーマについて、ホワイトボード等を活用しながらディスカッションと発表を行わせている。実施は不定期。	自らの意見を論理的に発信する力や、相手の意見を聞く力、グループで意見をまとめ、一つの主張として発信する力を身につけてもらいたい	○	○	○	
サイエンススタディーズ	1	年間を通して、グループ・ワークを多く取り入れている。「疑似科学」「相関と因果関係」「生命倫理」など、現代社会で問題になっているテーマを取り上げ、話し合いをさせている。	正解を探すのではなく、最適解を話し合いにより導き出す力を身につけてもらうことをねらっている。	○	○	○	
生物	2	遺伝子分野の学習が終了した後、遺伝子組換え作物や遺伝子治療などについての記事（インターネットから得たもの）を複数提示し、読み、社会的利点と問題点を考えさせる。グループ内で意見交換し、全体で発表する。	最先端生物技術と日常の結びつきを知ってほしい。また、表面上問題視されていない部分に気づき、倫理面からその問題を考える力をつけさせることもねらっている。	○	○		
生物基礎	1	1年生の6月～8月で学習するDNAの特徴や性質について、個人でこれからの農学、医学での利用について調べ学習、探究させている。	学校で学んで興味、関心を持った分野に対して、将来の進路につなげて探究することができる。		○	○	
生物	3	近隣の森を巡検し、森の特徴を理解し、学校林にフィードバックする。学校林の利用方法について話し合い研究する。	本校の所在する県は、森林と密接に関しているという特徴を理解してもらいたいのと学校林の意義も考えてほしい。	○		○	
科学探求	3	実験、フィールドワークを中心に進める授業である。池の水を顕微鏡で観察したり、タンポポの在来種・外来種校外調査を行ったり、身近にあるものを題材に個々で取り組む内容と班で取り組む内容を設定している。	身近に存在する生き物や現象に対する興味・関心・探究心を身につけてほしい。また、現象を科学的にとらえ、学習意欲の向上や進路設定にいかしてほしい。		○	○	
地域の科学	3	地方自治体が主催しているジオパークツアーガイド養成講座（年7回）に参加し、地域の地質的なことを勉強する。それを小、中学生に伝えるための工夫を話し合い、実際に小中学生のツアーガイドを行う。	地元のすばらしさを再発見してもらいそれを発信する力を身につけてもらいたい。高校生の視点から地元を活性化したいという気持ちをもってもらいたい。	○		○	
地学	*	他教科とのクロスカリキュラムにおいて、例えば下記のような課題に対して答えを模索する。・紀貫之はなぜ陸路を選ばなかったのか？・元寇の船はなぜ沈んだのか？・不快指数と多変数関係・対数で表す地学にはどんなものがある？なぜ対数で表す？・壇ノ浦と潮汐→潮汐グラフのファクターを暴き出せ！・岩石の特徴（組織、鉱物組成）から成因を類推せよ。・パホイホイとアアのモデル化→Name something that flow	教科横断的な課題に対して、地学の視点から答えを提案する力と、その真偽を議論してより確からしい答えにアプローチしていく力。			○	

		s i n a s i m i l a r m a n n e r t o l a v a ?					
--	--	--	--	--	--	--	--

5. 外国語科の事例

外国語科では、教科書やその他の英文テキストの内容に関連するテーマについて、調べ学習、プレゼンテーション、グループディスカッション、ディベート、ロールプレイ等の活動によって学習を深める事例が挙げられた。教科書以外の英文テキストとしては、英字新聞や英文雑誌の記事、政治家のスピーチなどが扱われており、国際的な社会問題や世界史に関わるテーマなど、地歴・公民科と連携しうるトピックが取り上げられている事例も散見される。

また、学校生活や音楽、街の英語標識など、生徒に身近な題材を用いてスピーキングやライティング等の活動を取り入れた実践も、参加型授業の事例として多く挙げられていた。ただし、そのねらいは学習意欲の向上や、表現力、学習事項の定着のためなど多様である。

さらに、少数ではあるが、英語科独自の事例として海外の学校との交流を軸に据えた授業実践も見られた。

外国語科の事例

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表 ・交換型	理解 深化型	課題 解決型	その他
コミュニケーション英語Ⅱ	3	1学期の終わり、南アフリカのapartheidに関する調べ学習を行わせた。本文のネルソン・マンデラの偉業に対する理解が深まるよう工夫している。	人種隔離・人種差別に対する自分なりの考えを持つとともに、調べる方法、わかりやすくまとめる方法を身につけてほしい。	○		○	
グローバルエデュケーションA	2	アメリカ・ヨーロッパ・アジアの偉人伝を扱ったテキスト（英文）を読む時に、その人物の背景（周囲の人、その時代、その場所）について調べ、ペア又はグループで情報をつき合わせてプレゼンテーションを行った。	・知的好奇心の涵養。・情報を整理し、理解し、発表するプレゼンテーション力・統合智（知）の前提となる事物の背景情報獲得	○	○	○	
コミュニケーション英語Ⅱ	2	レッスンのまとめとして、教科書本文に即した議題を設定し、単純化されたディベート（ミニディベート）を行っている。活発な議論になるように、議題を身近な話題から社会性のあるものになるよう配列に気を配り、意見の拮抗が生まれるルールになるよう工夫している。	自分の意見を口頭で表現する力を高めてほしい。ひいては、物事を多面的に捉え、自分の意志を決定していく判断力を身につけてもらうことをねらっている	○			
Practical CommunicationⅡ	2	年間を通じて、設定した論題に対しグループディスカッション（英語）を行うことにより知識を深め、その後ディベートに取り組んでいる。ディスカッション後には各自の意見を問う作文課題を主に課している。	社会的な問題を多方面から見つめ、それを踏まえたうえで自分の意見を考える、またそれを英語で行うことにより同時に英語の言語能力を伸ばすこともねらっている。	○	○		
Global Studies	*	世界の諸問題を英語で学び、国際的視野を広める。年間を通して、グループワークやディスカッションを多く取り入れ、また高校生が解決に尽力できることを考える機会を多く持つよう工夫している。	世界の問題を自分にも関係ある身近な問題として主体的に受けとめる力、問題の解決策を考える力	○	○	○	
英語表現Ⅱ	3	毎回の授業でテーマを決めて話し合いをおこなう。経済的自由主義者の主張などを取り扱った。まず小グループで発表を行う。自信を持って発表してもらえるようにそうしている。その後、教師が司会となりクラスで意見をシェアする。	英語でアウトプットをする力をつけてほしいと思っている。またアウトプットをするためには、英語は話したり書けたりするだけでなく、その内容が大切になってくるということも理解してもらいたいと思っている。	○	○		

コミュニケーション英語 2	2	グローバルイシューのうち、子どもの人権と環境に関する英文を読み、ロールプレイによる交渉トレーニングや即興型ディベート等を行なうことにより、現状の問題を深く理解させ、その上で各自が考えた解決策を英語で発表させている。その他、ボランティア活動をし発信する。	・グローバルイシューに対する興味・クリティカルシンキング力・英語による交渉力、話し合いの力・問題発見解決能力	○	○	○	○
教養英語	3	グループ・ディスカッションを毎時間取り入れている。英字新聞を読み要約し意見交換またディベートなどで調べた内容から意見を述べるよう工夫している。	社会的問題について、自らの考えを述べることができる力、Critical thinkingの姿勢を持ち気後れせず発言する力。	○	○	○	
英語表現Ⅱ	2	週刊英文雑誌TIMEの投書（生徒にとってスキーマがあるもの）を読み、グループで話し合いながら、その投書に賛成する投書と反対する投書を英語で作成する。ただし、教科書の該当項目を一箇所は使用させることとする。作品は印刷し、次時全体でシェアする。（通年）	グループの力を借りながら、ブレインストーミングを行い、一つの意見に対して、複数の見方を持ち、該当項目を使用して書ける英語で書く力を養いたい。	○	○		
英語	2	夏から冬にかけて、オバマ大統領の米国の高校卒業式のスピーチを、グループごとに日本語訳を発表し、大統領に送るメッセージを発表し、クリスマスカードにして送る。	アメリカの高校生に向けての大統領のメッセージを日本にいる自分自身にとらえて、自分の意見を考え表現し、伝えることを行なう（英語で）	○	○		
コミュニケーション英語	1	オーストラリアの高校との交流で、オーストラリアの高校生が数日間授業に参加する冬に、日本文化を紹介するプレゼンテーションをグループで準備し、実施する。	外国の人には是非とも知ってもらいたいことを、自分達で考え、まとめ、伝える力	○			
総合的な学習の時間（一部、コミュニケーション英語Ⅱ含む）		ガーナの聾学校で作られたポーチを使った国際理解教育を平成26年度に実施した。ガーナの社会・経済事情について解説した後、生徒は与えられた情報をもとにポーチの適正価格を話し合っ決定し、文化祭で販売した。活動後には、英語の手話を使ってガーナの生徒にメッセージを送った。	世界が抱える様々な問題について、それらを自らにも関係のある身近な課題として捉えてほしい。また、活動を通して、「自分たちの力で国際協力のために出来ることはある」ということを実感してほしい。	○	○	○	
観光英語	2	期初に地元の観光名所の英語パンフレットを作成し、期中期末にかけて実際に各名所、ホテル、案内所などに行ってそのパンフレットを外国人観光客に渡して案内する。	自分で選んで得た知識を英語で外国人に伝える実践を通じて、情報収集力、プレゼン力、コミュニケーション力をつけさせたい。	○	○	○	
コミュニケーション英語Ⅱ	2	教科書で扱う文法を含んだ生徒が好きな曲を選び、それぞれのグループに自分達で文法事項のまとめをさせ、それぞれ発表させ（新しい班内で）、曲の文法を扱った部分の訳をさせ、曲のテーマを考えさせ、道徳的なテーマや観点の関連した問などにも触れ、自らの生活や人生にも関連付けさせた活動にする。（協調学習）	文法の知識を定着させる。英語の曲を通して、テーマを自ら探り、自分の生活や人生に結びつけて考えさせる。（考えてもらいたい自ら）	○	○	○	
英語表現Ⅰ	1	助動詞（must・may・can）の文法事項の学習後、それらを使用して本校の新たな校則を英作文させる。創造した校則をグループで発表させあう。	難しい単語ばかり使うのではなく、自分の持っている知識を使って英作文に慣れさせたい。また、文法事項をさらに定着させたい。さらにクラスメイトの意見にも耳をかたむけさせたい。	○	○		

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表・交換型	理解深化型	課題解決型	その他
-----	----	----------	-----------	----------	-------	-------	-----

英語表現 I	2	大学から教員を派遣してもらい、2年計画で英語での映画製作に取り組んでいる。少人数で班をつくり、台詞等を英語で考え、相手に伝える英語学習ができるよう心掛けている。	映画製作を通して、伝える相手を見据えた英語の表現を身につけるようにしている。	○	○	○	
グローバルラーニング	2	2年間をかけて最終的に8000字の論文を提出するプロジェクト型学習である。生徒1人1人がそれぞれのテーマをかかげ調べ学習やインタビューなどのフィールドワークを行う調べ学習に終わらせず、自分たちに何ができるのかの提案を行うよう指導している。	1. に挙げたプラクティカルイングリッシュ同様、グローバルな問題について何かとりあげ、考える力、現在とりくんでいる人々が抱える問題点を知り、そこから新たなアイデアや解決策を考え提案する力をつけさせていく。	○	○	○	

6. その他の教科・特別活動等の事例

「その他の教科・特別活動等」には、6教科以外の教科、総合的な学習の時間、特別活動、学際的な性格をもつ学校設定科目などが含まれる。6教科の事例と比べ、これらの教科・科目・時間、とりわけ総合的な学習の時間や学校設定科目の事例では、教科横断的でプロジェクトベースな学習活動が多く見受けられた。校内の他教科との連携や、地方自治体、地域、NPO、**企業**といった学校外部のアクターとの連携が進められており、生徒が自らの進路等も見据えながら学校の外へと学習のフィールドを広げている様子が伺われる。この点において、全体の傾向として社会的レリヴァンスが重視された参加型授業が多く展開されているといえよう。

6教科以外の教科・特別活動等の事例

科目名	学年	参加型学習の特徴	身につけてほしい力	意見発表 ・交換型	理解 深化型	課題 解決型	その他
情報	2	市政、NPO法人への施策提案をBS、KJを用いて行って、その講評といただいている。	学校で正しいこと、社会で優先すべきことの違いを知り、対象者に制限時間内でのプレゼンをして出力の力としている。	○	○	○	
総合的な学習	2	1年を前後半に分け、前半は 地方自治体 と連携を図り、行政の問題解決を考え、後半はディベートを行う。前半のとりくみはゲストティーチャーを招きお話を聞き、フィールドワークを行い、実際に行政がかかえている問題を見る。 地方自治体 からの課題に対し、4～6人班で自分たちなりに答えを考え、プレゼンテーションにて発表する。	前半のとりくみでは、ブレインストーミングも行うため、どんな意見も広く聞き、思考する力、課題解決能力、情報収集能力、他者理解、プレゼンテーション能力などを身につけるべく行っている。後半のディベートでは理解力、分析力、構成力、伝達力がつくようにつとめている。	○	○	○	
総合的な学習の時間	2	本校のキャリア学習の一環で、“Young Leaders Plan”を行っている。1年次に学んだ知識・手法をさらに発展させる。通年で実施するが前半は 地方自治体 のインターンとなって行政が抱える問題を解決する プロジェクト に取り組む。後半は、高度な発表、表現技法であるディベートに臨む。	1年次同様 で「大学入学」ではなく「大学卒業後」を見据えた能力の育成をねらっている。	○	○	○	
課題研究	3	地域の政策課題を解決する、研究を地域と連携して行っている。チームを組んで、テーマを決め、フィールドワークを行い、調査・研究を行って県民会館で公開プレゼンテーションを行っている。2年次で学んだ基本の型を3年次では自分たちで活用してマネジメントを行い、課題解決の提案を行う。コミュニケーションやプレゼンテーションなどの能力について、ルーブリックを用いたパフォーマンス評価を行っている。デザインを活用して、ないものを生みだす不都合、不便を解決するコトを目指す。	・言葉能力、問題解決能力・開かれたコミュニケーション・説得力のある、プレゼンテーション・デザインの商品化、企画の採用などを通し職業人としてのプロ意識を高める・ビジネス社会で主体的、協働的に活動できる能力	○	○	○	
ビジネスデザイン	2	外部クライアントから制作依頼のあったものに対して、クライアントの担当者を招き、求める完成品のイメージや禁忌事項の確認をおこなう。また完成時に再度担当者を招き完成品のプレゼンテーションを行う。	クライアントの意向を聞き出す情報収集能力を養いたい。また自分の作品をアピールすることでプレゼンテーション能力を身につけさせたい。	○		○	

情報の科学	1	年間を通して、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションを多く取り入れている。現在は、インターネット通販での販売のためにwebページの作成やマーケティングを実際の企業通りに行っている。社会人になったつもりで、社会人力が身に付く工夫をしている。	実際に販売や商談を行うので対人関係に対するコミュニケーション力や創造力、思考力、判断力、表現力が身に付くようにしている。	○	○	○	
課題研究	3	「ものづくり」だけでは経済は発展しない。「技術」だけでは、「もの」は売れないという日本産業界の失敗から、自分達で仮想企業を起業し、成果物を売るということを議論させ、「プロジェクト」という考え方で、研究を進める工夫をしている。	様々な「ものづくり」の仕事は「プロジェクト」という考え方で行われ、他者とコミュニケーションをとりながら行う。その手法として、プレゼンやメール、ホームページの情報発信の能力が必要である。	○	○	○	○
農業と環境	1	グループに分け、農業の効果実験や発芽試験、土壌試験など体験型の授業を展開している。試験結果について話し合う機会を毎回持っている。	予想とは違う結果になってもどうしてそうなったかを1人1人考えさせ、その後グループで話し合いをさせている。考える力を身につけさせたい。	○	○	○	
農業と環境	2	農学科と家庭科でコラボした授業を行った。栽培した農産物を加工し、調理する。その際お互いの学習成果を教え合う。	ジグソー法を活用し、お互いの学習効果を深める。	○		○	
農業起業基礎	2	高校生バイヤーという活動名称で、生徒が農家に取材・体験に行き、農産物を知る。その農産物を、チラシ・POP・試食・対面販売等でPRして、本校の行事で販売する。	企画内、コミュニケーション力 農業を起業したいという意欲。	○		○	
フードデザイン	3	年間を通してグループ・ディスカッションを多く取り入れ、実験・実習の準備、方法、後片付け、そのまとめなどを班別で記録し、まとめと反省を発表させ情報の共有を図る。食文化特に郷土の食文化（食材の生産から生ゴミなどの廃棄まで）について、班ごとに課題を設定させ研究に取り組みさせている。できあがったレシピは、料理コンクールに応募したり、校内文化祭で発表したり、仮設住宅（東日本大震災及び東電原発事故による避難）の皆さんとの交流会で配布したりしている。仮設住宅との交流会では住宅の方たちの意見も聞き、課題学習に活用している。	今の高校生は、生活体験が少なく知識や技術を課題解決に生かすために再構築することが苦手である。手引書やマニュアルを正確に読解する訓練（トレーニング）が十分とは言えない。従って、基本的な知識や技術を身につけるだけでなく個々の日常生活で応用できる力を育てたい。情報に収集、選択、活用や共有などの方法も体験を通して身につけさせたい。世代間の交流を通して、地域社会や伝統文化（生活文化）と自らの生活との関連性に気付かせたい。	○	○	○	○
卒業研究	3	阪神・淡路大震災の経験者への聞きとりと文章化を行う「語り継ぐ」の作成と、自ら課題を設定し成果物（レポート含む）についてプレゼンテーションする「卒業研究」を行う。	3年間の集大成として、学んだことを深めつつわかりやすく表現し広める力をつけてほしい。	○	○	○	
家庭総合	3	〈乳幼児親子ふれあい学習〉乳幼児の成長・発育について調べさせ、発達段階に応じた、おもちゃ製作を行い、ふれあい学習に持参した。自分の予測する反応が子供から得られたか検証を行い、まとめ発表させた。また親の役割について、グループディスカッションを行い、実習の折には質問するなどして、理解を深めた。	・乳幼児に対する愛着の感情の醸成。・親の役割の重要性と命の尊さを実感させる。		○	○	
体育	2	バレーボールの授業において、ゲームを通じて、課題解決学習を行っている。ゲームのないチームでスパイクやサービスブロックなど成功・失敗の率と勝敗を分析させ、チームや講座全体で共有している。その分析を踏まえて、班別の課題練習を次回の授業で行うという内容を行った。	・分析結果を生かす能力。 ・チームの課題を明確にし、練習の内容を決定することができる。 ・チームでディスカッションを行い、意見をまとめて、チームの練習に生かす。	○		○	○

保健	1	世論でも賛否が分かれている問題から、「エボラ出血熱拡散防止のための地域封鎖について」を選びディベートを行なった。事前に自分の考えをまとめることで、意見を言えるようにした。	・物事について知識をもとにして考えることができるようになること。 ・相手の意見を聞いて、自分の考えを深めることができるようになること。 ・賛否両方の意見を聞き、どちらの言い分がより説得力があるかまとめられるようになること。	○	○		
----	---	---	---	---	---	--	--

4. 付録

付 録

調査票 A
学校代表者用



高等学校における参加型学習に関する実態調査

東京大学 大学総合教育研究センター
日本教育研究イノベーションセンター (JCERI)

**8月31日(月)までに
とりまとめご担当の先生に
提出してください**

※ すべての調査票をまとめて、9月4日(金)までに投函していただきますよう、
とりまとめご担当の先生にお願い申し上げます。

[問い合わせ先]

○調査票の発送・回収に関するお問い合わせ

日本教育研究イノベーションセンター (JCERI) 担当 片山、坂上、赤塚、高井

電話番号 03-6811-5569

受付時間 10:00~18:00 (土日祝を除く)

○質問内容、その他調査全般に関するお問い合わせ

東京大学 大学総合教育研究センター 教育課程・方法開発部門 担当 木村、山辺、中原

電話番号 03-5841-4913

受付時間 10:00~17:00 (土日祝、夏季休業〔8/12-14〕を除く)

【調査の概要】

東京大学 大学総合教育研究センター 教育課程・方法開発部門では、日本教育研究イノベーションセンターと連携し、学習者の能動的な学びへの参加を促す学習（参加型学習）の実態に関する調査をさせていただくことになりました。本調査では、とりわけ、以下の点を明らかにするための質問をさせていただきます。

- ① 全国の高等学校でどのような参加型学習に関する取り組みがなされているか
- ② 参加型学習に取り組む学校や先生方は、どのような目的でそれを行っているか
- ③ 参加型学習に取り組まれている先生方は、どのような課題や不安を抱えているか

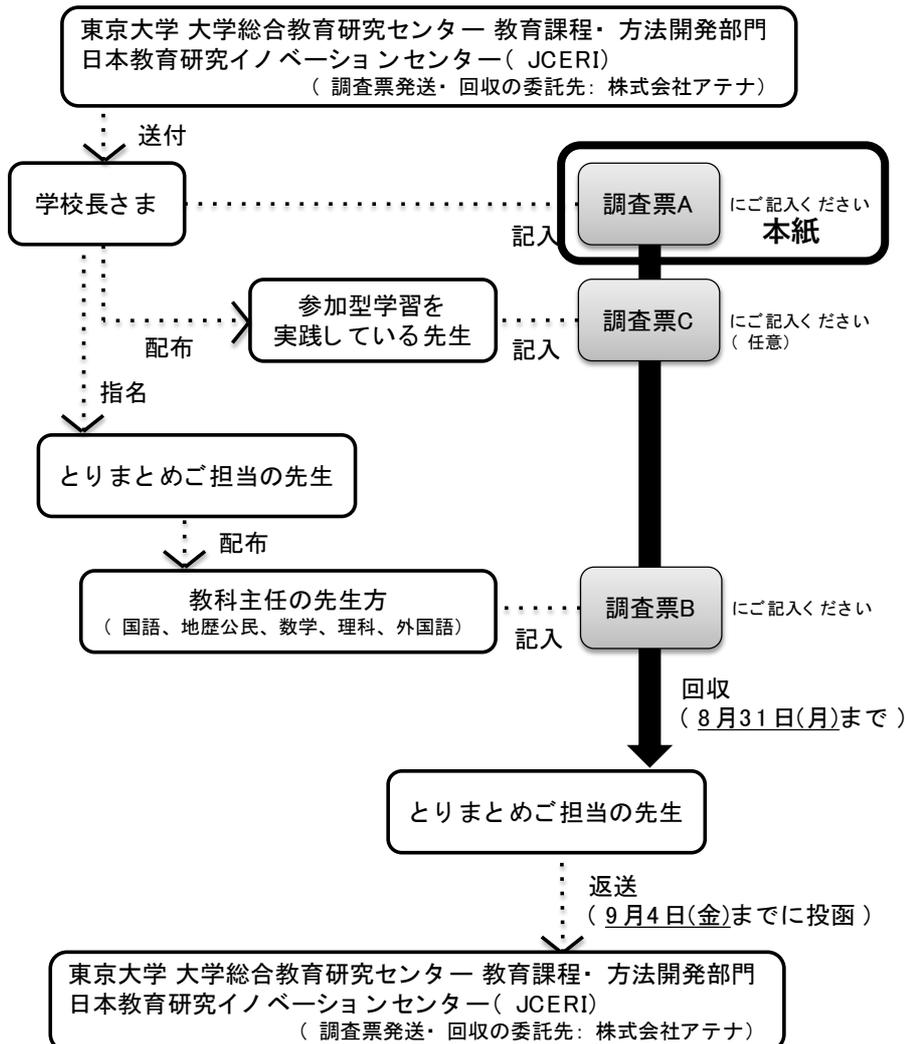
本調査から得られたデータは、2015年12月に開設予定の特設ウェブサイトにて日本全国の教育関係者に無償公開することなどを通して、共有させていただきます。同ウェブサイトにおいては参加型学習を展開するうえでの手助けとなるような実践的な工夫についての情報も収集・発信いたします。授業づくりのお役に立つことができれば幸いです。

お忙しい中恐れ入りますが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

【調査結果の取り扱い】

回収された調査票は、厳重に保管します。また、回答された情報は、統計的に処理し、許可なく個人や学校が特定される形で公表されることはございません。

【調査の手順】



【調査票の種類】

本調査には、A, B, Cの3種類の調査票があります。

調査票 A：←本紙はこちら

学校全体としての取り組みについて伺います。校長先生、教頭先生、あるいは教務主任の先生にご回答をお願いします。

調査票 B：

教科ごとの取り組みについて伺います。国語、地歴公民、数学、理科、外国語の教科主任の先生にご回答をお願いします。(各教科1部ずつ計5部)

調査票 C：

先生個人の授業での取り組みについて伺います。参加型学習を取り入れた授業に昨年度以前からすでに取り組んでいらっしゃる先生に任意でご回答をお願いします。(計5部)

※回答は任意ですので、提出部数はお任せいたします。

8 貴校の学科の設置状況と、学科ごとの学級数・生徒数についてお聞きします。
 貴校に設置されている学科について、次の1~15の中からあてはまるものをすべて選んで、右側の空欄
に○をつけてください。

また、○をつけた学科について、右側の列にそれぞれの学科の2015年度の第1学年の学級数と生徒数
 (2015年4月の入学者数)をお答えください。(1~15にあてはまらない学科については、16~18の欄
 に学科名を記入してください)

A 設置されている学科に○		B 第1学年の学級数	C 第1学年の生徒数
1. 普通科		学級	名
2. 総合学科		学級	名
3. 農業に関する学科		学級	名
4. 工業に関する学科		学級	名
5. 商業に関する学科		学級	名
6. 水産に関する学科		学級	名
7. 家庭に関する学科		学級	名
8. 看護に関する学科		学級	名
9. 情報に関する学科		学級	名
10. 福祉に関する学科		学級	名
11. 理数に関する学科		学級	名
12. 外国語に関する学科		学級	名
13. 国際に関する学科		学級	名
14. 芸術に関する学科		学級	名
15. 体育に関する学科		学級	名
その他	16. ()	学級	名
	17. ()	学級	名
	18. ()	学級	名

9 貴校の生徒の卒業後の進路について、昨年度の進路別の人数をお答えください。

進路先	A 四年制大学	B 短期大学	C 専修・各種学校	D 就職	E 進学準備	F その他
2015年3月卒業	名	名	名	名	名	名

10 貴校の学校教育目標(教育方針、経営計画等を含む中・長期的目標)には、どのような言葉が含まれて
 いますか。次の言葉のうち、学校教育目標に含まれている言葉(類似した言葉を含む)をすべて選んで
 数字に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|--------------------------|------------------------|
| 1. 基礎 基本 教養 | 2. 考える力 思考力 | 3. 学ぶ力 自己学習 学習習慣 |
| 4. 専門的知識・技能 | 5. 創造性 創造力 | 6. 知性 知力 知恵 |
| 7. 批判する力 批判力 | 8. 健康 体力 | 9. 基本的な生活習慣 |
| 10. 規則 規範 規律 自律性 | 11. 人権 道徳 倫理 | 12. 自主 主体性 |
| 13. 人間性 豊かな心
思いやり 感謝 | 14. 社会性 協調性
コミュニケーション | 15. 国際理解 国際交流
グローバル |
| 16. 意欲 やる気 | 17. 興味 関心 好奇心 | 18. 挑戦 チャレンジ |
| 19. 個性 独自性 | 20. 素直 誠実 | 21. 努力 忍耐 粘り強さ |
| 22. 国家 社会形成 | 23. 自然 環境 生命 | 24. 社会貢献 奉仕 ボランティア |
| 25. 体験活動 体験学習 | 26. 地域 郷土 | 27. 情報技術 情報化社会 |
| 28. 進路 キャリア | 29. その他(具体的に) | |

11 貴校での教育課程の編成体制についてお聞きします。

(1) 貴校では、教育課程の編成やその原案の作成に、どのような職位職階の教員等が携わっていますか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

(A) 原案の作成

1. 校長 2. 副校長 3. 教頭 4. 主幹教諭 5. 主任教諭 6. 指導教諭 7. 教諭
8. 教務主任 9. 進路指導主任 10. 生徒指導主任 11. 学年主任 12. 教科主任
13. 総務主任 14. 外部の有識者 15. その他（具体的に)

(B) 教育課程の編成

1. 校長 2. 副校長 3. 教頭 4. 主幹教諭 5. 主任教諭 6. 指導教諭 7. 教諭
8. 教務主任 9. 進路指導主任 10. 生徒指導主任 11. 学年主任 12. 教科主任
13. 総務主任 14. 外部の有識者 15. その他（具体的に)

(2) 貴校では、教育課程の評価・改善について会議や委員会などで公式に話し合う機会はどのくらいありますか。あてはまるものを1つ選んで数字に○をつけてください。

1. ない 2. 数年に1回 3. 年に1回 4. 年に2,3回以上

12 貴校には、複数の異なる教科の教員が連携して1つの授業を運営するような形式の授業はありますか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

1. そのような形式の授業はない
2. 総合的な学習の時間として実施される授業がある
3. 総合的な学習の時間以外の各教科に属する科目として実施される授業がある
4. 特別活動として実施される授業がある

13 貴校での教育課程の編成や実施、評価方法について、貴校の平均的な教員の実態にあてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1. 学校教育目標の達成を意識した、特色ある教育課程を編成している	5	4	3	2	1
2. 多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	5	4	3	2	1
3. 教育課程の評価・改善にあたり、一部の教員で行うのではなく、できるだけ多くの教員の声が反映されるような仕組みがある	5	4	3	2	1
4. 教育課程の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒・保護者へのアンケートなど）	5	4	3	2	1
5. 教育課程の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	5	4	3	2	1
6. 教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて教育課程の評価・改善を行っている	5	4	3	2	1
7. 各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	5	4	3	2	1
8. 各教員が自分の授業を客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	5	4	3	2	1
9. 多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	5	4	3	2	1
10. 多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	5	4	3	2	1
11. 学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	5	4	3	2	1
12. 学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	5	4	3	2	1

14 貴校の校内研修についてお聞きします。貴校で公式に開催される今年度の校内研修の回数とテーマをお答えください。(予定を含む。また国や自治体から課されたものを含む。)

- (1) 今年度の校内研修の回数を教えてください。……………年に () 回
- (2) 今年度、どのような領域について校内研修を行いますか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。
- | | | | |
|---------------|---------------|-----------------|-----------|
| 1. 教科指導 | 2. 生徒指導 | 3. 進路指導 | 4. 道徳・人権 |
| 5. 特別支援教育 | 6. 学習指導要領 | 7. 中学校との連携 | 8. 大学との連携 |
| 9. 大学入試改革 | 10. 総合的な学習の時間 | 11. アクティブ・ラーニング | |
| 12. ICT 機器の活用 | 13. 救命措置 | 14. その他 (具体的に |) |

15 貴校は、入学者を受け入れる中学校や卒業生を送り出す大学に対して、どのような要望を持っていますか。ご自由にお答えください。(中高一貫校の場合は、小学校への要望をお書きください。)

- 例) ・家庭での学習が習慣化するように、宿題の出し方を工夫してほしい。
 ・A O入試や推薦入試の実施時期について、高校のスケジュールにも配慮してほしい。入試準備で落ち着かないし、合格後も勉強に身が入っていない。

A 中学校 (小学校)	
B 大学	

16 貴校の学習環境の整備状況について、おおよその数をお答えください。

1. コンピュータ (生徒用) ……………学校全体で約 () 台
 A うちタブレット型コンピュータ……………学校全体で約 () 台
 B うちインターネットに接続されたコンピュータ……………学校全体で約 () 台
2. 実物投影機 (書画カメラ) ……………学校全体で約 () 台
3. プロジェクタ……………学校全体で約 () 台
4. 電子黒板……………学校全体で約 () 台
5. グループ学習室……………学校全体で約 () 室
6. デジタル教科書……………a 整備している / b 整備していない

アクティブ・ラーニングのイメージについてお尋ねします

17 2014年11月20日、中央教育審議会で行われた諮問で、学習指導要領の改訂に向けて「アクティブ・ラーニング」(能動的学修; 課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習)の充実が提言されました。

- (1) あなたが「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけは何でしたか。あてはまるものを1つ選んで数字に○をつけてください。
1. 中央教育審議会の諮問を読んだ
 2. 校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた
 3. 自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた
 4. テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした
 5. 雑誌・書籍等の記事で見聞きした
 6. 知人から聞いた
 7. この調査ではじめて知った
 8. その他 (具体的に)

(2) (1)で7以外を選んだ方（「アクティブ・ラーニング」という言葉を知っていた方）にお聞きします。
 あなたは「アクティブ・ラーニング」という言葉について、どのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

1. 生徒の力の向上に効果的な学習である
2. 最先端の学習である
3. 積極的に取り組むべき学習である
4. いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である
5. カタカナ（横文字）に違和感がある
6. あまり効果があるとは思えない
7. 教員は困惑するだろう
8. 授業が混乱するだろう
9. 教員の時間的な負担が増えそう
10. イメージが湧かない
11. その他（具体的に)

ここからは、貴校に設置されている学科のうち 普通科（それに準ずる学科）または 総合学科 で実施されている参加型学習を取り入れた授業への取り組みについてお尋ねします

本調査では、教員による一方向的な講義形式や思考を伴わない体験のみの教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加と思考を促す教授・学習法を総称して「参加型学習」と呼ぶこととします。

具体的には、以下の表に挙げたような手法を取り入れた学習を「参加型学習」と定義します。そして、これらの手法を取り入れた「参加型学習」を、全授業のうち1回でも実施した授業を調査の対象とします。

意見発表・交換型： 議論や発表を通して、意見を交換・整理する形態	例えば ディベート、話し合い（ディスカッション）、プレゼンテーション、ブレインストーミング など
理解深化型： 自分の思考を客観的に振り返り、理解を深める形態	例えば 協調学習、学び合い、ふりかえり（リフレクション）、自己による学習評価、作文 など
課題解決型： 課題に対して解決策を提案、または実行する形態	例えば 課題解決型学習、ケーススタディ、探究・調べ学習、プロジェクト型学習 など

※講義を一方向的に聞くだけの授業は、「参加型学習」には含みません。

※教科書の音読や輪読、挙手、一問一答式の発問に対する回答、プリントや問題集の解答、実験・実習・実技、見学、教材の視聴など、生徒が何らかの活動を行うものでも、生徒の思考が活性化しない場合には、本調査での「参加型学習」には含みません。

ただし、「意見発表・交換型」「理解深化型」「課題解決型」等の思考の活性化を伴うプロセスを含むものであれば、本調査での「参加型学習」に含めるものとします。

18 貴校の現在の参加型学習への取り組みについて、あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

1. 本校ではまったく取り組まれていない
2. 学年団として参加型学習に取り組んでいる学年がある
3. 教科として参加型学習に取り組んでいる教科がある
4. 学校全体として参加型学習に関する目標を掲げている
5. 参加型学習の推進に関する具体的な計画を策定している
6. 参加型学習の内容を含む校内研修を行っている
7. 教員に対し、参加型学習に関する校外研修や勉強会への参加を推奨している
8. 参加型学習の実施について、校内の会議などで積極的な呼びかけを行っている

19 貴校の今後の参加型学習への取り組み方について、あてはまるものを1つ選んで数字に○をつけてください。

1. 今後取り組む見込みはない
2. ここ数年間で取り組む予定はない
3. ここ数年間で取り組むことを検討している
4. ここ数年間で取り組む具体的な計画が進行中である
5. すでに取り組んでいるが、今後は縮小していく予定である
6. すでに取り組んでおり、今後も維持していく予定である
7. すでに取り組んでおり、今後はより充実させていく予定である

ここからは、すでに参加型学習に取り組んでいる学校（19 で5~7と回答された学校）のみ、お答えください（それ以外の学校は27にお進みください）

20 貴校では、参加型学習を通して、生徒にどのような力が身につくことをねらっていますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	とても重視している	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない
基礎的な知識・技能の習得・活用・統合					
1. 各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	5	4	3	2	1
2. 各教科で身につけた知識・技能を活用する力	5	4	3	2	1
3. 教科を超えた知識や理解の統合	5	4	3	2	1
言語を活用する力					
4. 文章などを正確に読み解く力	5	4	3	2	1
5. 自分の考えを言語で表現する力	5	4	3	2	1
探究する力					
6. 課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	5	4	3	2	1
7. 自分で情報を収集し、分析し、整理する力	5	4	3	2	1
8. 課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	5	4	3	2	1
9. これまでにない発想をしようとする創造性	5	4	3	2	1
10. 自分の考えを深める思考力	5	4	3	2	1
対人関係を築き、協働する力					
11. 主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	5	4	3	2	1
12. 他者と協力するための社会性や協調性	5	4	3	2	1
13. 勤労観や職業観	5	4	3	2	1
14. 社会の一員としての市民性意識	5	4	3	2	1
15. 途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	5	4	3	2	1
自ら学びを切り開く力					
16. 何事にも積極的に取り組む意欲	5	4	3	2	1
17. 他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	5	4	3	2	1
18. 社会変化に対応できる柔軟性	5	4	3	2	1
19. 自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	5	4	3	2	1

- 21 効果的な参加型学習を進める上で、貴校が重視して整備した学習環境や授業方法の工夫はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	取り入れていない	取り入れている	力を入れて取り入れている	とても力を入れて取り入れている
学習環境の整備				
1. 参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	4	3	2	1
2. 自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	4	3	2	1
3. 電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	4	3	2	1
4. 空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	4	3	2	1
5. 可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの整備	4	3	2	1
6. 公民館など、学校外スペースの活用	4	3	2	1
7. 学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	4	3	2	1
8. 効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	4	3	2	1
授業方法の工夫				
9. 生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	4	3	2	1
10. 他学年との合同の取り組み	4	3	2	1
11. 複数の教員による合同の授業の実施	4	3	2	1
12. 外部講師を招いた授業の実施	4	3	2	1
13. 学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	4	3	2	1
14. 生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	4	3	2	1
15. 生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	4	3	2	1
16. 反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	4	3	2	1

- 22 貴校において、参加型学習を取り入れた授業の実施により実感した効果はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
基礎的な知識・技能の習得・活用・統合					
1. 生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	5	4	3	2	1
2. 生徒の進学実績が向上した	5	4	3	2	1
3. 生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	5	4	3	2	1
4. 生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	5	4	3	2	1
言語を活用する力					
5. 生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	5	4	3	2	1
6. 生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
探究する力					
7. 生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	5	4	3	2	1
8. 生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	5	4	3	2	1
9. 生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	5	4	3	2	1
10. 生徒がこれまでにない発想をするようになった	5	4	3	2	1
11. 生徒が自分の考えを深められるようになった	5	4	3	2	1
対人関係を築き、協働する力					
12. 生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	5	4	3	2	1
13. 普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	5	4	3	2	1
14. 生徒の社会性や協調性が高まった	5	4	3	2	1
15. 生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	5	4	3	2	1
16. 社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	5	4	3	2	1
17. 地域社会との交流や相互理解が深まった	5	4	3	2	1
18. 途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	5	4	3	2	1
19. 生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	5	4	3	2	1
20. 生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	5	4	3	2	1
自ら学びを切り開く力					
21. 生徒の学習習慣（予復習）が身についた	5	4	3	2	1
22. 生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	5	4	3	2	1
23. 生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	5	4	3	2	1
24. 生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	5	4	3	2	1
25. 生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	5	4	3	2	1

23 参加型学習における生徒の成績評価について貴校で取り組んでいることはありますか。以下の項目について、最もあてはまるものを1つ選んで数字に○をつけてください。

1. 成績評価の方法は、完全に各教員に任せている
2. 成績評価について、各教科で取り組んでいる方法がある
3. 成績評価について、学校全体で取り組んでいる方法がある

24 貴校では、参加型学習の実施によって生じた困難や課題、不安はありますか。以下の項目について、貴校の悩みとしてあてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育効果や評価に関する困難や課題、不安					
1. 生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が低下する	5	4	3	2	1
2. 受験に必要な学力に結びつかない	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
3. 授業の進度が遅くなる	5	4	3	2	1
4. 各教員の授業の進度にばらつきが生じる	5	4	3	2	1
5. 各教員の授業内容にばらつきが生じる	5	4	3	2	1
6. 生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい	5	4	3	2	1
7. 活動に目が向き、何のための活動なのかという目的を見失いがちである	5	4	3	2	1
授業中の生徒の学習態度に関する困難や課題、不安					
8. 授業内容に関係のない生徒の私語が増える	5	4	3	2	1
9. 生徒の集中力が低下する	5	4	3	2	1
10. 参加型学習になじめない生徒や、ついてこれない生徒がいる	5	4	3	2	1
11. 参加型学習をしても生徒の思考が活性化しない	5	4	3	2	1
教育資源に関する困難や課題、不安					
12. 授業中の教員の負担が増加する	5	4	3	2	1
13. 授業前後の教員の負担が増加する	5	4	3	2	1
14. 教員の授業スキルが不足している	5	4	3	2	1
15. 予算が足りない	5	4	3	2	1
16. 必要な施設・設備が足りない	5	4	3	2	1
17. 授業の時間が足りない	5	4	3	2	1
関係者の理解に関する困難や課題、不安					
18. 生徒の理解が得られない	5	4	3	2	1
19. 保護者の理解が得られない	5	4	3	2	1
20. 教員が参加型学習の必要性を感じていない	5	4	3	2	1
21. 教員間で参加型学習の是非に関する葛藤や対立がある	5	4	3	2	1

22. 上に挙げられた事項のほかに、参加型学習を実施することで生じた困難や課題、不安がありましたら、ご自由にお書きください。

25 24 で答えた困難や課題、不安について、貴校ではどのようにすれば乗り越えることができるとお考えですか。以下の方法について、あてはまるものを 1つずつ 選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
学校内での工夫					
1. 補助教員や実験助手などを配置する	5	4	3	2	1
2. 複数教員による授業を実施する	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
3. 教員の他の事務的作業を軽減する	5	4	3	2	1
4. 校内での研修会や勉強会で取り扱う	5	4	3	2	1
5. 関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	5	4	3	2	1
6. 指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	5	4	3	2	1
7. 同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	5	4	3	2	1
8. 同校の同僚の教員との交流を促進する	5	4	3	2	1
9. 客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	5	4	3	2	1
10. 生徒の提案を受け入れる	5	4	3	2	1
学校外との連携					
11. 校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	5	4	3	2	1
12. 他校の教員との交流を促進する	5	4	3	2	1
13. 大学の研究者等から助言をもらう	5	4	3	2	1
14. 保護者の理解を得る	5	4	3	2	1
15. 企業と連携する	5	4	3	2	1
学校外からのサポート					
16. 補助金や助成金を獲得する	5	4	3	2	1
17. 国や自治体の方針として示してもらう	5	4	3	2	1

18. 上に挙げられた事項のほかに、参加型学習の困難や課題、不安の解決のために貴校で取り組もうとしている方法がありましたら、ご自由にお書きください。

26 貴校に参加型学習を導入することで生じた困難や課題、不安について、すでにこれまでに乗り越えてきた事例やエピソードはありますか。

もしありましたら、どのような困難や課題、不安に対して、どのようにして乗り越え、そのときに何が助けになった（人、予算、書籍、講座・研修、メディアなど）かについて、貴校の解決のストーリーをお答えください。

- 27 各教科に属する科目のほかに、貴校の教育方針を反映した貴校独自の教育施策、特徴的な取り組み（卒業研究や授業外学習、宿泊研修など）がありましたら、ご紹介ください。

- 28 国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語（6教科）以外の教科・科目での「参加型学習」の導入率についてお聞きます。

貴校において、以下の表の教科・科目で行われている授業のうち「参加型学習」を取り入れた授業がどの程度の割合で実施されているか、右側の空欄に最もあてはまる数字を記入してください。

例) 1年生の「情報」に関する授業がすべてで2つあり、そのうち1つの授業で「参加型学習」が実施されているなら、右側の1年生の列に「5」を記入する。

1. 0%の授業で取り入れている（全く実施されていない）
 2. およそ 10%未満の授業で取り入れている
 3. およそ 10%以上 25%未満の授業が取り入れている
 4. およそ 25%以上 50%未満の授業が取り入れている
 5. およそ 50%以上 75%未満の授業が取り入れている
 6. およそ 75%以上の授業が取り入れている
 9. 授業が設置されていない

教科・科目名	A 1年	B 2年	C 3年
例) 情報	5	4	9
1. 体育			
2. 保健			
3. 音楽			
4. 美術			
5. 工芸			

教科・科目名	A 1年	B 2年	C 3年
6. 書道			
7. 家庭			
8. 情報			
9. 総合的な学習の時間			
10. 特別活動			
11. 産業社会と人間			

以上で質問は終わりです

 このたびは、東京大学 大学総合教育研究センター・日本教育研究イノベーションセンター（JCERI）による「高等学校における参加型学習に関する実態調査」にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、回答が終わりましたら、この回答用紙をとりまとめご担当の先生に 8月31日までにお渡しください。

調査票 B
○○科主任用

○○科

高等学校における参加型学習に関する実態調査

東京大学 大学総合教育研究センター
日本教育研究イノベーションセンター (JCERI)

8月31日(月)までに
とりまとめご担当の先生に
提出してください

※ すべての調査票をまとめて、9月4日(金)までに投函していただきますよう、
とりまとめご担当の先生にお願い申し上げます。

[問い合わせ先]

○調査票の発送・回収に関するお問い合わせ

日本教育研究イノベーションセンター (JCERI) 担当 片山、坂上、赤塚、高井

電話番号 03-6811-5569

受付時間 10:00~18:00 (土日祝を除く)

○質問内容、その他調査全般に関するお問い合わせ

東京大学 大学総合教育研究センター 教育課程・方法開発部門 担当 木村、山辺、中原

電話番号 03-5841-4913

受付時間 10:00~17:00 (土日祝、夏季休業〔8/12-14〕を除く)

【調査の概要】

東京大学 大学総合教育研究センター 教育課程・方法開発部門では、日本教育研究イノベーションセンターと連携し、学習者の能動的な学びへの参加を促す学習（参加型学習）の実態に関する調査をさせていただくことになりました。本調査では、とりわけ、以下の点を明らかにするための質問をさせていただきます。

- ① 全国の高等学校でどのような参加型学習に関する取り組みがなされているか
- ② 参加型学習に取り組む学校や先生方は、どのような目的でそれを行っているか
- ③ 参加型学習に取り組まれている先生方は、どのような課題や不安を抱えているか

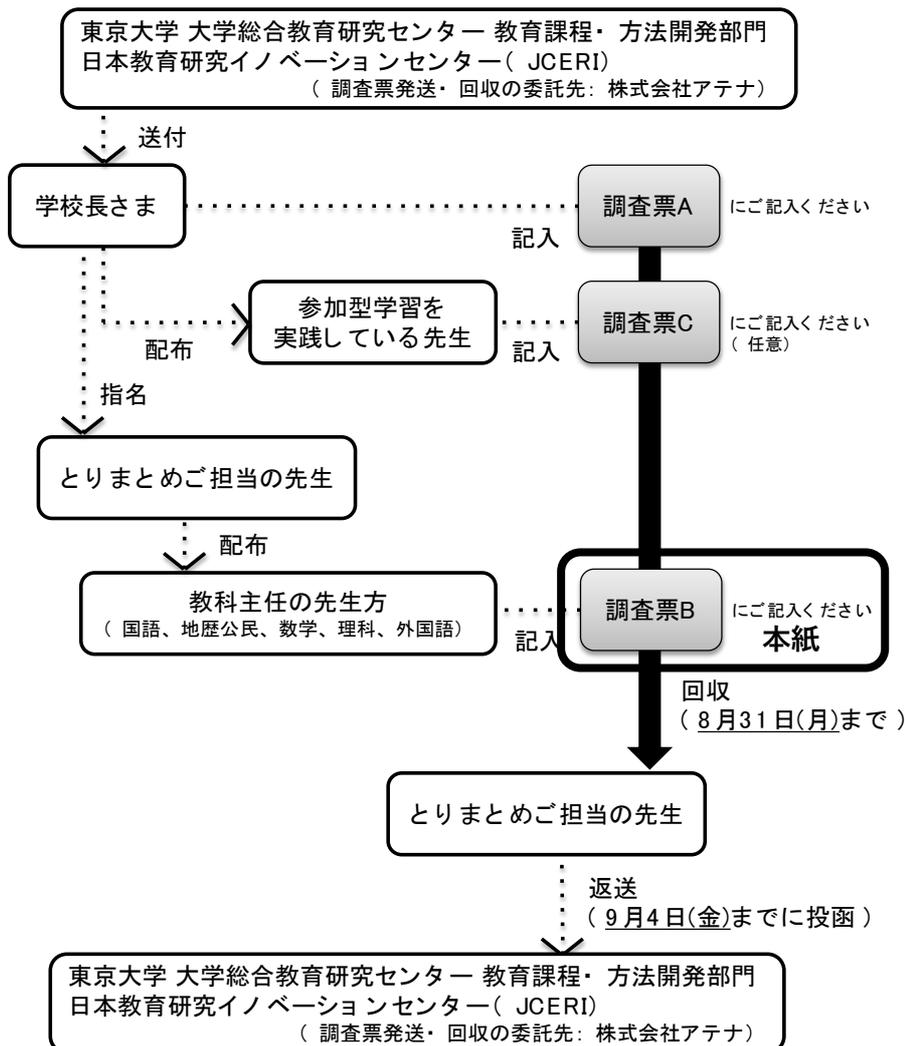
本調査から得られたデータは、2015年12月に開設予定の特設ウェブサイトにて日本全国の教育関係者に無償公開することなどを通して、共有させていただきます。同ウェブサイトにおいては参加型学習を展開するうえでの手助けとなるような実践的な工夫についての情報も収集・発信いたします。授業づくりのお役に立つことができれば幸いです。

お忙しい中恐れ入りますが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

【調査結果の取り扱い】

回収された調査票は、厳重に保管します。また、回答された情報は、統計的に処理し、許可なく個人や学校が特定される形で公表されることはございません。

【調査の手順】



【調査票の種類】

本調査には、A, B, Cの3種類の調査票があります。

調査票 A :

学校全体としての取り組みについて伺います。校長先生、教頭先生、あるいは教務主任の先生にご回答をお願いします。

調査票 B :

←本紙はこちら
教科ごとの取り組みについて伺います。国語、地歴・公民、数学、理科、外国語の教科主任の先生にご回答をお願いします。(各教科1部ずつ計5部)

調査票 C :

先生個人の授業での取り組みについて伺います。参加型学習を取り入れた授業に昨年度以前からすでに取り組んでいらっしゃる先生に任意でご回答をお願いします。(計5部)

※回答は任意ですので、提出部数はお任せいたします。

この調査票は、教科での取り組みについて、教科を代表される立場の方にお尋ねするものです

〇〇科の教科全体での取り組みについて、教科主任の先生にお尋ねします

特に指定のない場合、今年度（2015年4月～2016年3月）実績・計画についてお答えください

- 1 教科での指導計画や授業内容の設計や実施、評価について、どのような体制や方法で進めていますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1. 〇〇科では、学校教育目標の達成を意識した、特色ある指導計画や授業内容を設計している	5	4	3	2	1
2. 〇〇科では、多くの教員が、学校教育目標の達成を常に意識しながら教育・指導を行っている	5	4	3	2	1
3. 〇〇科では、指導計画や授業内容の評価・改善にあたり、各教員に任せるとはならず、教員全体の声が反映されるような仕組みがある	5	4	3	2	1
4. 〇〇科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、生徒や保護者の声を取り入れる仕組みがある（生徒、保護者へのアンケートなど）	5	4	3	2	1
5. 〇〇科では、指導計画や授業内容の編成・改善にあたり、大学の研究者等の意見や知見を取り入れる仕組みがある	5	4	3	2	1
6. 〇〇科では、教育活動の結果を評価し、根拠に基づいて指導計画や授業内容の評価・改善を行っている	5	4	3	2	1
7. 〇〇科では、各教員が自分の授業を自己評価し、改善を行う仕組みがある	5	4	3	2	1
8. 〇〇科では、各教員が自分の授業について客観的に評価し、改善を行う仕組みがある（互見授業による他の教員からの評価など）	5	4	3	2	1
9. 〇〇科では、多くの教員が、教育活動の評価と改善に、一丸となって取り組んでいる	5	4	3	2	1
10. 〇〇科では、多くの教員が、新しい実践に対して前向きに取り組んでいる	5	4	3	2	1
11. 学校長は、学校の目指す方向（ビジョン）を各教員に明確に示している	5	4	3	2	1
12. 学校長は、各教員が目標の達成に向けて行動するように働きかけている	5	4	3	2	1

アクティブ・ラーニングのイメージについてお尋ねします

- 2 2014年11月20日、中央教育審議会で行われた諮問で、学習指導要領の改訂に向けて「アクティブ・ラーニング」（能動的学修；課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習）の充実が提言されました。

- (1) あなたが「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけは何でしたか。あてはまるものを1つ選んで数字に○をつけてください。

1. 中央教育審議会の諮問を読んだ
2. 校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた
3. 自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた
4. テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした
5. 雑誌・書籍等の記事で見聞きした
6. 知人から聞いた
7. この調査ではじめて知った
8. その他（具体的に _____)

(2) (1)で7以外を選んだ方（「アクティブ・ラーニング」という言葉を知っていた方）にお聞きします。
 あなたは「アクティブ・ラーニング」という言葉について、どのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

1. 生徒の力の向上に効果的な学習である
2. 最先端の学習である
3. 積極的に取り組むべき学習である
4. いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である
5. カタカナ（横文字）に違和感がある
6. あまり効果があるとは思えない
7. 教員は困惑するだろう
8. 授業が混乱するだろう
9. 教員の時間的な負担が増えそうだ
10. イメージが湧かない
11. その他（具体的に)

ここからは、参加型学習を取り入れた授業への取り組みについてお尋ねします

本調査では、教員による一方向的な講義形式や思考を伴わない体験のみの教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加と思考を促す教授・学習法を総称して「参加型学習」と呼ぶこととします。

具体的には、以下の表に挙げたような手法を取り入れた学習を「参加型学習」と定義します。そして、これらの手法を取り入れた「参加型学習」を、全授業のうち1回でも実施した授業を調査の対象とします。

意見発表・交換型： 議論や発表を通して、意見を交換・整理する形態	例えば デイバート、話し合い（ディスカッション）、プレゼンテーション、ブレインストーミング など
理解深化型： 自分の思考を客観的に振り返り、理解を深める形態	例えば 協調学習、学び合い、ふりかえり（リフレクション）、自己による学習評価、作文 など
課題解決型： 課題に対して解決策を提案、または実行する形態	例えば 課題解決型学習、ケーススタディ、探究・調べ学習、プロジェクト型学習 など

※講義を一方向的に聞くだけの授業は、「参加型学習」には含みません。

※教科書の音読や輪読、挙手、一問一答式の発問に対する回答、プリントや問題集の解答、実験・実習・実技、見学、教材の視聴など、生徒が何らかの活動を行うものでも、生徒の思考が活性化しない場合には、本調査での「参加型学習」には含みません。

ただし、「意見発表・交換型」「理解深化型」「課題解決型」等の思考の活性化を伴うプロセスを含むものであれば、本調査での「参加型学習」に含めるものとします。

3 ○○科での現在の参加型学習への取り組みについて、あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

1. ○○科ではまったく取り組まれていない
2. 独自に参加型学習に取り組んでいる教員がいる
3. 教科全体として参加型学習に関する目標を掲げている
4. 教科全体として参加型学習の推進に関する具体的な計画を策定している
5. 参加型学習の実施について、教科の会議などで積極的な呼びかけなどを行っている

- 4 ○○科での今後の参加型学習への取り組み方について、最もあてはまるものを 1つ 選んで数字に○をつけてください。
1. 今後取り組む見込みはない
 2. ここ数年間で取り組む予定はない
 3. ここ数年間で取り組むことを検討している
 4. ここ数年間で取り組む具体的な計画が進行中である
 5. すでに取り組んでいるが、今後は縮小していく予定である
 6. すでに取り組んでおり、今後も維持していく予定である
 7. すでに取り組んでおり、今後はより充実させていく予定である

- 5 ○○科での「参加型学習」の導入率についてお聞きします。○○科で行われているすべての授業のうち「参加型学習」を取り入れた授業がどの程度の割合で実施されているか、右側の空欄に最もあてはまる数字を記入してください。

例) 1年生の「国語総合」に関する授業がすべてで2つあり、そのうち1つの授業で「参加型学習」が実施されているなら、右側の1年生の列に「5」を記入する。

1. 0%の授業で取り入れている (全く実施されていない)
2. およそ 10%未満の授業で取り入れている
3. およそ 10%以上 25%未満の授業が取り入れている
4. およそ 25%以上 50%未満の授業が取り入れている
5. およそ 50%以上 75%未満の授業が取り入れている
6. およそ 75%以上の授業が取り入れている
9. 授業が設置されていない

科目名	A 1年	B 2年	C 3年
例) 国語総合	5	4	9
1. 国語総合			
2. 国語表現			
3. 現代文 A・B			
4. 古典 A・B			
5. ()			
6. ()			

ここからは、教科ですでに参加型学習に取り組んでいる方のみお答えください
(それ以外の方は回答を終えてください)

6 ○○科において、「参加型学習」に積極的に取り組んでいる先生を3人まで思い浮かべてください。その先生が担当する科目の中で特筆すべきものを挙げ、その科目名、実施学年、参加型学習の特徴（授業の内容、工夫している点、実施時期などを50~100字程度で）、身につけてほしい力（50~100字程度）を記入してください。

また、その科目において、どのような参加型学習の手法（p4の表を参考）を用いているか、右側の空欄にあてはまる記号（○×）を記入してください。

× 用いていない ○ 用いている

A 科目名	B 学年	C 参加型学習の特徴（内容・工夫・実施時期）	D 身につけてほしい力	参加型学習の手法			
				E 意見発表・交換型	F 理解深化型	G 課題解決型	H その他
例) 現代文 B	2	年間を通してグループ・ディスカッションを多く取り入れている。夏目漱石『こころ』を扱う回では、登場人物になりきるロールプレイを行うことで、登場人物の心情の変化への理解が深まるよう工夫している。	登場人物の心情を読み取る力を身につけてほしい。ひいては作者の孤独を読み取ることができる読解力を身につけてもらうことをねらっている。	○	○	×	×
1.							
2.							
3.							

7 ○○科では、参加型学習を通して、生徒にどのような力が身につくことを重視していますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	とても重視している	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない
基礎的な知識・技能の習得・活用・統合					
1. 各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	5	4	3	2	1
2. 各教科で身につけた知識・技能を活用する力	5	4	3	2	1
3. 教科を超えた知識や理解の統合	5	4	3	2	1
言語を活用する力					
4. 文章などを正確に読み解く力	5	4	3	2	1
5. 自分の考えを言語で表現する力	5	4	3	2	1
探究する力					
6. 課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	5	4	3	2	1
7. 自分で情報を収集し、分析し、整理する力	5	4	3	2	1
8. 課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	5	4	3	2	1
9. これまでにない発想をしようとする創造性	5	4	3	2	1
10. 自分の考えを深める思考力	5	4	3	2	1
対人関係を築き、協働する力					
11. 主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	5	4	3	2	1
12. 他者と協力するための社会性や協調性	5	4	3	2	1
13. 勤労観や職業観	5	4	3	2	1
14. 社会の一員としての市民性意識	5	4	3	2	1
15. 途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	5	4	3	2	1
自ら学びを切り開く力					
16. 何事にも積極的に取り組む意欲	5	4	3	2	1
17. 他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	5	4	3	2	1
18. 社会変化に対応できる柔軟性	5	4	3	2	1
19. 自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	5	4	3	2	1

8 効果的な参加型学習を進める上で、○○科として力を入れて取り組んでいる学習活動はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

	取り組んでいる	力を入れて取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいない
意見発表・交換型の活動				
1. 生徒同士の討論（ディベート）	4	3	2	1
2. 生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	4	3	2	1

	とり組んでいない	取り組んでいる	力を入れて取り組んでいる	とても力を入れて取り組んでいる
3. 生徒による発表（プレゼンテーション）	4	3	2	1
4. 生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	4	3	2	1
理解深化型の活動				
5. 学習について自分で客観的にふりかえる活動	4	3	2	1
6. データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	4	3	2	1
7. まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	4	3	2	1
8. 演劇やダンスなどの身体活動	4	3	2	1
9. 音楽や美術などの芸術活動	4	3	2	1
10. 写真や映像などを用いた創作活動	4	3	2	1
11. 生徒同士がお互いに評価し合う活動	4	3	2	1
課題解決型の活動				
12. 個人でテーマを調べる活動	4	3	2	1
13. グループでテーマを調べる活動	4	3	2	1
14. 教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	4	3	2	1
15. 生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	4	3	2	1
16. 図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	4	3	2	1
17. 博物館など、学校外の施設で調べる活動	4	3	2	1
18. コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	4	3	2	1
19. 実験室などでの実験や観察	4	3	2	1
20. インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	4	3	2	1
21. 地域の課題解決やボランティアなど、地域の人の役に立つ活動	4	3	2	1
その他の活動				
22. 教員による思考の活性化を促す説明や解説	4	3	2	1
23. 外部講師による講演や活動	4	3	2	1
24. 自然体験・社会体験活動	4	3	2	1
25. 他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	4	3	2	1

- 9 効果的な参加型学習を進める上で、〇〇科として力を入れて取り入れている学習環境や授業方法の工夫はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	取り入れている	力を入れて取り入れている	取り入れている	取り入れていない
学習環境の整備				
1. 参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	4	3	2	1
2. 自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	4	3	2	1

	とり入れていない	取り入れていない	取り入れていない	取り入れていない
3. 電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	4	3	2	1
4. 空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	4	3	2	1
5. 可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	4	3	2	1
6. 公民館など、学校外スペースの活用	4	3	2	1
7. 学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	4	3	2	1
8. 効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	4	3	2	1
授業方法の工夫				
9. 生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	4	3	2	1
10. 他学年との合同の取り組み	4	3	2	1
11. 複数の教員による合同の授業の実施	4	3	2	1
12. 外部講師を招いた授業の実施	4	3	2	1
13. 学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	4	3	2	1
14. 生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	4	3	2	1
15. 生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	4	3	2	1
16. 反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	4	3	2	1

10 ○○科において、参加型学習を取り入れた授業の実施により実感した効果はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
基礎的な知識・技能の習得・活用・統合					
1. 生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	5	4	3	2	1
2. 生徒の進学実績が向上した	5	4	3	2	1
3. 生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	5	4	3	2	1
4. 生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	5	4	3	2	1
言語を活用する力					
5. 生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	5	4	3	2	1
6. 生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	5	4	3	2	1
探究する力					
7. 生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	5	4	3	2	1
8. 生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	5	4	3	2	1
9. 生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	5	4	3	2	1
10. 生徒がこれまでにない発想をするようになった	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	ほとんどあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
11. 生徒が自分の考えを深められるようになった	5	4	3	2	1
対人関係を築き、協働する力					
12. 生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	5	4	3	2	1
13. 普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	5	4	3	2	1
14. 生徒の社会性や協調性が高まった	5	4	3	2	1
15. 生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	5	4	3	2	1
16. 社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	5	4	3	2	1
17. 地域社会との交流や相互理解が深まった	5	4	3	2	1
18. 途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	5	4	3	2	1
19. 生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	5	4	3	2	1
20. 生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	5	4	3	2	1
自ら学びを切り開く力					
21. 生徒の学習習慣（予復習）が身についた	5	4	3	2	1
22. 生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	5	4	3	2	1
23. 生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	5	4	3	2	1
24. 生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	5	4	3	2	1
25. 生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	5	4	3	2	1

11 ○○科における参加型学習を取り入れた授業の評価方法についてお聞きます。

- (1) ○○科では、参加型学習での生徒の活動や成果物について、何らかの方法で評価し、成績に含めていますか。あてはまるものを 1つ 選んで数字に○をつけてください。
1. 参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない
 2. 参加型学習での生徒の活動や成果物を評価しているが、成績には含めていない
 3. 参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている
- (2) (1)で 1以外 を選んだ方（参加型学習の評価を行っている方）にお聞きます。○○科では、参加型学習を取り入れた授業について、何を評価の対象としていますか。評価対象としてあてはまるものを すべて 選んで数字に○をつけてください。
1. 生徒の関心・意欲
 2. 生徒の授業への参加度・積極性
 3. 教科での学内考査
 4. 作文やレポートなどの提出物
 5. 身体活動・芸術活動・課題解決活動などの製作・成果物
 6. 生徒による発表（プレゼンテーション）の内容
 7. 活動内容や感想を記録するふりかえりシート
 8. 生徒の学習活動の記録（プリント・ワークシート・発表資料など）をとじたファイル
 9. その他（具体的に
- (3) (1)で 1以外 を選んだ方（参加型学習の評価を行っている方）にお聞きます。○○科では、参加型学習を取り入れた授業について、誰が評価を行っていますか。評価者としてあてはまるものを すべて 選んで数字に○をつけてください。
1. 担当教員（単独）による評価
 2. 授業に参加した複数の教員による評価
 3. 生徒自身による自己評価
 4. 生徒同士による相互評価
 5. 活動に関わった学校外の人による評価
 6. その他（具体的に

12 ○○科における参加型学習を取り入れた授業のカリキュラム評価・改善についてお聞きます。

(1) ○○科では、参加型学習を取り入れた授業について、何らかの方法で評価し、その結果を指導計画や授業内容の改善につなげていますか。あてはまるものを1つ選んで数字に○をつけてください。

1. 評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない
2. 教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている
3. 客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている

(2) (1)で1以外を選んだ方(評価・改善を行っている方)にお聞きます。○○科では、参加型学習を取り入れた授業の指導計画・授業内容の評価・改善について、どのような評価を根拠にしていますか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

1. 生徒の学習成果
2. 生徒による授業評価
3. 自校の教員による授業評価
4. 自身による授業の実践記録の評価
5. 保護者による授業評価
6. 他校の教員や大学の研究者による授業評価
7. その他(具体的に)

13 ○○科において、参加型学習を実施することで生じた困難や課題、不安はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育効果や評価に関する困難や課題、不安					
1. 生徒の教科における学業成績(学内考査など)が低下する	5	4	3	2	1
2. 受験に必要な学力に結びつかない	5	4	3	2	1
3. 授業の進度が遅くなる	5	4	3	2	1
4. 各教員の授業の進度にばらつきが生じる	5	4	3	2	1
5. 各教員の授業内容にばらつきが生じる	5	4	3	2	1
6. 生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい	5	4	3	2	1
7. 活動に目が向き、何のための活動なのかという目的を見失いがちである	5	4	3	2	1
授業中の生徒の学習態度に関する困難や課題、不安					
8. 授業内容に関係のない生徒の私語が増える	5	4	3	2	1
9. 生徒の集中力が低下する	5	4	3	2	1
10. 参加型学習になじめない生徒やついてこられない生徒がいる	5	4	3	2	1
11. 参加型学習をしても生徒の思考が活性化しない	5	4	3	2	1
教育資源に関する困難や課題、不安					
12. 授業中の教員の負担が増加する	5	4	3	2	1
13. 授業前後の教員の負担が増加する	5	4	3	2	1
14. 教員の授業スキルが不足している	5	4	3	2	1
15. 予算が足りない	5	4	3	2	1
16. 必要な施設・設備が足りない	5	4	3	2	1
17. 授業の時間が足りない	5	4	3	2	1
関係者の理解に関する困難や課題、不安					
18. 生徒の理解が得られない	5	4	3	2	1
19. 保護者の理解が得られない	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
20. 教員が参加型学習の必要性を感じていない	5	4	3	2	1
21. 教員間で参加型学習の是非に関する葛藤や対立がある	5	4	3	2	1

22. 上に挙げられた事項のほかに、参加型学習を実施することで生じた困難や課題、不安がありましたら、ご自由にお書きください。

14. 13. で答えた困難や課題、不安について、〇〇科ではどのようにすれば乗り越えることができるとお考えですか。以下の方法について、あてはまるものを 1つずつ 選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
学校内での工夫					
1. 補助教員や実験助手などを配置する	5	4	3	2	1
2. 複数教員による授業を実施する	5	4	3	2	1
3. 教員の他の事務的作業を軽減する	5	4	3	2	1
4. 校内での研修会や勉強会で取り扱う	5	4	3	2	1
5. 関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	5	4	3	2	1
6. 指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	5	4	3	2	1
7. 同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	5	4	3	2	1
8. 同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	5	4	3	2	1
9. 授業準備に時間をかける	5	4	3	2	1
10. 授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	5	4	3	2	1
11. 客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	5	4	3	2	1
12. 生徒の提案を受け入れる	5	4	3	2	1
13. 管理職の理解が得られるよう働きかける	5	4	3	2	1
学校外との連携					
14. 校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	5	4	3	2	1
15. 他校の教員との交流を促進する	5	4	3	2	1
16. 大学の研究者等から助言をもらう	5	4	3	2	1
17. 保護者の理解を得る	5	4	3	2	1
18. 企業と連携する	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
学校外からのサポート					
19. 補助金や助成金を獲得する	5	4	3	2	1
20. 国や自治体の方針として示してもらう	5	4	3	2	1

21. 上に挙げられた事項のほかに、参加型学習の困難や課題、不安の解決のために〇〇科で取り組もうとしている方法がありましたら、ご自由にお書きください。

- 15** 〇〇科で参加型学習を導入することで生じた困難や課題、不安について、すでにこれまでに乗り越えてきた事例やエピソードはありますか。
もしありましたら、どのような困難や課題、不安に対して、どのようにして乗り越え、そのときに何が助けになった（人、予算、書籍、講座・研修、メディアなど）かについて、解決のストーリーをお答えください。

以上で質問は終わりです

このたびは、東京大学 大学総合教育研究センター・日本教育研究イノベーションセンター（JCERI）による「高等学校における参加型学習に関する実態調査」にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、回答が終わりましたら、この回答用紙をとりまとめご担当の先生に 8月31日までにお渡しください。

調査票 C
個人用

高等学校における参加型学習に関する実態調査

東京大学 大学総合教育研究センター
日本教育研究イノベーションセンター (JCERI)

**8月31日(月)までに
とりまとめご担当の先生に
提出してください**

※ すべての調査票をまとめて、9月4日(金)までに投函していただきますよう、
とりまとめご担当の先生にお願い申し上げます。

[問い合わせ先]

○調査票の発送・回収に関するお問い合わせ

日本教育研究イノベーションセンター (JCERI) 担当 片山、坂上、赤塚、高井

電話番号 03-6811-5569

受付時間 10:00~18:00 (土日祝を除く)

○質問内容、その他調査全般に関するお問い合わせ

東京大学 大学総合教育研究センター 教育課程・方法開発部門 担当 木村、山辺、中原

電話番号 03-5841-4913

受付時間 10:00~17:00 (土日祝、夏季休業〔8/12-14〕を除く)

【調査の概要】

東京大学 大学総合教育研究センター 教育課程・方法開発部門では、日本教育研究イノベーションセンターと連携し、学習者の能動的な学びへの参加を促す学習（参加型学習）の実態に関する調査をさせていただくことになりました。本調査では、とりわけ、以下の点を明らかにするための質問をさせていただきます。

- ① 全国の高等学校でどのような参加型学習に関する取り組みがなされているか
- ② 参加型学習に取り組む学校や先生方は、どのような目的でそれを行っているか
- ③ 参加型学習に取り組まれている先生方は、どのような課題や不安を抱えているか

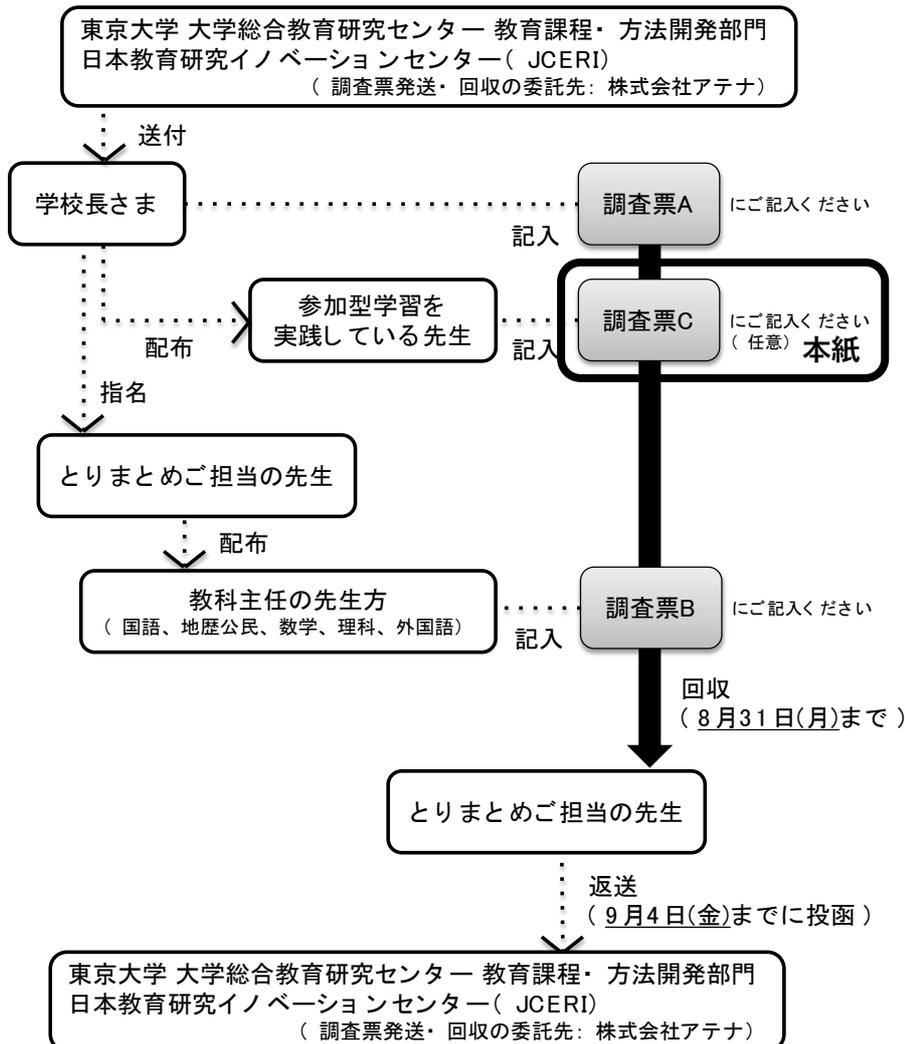
本調査から得られたデータは、2015年12月に開設予定の特設ウェブサイトにて日本全国の教育関係者に無償公開することなどを通して、共有させていただきます。同ウェブサイトにおいては参加型学習を展開するうえでの手助けとなるような実践的な工夫についての情報も収集・発信いたします。授業づくりのお役に立つことができれば幸いです。

お忙しい中恐れ入りますが、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

【調査結果の取り扱い】

回収された調査票は、厳重に保管します。また、回答された情報は、統計的に処理し、許可なく個人や学校が特定される形で公表されることはございません。

【調査の手順】



【調査票の種類】

本調査には、A, B, Cの3種類の調査票があります。

調査票 A:

学校全体としての取り組みについて伺います。校長先生、教頭先生、あるいは教務主任の先生にご回答をお願いします。

調査票 B:

教科ごとの取り組みについて伺います。国語、地歴公民、数学、理科、外国語の教科主任の先生にご回答をお願いします。(各教科1部ずつ計5部)

調査票 C: ←本紙はこちら

先生個人の授業での取り組みについて伺います。参加型学習を取り入れた授業に昨年度以前からすでに取り組んでいらっしゃる先生に任意でご回答をお願いします。(計5部)

※回答は任意ですので、提出部数はお任せいたします。

アクティブ・ラーニングのイメージについてお尋ねします

9 2014年11月20日、中央教育審議会で行われた諮問で、学習指導要領の改訂に向けて「アクティブ・ラーニング」(能動的学修; 課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習)の充実が提言されました。

- (1) あなたが「アクティブ・ラーニング」という言葉をはじめて知ったきっかけは何でしたか。あてはまるものを1つ選んで数字に○をつけてください。
1. 中央教育審議会の諮問を読んだ
 2. 校務として参加した研修・勉強会で取り扱われた
 3. 自主的に参加した研修・勉強会で取り扱われた
 4. テレビ・インターネット・新聞の記事で見聞きした
 5. 雑誌・書籍等の記事で見聞きした
 6. 知人から聞いた
 7. この調査ではじめて知った
 8. その他(具体的に)
- (2) (1)で7以外を選んだ方(「アクティブ・ラーニング」という言葉を知っていた方)にお聞きします。あなたは「アクティブ・ラーニング」という言葉について、どのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。
1. 生徒の力の向上に効果的な学習である
 2. 最先端の学習である
 3. 積極的に取り組むべき学習である
 4. いまさら取り上げるまでもなく、以前から取り組んできた学習である
 5. カタカナ(横文字)に違和感がある
 6. あまり効果があるとは思えない
 7. 教員は困惑するだろう
 8. 授業が混乱するだろう
 9. 教員の時間的な負担が増えそうだ
 10. イメージが湧かない
 11. その他(具体的に)

ここからは、参加型学習を取り入れた授業への取り組みについてお尋ねします

本調査では、教員による一方向的な講義形式や思考を伴わない体験のみの教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加と思考を促す教授・学習法を総称して「参加型学習」と呼ぶこととします。

具体的には、以下の表に挙げたような手法を取り入れた学習を「参加型学習」と定義します。そして、これらの手法を取り入れた「参加型学習」を、全授業のうち1回でも実施した授業を調査の対象とします。

意見発表・交換型： 議論や発表を通して、意見を交換・整理する形態	例えば ディベート、話し合い(ディスカッション)、 プレゼンテーション、ブレインストーミング など
理解深化型： 自分の思考を客観的に振り返り、理解を深める形態	例えば 協調学習、学び合い、ふりかえり(リフレクション)、 自己による学習評価、作文 など
課題解決型： 課題に対して解決策を提案、または実行する形態	例えば 課題解決型学習、ケーススタディ、探究・調べ学習、 プロジェクト型学習 など

※講義を一方向的に聞くだけの授業は、「参加型学習」には含みません。

※教科書の音読や輪読、挙手、一問一答式の発問に対する回答、プリントや問題集の解答、実験・実習・実技、見学、教材の視聴など、生徒が何らかの活動を行うものでも、生徒の思考が活性化しない場合には、本調査での「参加型学習」には含みません。

ただし、「意見発表・交換型」「理解深化型」「課題解決型」等の思考の活性化を伴うプロセスを含むものであれば、本調査での「参加型学習」に含めるものとします。

- 10 あなたが実施している授業の中で、「参加型学習」に積極的に取り組んでいる主な科目を 3 つまで挙げ、その科目名、実施学年、参加型学習の特徴（授業の内容、工夫している点、実施時期などを 50~100 字程度で）、身につけてほしい力（50~100 字程度で）を記入してください。
また、その科目において、どのような参加型学習の手法（p4 の表を参考）を用いているか、右側の空欄にあてはまる記号（×○）を記入してください。

× 用いていない ○ 用いている

A 科目名	B 学年	C 参加型学習の特徴（内容・工夫・実施時期）	D 身につけてほしい力	参加型学習の手法			
				E 意見発表・交換型	F 理解深化型	G 課題解決型	H その他
例) 現代文 B	2	年間を通してグループ・ディスカッションを多く取り入れている。夏目漱石『こころ』を扱う回では、登場人物になりきるロールプレイを行うことで、登場人物の心情の変化への理解が深まるよう工夫している。	登場人物の心情を読み取る力を身につけてほしい。ひいては作者の孤独を読み取ることができる読解力を身につけてもらうことをねらっている。	○	○	×	×
1.							
2.							
3.							

11 あなたが実施している参加型学習を取り入れた授業についてお聞きします。

(1) 参加型学習の授業案を設計する際に見本となったものは何ですか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

1. 自身で何も参考にせずに設計した
2. 教科の会議で設計したものを参考にした
3. 同校の同教科の教員が実施しているものを参考にした
4. 同校の他教科の教員が実施しているものを参考にした
5. 他校の教員が実施しているものを参考にした
6. 教育委員会が公開しているものを参考にした
7. 文部科学省が公開しているものを参考にした
8. 大学の研究者が設計したものを参考にした
9. 企業の人が設計したものを参考にした
10. その他（具体的に

)

(2) その授業手法はどこで身につけたものですか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

1. 授業案を設計した人から教わった
2. 大学の研究者等から学んだ
3. 教員以外の社会人経験の中で学んだ
4. 雑誌や書籍の記事で学んだ
5. 校務として参加した研修会や勉強会で学んだ
6. 自主的に参加した校外の研修会や勉強会で学んだ
7. 同校の教員から学んだ
8. 自分が生徒・学生時代に受けた授業方法を真似た
9. 指導書を参考にした
10. 教員養成課程（学部）で学んだ
11. 大学時代の教職科目以外の授業などで学んだ
12. 教職大学院で学んだ
13. 教員免許更新講習で学んだ
14. 教育以外の分野で実践されている方法を参考にした
15. その他（具体的に
16. 特になし

)

12 あなたが参加型学習を取り入れた授業をはじめた時期ときっかけについてお聞きします。

(1) 参加型学習を取り入れた授業をいつから実施していますか。あてはまるものを 1 つ選んで数字に○をつけてください。

1. 今年から
2. 昨年から
3. 2~3 年前から
4. 4~5 年前
5. 6~9 年前から
6. 10~19 年前から
7. 20 年以上前から

(2) 参加型学習を取り入れた授業をはじめたきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。

1. 学習指導要領に記載されているから
2. 自治体の方針として決まったから
3. 学校の方針として決まったから
4. 教科の方針として決まったから
5. 生徒から要望があったから
6. 他の教員の授業を見たり話を聞いたりして効果がありそうだったから
7. 研修や勉強会で学んで効果がありそうだったから
8. 自分が生徒・学生時代に受けた授業に効果があったから
9. 新しい手法に取り組んでみたかったから
10. これまでの手法に限界を感じたから
11. 最初から当然のものとしてやっていた
12. その他（具体的に

13 あなたは、参加型学習を通して、生徒にどのような力が身につくことを重視していますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	とても重視している	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない
基礎的な知識・技能の習得・活用・統合					
1. 各教科で必要とされる基礎的な知識・技能	5	4	3	2	1
2. 各教科で身につけた知識・技能を活用する力	5	4	3	2	1
3. 教科を超えた知識や理解の統合	5	4	3	2	1
言語を活用する力					
4. 文章などを正確に読み解く力	5	4	3	2	1
5. 自分の考えを言語で表現する力	5	4	3	2	1
探究する力					
6. 課題を見つけ、自分がすべきことを考える課題設定力	5	4	3	2	1
7. 自分で情報を収集し、分析し、整理する力	5	4	3	2	1
8. 課題解決への道筋を考え、主体的に行動する問題解決力	5	4	3	2	1
9. これまでにない発想をしようとする創造性	5	4	3	2	1
10. 自分の考えを深める思考力	5	4	3	2	1
対人関係を築き、協働する力					
11. 主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力	5	4	3	2	1
12. 他者と協力するための社会性や協調性	5	4	3	2	1
13. 勤労観や職業観	5	4	3	2	1
14. 社会の一員としての市民性意識	5	4	3	2	1
15. 途中であきらめず最後まで粘り強く取り組む力	5	4	3	2	1
自ら学びを切り開く力					
16. 何事にも積極的に取り組む意欲	5	4	3	2	1
17. 他者から言われなくても自分から主体的に学ぶ意欲	5	4	3	2	1
18. 社会変化に対応できる柔軟性	5	4	3	2	1
19. 自分の生き方についての自覚や将来の進路展望	5	4	3	2	1

- 14 効果的な参加型学習を進める上で、あなたが力を入れて取り組んでいる学習活動はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	とり組んでいない	取り組んでいる	力を入れて取り組んでいる	とても力を入れて取り組んでいる
意見発表・交換型の活動				
1. 生徒同士の討論（ディベート）	4	3	2	1
2. 生徒同士の議論や話し合い（ディスカッション）	4	3	2	1
3. 生徒による発表（プレゼンテーション）	4	3	2	1
4. 生徒同士で意見を出し合う活動（ブレインストーミング）	4	3	2	1
理解深化型の活動				
5. 学習について自分で客観的にふりかえる活動	4	3	2	1
6. データの整理・分析やレポートなどのまとめ活動	4	3	2	1
7. まとめのプリントや壁新聞などをつくる活動	4	3	2	1
8. 演劇やダンスなどの身体活動	4	3	2	1
9. 音楽や美術などの芸術活動	4	3	2	1
10. 写真や映像などを用いた創作活動	4	3	2	1
11. 生徒同士がお互いに評価し合う活動	4	3	2	1
課題解決型の活動				
12. 個人でテーマを調べる活動	4	3	2	1
13. グループでテーマを調べる活動	4	3	2	1
14. 教員が生徒にテーマを与えて調べる活動	4	3	2	1
15. 生徒が自分でテーマを設定して調べる活動	4	3	2	1
16. 図書館などで書物や論文などの資料を調べる活動	4	3	2	1
17. 博物館など、学校外の施設で調べる活動	4	3	2	1
18. コンピュータなどの機器を用いて調べる活動	4	3	2	1
19. 実験室などでの実験や観察	4	3	2	1
20. インタビューや観察、アンケート調査をして調べる活動	4	3	2	1
21. 地域の課題解決やボランティアなど、地域の人役に立つ活動	4	3	2	1
その他の活動				
22. 教員による思考の活性化を促す説明や解説	4	3	2	1
23. 外部講師による講演や活動	4	3	2	1
24. 自然体験・社会体験活動	4	3	2	1
25. 他校の生徒や地域の人など学校外の人との交流活動	4	3	2	1

- 15 効果的な参加型学習を進める上で、あなたが力を入れて取り入れている学習環境や授業方法の工夫はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	取り入れている とても力を入れて	取り入れている 力を入れて	取り入れている	取り入れていない
学習環境の整備				
1. 参加型学習に関する教員用の手引書などの整備	4	3	2	1
2. 自作プリントや模型・実物の提示など、アナログな教材教具の工夫	4	3	2	1
3. 電子教科書やタブレット端末など、デジタルな教材教具の工夫	4	3	2	1
4. 空き教室や特別教室など、学校内の既存スペースの活用	4	3	2	1
5. 可動式机など、参加型学習での活用を考慮した学校内スペースの活用	4	3	2	1
6. 公民館など、学校外スペースの活用	4	3	2	1
7. 学習時間が十分に保証できるような時間割の工夫	4	3	2	1
8. 効果的な授業を実施できる教員（非常勤講師を含む）の確保	4	3	2	1
授業方法の工夫				
9. 生徒の発達段階や個性を考慮したグループづくりの工夫	4	3	2	1
10. 他学年との合同の取り組み	4	3	2	1
11. 複数の教員による合同の授業の実施	4	3	2	1
12. 外部講師を招いた授業の実施	4	3	2	1
13. 学習活動の各場面で生徒の学習を促す動機づけの工夫	4	3	2	1
14. 生徒にあらかじめ学習のねらいを伝えるなど、学習の到達点を意識させる工夫	4	3	2	1
15. 生徒が自然体験・社会体験できる場の活用	4	3	2	1
16. 反転授業など、授業外の時間の使い方の工夫	4	3	2	1

- 16 参加型学習を取り入れた授業の実施によりあなたが実感した効果はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
基礎的な知識・技能の習得・活用・統合					
1. 生徒の教科における学業成績（学内定期考査など）が向上した	5	4	3	2	1
2. 生徒の進学実績が向上した	5	4	3	2	1
3. 生徒が教科で学んだことを生活の中で活かすことができるようになった	5	4	3	2	1
4. 生徒の教科を越えた知識や理解の統合が進んだ	5	4	3	2	1
言語を活用する力					
5. 生徒の文章などを正確に読み解く力が高まった	5	4	3	2	1
6. 生徒の自分の考えを言語で表現する力が高まった	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
探究する力					
7. 生徒が、身の回りの課題に気づき、自分がすべきことを判断できるようになった	5	4	3	2	1
8. 生徒が適切に情報を収集し、選択・活用できるようになった	5	4	3	2	1
9. 生徒が主体的に考え、動き、課題解決できるようになった	5	4	3	2	1
10. 生徒がこれまでにない発想をするようになった	5	4	3	2	1
11. 生徒が自分の考えを深められるようになった	5	4	3	2	1
対人関係を築き、協働する力					
12. 生徒に主張・傾聴・討論などのコミュニケーション力が身についた	5	4	3	2	1
13. 普段は消極的な生徒が、授業の中で積極的に関わられるようになった	5	4	3	2	1
14. 生徒の社会性や協調性が高まった	5	4	3	2	1
15. 生徒の職業や勤労に対する意識や理解が高まった	5	4	3	2	1
16. 社会の出来事などに対する生徒の問題意識が高まった	5	4	3	2	1
17. 地域社会との交流や相互理解が深まった	5	4	3	2	1
18. 途中であきらめず最後まで粘り強く取り組めるようになった	5	4	3	2	1
19. 生徒が他者と一緒に学ぶ楽しさを理解するようになった	5	4	3	2	1
20. 生徒と教員間のコミュニケーションが深まってきた	5	4	3	2	1
自ら学びを切り開く力					
21. 生徒の学習習慣（予復習）が身についた	5	4	3	2	1
22. 生徒が何事にも意欲的に取り組むようになった	5	4	3	2	1
23. 生徒が他者から言われなくても自分から主体的に学ぶようになった	5	4	3	2	1
24. 生徒が状況の変化に柔軟に対応できるようになった	5	4	3	2	1
25. 生徒の生き方についての自覚や将来の進路展望が深まった	5	4	3	2	1

17) あなたが実施している参加型学習を取り入れた授業の評価方法についてお聞きします。

- (1) あなたは、参加型学習での生徒の活動や成果物について、何らかの方法で評価し、成績に含めていますか。あてはまるものを 1 つ選んで数字に○をつけてください。
 1. 参加型学習での生徒の活動や成果物を評価していない
 2. 参加型学習での生徒の活動や成果物を評価しているが、成績には含めていない
 3. 参加型学習での生徒の活動や成果物を評価し、成績に含めている
- (2) (1)で 1 以外を選んだ方（参加型学習の評価を行っている方）にお聞きします。あなたが実施している参加型学習を取り入れた授業について、何を評価の対象としていますか。評価対象としてあてはまるものを すべて 選んで数字に○をつけてください。
 1. 生徒の関心・意欲
 2. 生徒の授業への参加度・積極性
 3. 教科での学内考査
 4. 作文やレポートなどの提出物
 5. 身体活動・芸術活動・課題解決活動などの製作・成果物
 6. 生徒による発表（プレゼンテーション）の内容
 7. 活動内容や感想を記録するふりかえりシート
 8. 生徒の学習活動の記録（プリント・ワークシート・発表資料など）をとじたファイル
 9. その他（具体的に)

- (3) (1)で1以外を選んだ方(参加型学習の評価を行っている方)にお聞きします。あなたが実施している参加型学習を取り入れた授業について、誰が評価を行っていますか。評価者としてあてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。
1. 担当教員(単独)による評価
 2. 授業に参加した複数の教員による評価
 3. 生徒自身による自己評価
 4. 生徒同士による相互評価
 5. 活動に関わった学校外の人による評価
 6. その他(具体的に)

18 参加型学習を取り入れた授業のカリキュラム評価・改善についてお聞きします。

- (1) あなたは、参加型学習を取り入れた授業について、何らかの方法で評価し、その結果を指導計画や授業内容の改善につなげていますか。あてはまるものを1つ選んで数字に○をつけてください。
1. 評価に基づいた指導計画や授業内容の改善は行っていない
 2. 教員の感覚や経験に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている
 3. 客観的な評価に基づいて、指導計画や授業内容の改善を行っている
- (2) (1)で1以外を選んだ方(評価・改善を行っている方)にお聞きします。あなたは、参加型学習を取り入れた授業の指導計画・授業内容の評価・改善について、どのような評価を根拠にしていますか。あてはまるものをすべて選んで数字に○をつけてください。
1. 生徒の学習成果
 2. 生徒による授業評価
 3. 自校の教員による授業評価
 4. 自身による授業の実践記録の評価
 5. 保護者による授業評価
 6. 他校の教員や大学の研究者による授業評価
 7. その他(具体的に)

19 あなたが参加型学習を実施することで生じた困難や課題、不安はありますか。以下の項目について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
教育効果や評価に関する困難や課題、不安					
1. 生徒の教科における学業成績(学内考査など)が低下する	5	4	3	2	1
2. 受験に必要な学力に結びつかない	5	4	3	2	1
3. 授業の進度が遅くなる	5	4	3	2	1
4. 各教員の授業の進度にばらつきが生じる	5	4	3	2	1
5. 各教員の授業内容にばらつきが生じる	5	4	3	2	1
6. 生徒の学習活動を客観的に評価することが難しい	5	4	3	2	1
7. 活動に目が向き、何のための活動なのかという目的を見失いがちである	5	4	3	2	1
授業中の生徒の学習態度に関する困難や課題、不安					
8. 授業内容に関係のない生徒の私語が増える	5	4	3	2	1
9. 生徒の集中力が低下する	5	4	3	2	1
10. 参加型学習になじめない生徒やついてこられない生徒がいる	5	4	3	2	1
11. 参加型学習をしても生徒の思考が活性化しない	5	4	3	2	1
教育資源に関する困難や課題、不安					
12. 授業中の教員の負担が増加する	5	4	3	2	1
13. 授業前後の教員の負担が増加する	5	4	3	2	1
14. 教員の授業スキルが不足している	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
15. 予算が足りない	5	4	3	2	1
16. 必要な施設・設備が足りない	5	4	3	2	1
17. 授業の時間が足りない	5	4	3	2	1
関係者の理解に関する困難や課題、不安					
18. 生徒の理解が得られない	5	4	3	2	1
19. 保護者の理解が得られない	5	4	3	2	1
20. 他の教員の理解が得られない	5	4	3	2	1
21. 教員間で参加型学習の是非に関する葛藤や対立がある	5	4	3	2	1

22. 上に挙げられた事項のほかに、参加型学習を実施することで生じた困難や課題、不安がありましたら、ご自由にお書きください。

20 19 で答えた困難や課題、不安について、あなたはどのようにすれば乗り越えることができるとお考えですか。以下の方法について、あてはまるものを1つずつ選んで数字に○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
学校内での工夫					
1. 補助教員や実験助手などを配置する	5	4	3	2	1
2. 複数教員による授業を実施する	5	4	3	2	1
3. 教員の他の事務的作業を軽減する	5	4	3	2	1
4. 校内での研修会や勉強会で取り扱う	5	4	3	2	1
5. 関連する書籍・雑誌などを購入、紹介する	5	4	3	2	1
6. 指導方法に関するビデオやDVDなどを購入、紹介する	5	4	3	2	1
7. 同校の経験ある教員から助言が得られる仕組みをつくる	5	4	3	2	1
8. 同校の同僚・若手の教員との交流を促進する	5	4	3	2	1
9. 授業準備に時間をかける	5	4	3	2	1
10. 授業方法を工夫する（授業に参加しないことで学習に支障がでるような設計など）	5	4	3	2	1
11. 客観的な評価が可能となるよう評価方法を工夫する	5	4	3	2	1
12. 生徒の提案を受け入れる	5	4	3	2	1
13. 管理職の理解が得られるよう働きかける	5	4	3	2	1
学校外との連携					
14. 校外での研修会や勉強会への参加を奨励する	5	4	3	2	1

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
15. 他校の教員との交流を促進する	5	4	3	2	1
16. 大学の研究者等から助言をもらう	5	4	3	2	1
17. 保護者の理解を得る	5	4	3	2	1
18. 企業と連携する	5	4	3	2	1
学校外からのサポート					
19. 補助金や助成金を獲得する	5	4	3	2	1
20. 国や自治体の方針として示してもらう	5	4	3	2	1

21. 上に挙げられた事項のほかに、参加型学習の困難や課題、不安の解決のためにあなたが取り組もうとしている方法がありましたら、ご自由にお書きください。

- 21 21 あなたが参加型学習を導入することで生じた困難や課題、不安について、すでにこれまでに乗り越えてきた事例やエピソードはありますか。
もしありましたら、どのような困難や課題、不安に対して、どのようにして乗り越え、そのときに何が助けになった（人、予算、書籍、講座・研修、メディアなど）かについて、解決のストーリーをお答えください。

- 22 22 その他、あなたの実施している参加型学習についてこの調査の質問では答えきれなかったことがありましたら、ご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです

このたびは、東京大学大学総合教育研究センター・日本教育研究イノベーションセンター（JCERI）による「高等学校における参加型学習に関する実態調査」にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、回答が終わりましたら、この回答用紙をとりまとめご担当の先生に 8月31日までに

お渡しください。

2016年3月26日 発行

ニッポンのマナビ 今の高校の授業とは？

スペシャルレポート

今、高校のアクティブラーニングはどうなっているのか？

－ 実態調査 2015 －

編集・発行 東京大学 大学総合教育研究センター 中原淳研究室

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

